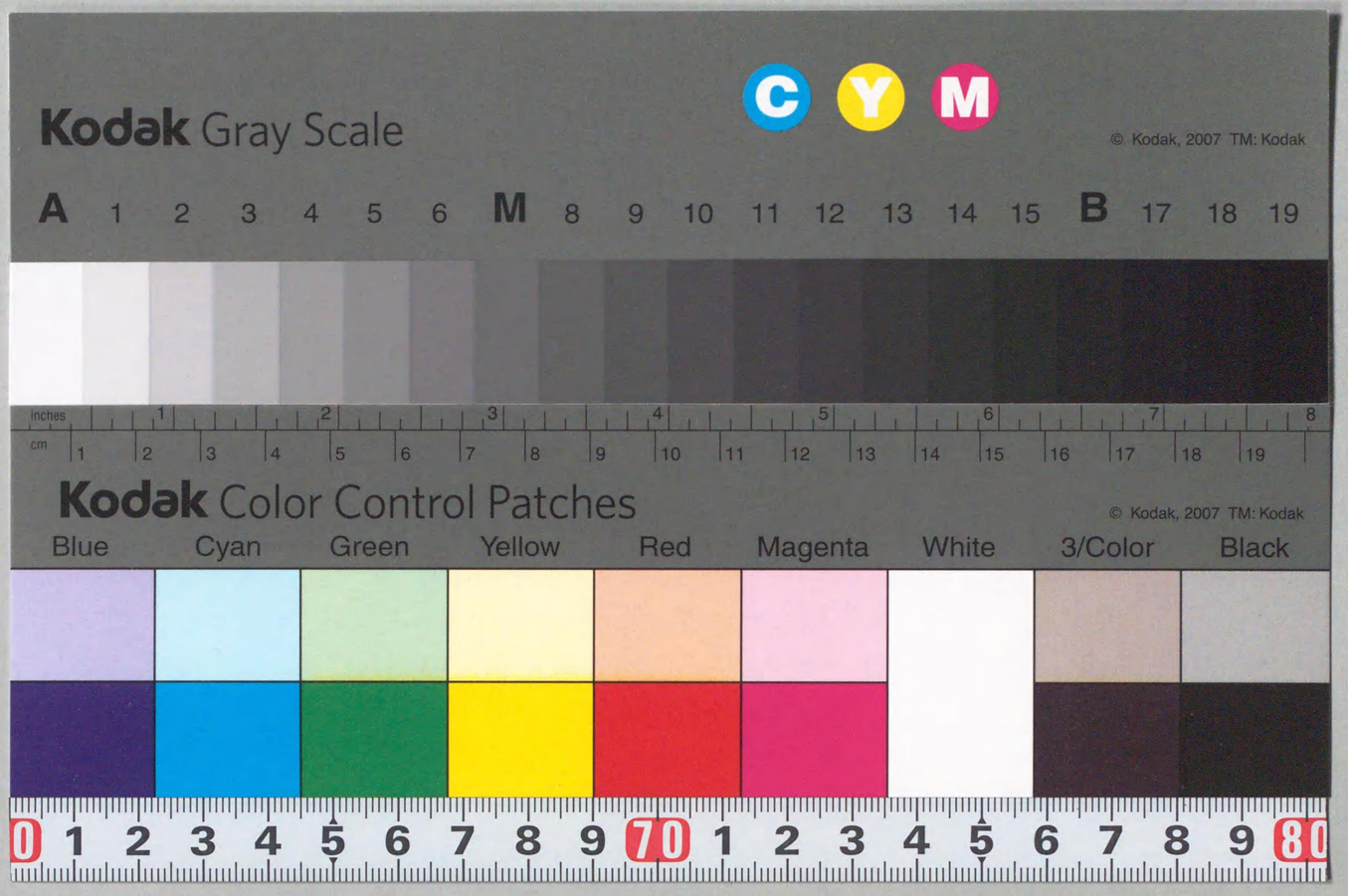


秀甫全集

上卷

795.
H6332A
W

秀甫全集

村瀨秀甫像

795
H6332s

中川龜三郎
加藤信共編

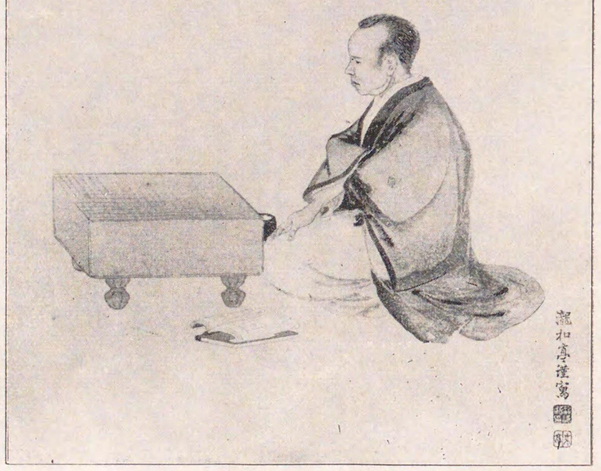
國立國會
38.8.-5
圖書館藏書

贈寄
瀨越田碁文庫殿

617250

方圓創社後髦勃焉
歐米授徒法譜遠傳
專心致志握自鈎玄
道進乎技功績永存
歿而可祭於社者其
在斯人歟

十八世本因坊秀甫師係贊　重野繹敬題



村瀨秀甫像

795
H6332s

中川龜三郎
加藤信
共編

國立國會
38.8.-5
圖書館
贈寄
瀨越囲碁文庫殿
61725

卷頭辭

語に曰く六親和せずして孝慈あり。國家混亂して忠臣あり。と、凡そ人世萬事、衰頽の極に達する時は、必ず偉人傑士が顯れて、新機軸を織り出すは則ち古今歷史の證する所である。陽の極は即ち陰、陰の極は即ち陽。是れ天理自然の循環律とても謂ふであらう。

我日本に圍碁傳來以降、最も隆盛を極めたのは即ち德川幕府時代であつた。一朝その幕府が倒れて、又圍碁を扶持する者なく、隨て我國の碁界は至極凄慘な有樣であつた。

此時に方り上野車阪下、本因坊家道場附近、大工の茅屋から、他日一世の師として、碁界の風雲を叱咤する偉人が生れ出でやうとは神ならぬ身の夢にも思ひ當らぬ事であつたであらう。

此茅屋の寧馨兒、其名を彌吉（後秀甫）と謂つた。蓋し彼れの生母は或は坊門の道場に於ける朝夕丁々の精氣を感孕して此兒を孕んだのではあるまいか。若し然らば天の配劑は眞に神變不可思議で

十八世本因坊秀甫略傳

本姓は村瀬、初めの名は彌吉、江戸上野車坂下の大工の子であつた。その居宅は恰も本因坊家稽古場の隣りであつた。孟母三遷の教へもある。又門前の子僧は習はぬ經を讀むとも謂ふ。境遇の感化ほど偉大なものはない。朝夕丁々の音は鉋の響よりは床しく、尻切絆天の扮裝は羽織袴の正裝に如くはない。彌吉が少にして圍碁に志したのは決して偶然ではなかつた。

彌吉年甫めて八歳にして本因坊丈策の門に入り、聖目風鈴で打つて貰つたが迚も勝つことが出來なかつた。然しながら丈策秀和は彌吉の偉材を認めて之を撫育した。翌春再び聖目で其力を試めしたが、其の進歩著しく、流石の丈策も勝つことが出來なかつた。十一歳にして初段となり、十四歳の時内弟子になつた。

彌吉の家は極めて貧乏であつた。後年彼れ自ら人に語つて曰く、當時我家は盆暮二期に師家へ贄すべき二朱の禮金すら出來兼ねて其の都度師家へ御詫をしたのは辛かつたと、されば彼れは固より他生の如く親元から小遣なんど思ひも寄らず、幼心にも只管謙讓を旨とし、嚴寒酷暑の候を厭はず、骨身を吝まず立働き、朝は鷄鳴に起き出で、夜は他生の就床後猶ほ復習に餘念なく深更に及ぶが常であつた。又師匠に伴はれて旅途に上ぼる時には草鞋を穿き行李を擔つて駕籠に隨ひ、旅館に在つては來客の應接から衣服の出入に至るまで師匠の起居一切を助け、若し寸刻だもあれば勉學復習を怠らなかつた。後年秀甫が名古屋に遊んだ時一座の者に向つて當年苦學の狀を語り、且つ曰く墓生石井千治の如き未だ中道に在る者ですら、行くに汽車腕車に身を托し、或は宴席に列するが如き實に有りがたき仕合せであると。

あると謂はねばならぬ。彌吉甫めて圍碁に志し、十一歳にして初段になつた。旃檀は嫩葉より馥ばしく、既に凡兒に非ざるの兆しを顯はしたではないか。果然彼れは累進して七段に陞るや、中川龜三郎、小林鐵次郎、高橋周德等と相謀つて、新に一の結社を組織し、以て方圓社と命名した。是れ實に時代の趨勢に順應したる維新の壯擧にして、其勢望隆々として坊門以下の舊家を壓するの勢があつた。

乃ち秀甫等に依つて創立せられたる方圓社は、爾來四拾有餘年の壽命を保ち、而して彼れが嘉永六年三段當時即ち彌吉時代より明治十九年準名人に至るまで畢生の心血を濺ぎたる對局約三百局に達す。以て我國の碁界に貢獻したる功績の顯著なるは江湖の普く認識する所である。即ち秀甫は正に日本碁界に於ける明治中興の名人であつたと謂ふも決して溢美ではない。今や秀甫全集成る。聊か所見を叙し以て卷頭辭となすと云爾。

昭和三年初夏

編者識

秀甫の切瑳琢磨は天稟の偉才と相俟つて、壯年に及ばずして嶄然頭角を擢んじ、秀策と共に碁界の雙璧と並稱せられた。その七段昇級に際し、井上因碩(松本錦四郎)の故障があつて、彼れと爭碁を打たせられたが、幸に三局とも連勝して傲岸な因碩の鼻柱を挫いたのは甚だ痛快であつた。伊藤松和が此爭碁を評して、因碩若し勝たんか、碁道も亦末路であつたと、當時因碩は六段であつた。斯くて秀甫は七段に進み、故例に從つて直ちに剃髮した。時恰も御城碁廢止せられて永久に御目見得の機會を失つたのは時勢の變遷是非もない次第であつた。

是れより先き秀策死して秀和の跡目未だ定らざるに當り、秀甫謂へらく、吾れを措いて誰か坊門の相續人たるべきぞと自ら期する所あり、又其遊歷中にも某縉紳に一書を寄せて曰く不肖秀甫が坊門の跡目たる事に就ては秀和も亦異存がなかつたと、然るに何事ぞ、突如秀和の長子秀悅が十五世本因坊たらんとは、秀甫茲に於て遊歷を名として越後に留り、居ること數年、既に一家を成すに至つたけれども欝勃たる滿腔の不平に堪えず放浪に身を持ち崩したのは卽ち此時であつた。

此時に方り中川龜三郎、高橋周德、小林鐵次郎等相謀つて研究會組織の計畫を立てゝ、急遽秀甫の歸京を促して來た。芝蘭は決して深山に朽ちない。璧玉は何時か世に出る時がある。彼れは時こそ到れりと蹶然東上して中川、小林、高橋等と結托して、江湖貴紳の贊同を得て坊門に對抗すべく始めて結社を組織したのが卽ち方圓社であつた。明治十二年四月東京神田花田町相生亭に於て結社式を擧行したるは實に時代の進運に伴ふ空前の壯擧であつた。後神田神保町に移轉し、秀甫自ら社長となり而して彼れ自身は小川町に卜居して鋭意方圓社の發展に盡瘁したのであつた。

特に彼れが全力を傾倒したのは卽ち育英事業であつた。碁界の人材は自ら方圓社の門に集まり、前英國公使パークス、獨逸公使エルヤール及び當時韓國亡命客金玉均等も亦其門に學ぶに至つたのは

頗る盛觀であつた。蓋し我國に圍碁傳來以降此等外人を敎授したるは之を以て嚆矢とするであらう。

當時大阪の重鎭黑田俊節(五段後六段)秀甫の雷名を心憎く思ひ、之と一大決戰を試みんと欲し、知己門下に謀りたるに皆其意氣を壯として盛宴を張つて遠征の門出を祝して呉れた。俊節意氣昂然として東上し以て方圓社に於て定先を以て秀甫と對局した。然るに必勝と思ひきや脆くも三局共に連敗した。愈々最後の一局たる角番の對局に方り、彼れは一言失禮と叫んで、憂然第一石を天玄に下した。滿座の碁客は唖然として彼れの態度を一瞥したるに、氣昂り意激して面色土の如く手戰きて把れる所の煙管齒と相激して憂々の響を發せりと云ふ。蓋し彼れは當時五段であつたが六段の力ありとは自他共に許した所で、秀甫に定先必勝を期したるに然るに斯くの如く慘敗の結果を見たる其遺憾想ひやるだに悲壯の極みであつた。此最後の一局も亦秀甫の勝となつた。秀甫の驍名愈〻顯はる。後俊節は小林鐵次郎と打分、高橋周德に二局連勝して聊か慰むる所があつた。明治十四年四月方圓社同人の推薦に依り、彼れは八段准名人に進んだのであつた。

斯の如く方圓社の勢望隆々たるに反し、本因坊家を始め、各碁院は自ら凋落し、其間感情の衝突等ありて呉越相容れざる有樣であつた。然るに秀榮が十七世本因坊となるに及び秀甫は兩虎相爭ふの非を悟り、後藤伯に倚りて彼れと相融和し更めて本因坊秀榮より准名人の允許を得、次いで其讓を受けて十八世本因坊となり、更に本因坊秀甫の名を以て秀榮に七段の免許を授けたのであつた。時に明治十九年七月十日であつた。

當時秀甫が橫濱の降矢沖三郎(當時四段後六段)に贈つた音信に曰く

前略小生儀先月二十九日本因坊の名跡相繼ぎ申候何れ十月二の日曜日に披露會可仕候云々

明治十九年八月十九日　十八世本因坊秀甫

多年の宿志を果した秀甫の得意想ひ見るべく、是れ彼れが生涯のクライマックスなりしなるべく、本因坊襲名披露會の準備最中俄然發病して藥石効なく十月十四日病俄に革りて遠逝したのであつた。享年四拾有九、法名本因坊秀甫日壽果位、門人涙と共に其遺骸を丸山本妙寺に葬る。

秀甫全集 上卷目次

自嘉永六年八月
至安政六年九月

中押勝 岸本左一郎……一
先 村瀬彌吉……一
村瀬彌吉……二
二ッ番 中押勝 吉原文之助……二
中押勝 村瀬彌吉……三
先番 吉原文之助……三
本因坊秀和
二子 十一目勝 村瀬彌吉……五
太田雄藏……七
二ッ番 村瀬彌吉 三段
勝 太田雄藏……八
二子 村瀬彌吉……八
安田秀策……九
先番 二目勝 村瀬彌吉……九
村瀬彌吉……一〇
先 村瀬彌吉……一一
九目勝 小澤三五郎……一一
本因坊秀和
先 村瀬彌吉……一二
村瀬彌吉……一三
二ッ番 中押勝 本因坊秀和
中押勝 本因坊秀和……一四
先番 村瀬彌吉……一六
安田秀策……一六
十一目勝 本因坊秀和……一七
先 村瀬彌吉……一七
勝 本因坊秀和……一九
二子 村瀬彌吉……一九
安田秀策
中押勝 安田秀策……二〇
先 村瀬彌吉……二一
中押勝 安田秀策……二一
先 村瀬彌吉……二一
本因坊秀和
先 村瀬彌吉……二二
村瀬彌吉……二四
二ッ番 中押勝 本因坊秀和
中押勝 村瀬彌吉……二六
先番 關山仙太夫……二六
安田秀策……二八
七目勝 村瀬彌吉……二八
先 關山仙太夫……二八
村瀬彌吉……三〇
帖 先 關山仙太夫……三〇
村瀬彌吉……三二
一目勝 村瀬彌吉……三二
先 關山仙太夫……三二
村瀬彌吉……三五
中押勝 先 關山仙太夫……三五
鶴岡三郎助……三六
先番 中押勝 村瀬彌吉……三六

勝 本因坊秀和
先番 鶴岡三郎助 村瀬彌吉……三八
勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五六
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五八
十七目勝 先番 鶴岡三郎助 六段 村瀬彌吉……四〇
先番 鶴岡三郎助
五目勝 村瀬彌吉……四二
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五九
帋 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……六〇
一目勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……四四
勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……六一
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……六三
八目勝 先番 奈良林倉吉
先 村瀬彌吉……七三
先番 奈良林倉吉
一目勝 先 村瀬彌吉……七五
先番 奈良林倉吉
一目勝 先 村瀬彌吉……七八
勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……四七
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……四八
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五〇
二目勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五二
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五四
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……六八
十目勝 先番 奈良林倉吉
先 村瀬彌吉……六七
四目勝 先番 鶴岡三郎助
先 村瀬彌吉……八四
六目勝 先番 奈良林倉吉
先 村瀬彌吉……八六
六目勝 村瀬彌吉……八〇
先番 奈良林倉吉
中押勝 村瀬彌吉……八二
先番 奈良林倉吉
六目勝 村瀬彌吉……八五
勝 鶴岡三郎助
先番 村瀬彌吉……八八
中押勝 先番 奈良林倉吉
先 村瀬彌吉……七一
先番 奈良林倉吉
八目勝 先 村瀬彌吉……七三
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……五八
一目勝 先番 奈良林倉吉
先 村瀬彌吉……七五
勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……六九
中押勝 本因坊秀和
先 村瀬彌吉……六八
先番 奈良林倉吉
五目勝 先 村瀬彌吉……六九

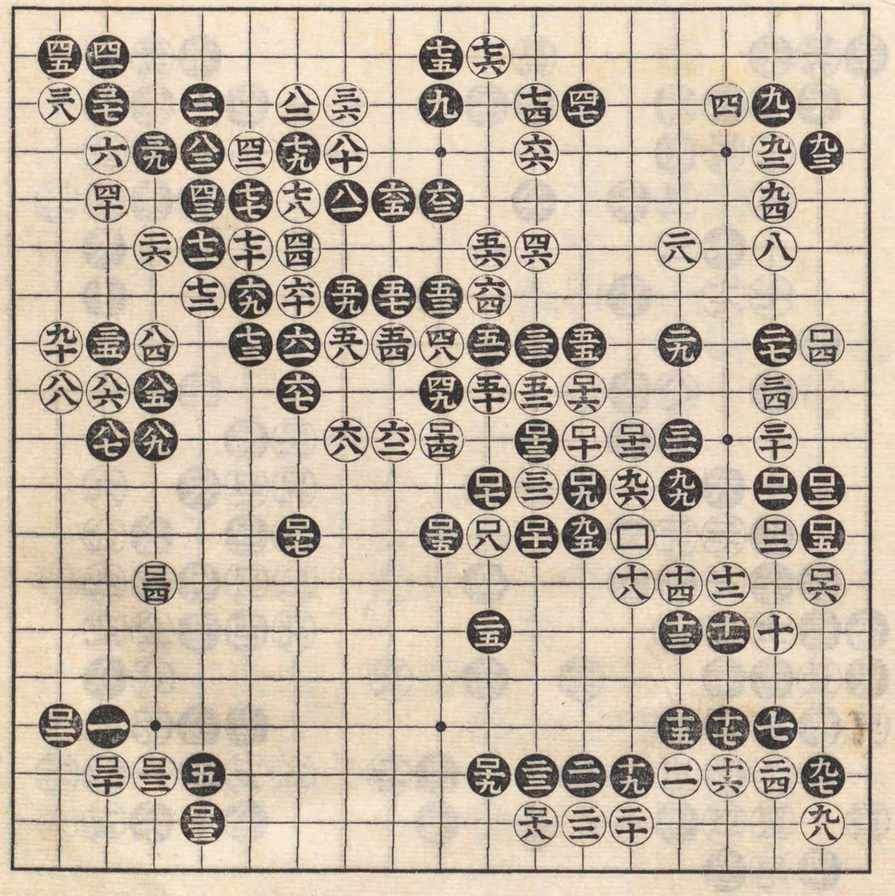
先番 鶴岡三郎助
中押勝 村瀬彌吉……九〇
服 部 一
中押勝 先番 村瀬彌吉……一〇七
先番 鶴岡三郎助
中押勝 村瀬彌吉……九二
先番 鶴岡三郎助
中押勝 村瀬彌吉……一〇九
服 部 一
七目勝 先番 村瀬彌吉……九三
先番 服 部 一
三目勝 村瀬彌吉……九五
服 部 一
一目勝 先番 村瀬彌吉……九八
十一目勝 服 部 一
先番 村瀬彌吉……一〇〇
先番 鶴岡三郎助
中押勝 村瀬彌吉……一〇二
先番 鶴岡三郎助
中押勝 村瀬彌吉……一〇四
先番 鶴岡三郎助
六目勝 村瀬彌吉……一〇五
服 部 一
十七目勝 先番 村瀬彌吉……一一四
服 部 一
七目勝 先番 村瀬彌吉……一二六
先番 服 部 一
中押勝 村瀬彌吉……一二八
本因坊秀和
帋 村瀬彌吉……一三〇
安田秀策 七段
三目勝 先 村瀬彌吉 五段……一三二
安田秀策
二目勝 先 村瀬彌吉……一三四
二目勝 村瀬彌吉……一一六
本因坊秀和
中押勝 先 村瀬彌吉……一一八
伊藤松和
帋 先 村瀬彌吉……一二〇
安田秀策
中押勝 先 村瀬彌吉……一三八
黒田源次郎
先 村瀬彌吉……一三六
本因坊秀和
帋 先 村瀬彌吉……一四〇
伊藤松和
中押勝 先 村瀬彌吉……一二二

中押勝 本因坊秀和 先 村瀬彌吉 …… 一四二
中押勝 本因坊秀和 先 村瀬彌吉 …… 一四四
二目勝 本因坊秀和 先 村瀬彌吉 …… 一四五
中押勝 本因坊秀和 先 村瀬彌吉 …… 一四八
勝 村瀬彌吉 先 中村正平 四段 …… 一五〇
中押勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一五一
十二目勝 村瀬彌吉 先 梶川守禮 …… 一五二
八目勝 村瀬彌吉 先 梶川守禮 …… 一五四
八目勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一五六
中押勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一五八
中押勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一五九
五目勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一六〇
七目勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一六二
中押勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一六四
一目勝 村瀬彌吉 先 中村正平 …… 一六六
四目勝 安田秀策 先 村瀬彌吉 …… 一六八
二ッ番 中押勝 村瀬彌吉 高崎泰之助 …… 一七〇
中押勝 村瀬彌吉 三ッ番 高崎泰之助 …… 一七一
中押勝 村瀬彌吉 二ッ番 高崎泰之助 …… 一七二
三ッ番 五目勝 村瀬彌吉 高崎泰之助 …… 一七三
十目勝 村瀬彌吉 二ッ番 高崎泰之助 …… 一七五
三ッ番 二目勝 村瀬彌吉 高崎泰之助 …… 一七七
中押勝 村瀬彌吉 二ッ番 高崎泰之助 …… 一七八
七目勝 村瀬彌吉 三ッ番 高崎泰之助 …… 一七九
二ッ番 三目勝 村瀬彌吉 高崎泰之助 …… 一八〇
三子番 七目勝 村瀬彌吉 高崎泰之助 …… 一八一

嘉永六年八月十九日於本因坊宅ニテ打掛廿日同處ニテ打次

中押勝 岸本左一郎 先 村瀬彌吉

百二十四手迄



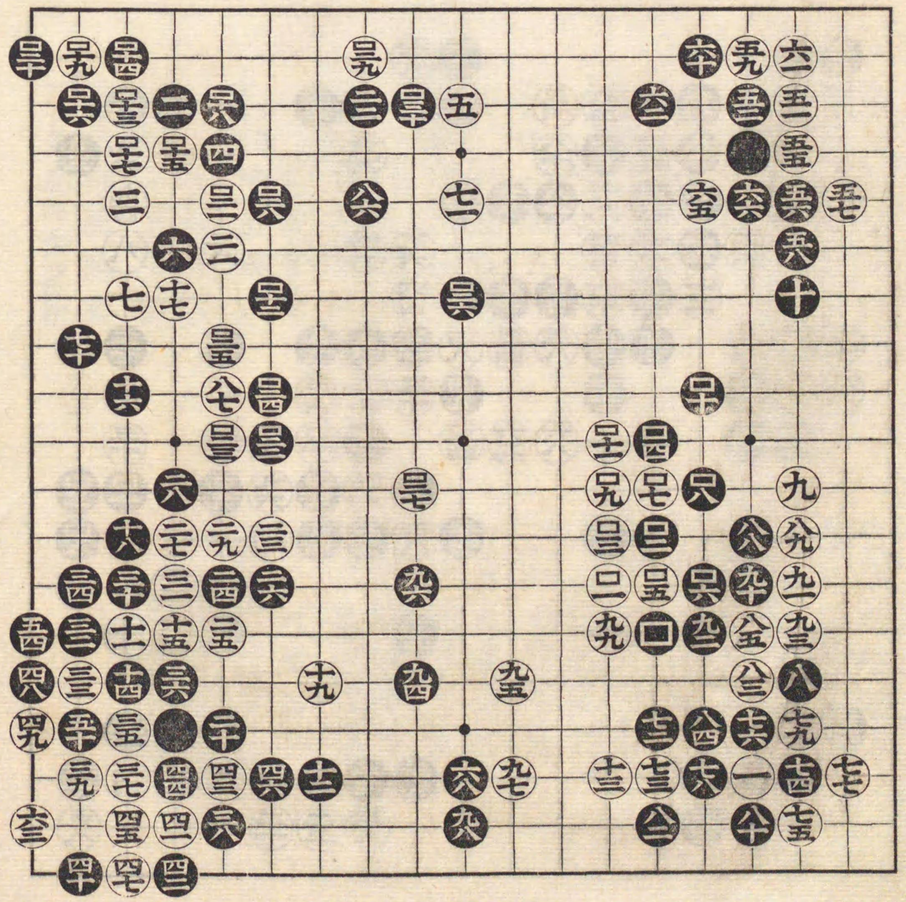
四月廿九日於テ葛野氏宅

村瀬彌吉

中押勝
二ツ番
吉原文之助

(五三)劫取
(六四)同
(六七)同
(六九)劫粘
(八一)粘グ

百三拾手迄



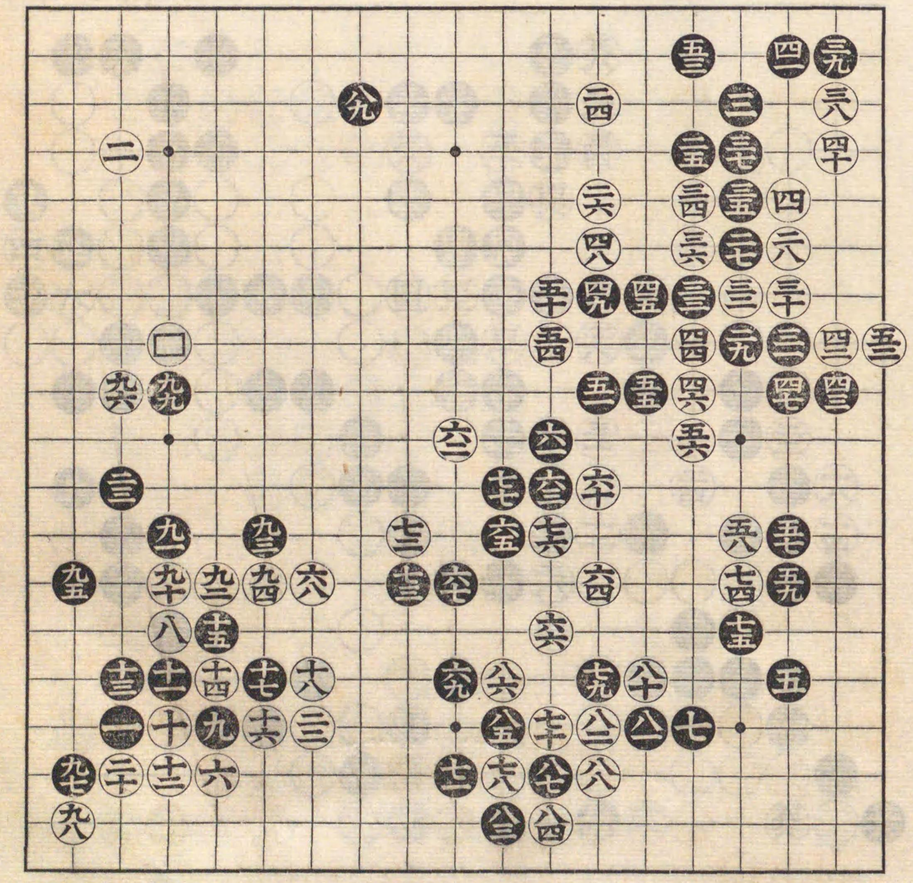
五月六日於テ石崎氏宅ニ

中押勝
村瀬彌吉

先番
吉原文之助

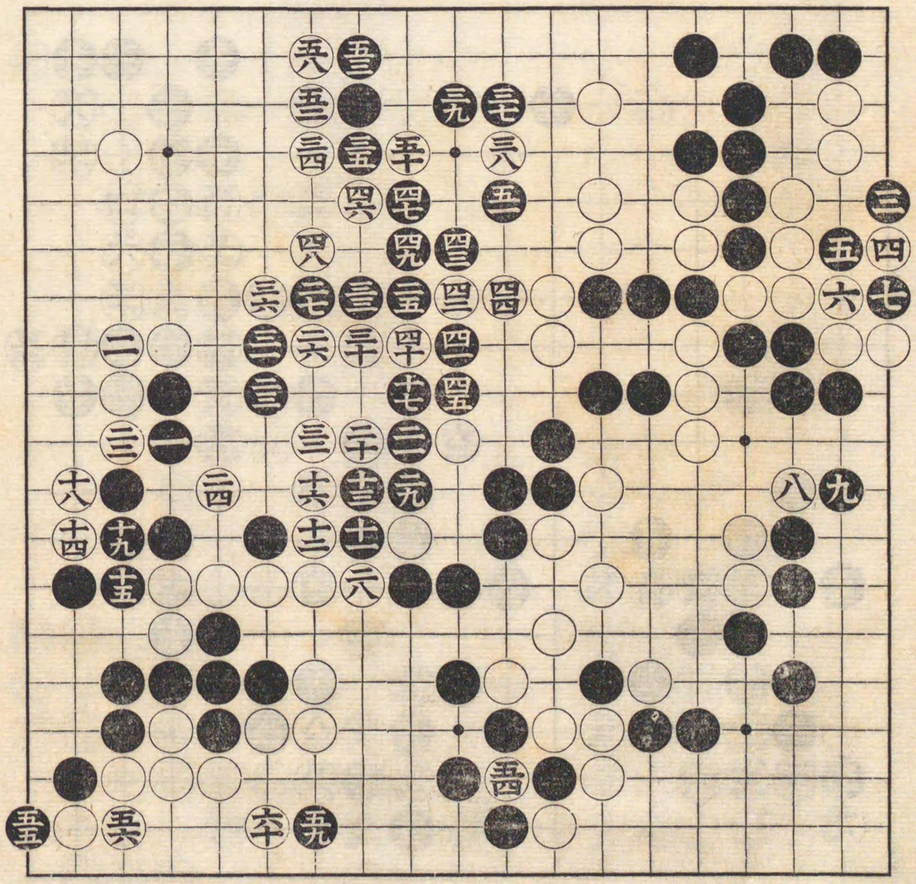
(十九)劫取
(二一)劫粘

百手迄



六十手迄

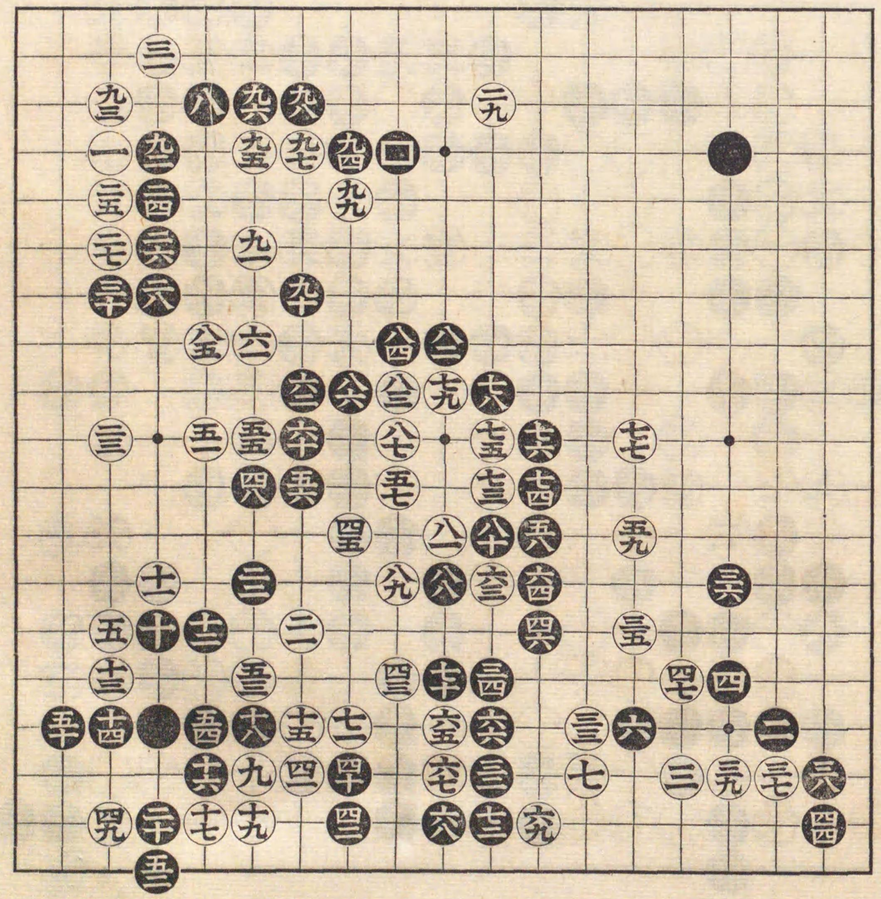
十 劫取
毛 同



嘉永七年三月九日

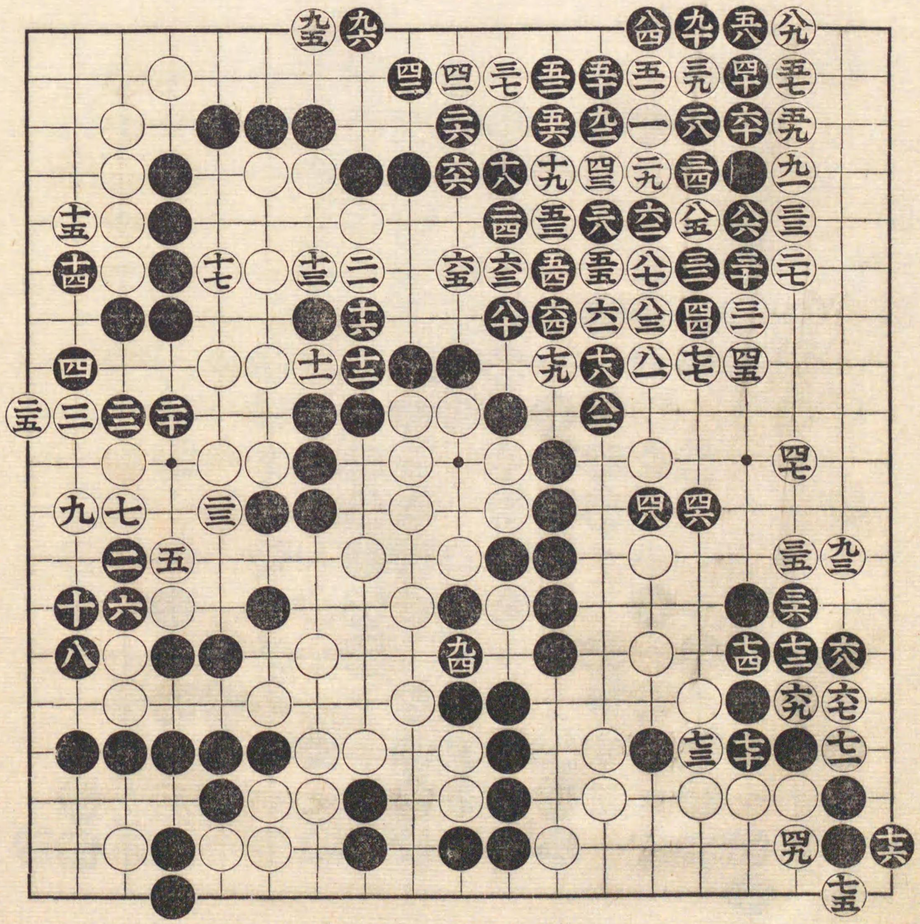
本因坊秀和
十一目勝
二子
村瀨彌吉

百手迄



八 粘グ

九拾六手迄

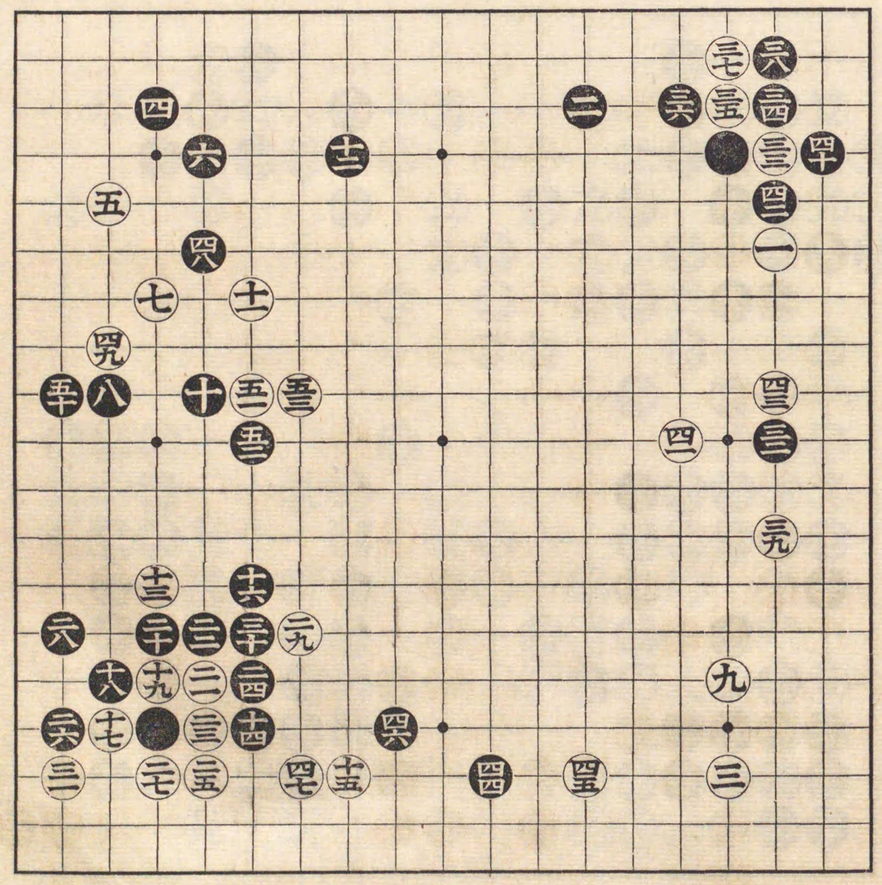


嘉永七年五月十二日兩國河内屋ニテ伊藤松和圍碁將棋會當日手合五十三手打掛

太田雄藏

二ツ 村瀨彌吉 三段

五十三手迄



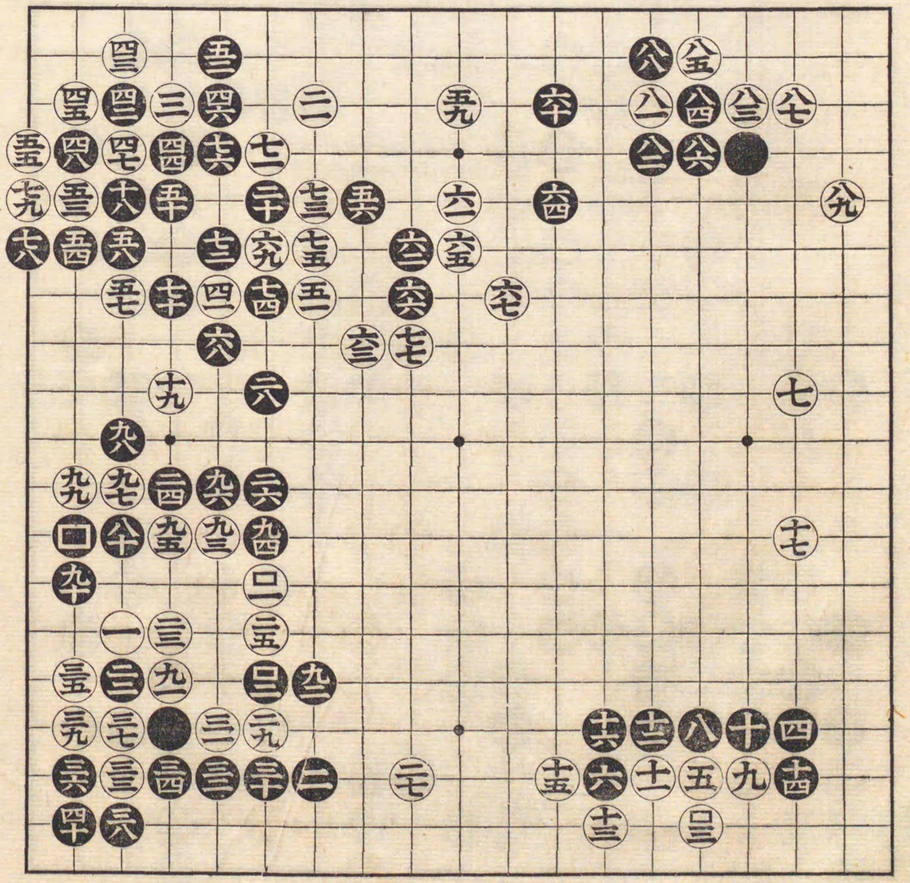
嘉永七年九月十二日於テ
伊藤敬助殿

勝 太田雄藏

二子 村瀨彌吉

(四九)粘グ

百三手迄



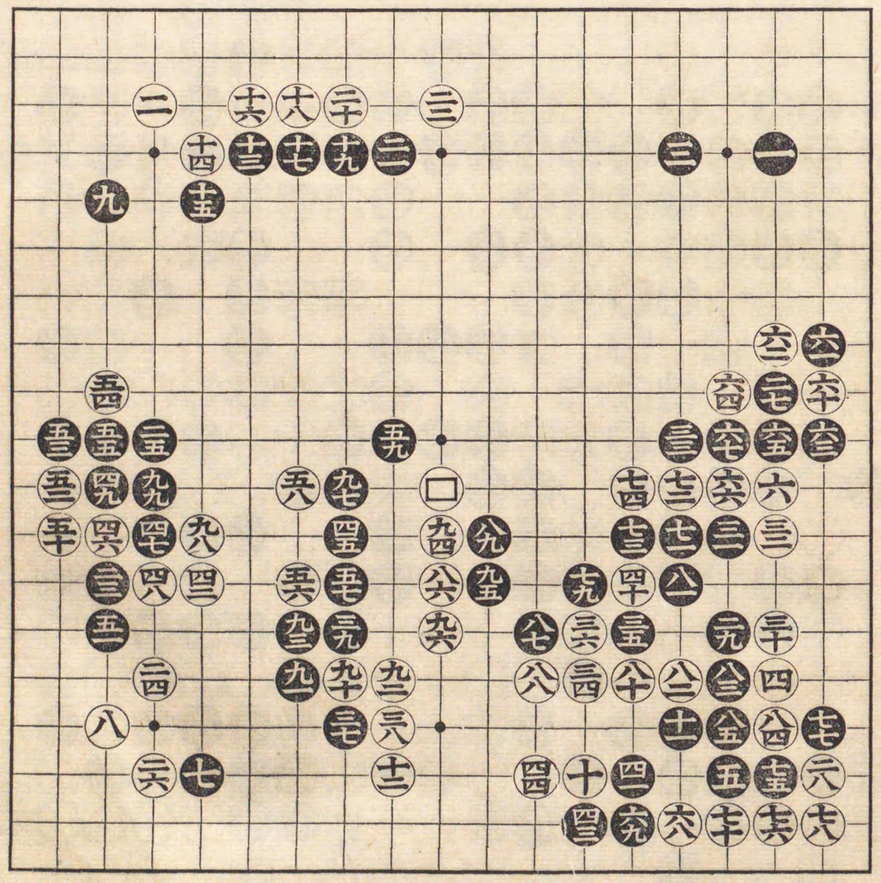
嘉永七年十月廿二日

安田秀策

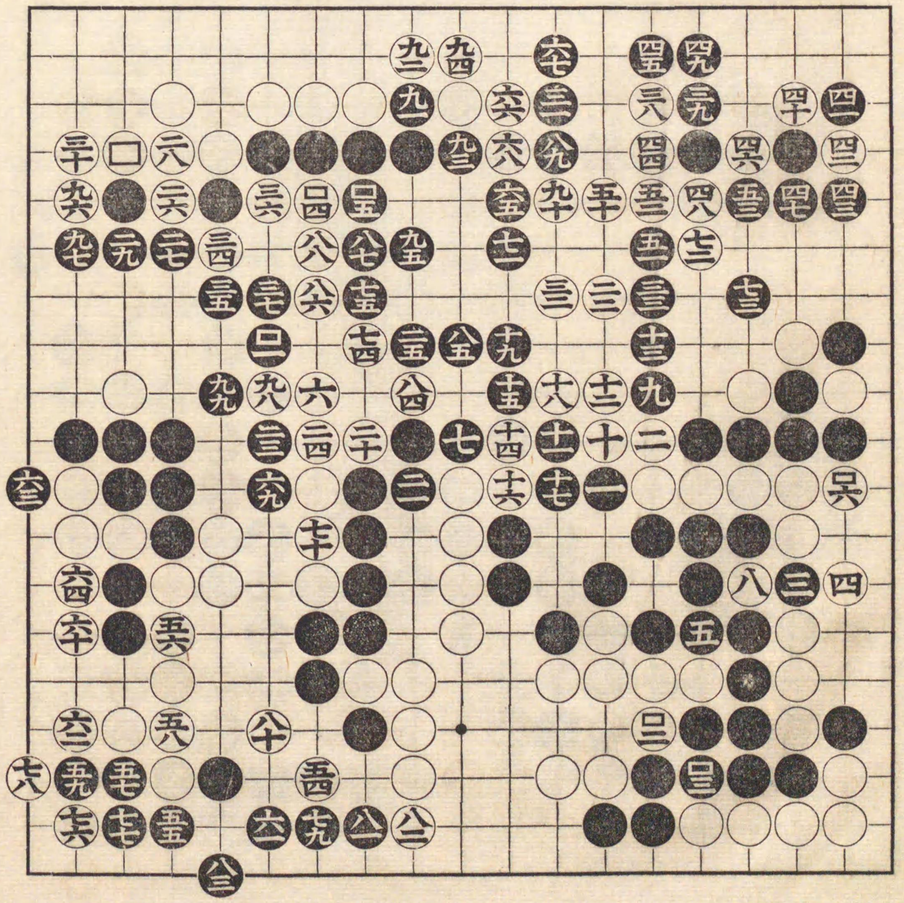
二目勝

先番 村瀨彌吉

百手迄



百六手迄



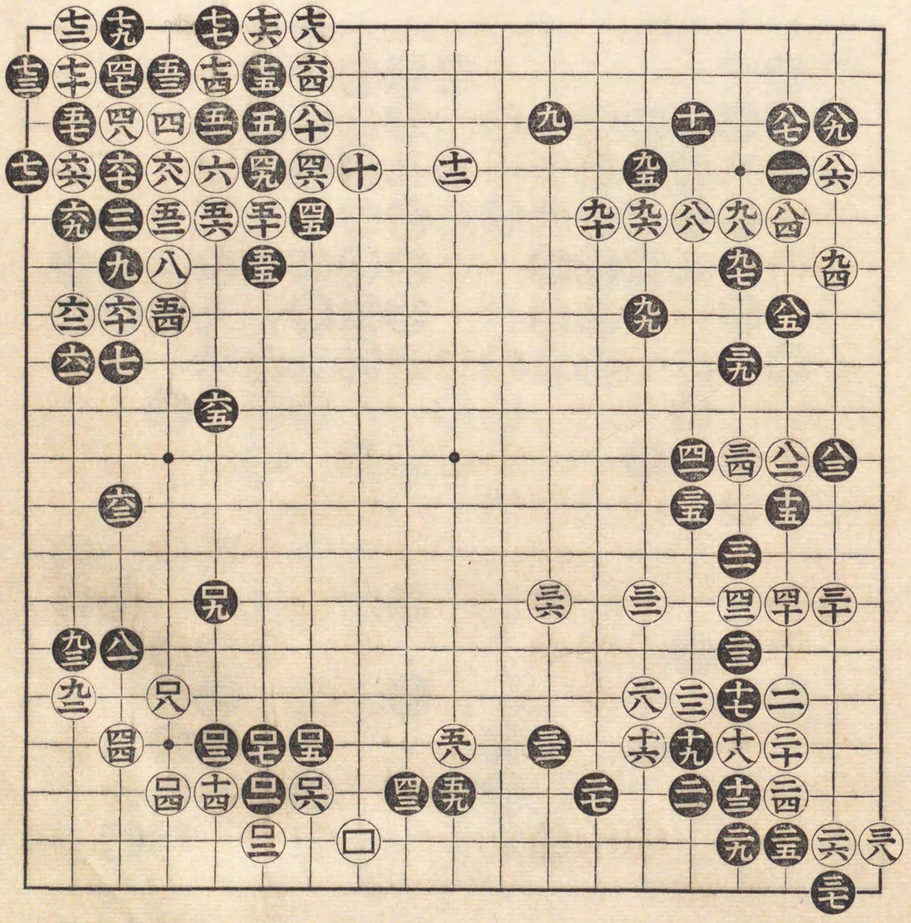
嘉永七年十月廿六日

村瀨彌吉

九目勝

先番 **小澤三五郎**

百九手迄



嘉永七年十月廿七日

本因坊秀和

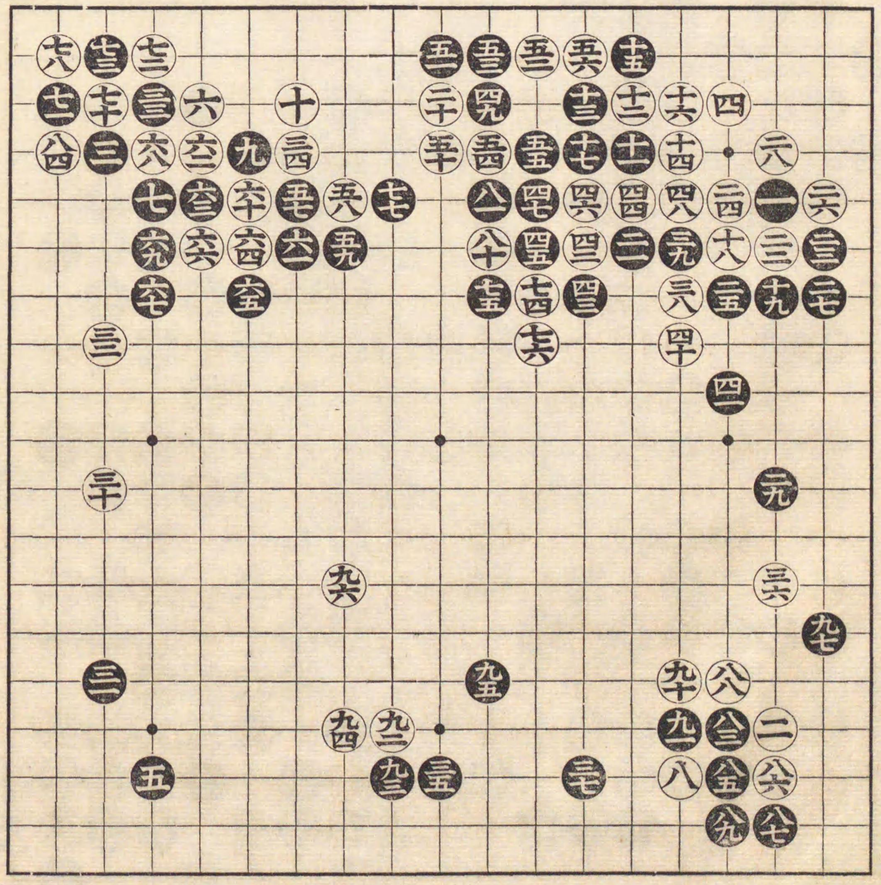
中押勝

先 村瀨彌吉

十九 劫取

八二 同

九拾七手迄



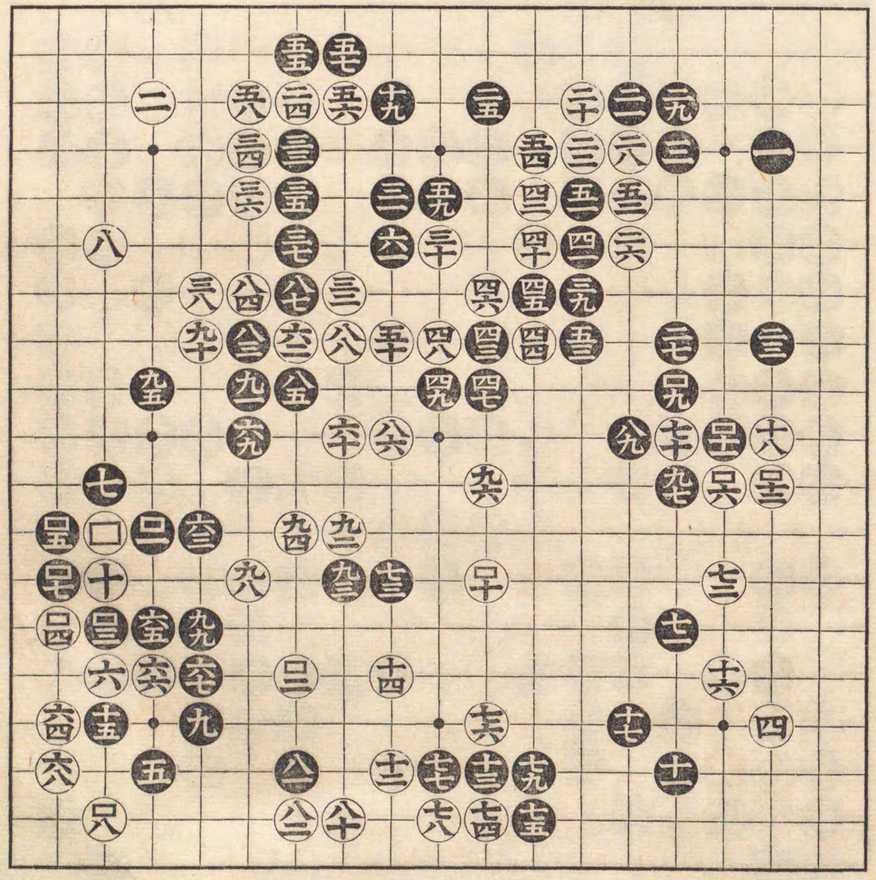
嘉永七年十月廿七日

中押勝

本因坊秀和

先 村瀨彌吉

百拾貳手迄

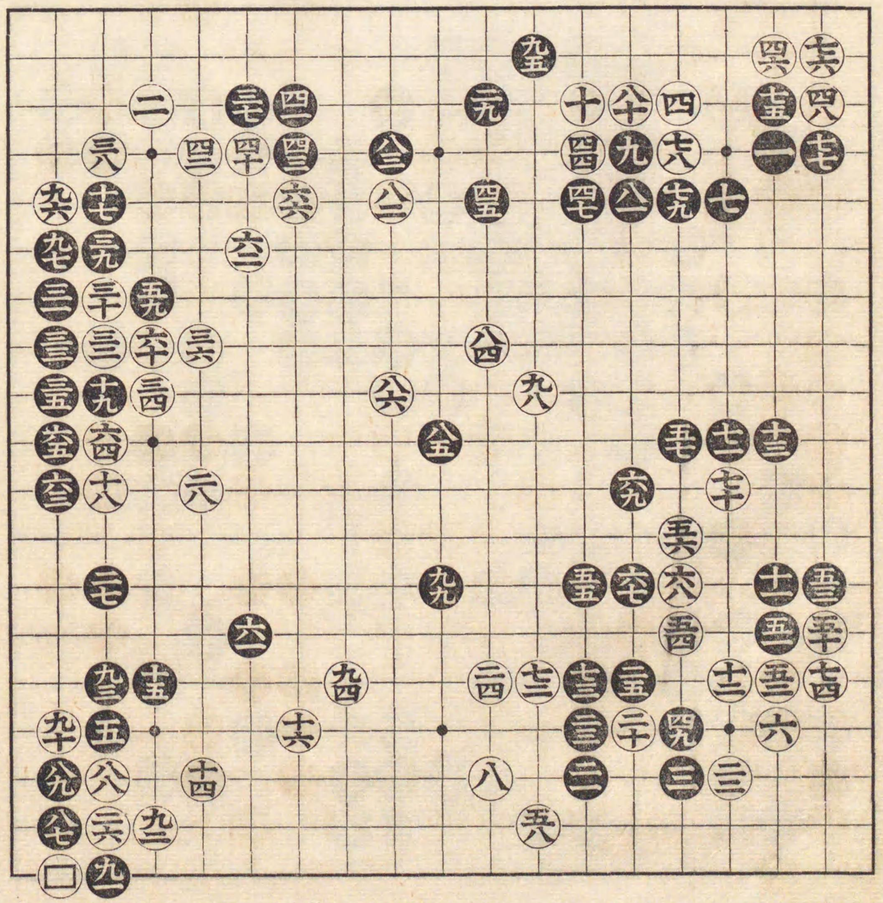


嘉永七年十月廿七日夜

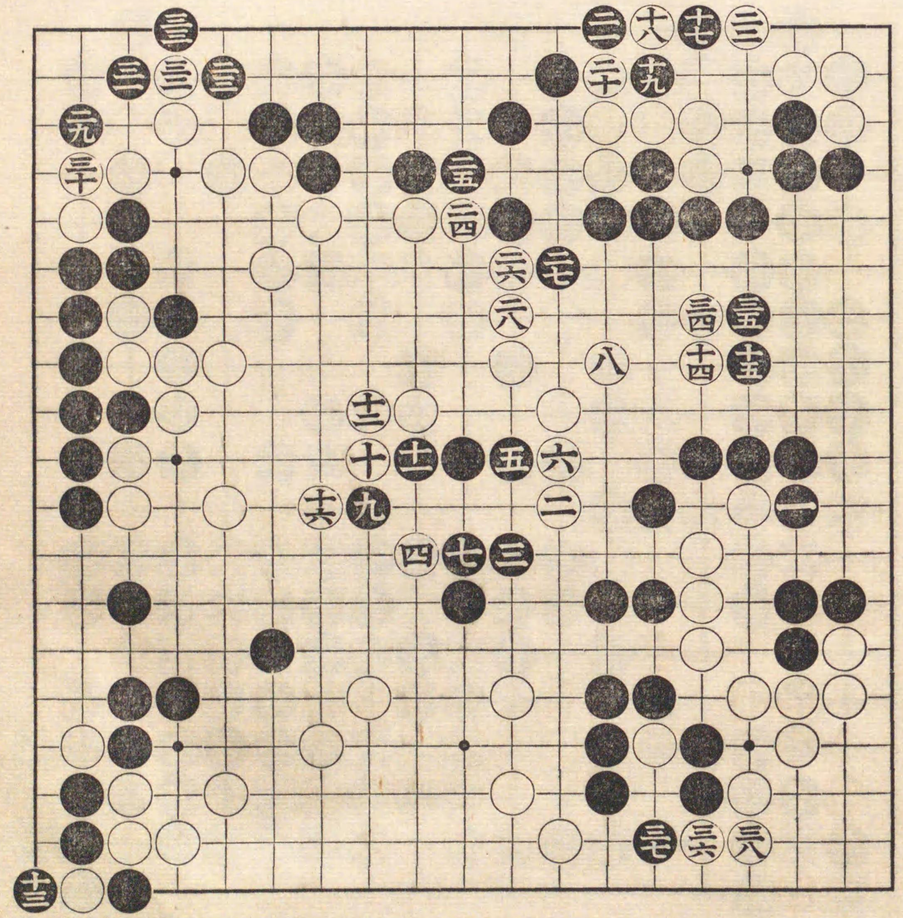
二目勝　本因坊秀和

先　村瀬彌吉

百手迄



三拾八手



嘉永七年十月廿九日

八目勝

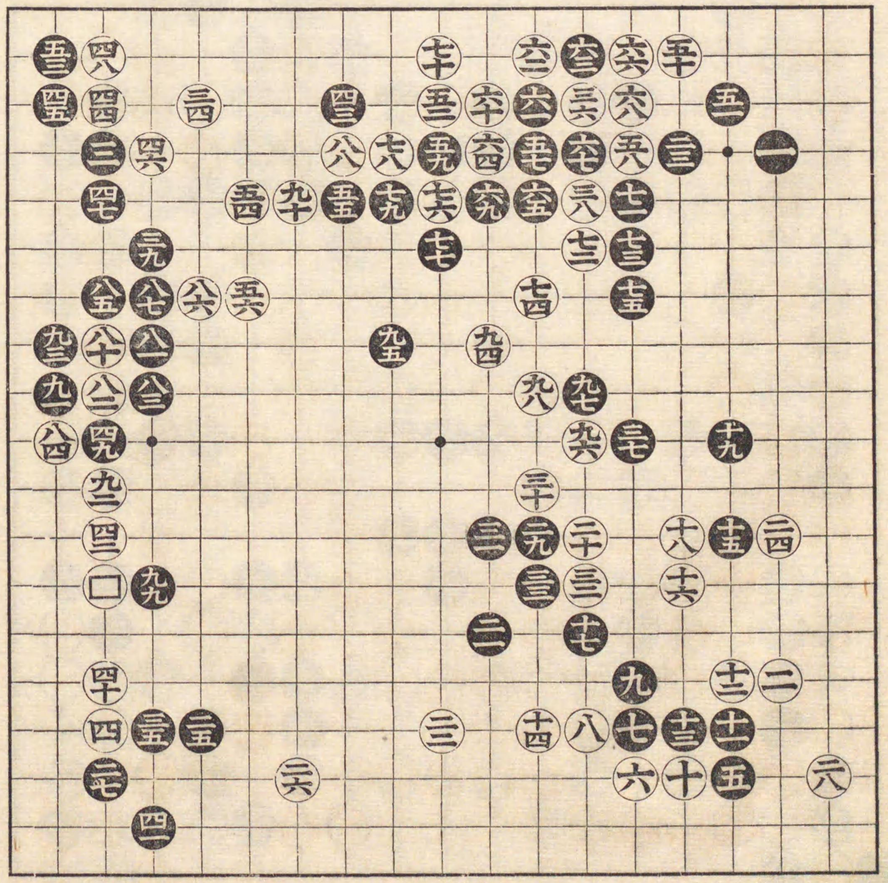
安田秀策

先番

村瀬彌吉

九 劫取

百手迄



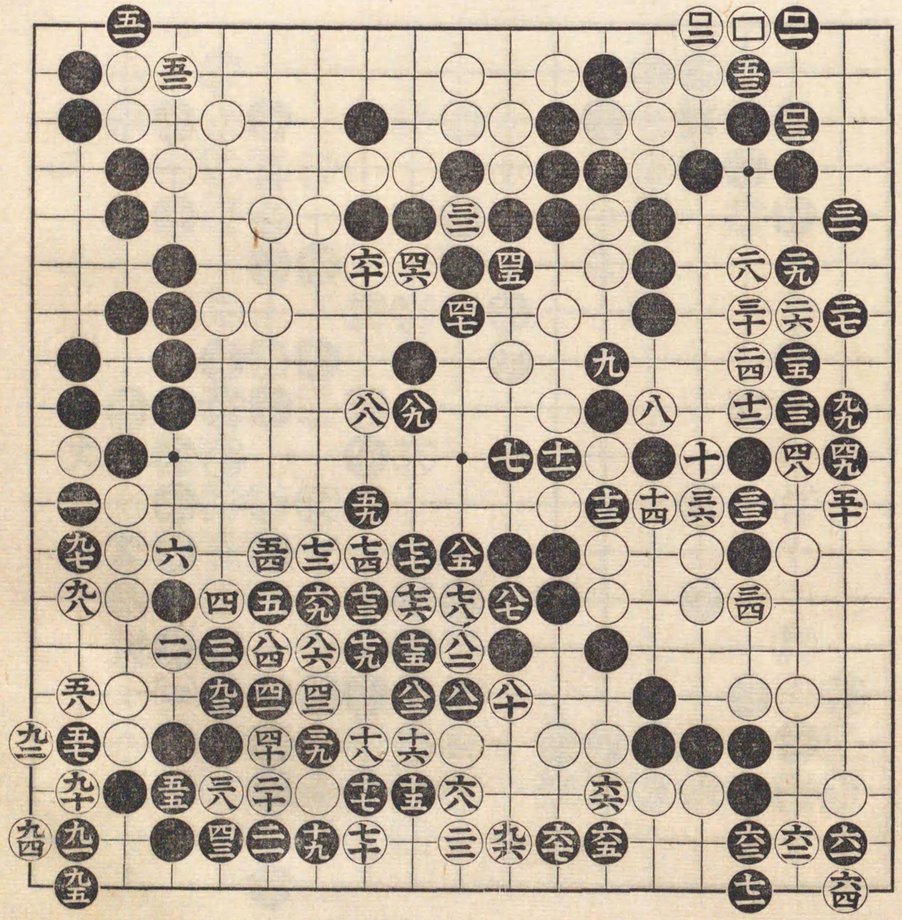
二五 二目粘グ

二七 劫取

四四 同

五六 粘グ

百三手迄



嘉永七年十一月三日

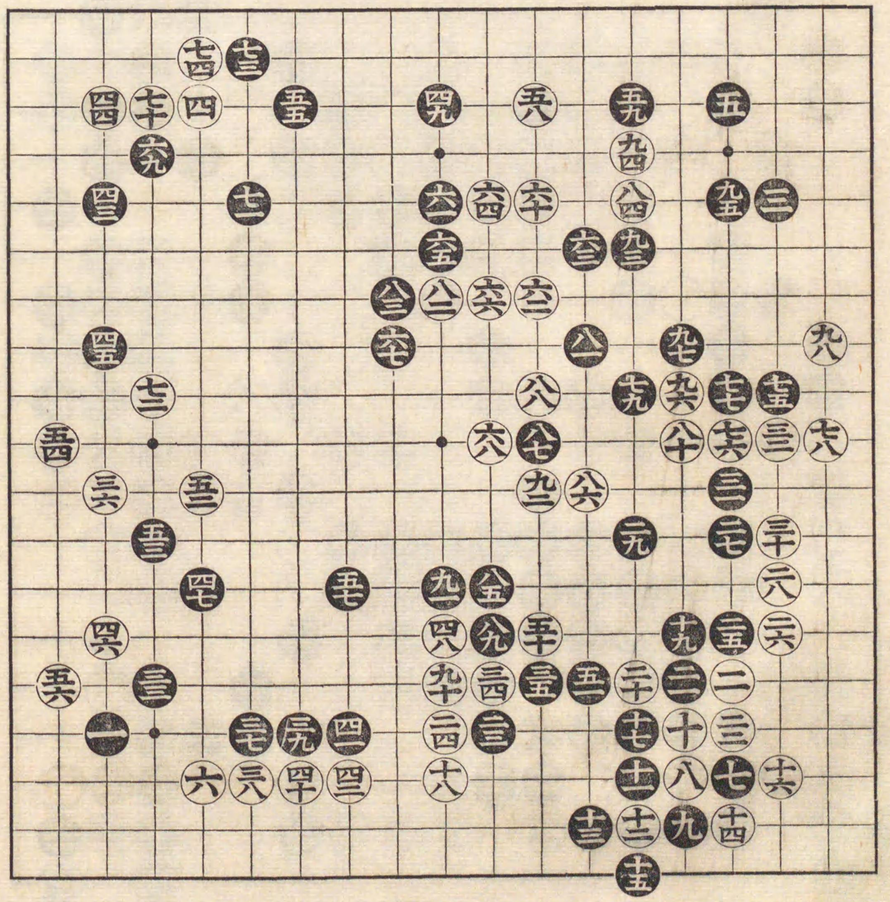
七目勝

本因坊秀和

先

村瀬彌吉

九拾八手迄



嘉永七年十一月十五日

二目勝

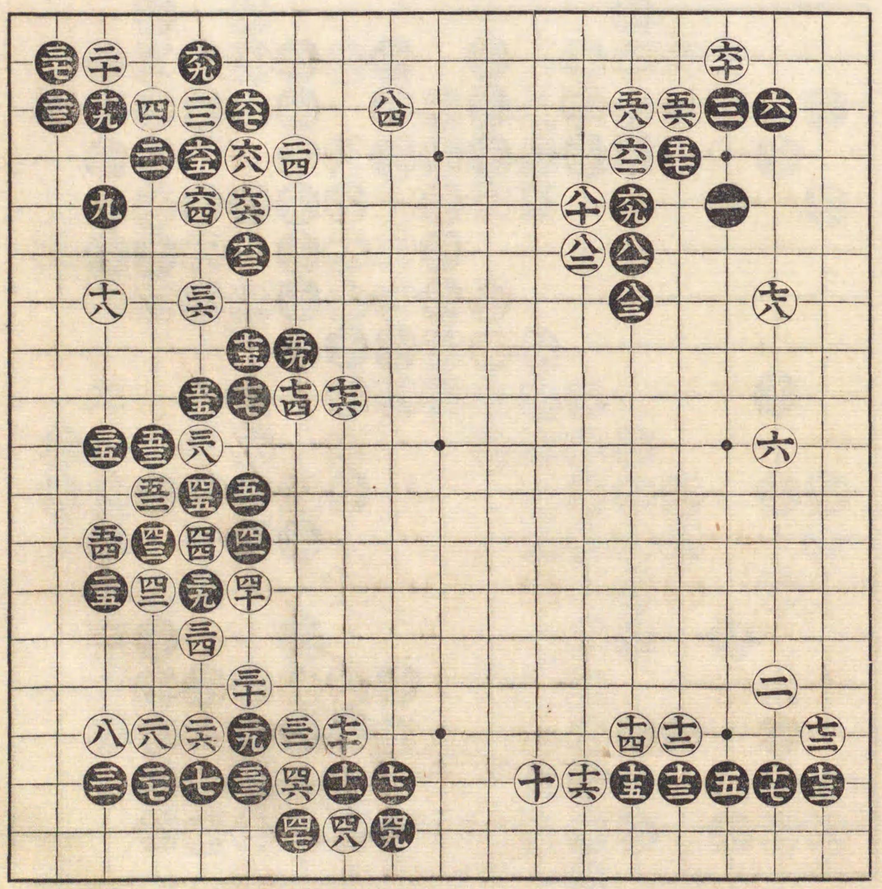
本因坊秀和

先

村瀬彌吉

八拾四手迄

(手)劫ゲ



嘉永七年十一月八日

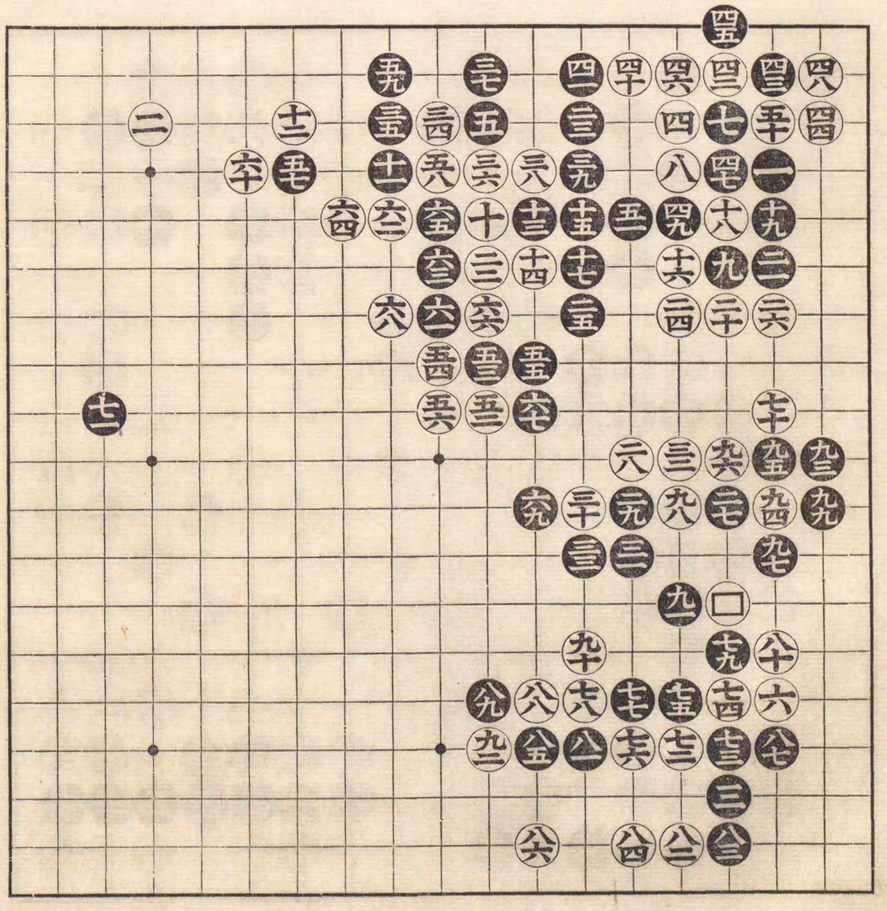
中押勝

安田秀策

先

村瀬彌吉

百手迄



嘉永七年十一月九日

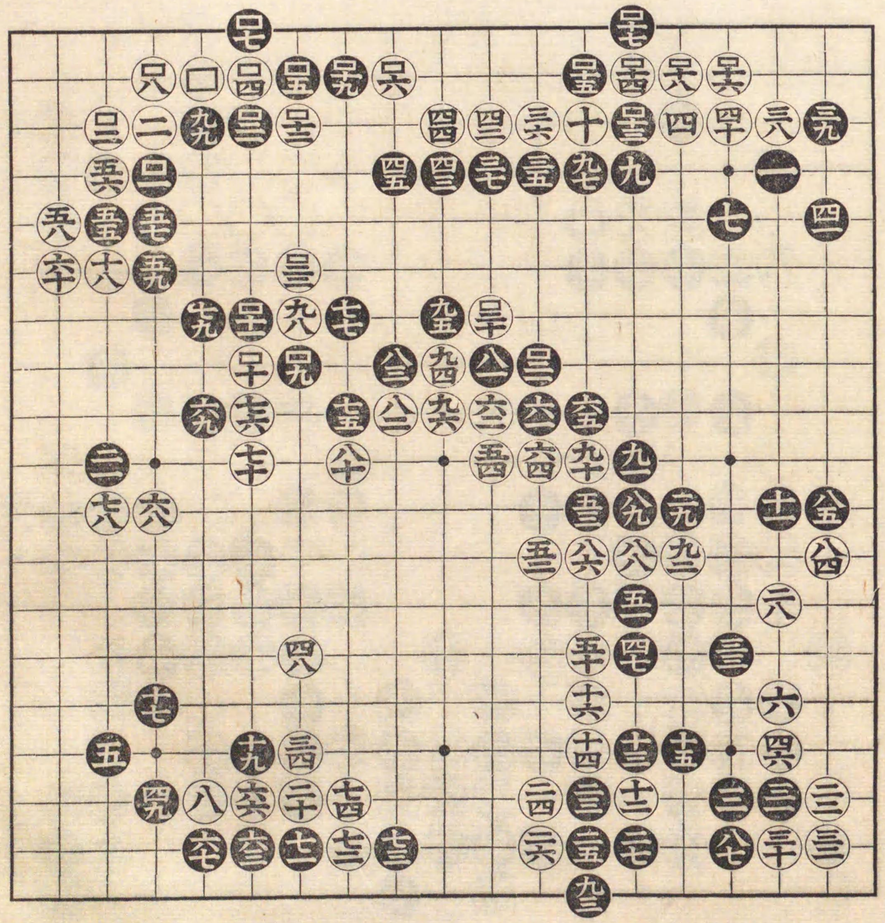
中押勝

安田秀策

先

村瀬彌吉

百二十二手迄

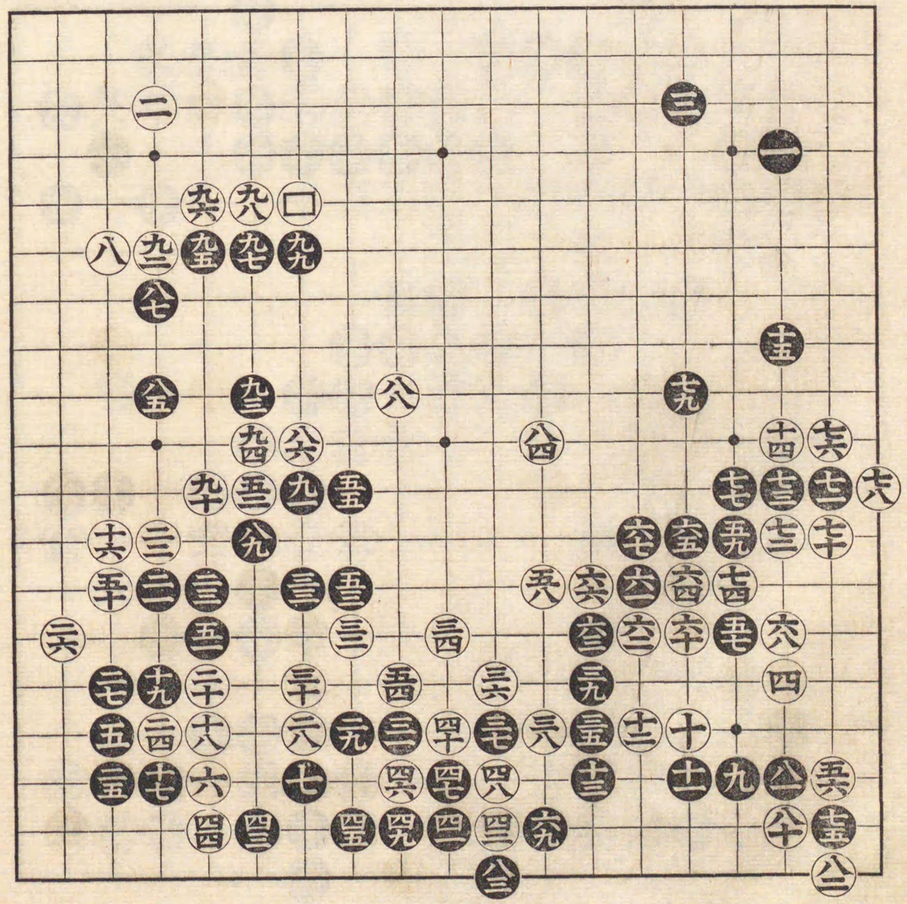


嘉永七年十一月十日

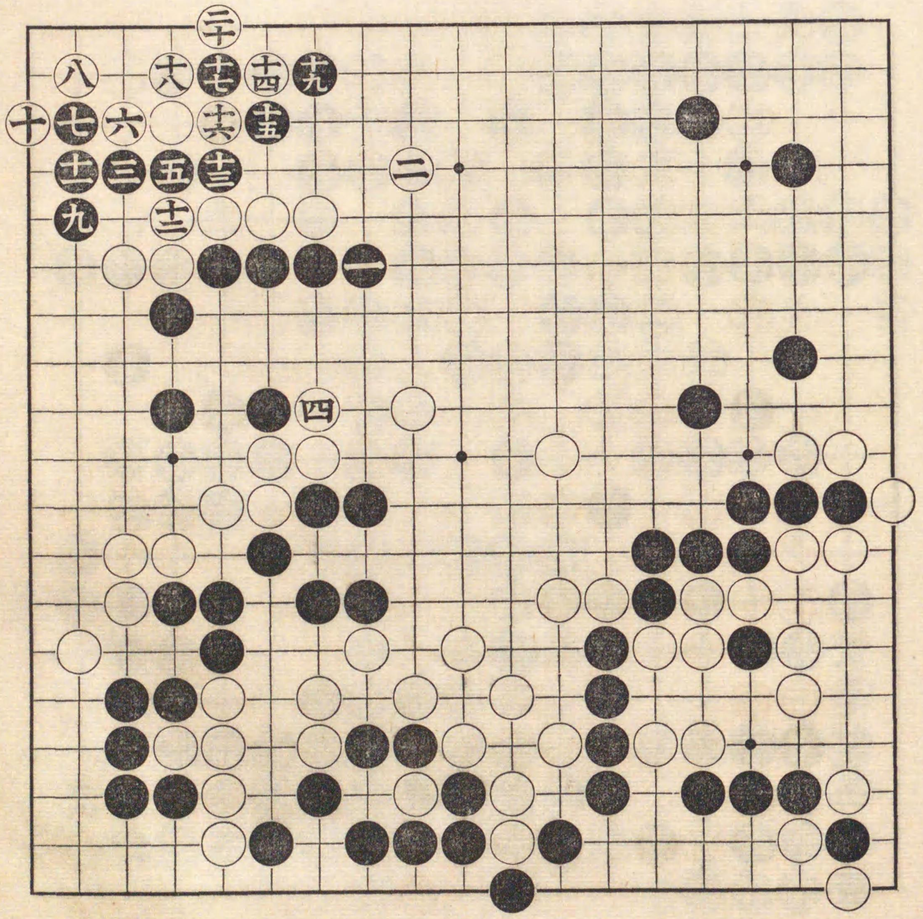
中押勝　**安田秀策**

先　**村瀬彌吉**

百手迄



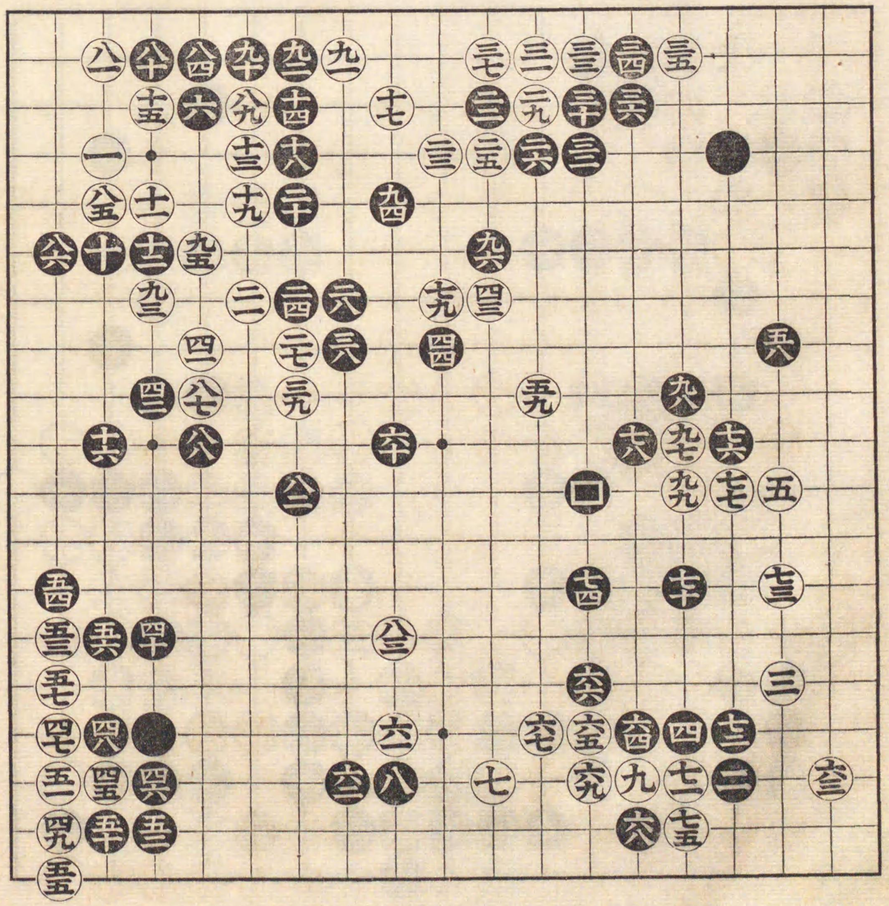
二十手迄



嘉永七年十一月十七日

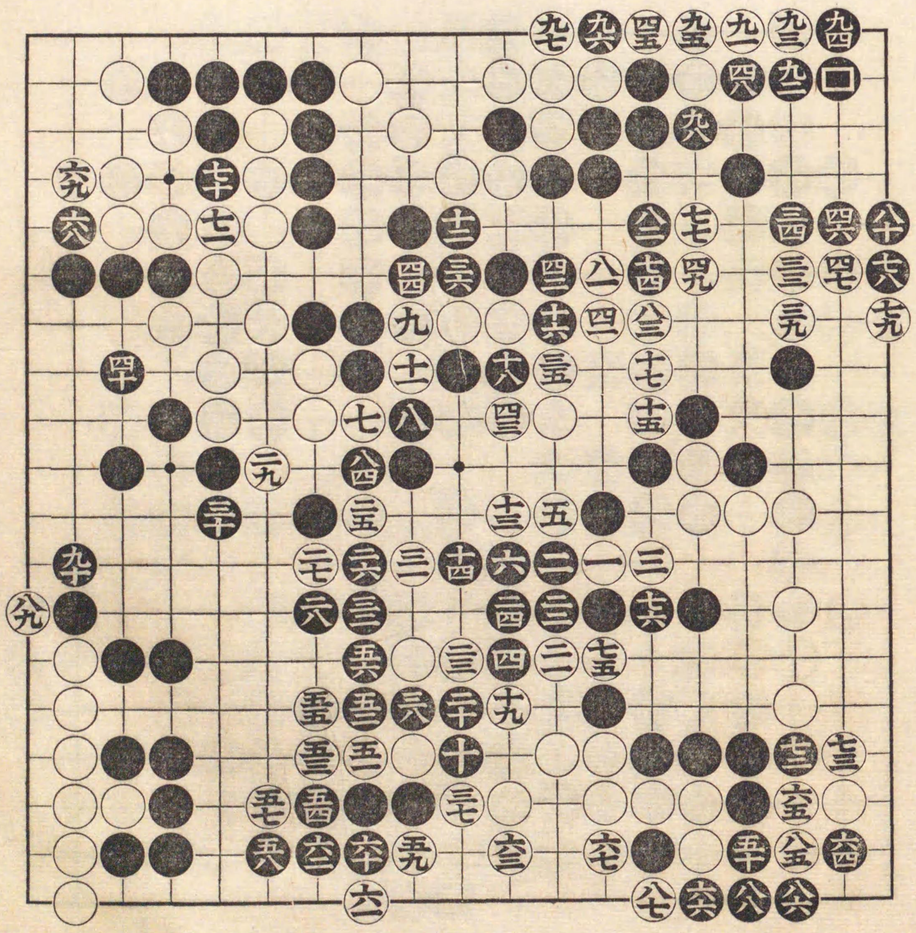
本因坊秀和
六目勝
二子
村瀬彌吉

百手迄



㊾粘グ

百手迄



安政三辰年五月五日

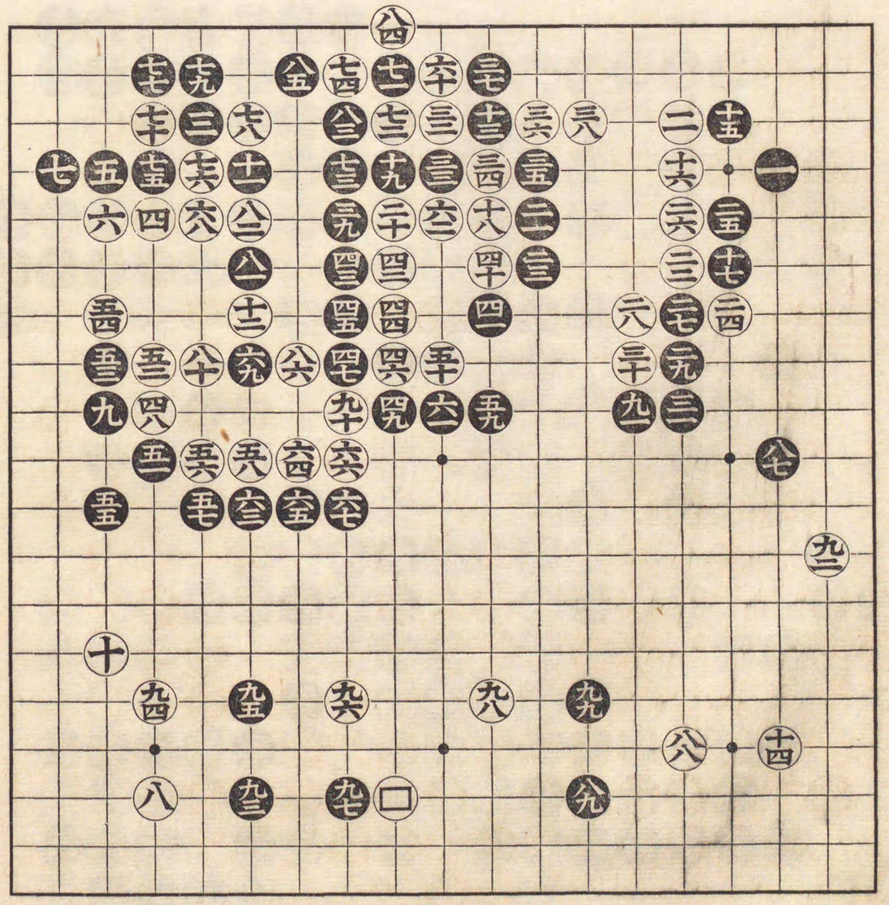
十三目勝

先番 **村瀬彌吉**

關山仙太夫

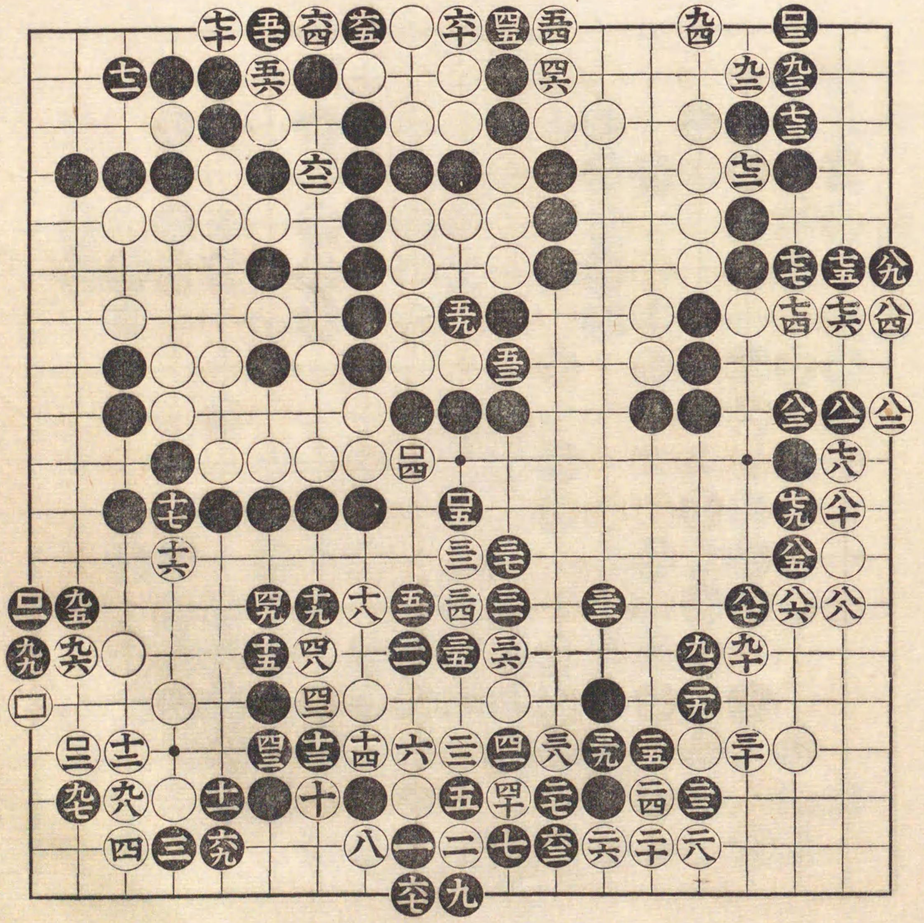
關山氏信州松代ノ士若年虎之助ト稱ス初段ニテ終ルト雖モ技倆拔群ノ棋伯ナリシ

百手迄



百五手迄

四四 劫取
四七 同
五十 同
五二 又トル
五五 劫取
五八 同
六一 同
六六 二ノ處取
六八 劫取



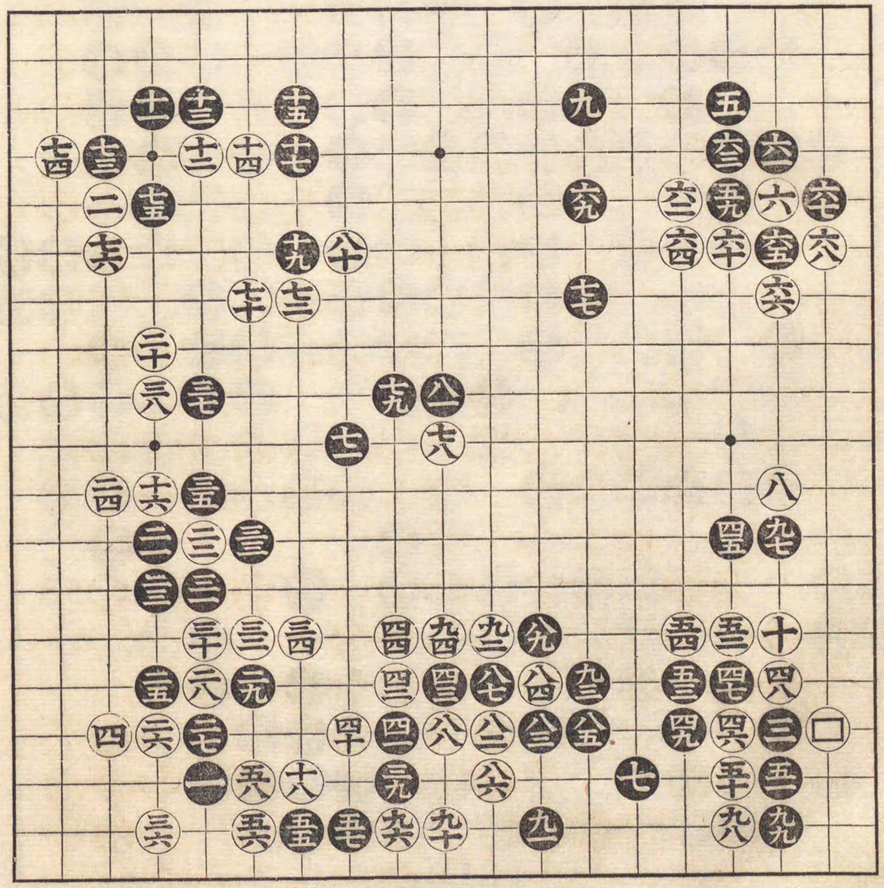
安政三年五月六日

七目勝　村瀬彌吉

先　關山仙太夫

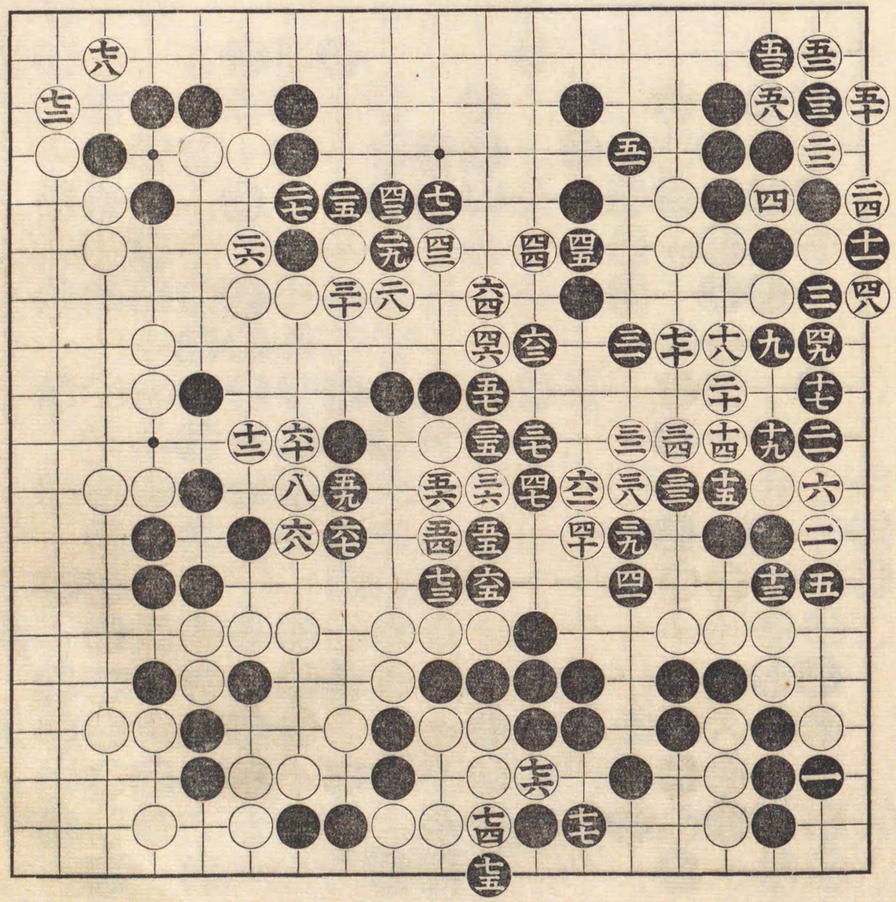
百手迄

九五 粘



七拾八手迄

七 劫取
十 同
十六 粘グ
六 劫取
六六 同
六九 同

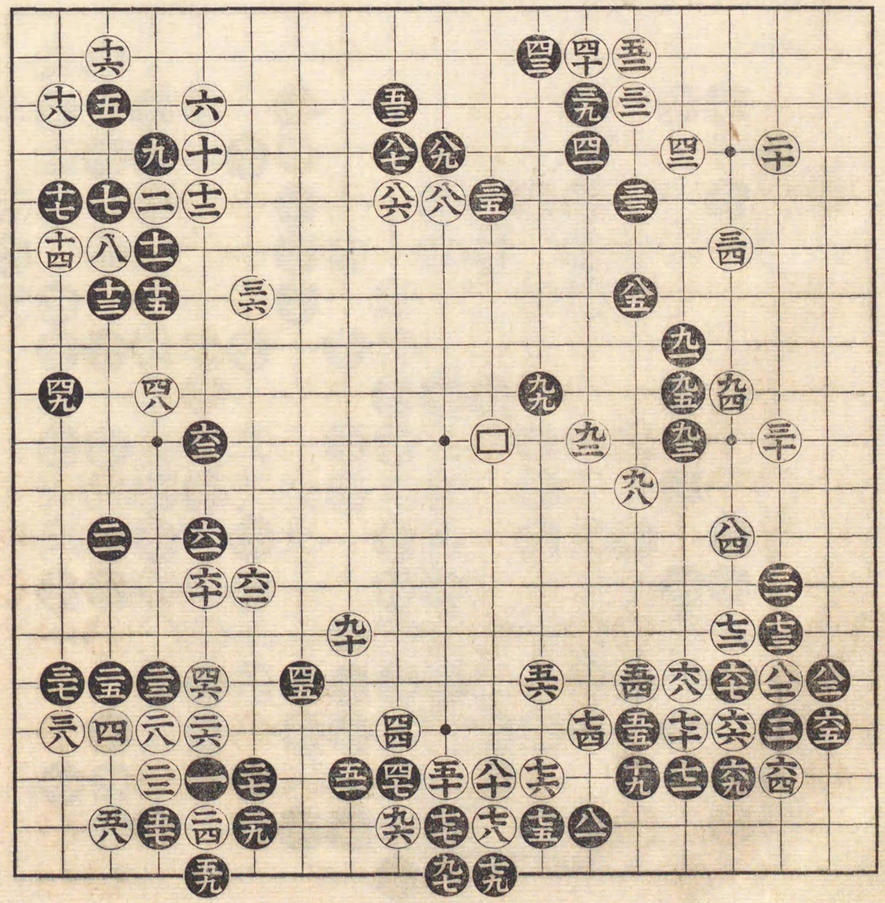


安政三年五月七日

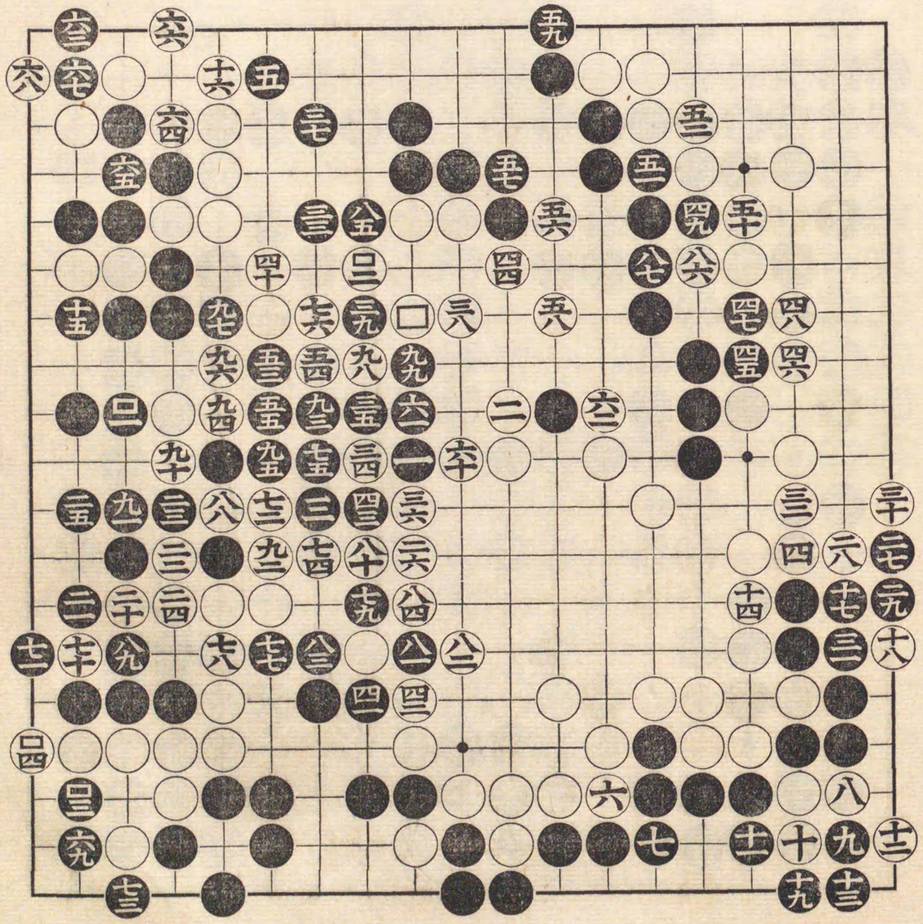
市 村瀬彌吉

先 關山仙太夫

百手迄



百四手迄



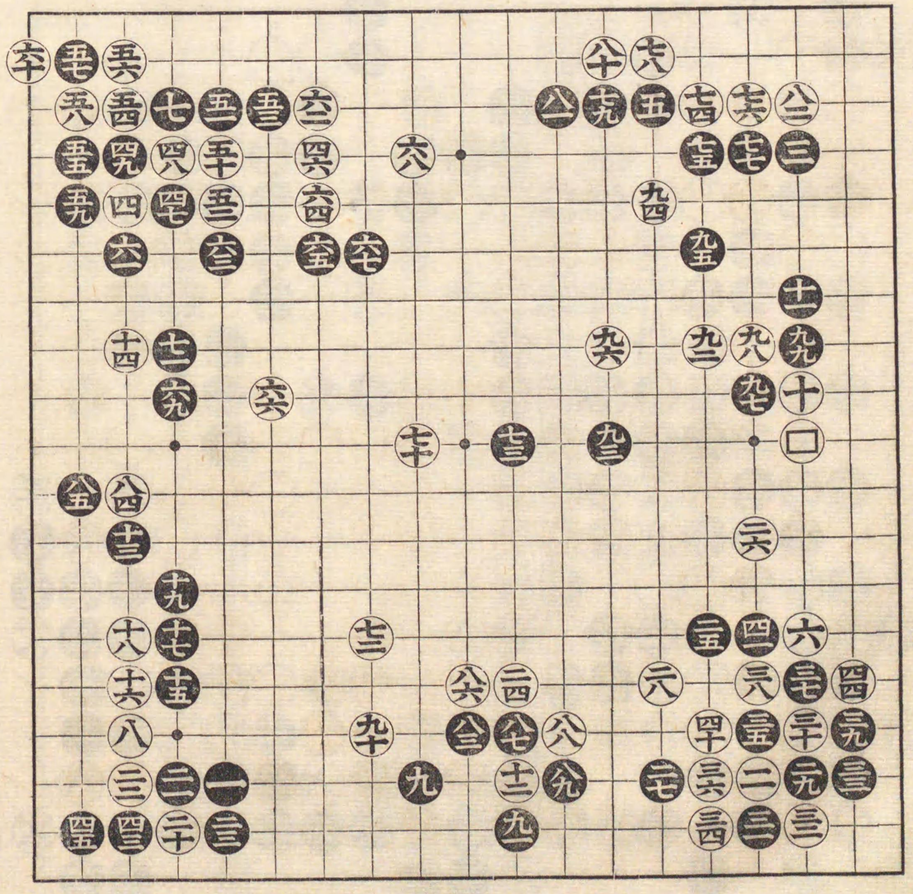
安政三年五月九日

一目勝 村瀬彌吉

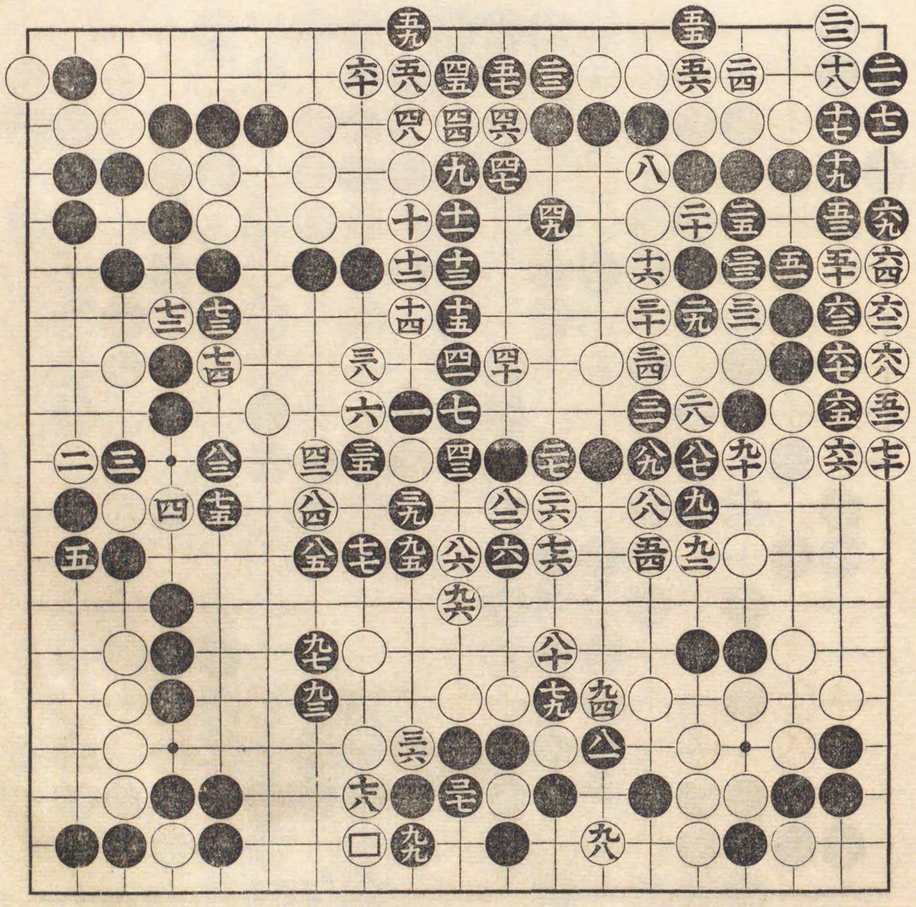
先 關山仙太夫

㊂劫取

百手迄



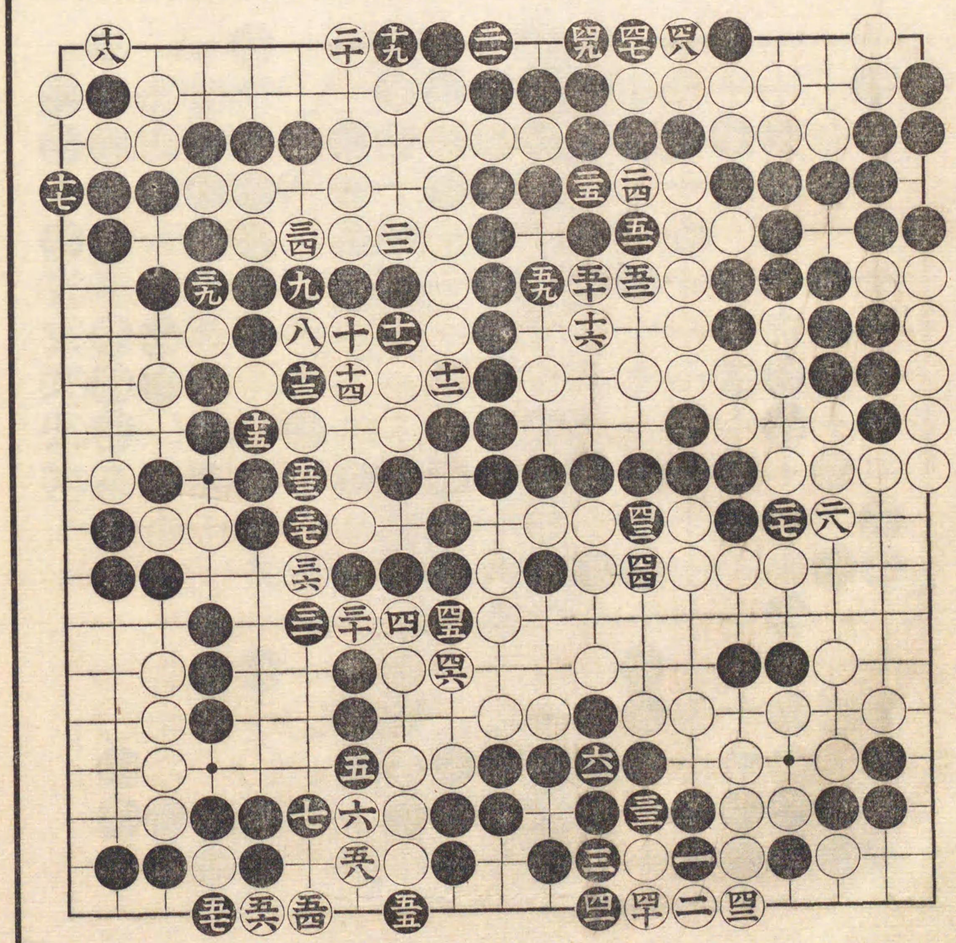
百手迄



三十四

六拾一手迄

三 劫取
二六 同
元 同
三 同
三五 同
三八 同
卒 劫粘



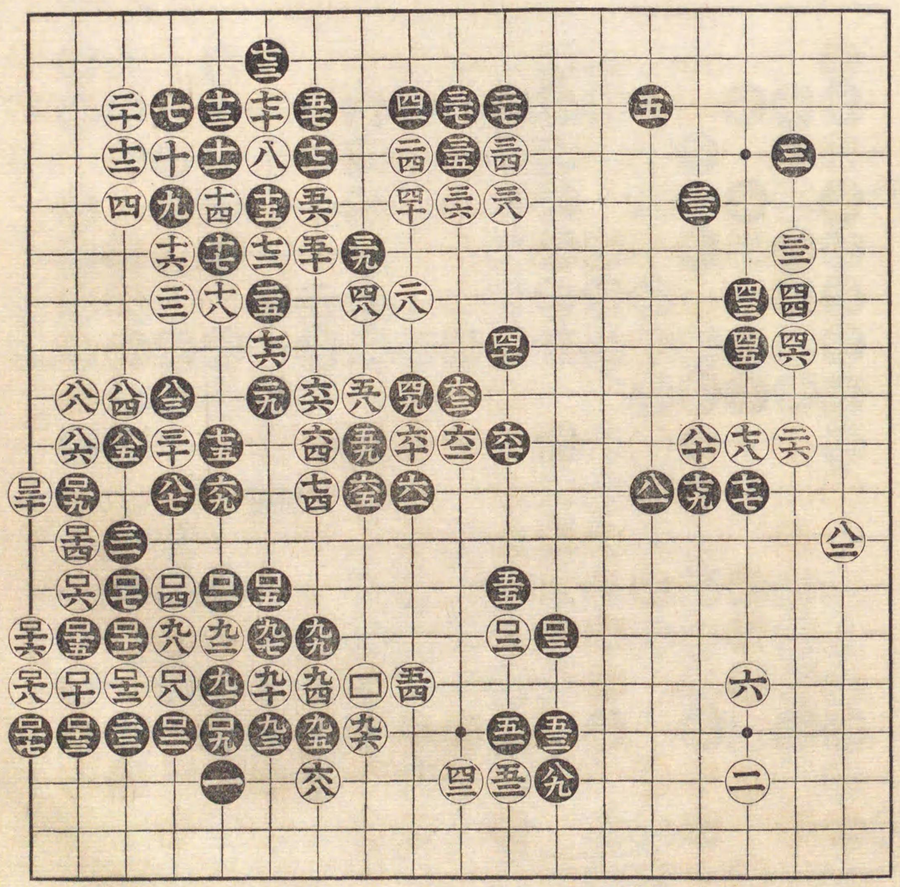
三十五

百二拾一手迄

十九 劫取
二 劫粘

安政三年五月十一日

中押勝
先 **村瀬彌吉**
關山仙太夫



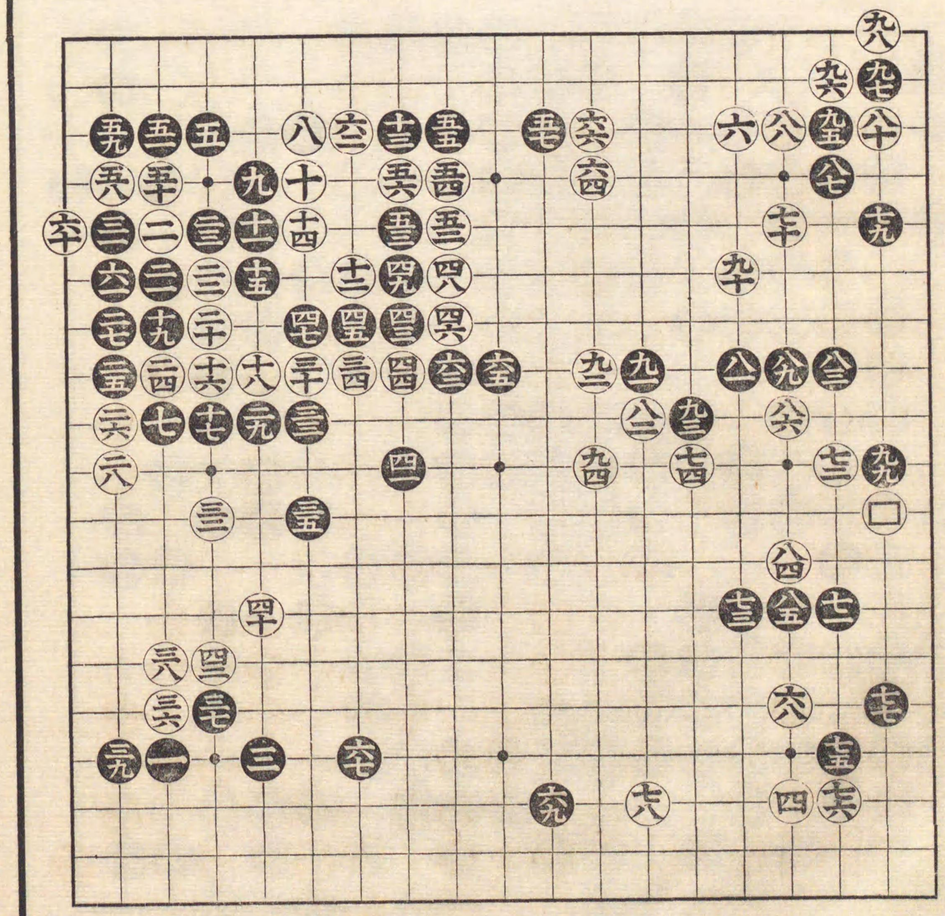
安政三年七月六日

鶴岡三郎助

中押勝

先番 村瀨彌吉

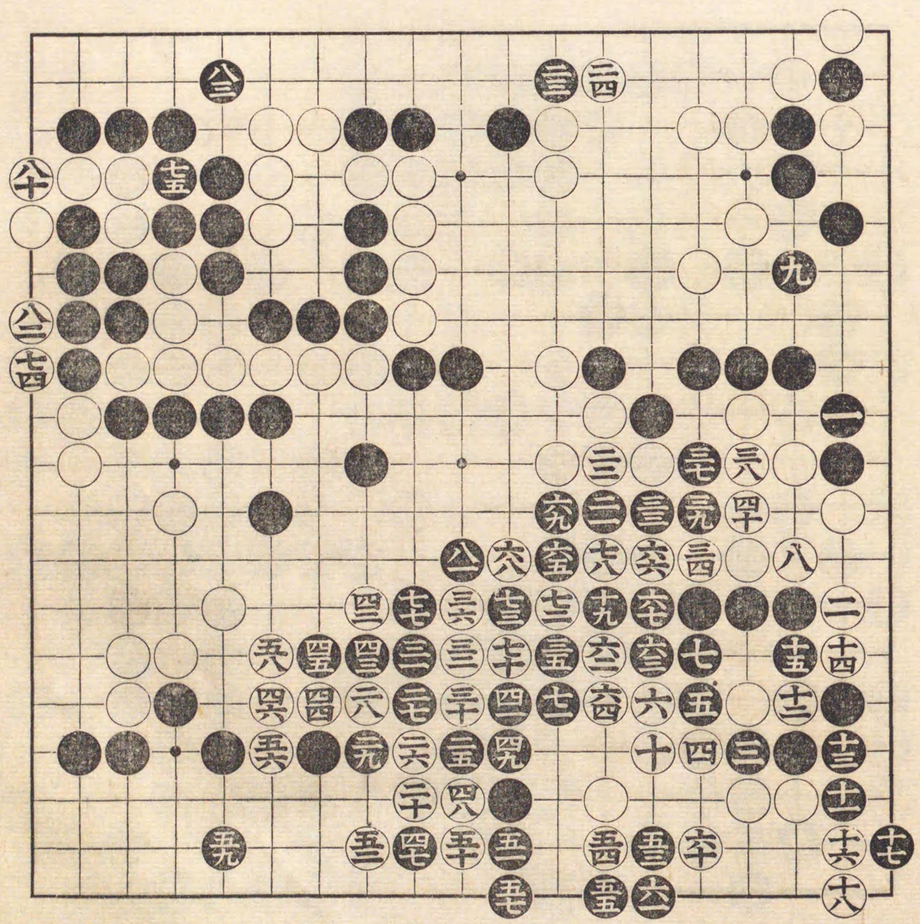
百手迄



八拾三手迄

(十六) 劫取

(十九) 同

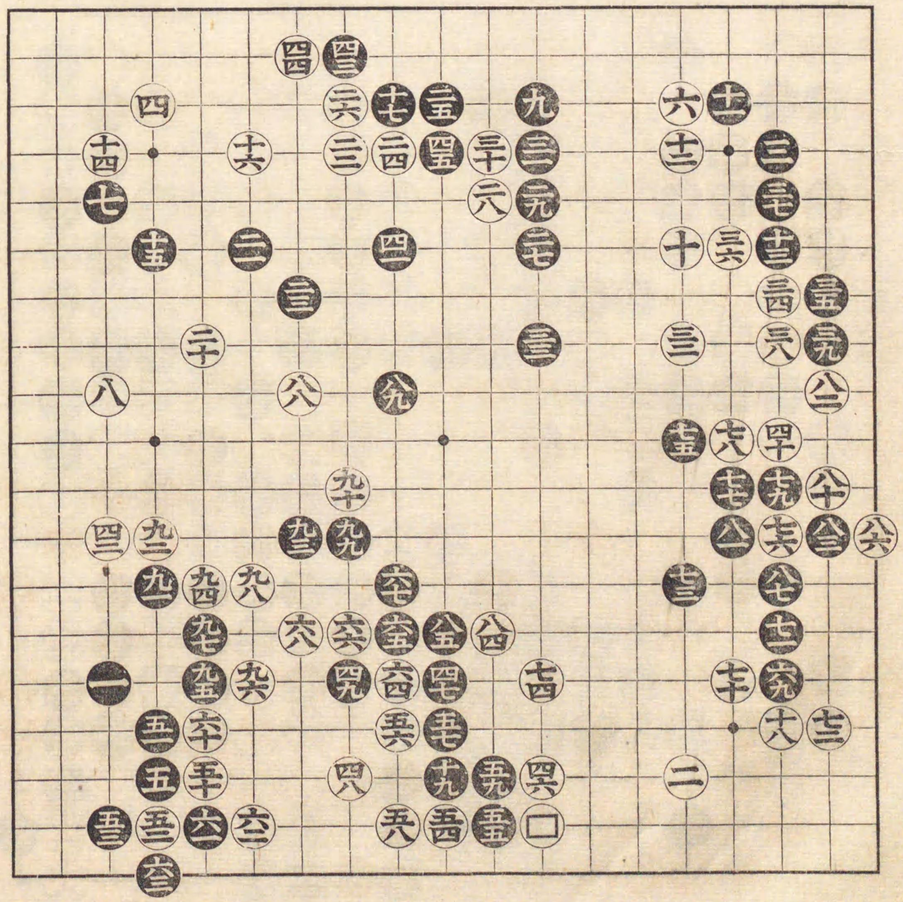


安政三年七月十四日

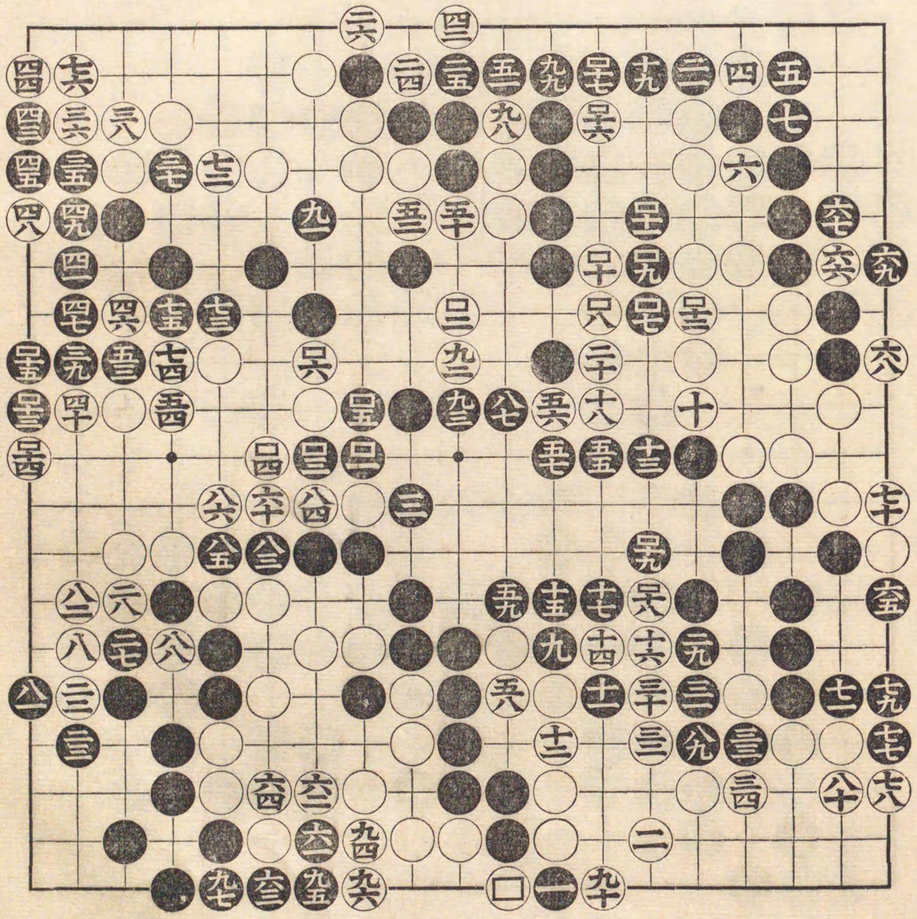
勝
先々先
先番 鶴岡三郎助

村瀬彌吉

百手迄



百拾九手迄



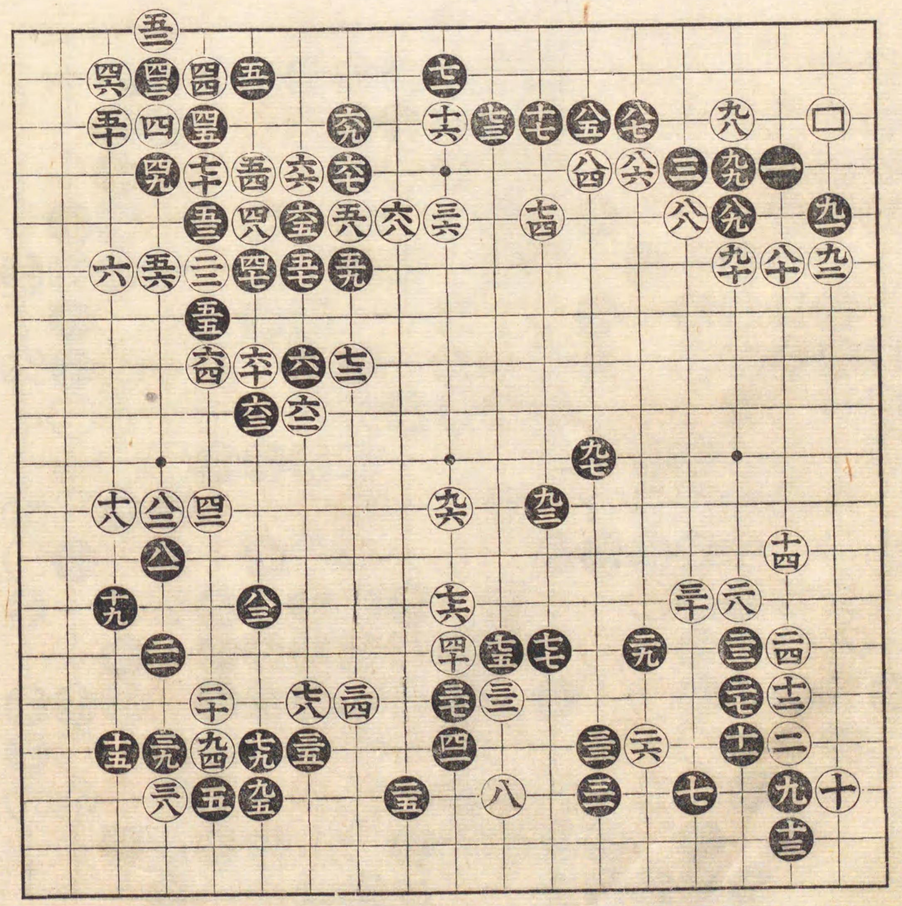
安政三年七月廿三日

鶴岡三郎助 六段

十七目勝

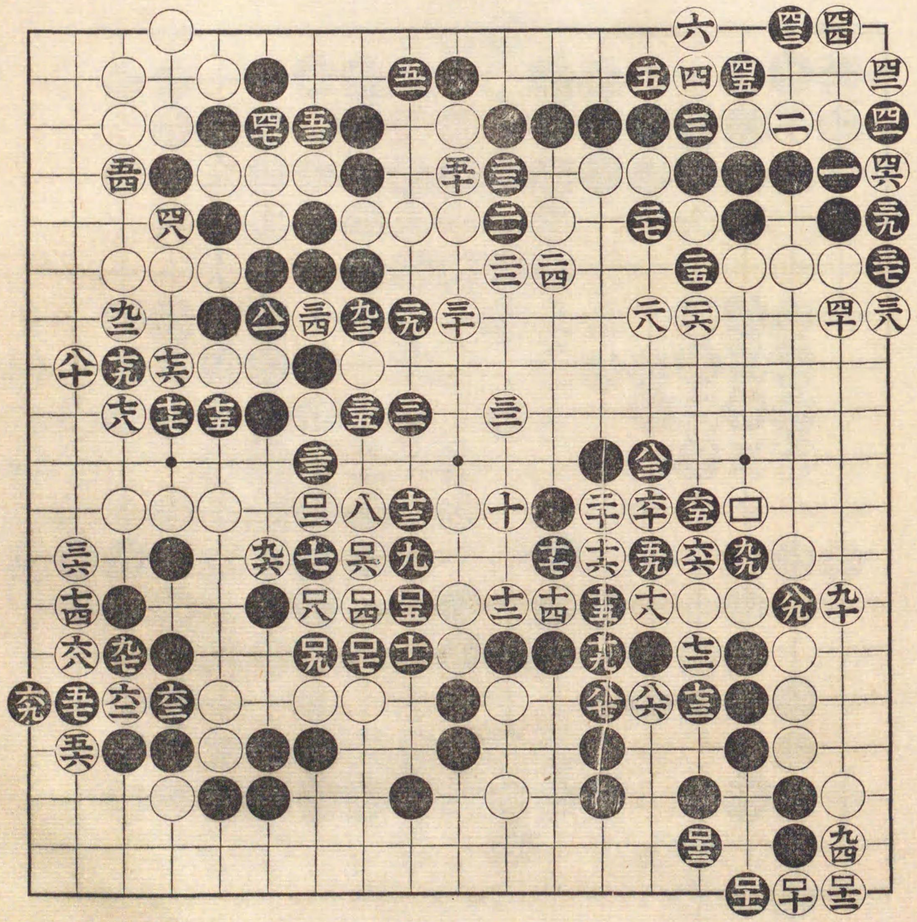
先番 村瀬彌吉

百手迄



四九 劫取　五三 同
五五 同　五八 同
六一 同　六四 同
六七 同　七十 同
七一 前譜六一ノ所取
八二 劫取　八四 粘グ
八五 劫取　八八 同
九一 同　九五 同
九八 同　一二 同
一三 劫粘

百拾三手迄



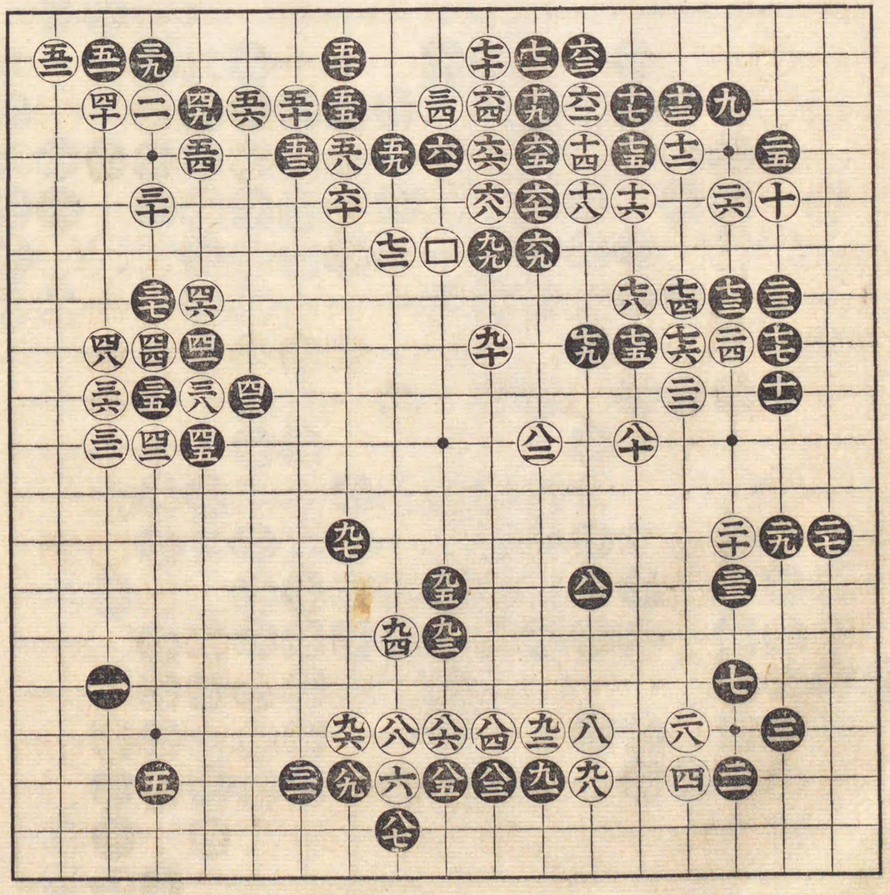
安政三年七月廿七日

先番 鶴岡三郎助

五目勝 村瀨彌吉

四七 劫取

百手迄



二九 劫取

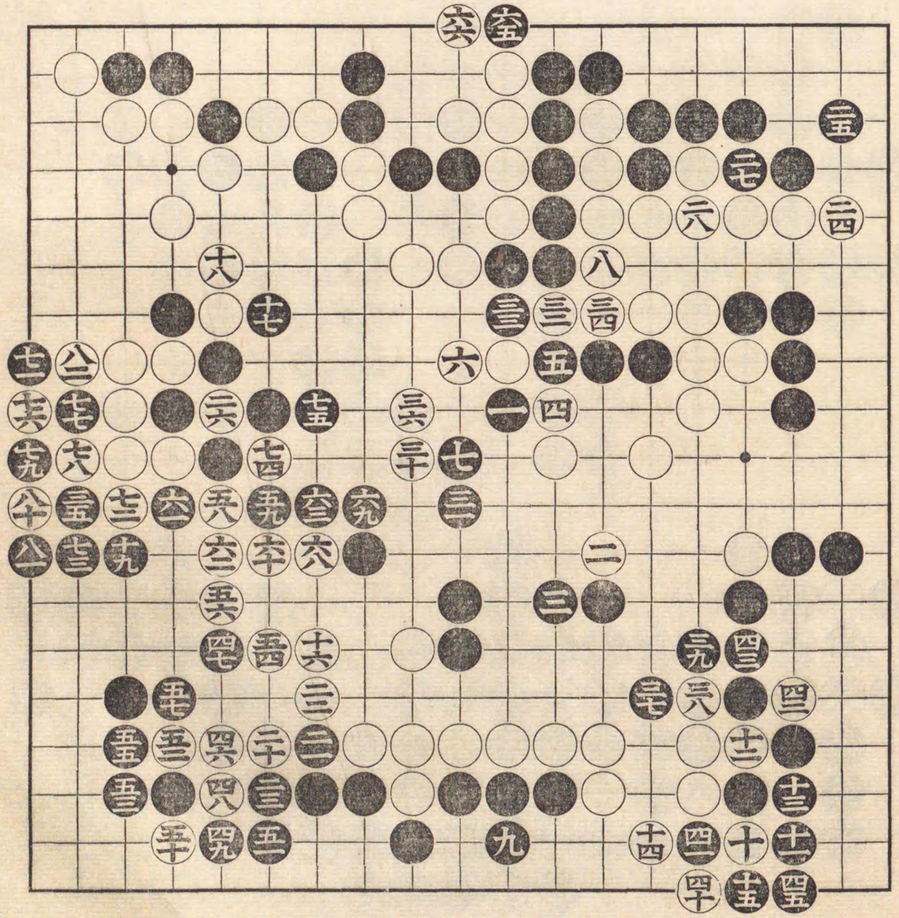
四四 同

六四 同

六七 同

七十 同

八拾二手迄



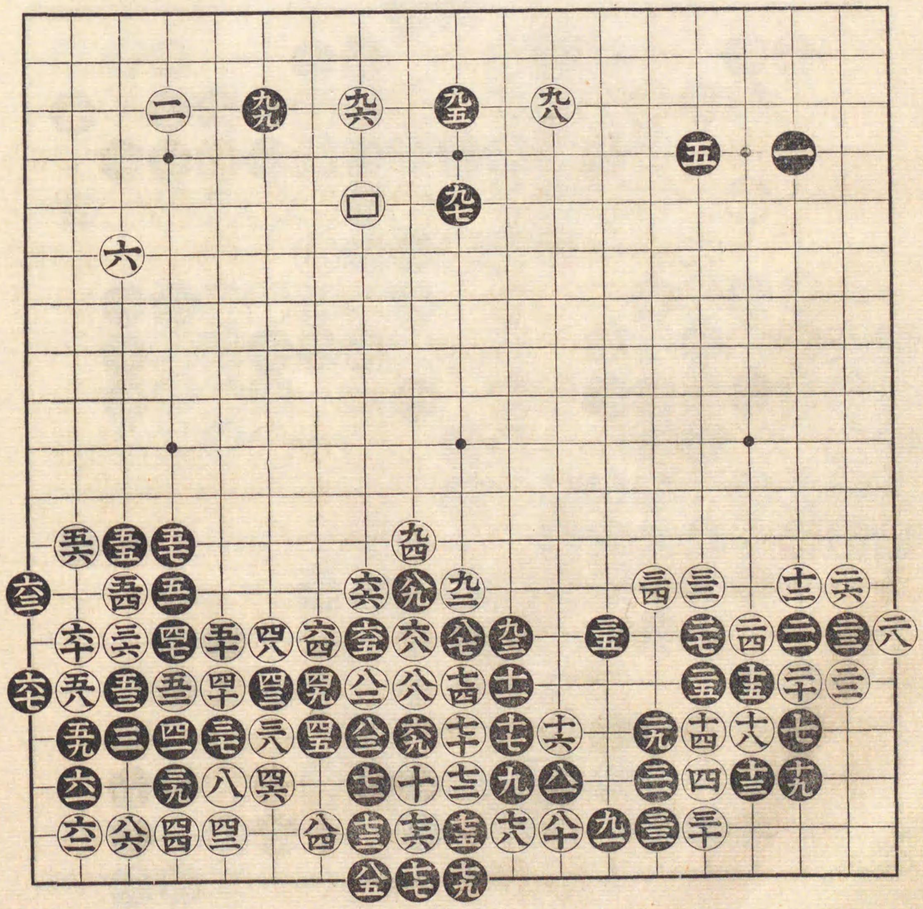
安政三年七月廿九日

本因坊秀和

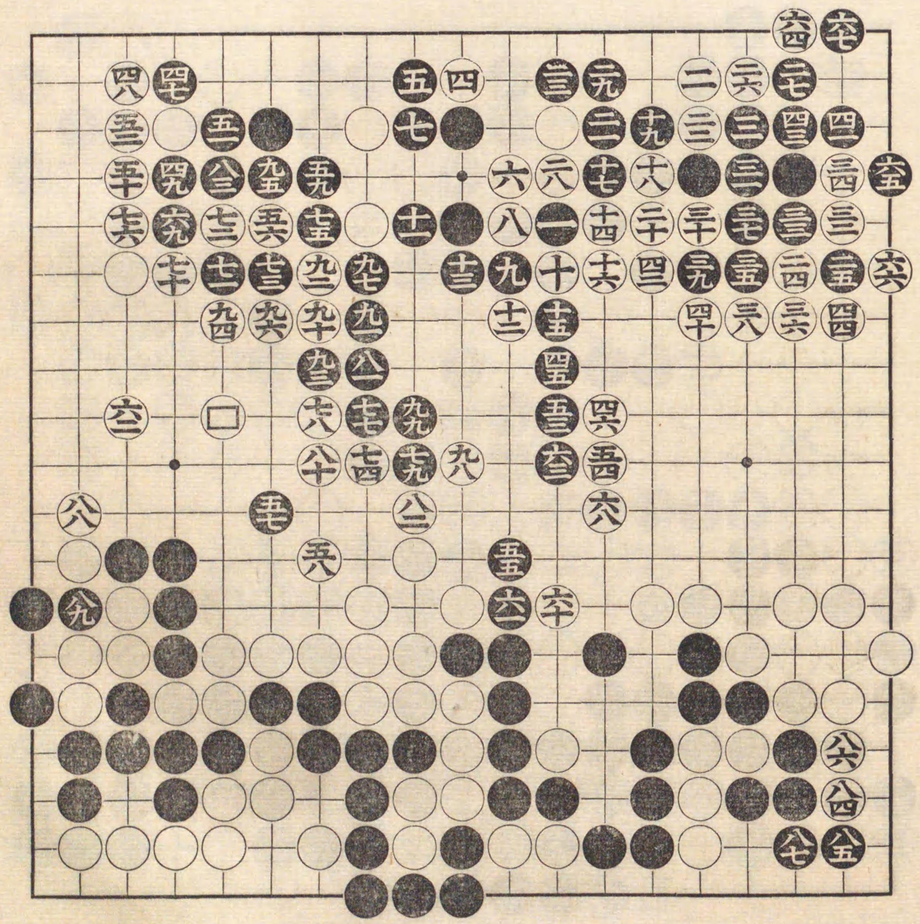
市先 村瀨彌吉

(九十)粘グ

百手迄

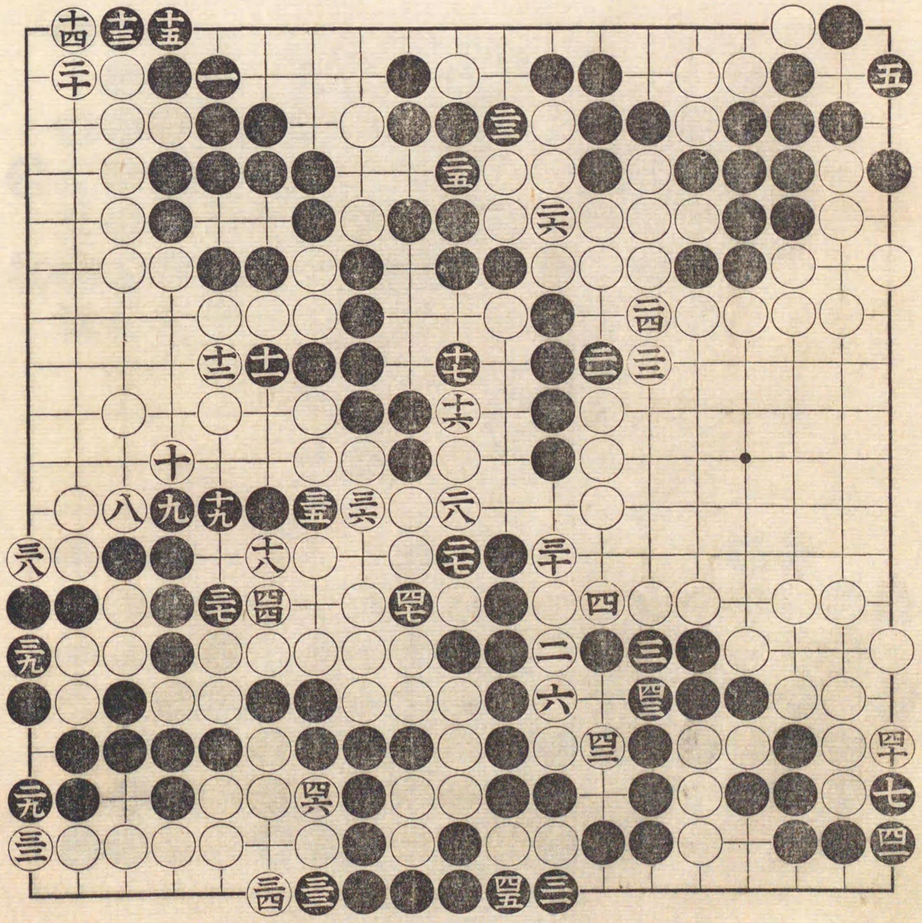


百手迄



劫勝粘グ

四拾七手迄



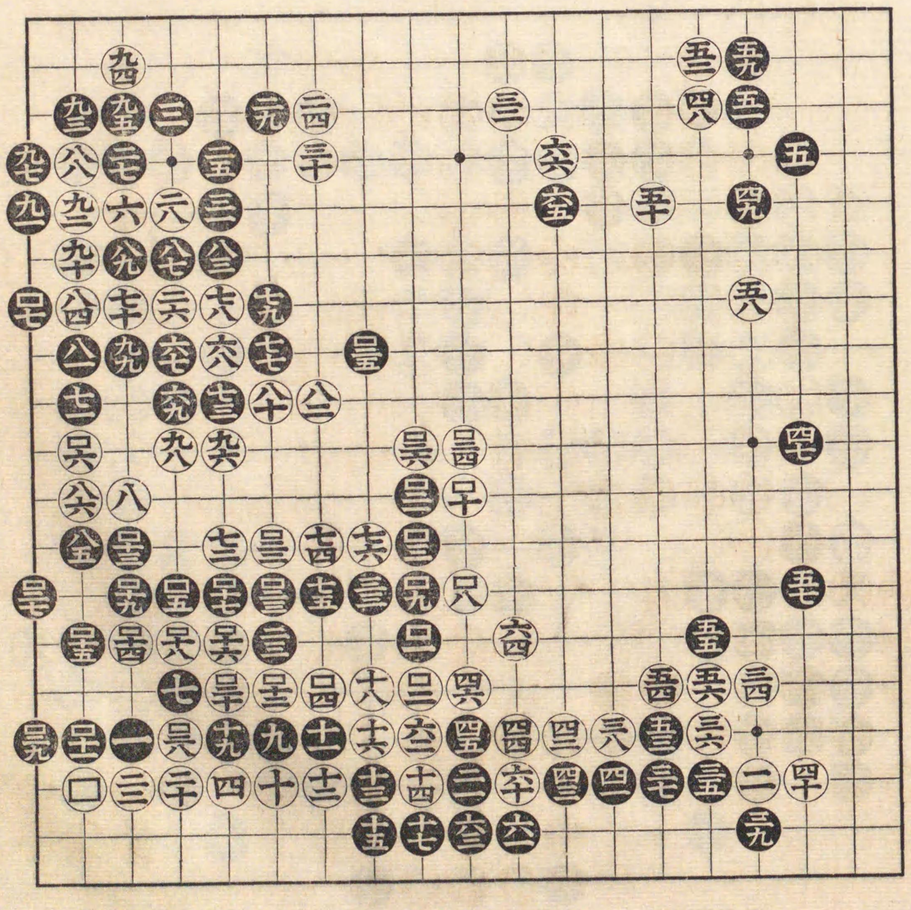
安政三年七月晦日

本因坊秀和

中押勝

先 **村瀬彌吉**

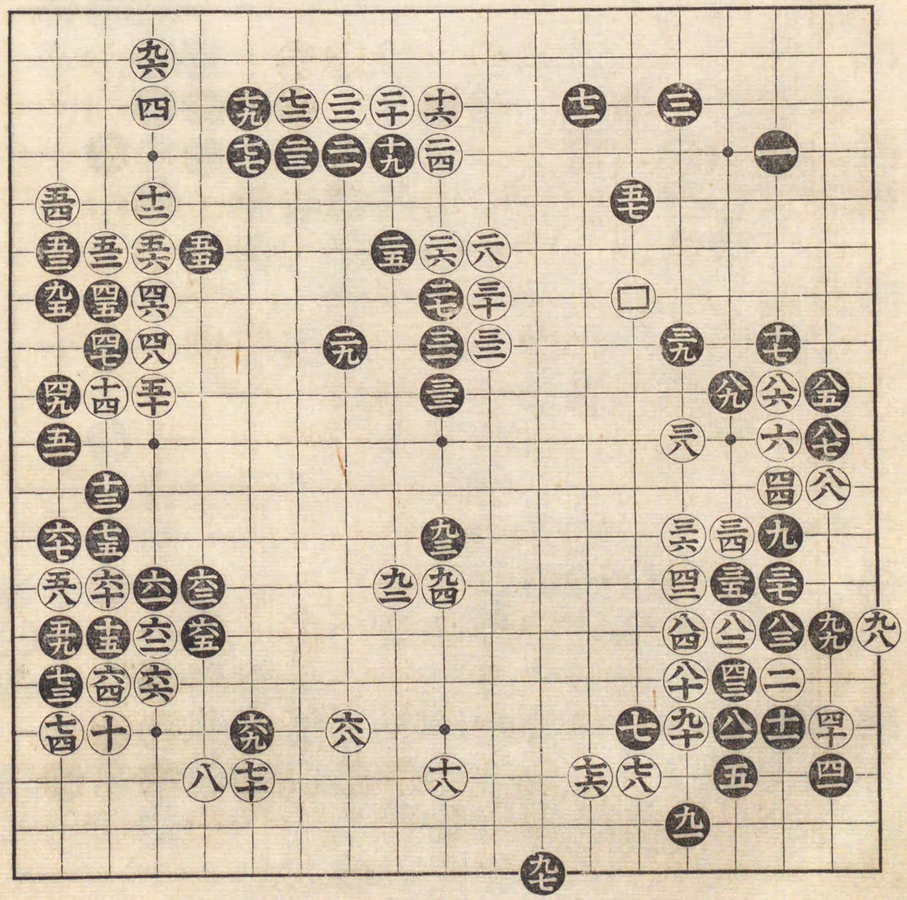
百貳拾九手迄



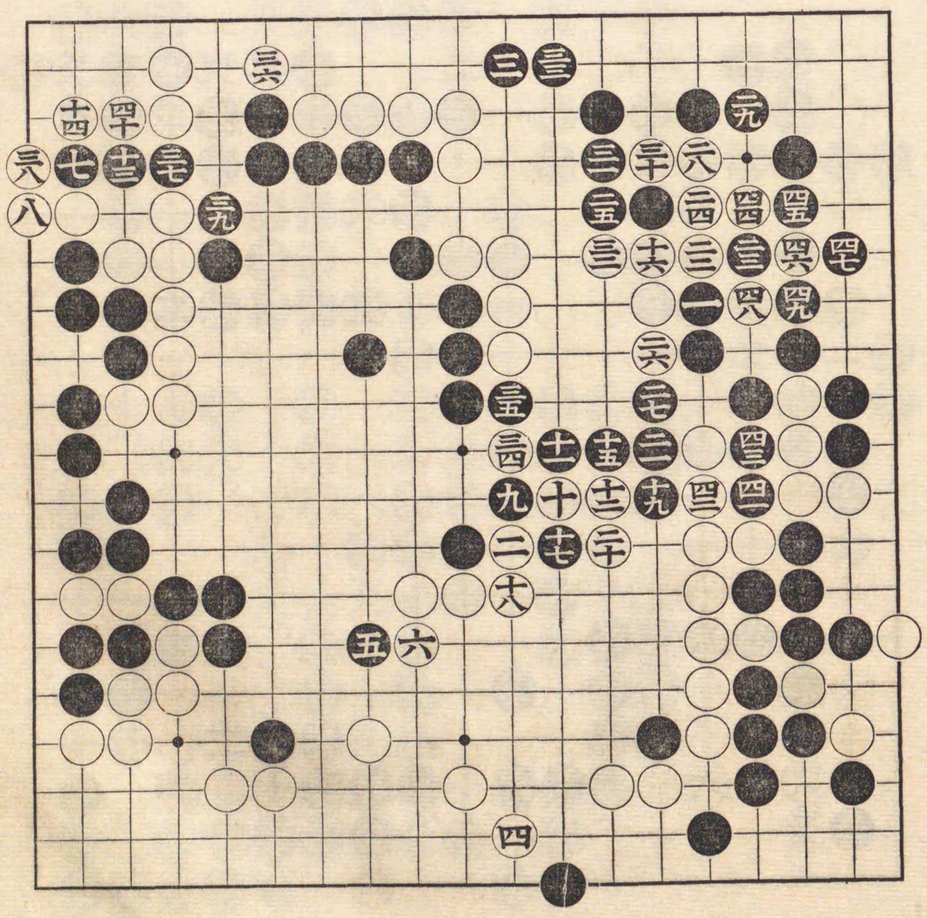
安政三年八月二日

本因坊秀和
中押勝
先
村瀬彌吉

百手迄



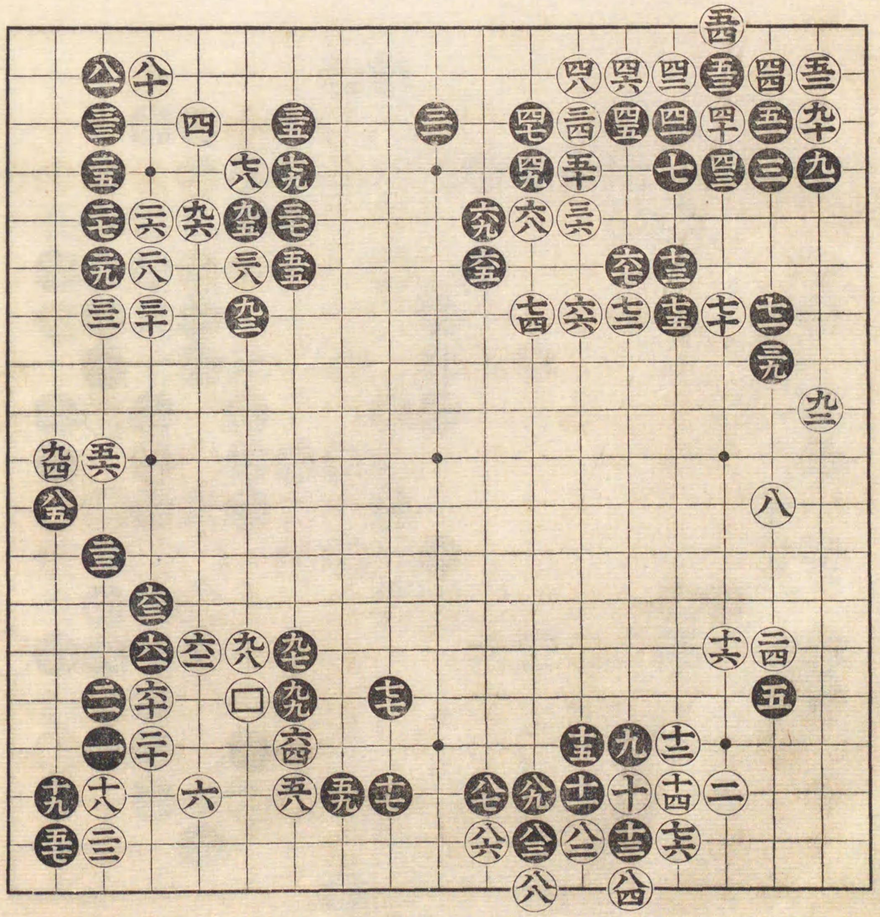
四拾九手迄



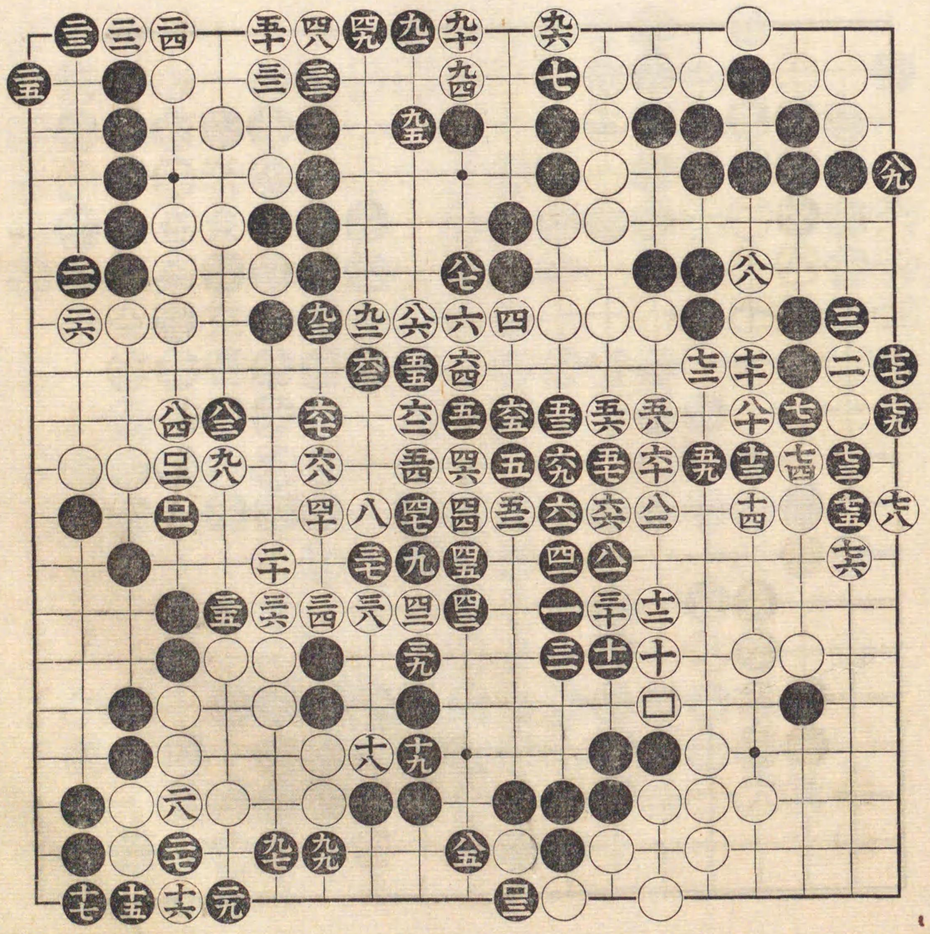
安政三年八月四日

本因坊秀和
二目勝
先
村瀬彌吉

百手迄



百三手迄



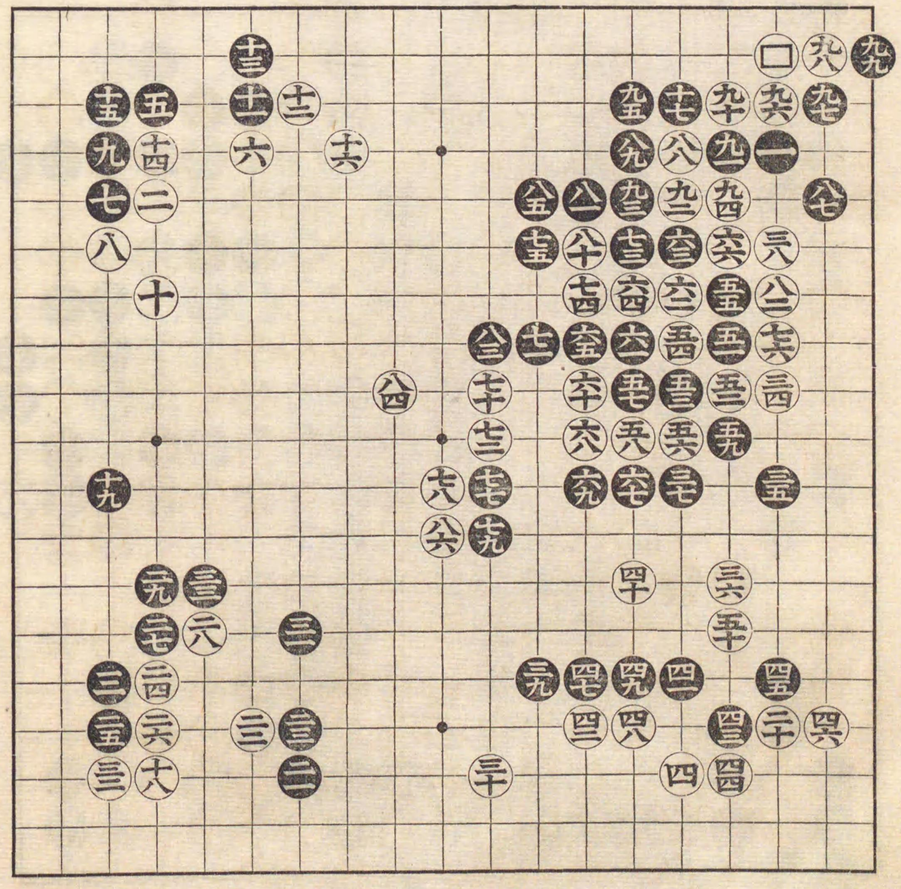
安政三年九月十日

本因坊秀和

中押勝

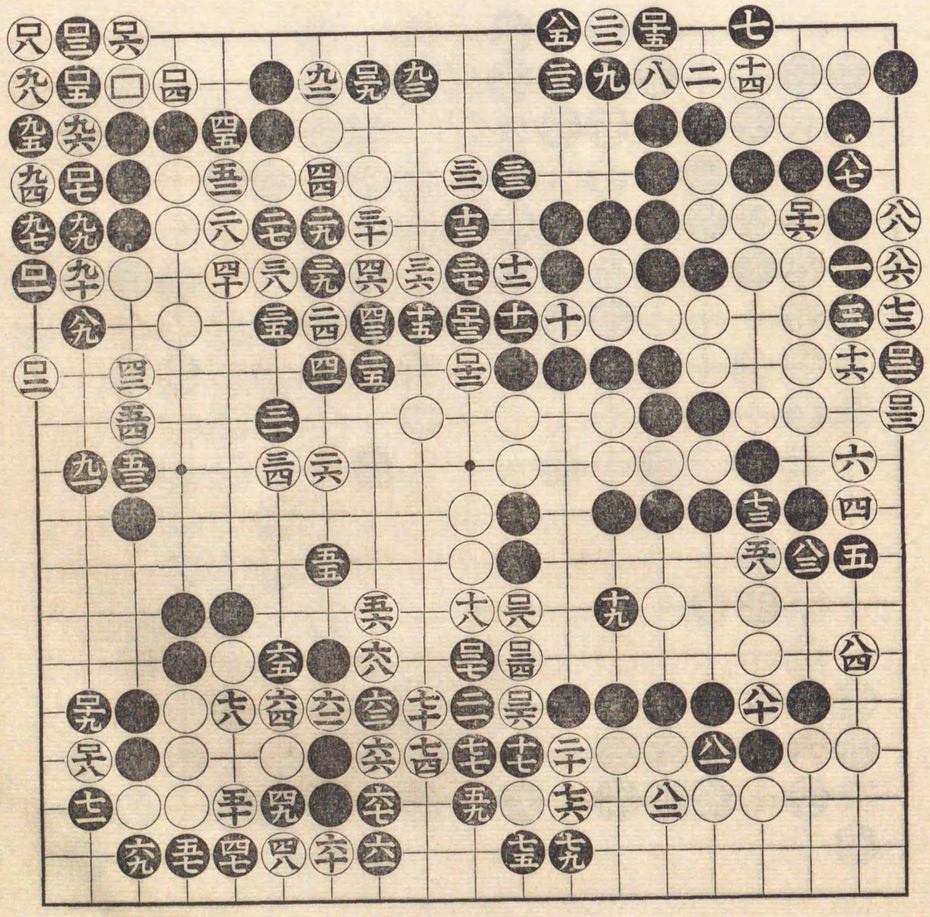
先 村瀬彌吉

百手迄



五一 三目粘グ
二九 打カウ
四十 提ル
二十一 劫取ル
二十四 同
二十七 同
二十八 同
二十三 同
二十五 又トル

百貳拾九手迄



安政三年十月六日

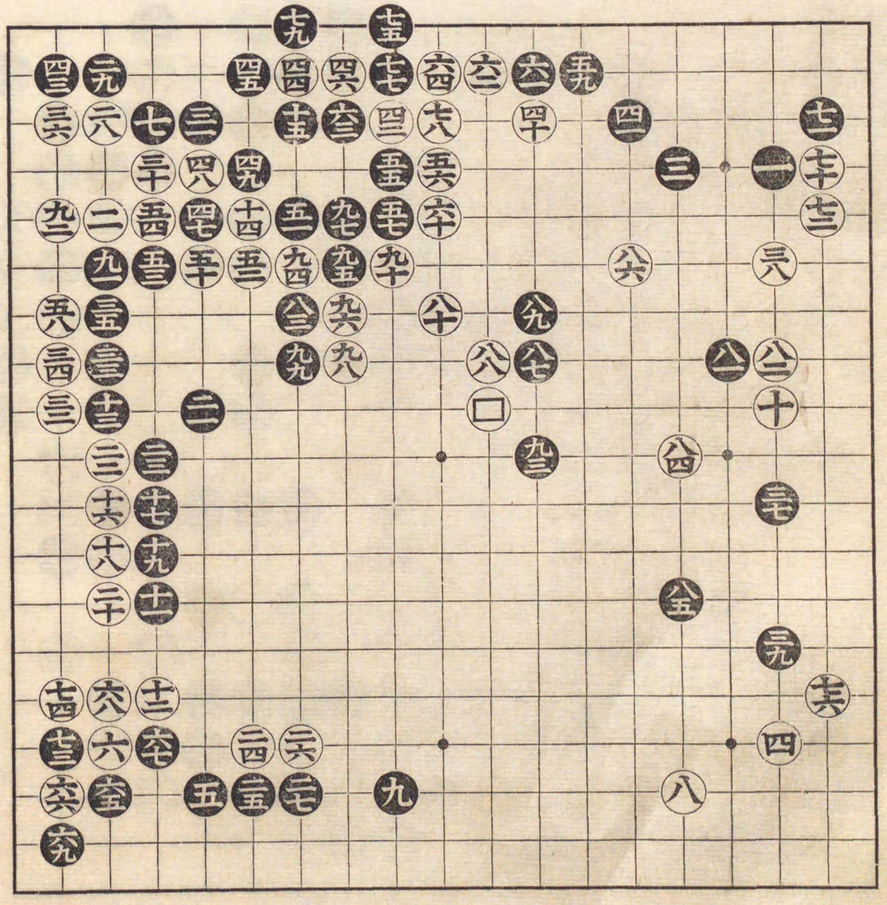
中押勝

本因坊秀和

先

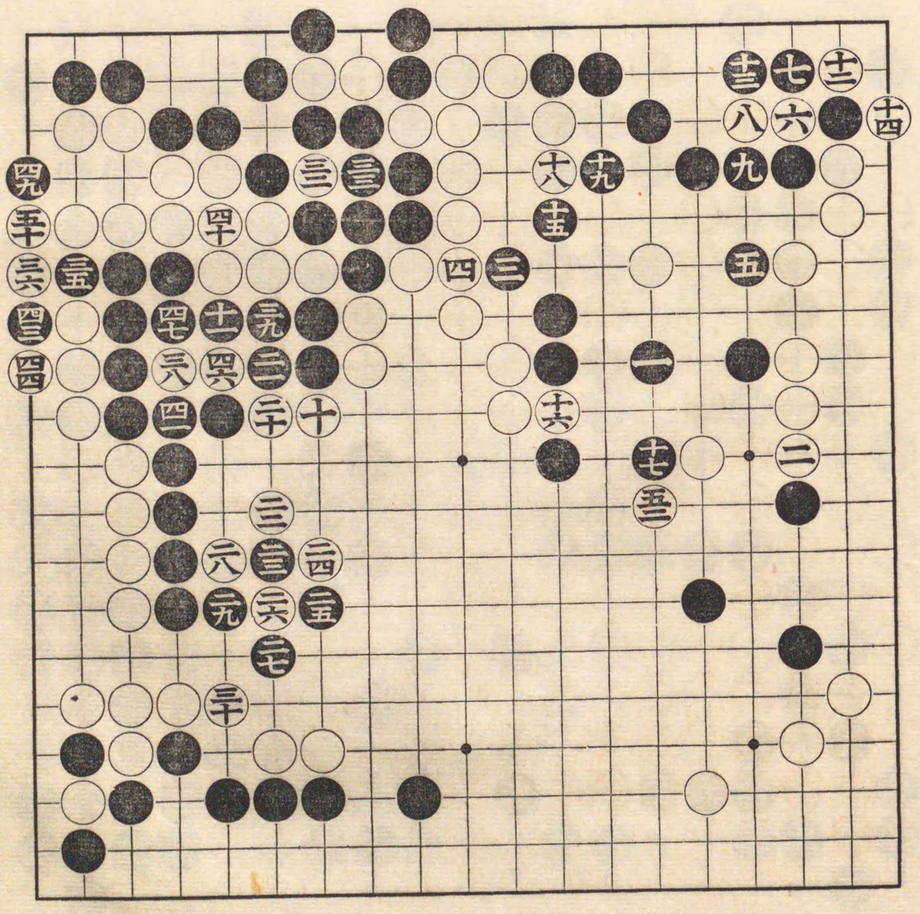
村瀬彌吉

百手迄



五拾貳手迄

三一 劫取
三二 同
三三 同
四一 同
四二 同
四八 同
五一 同



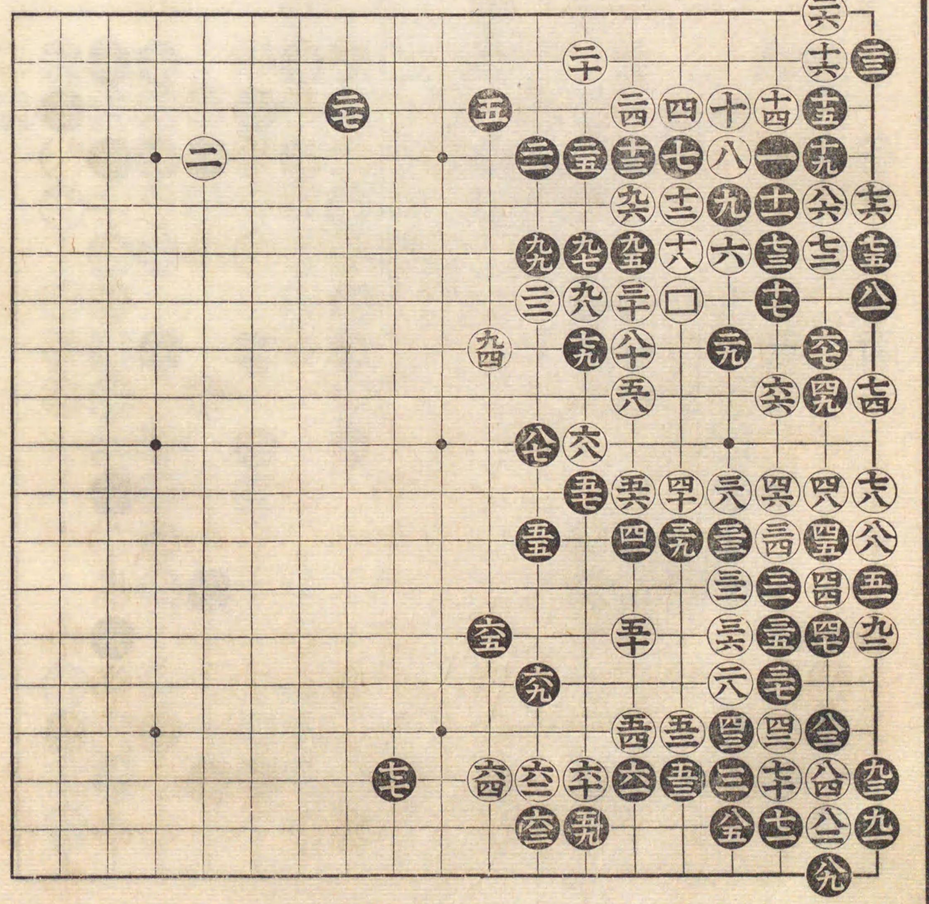
安政三年十月十三日

勝 本因坊秀和

先 村瀬彌吉

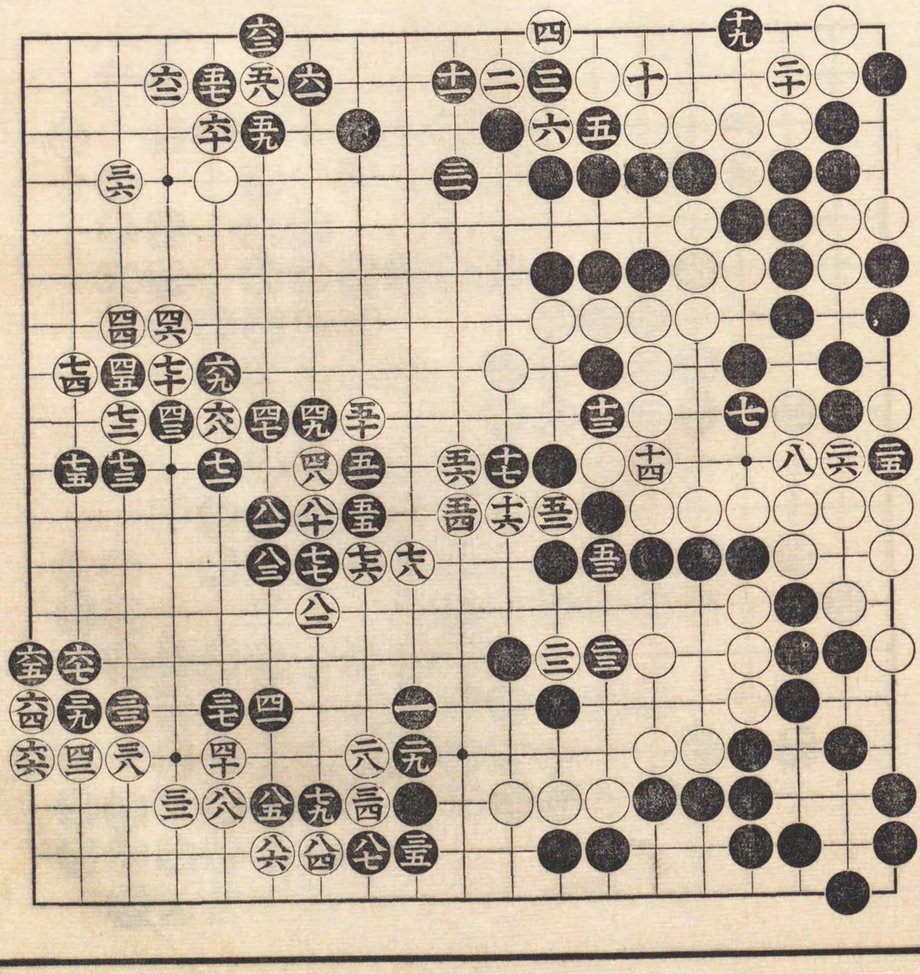
(九十)劫取

百手迄



八拾八手迄

九劫取 十同 十一同 十二同 十三同 十四同 十五同 十六同 十七同



安政三年十月十六日

中押勝

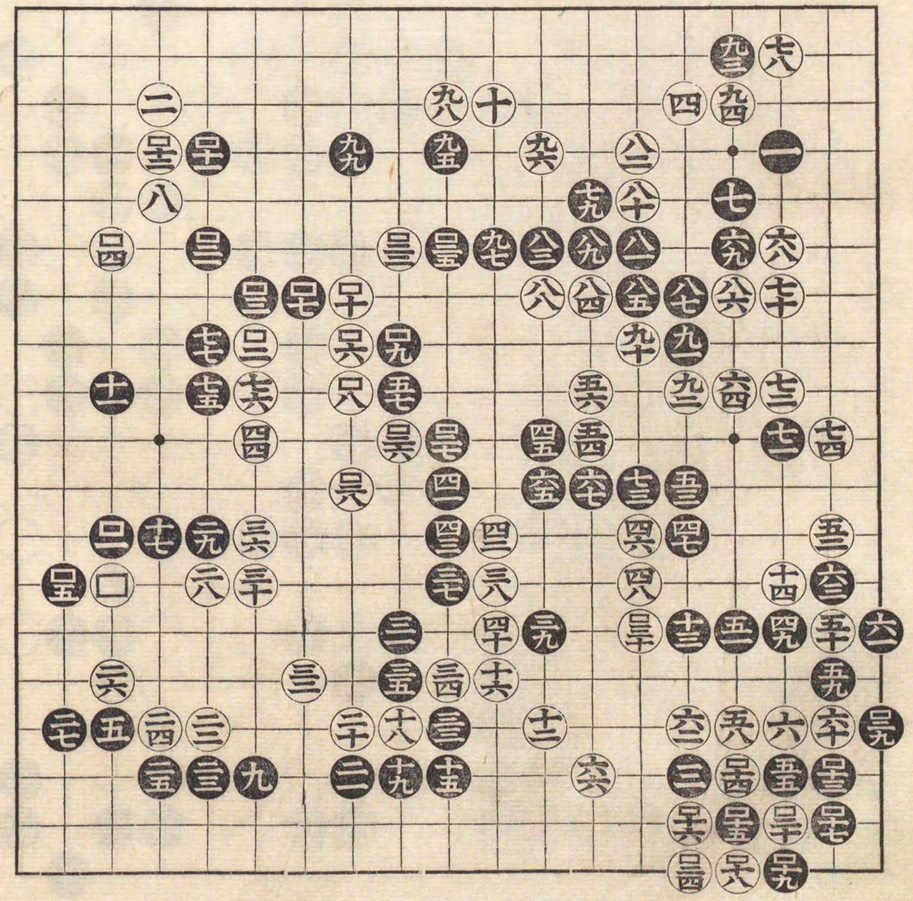
本因坊秀和

先

村瀬彌吉

(二三)劫取

百三拾手迄



安政三年十月廿九日

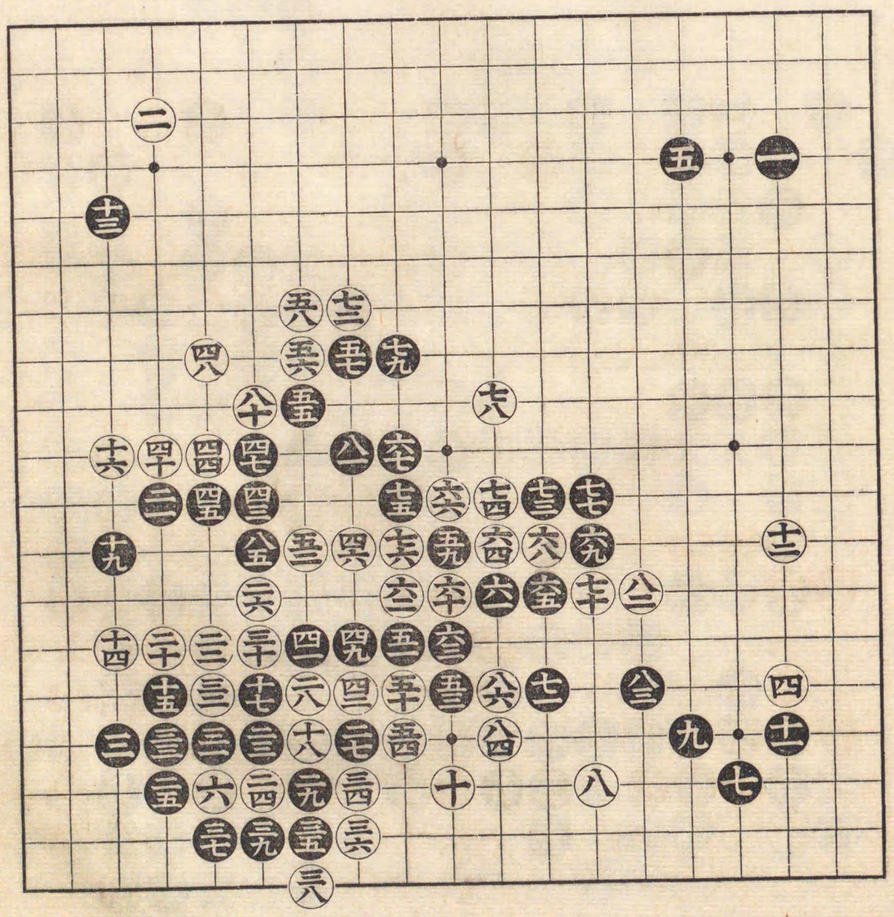
中押勝

本因坊秀和

先

村瀬彌吉

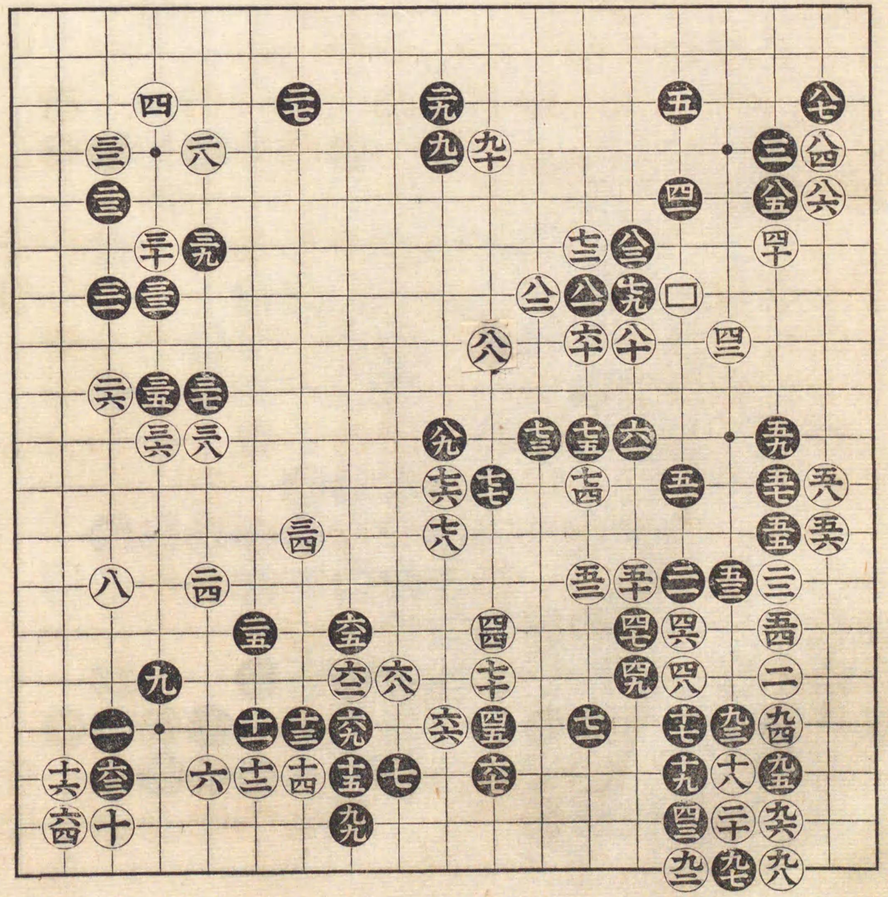
八拾六手迄



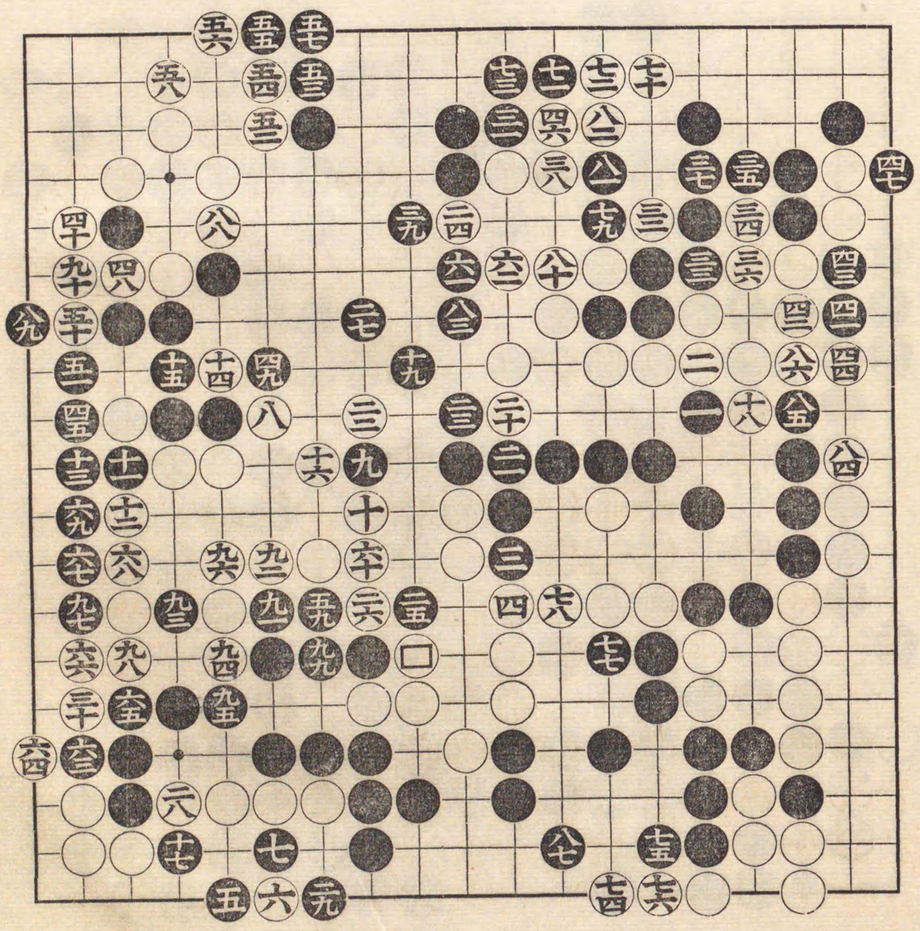
安政三年十一月廿八日

本因坊秀和
一目勝
先 村瀬彌吉

百手迄

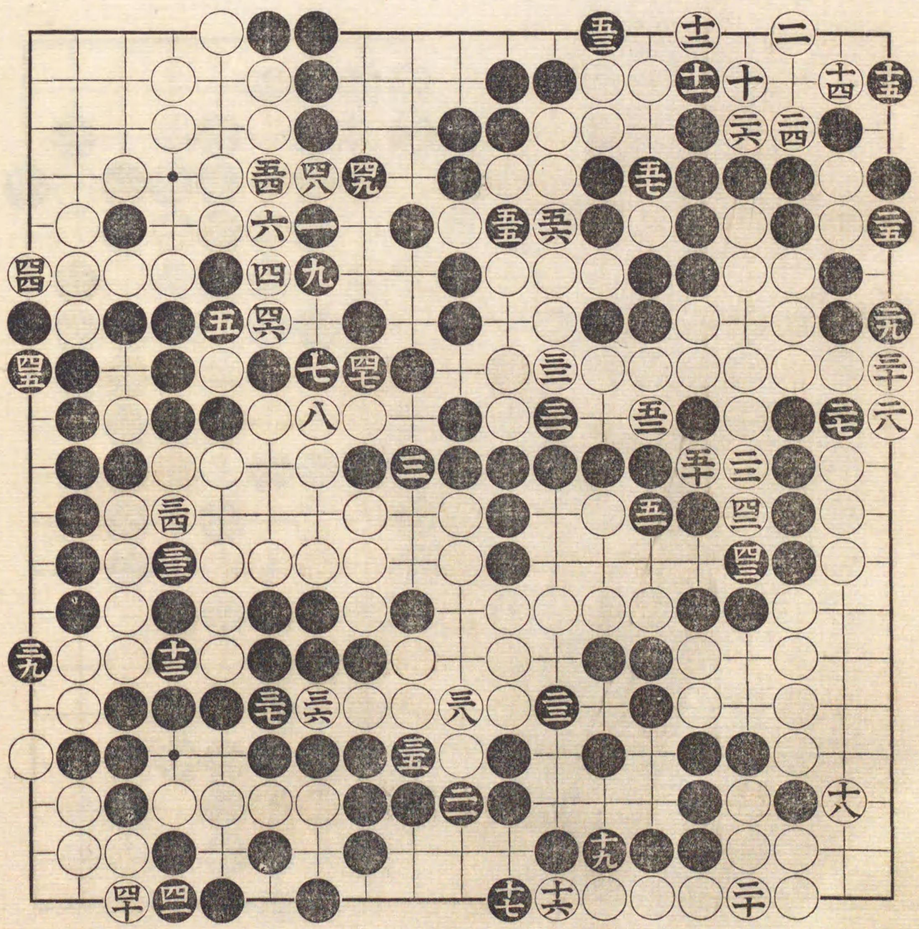


百手迄



㊅ 劫勝粘

五拾八手迄

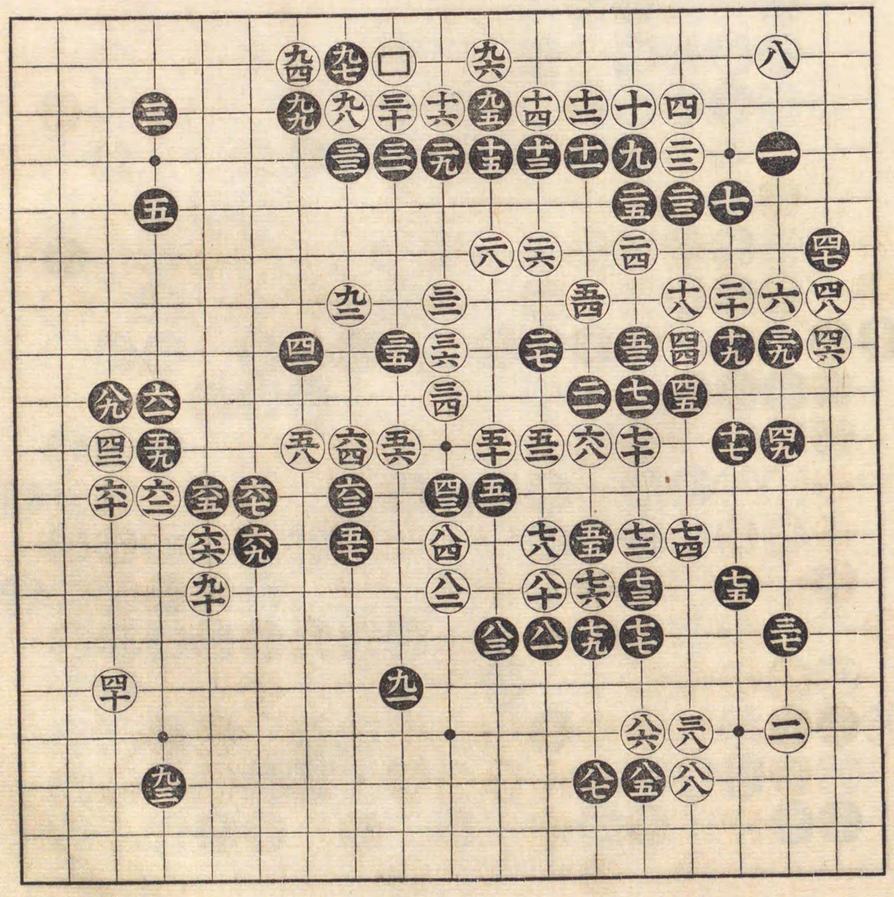


安政四年一月九日

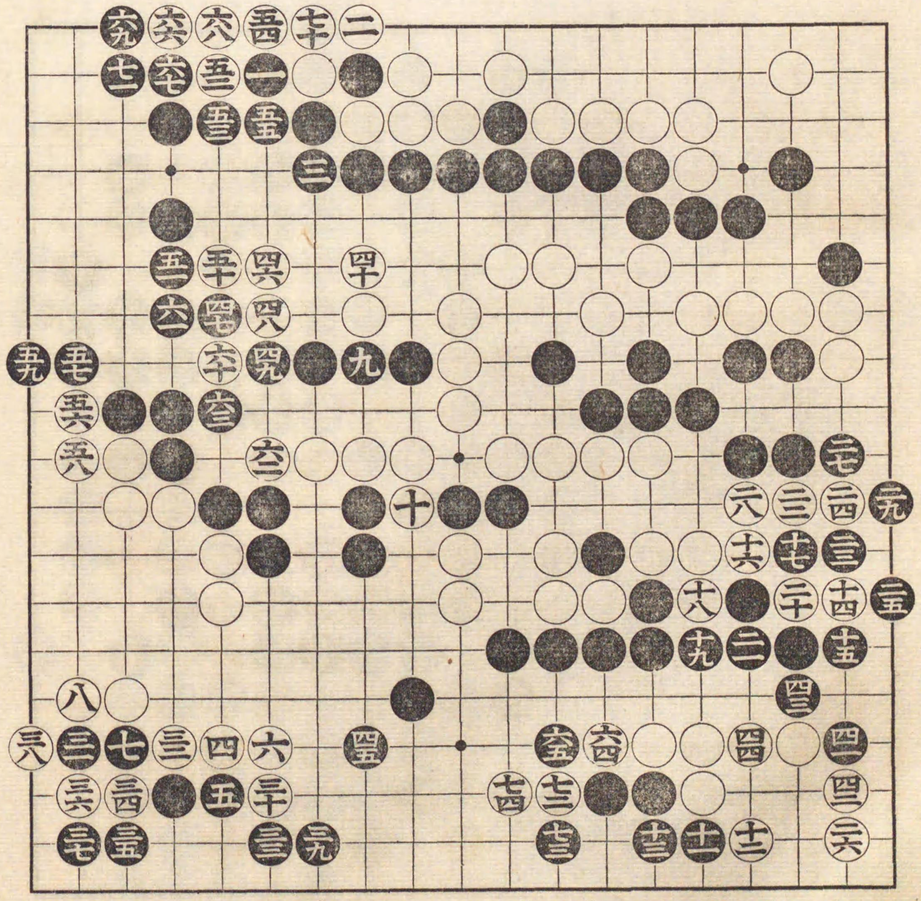
勝 本因坊秀和

先 村瀬彌吉

百手迄



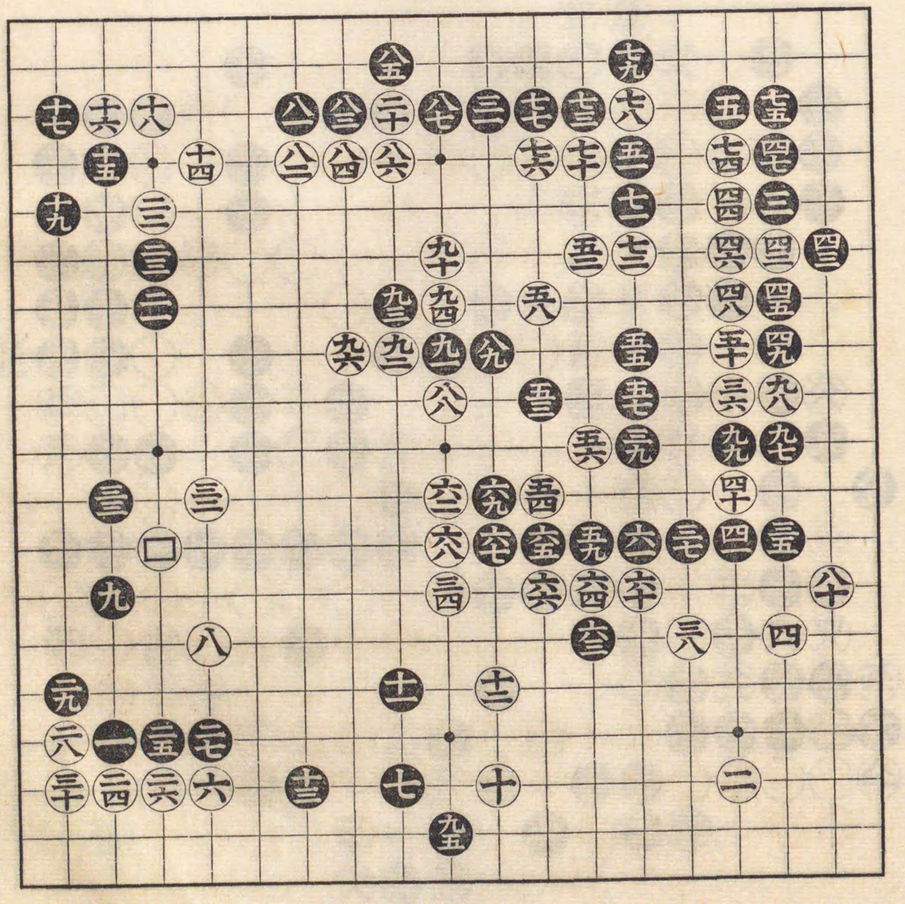
七拾四手迄



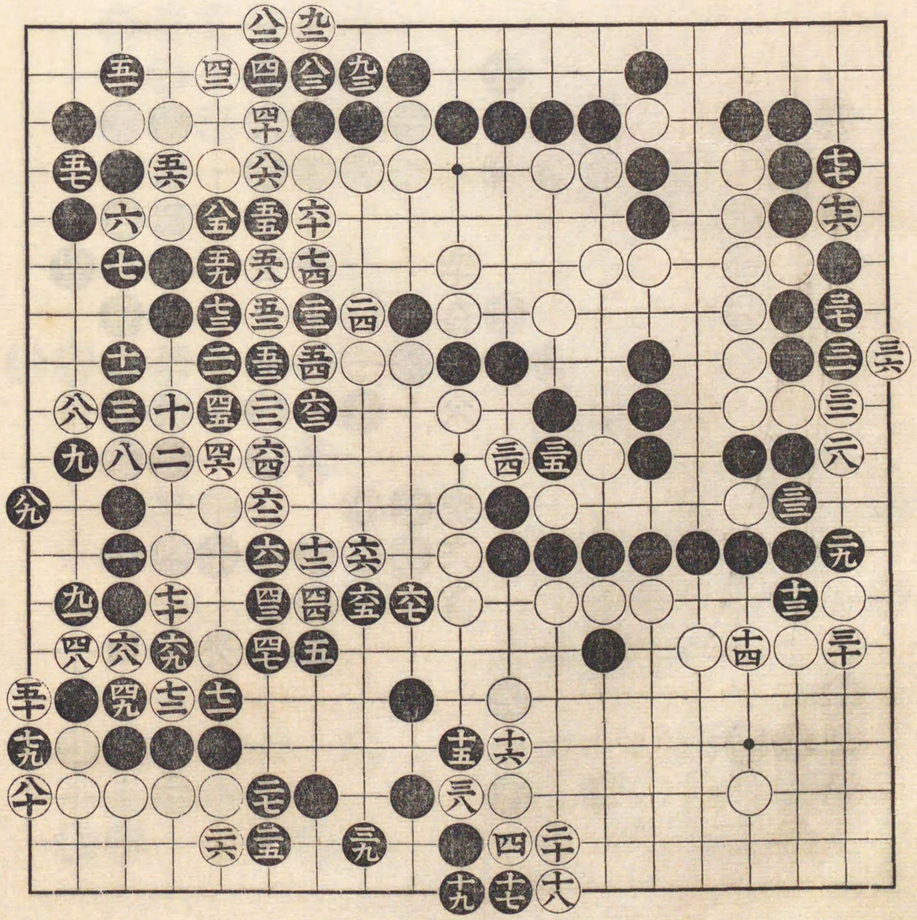
安政巳四年一月廿一日於
和泉九兵衛宅

先番 奈良林倉吉 五段
八目勝 村瀬彌吉

百手迄



九拾四手迄



劫提
同
同
同
同
同
劫粘

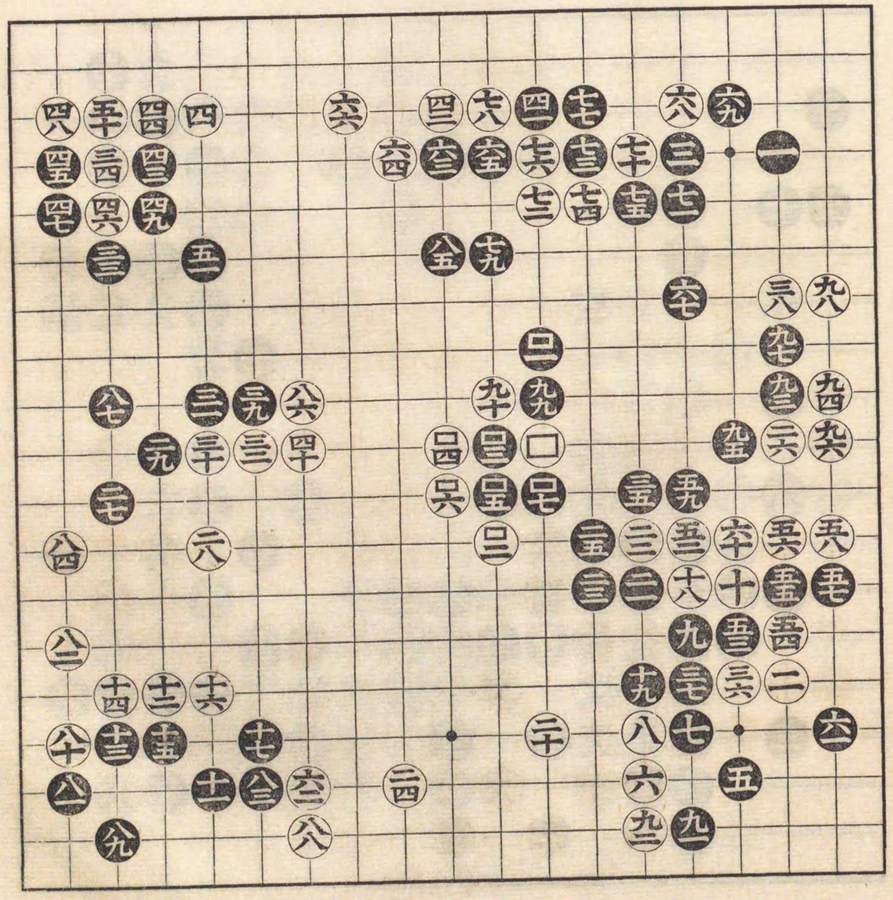
安政巳四年一月廿八日於和泉氏宅

奈良林倉吉

十目勝

先番 村瀨彌吉

百七手迄



安政四年二月二日

中押勝

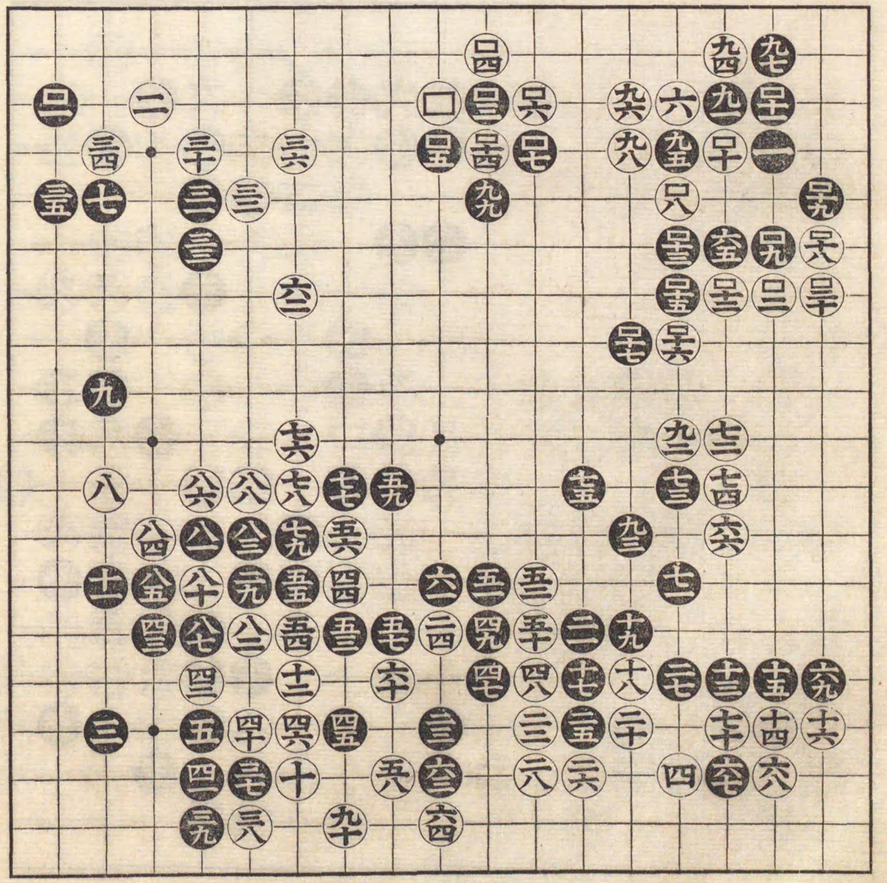
本因坊秀和

先

村瀬彌吉

分 粘

百二拾手迄



安政巳四年二月六日於和泉氏宅

五目勝

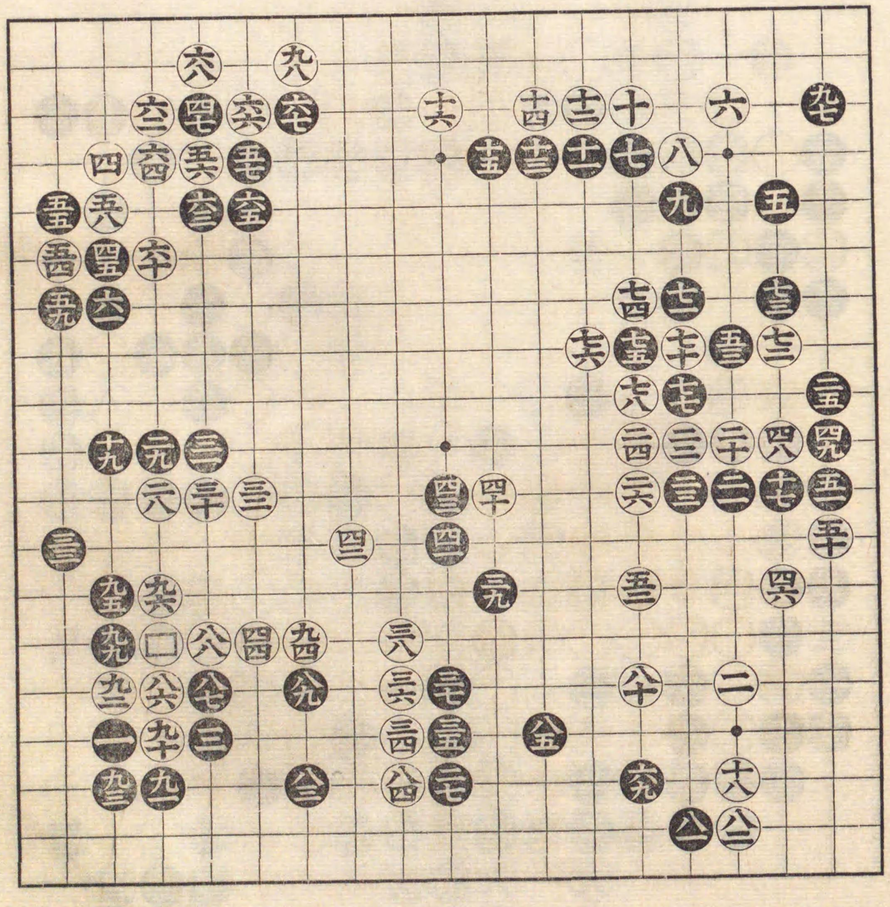
先番

奈良林倉吉

村瀬彌吉

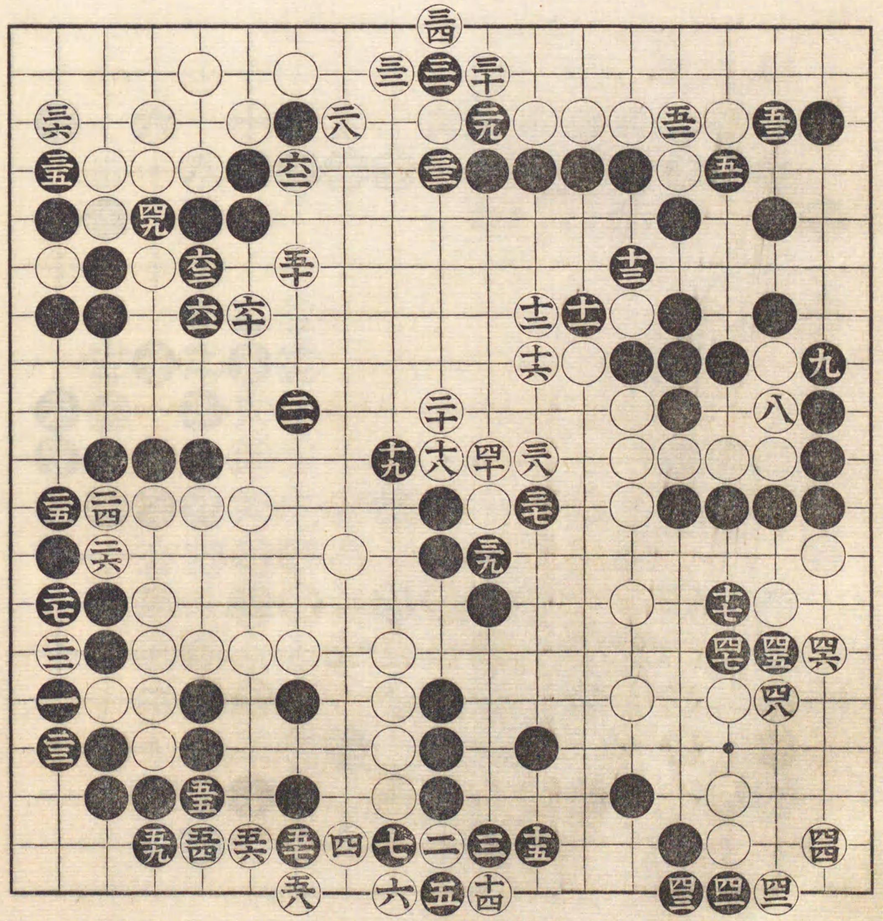
九 粘

百手迄



十 劫提

六拾三手迄



安政巳四年二月十四日於和泉氏宅

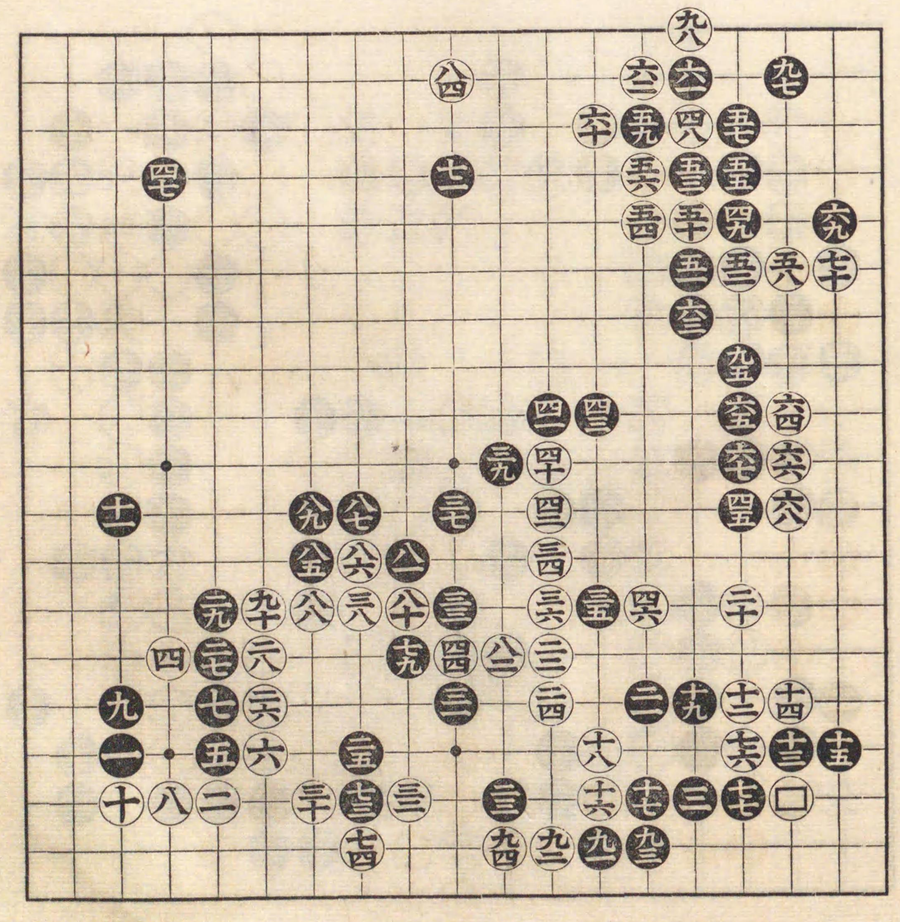
奈良林倉吉

中押勝

先番 村瀨彌吉

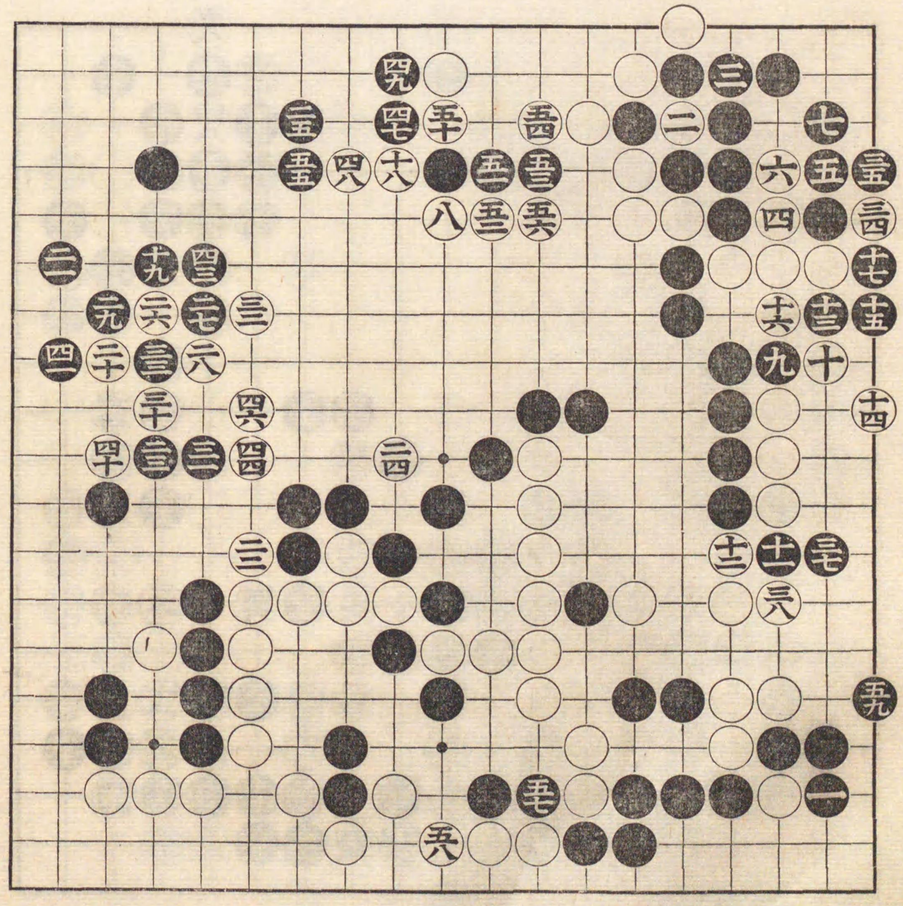
七三 劫提
十五 同
七八 同
八三 同
九六 同
九九 同

百手迄



三六 劫提
二九 同
四三 同
四五 同

五拾九手迄

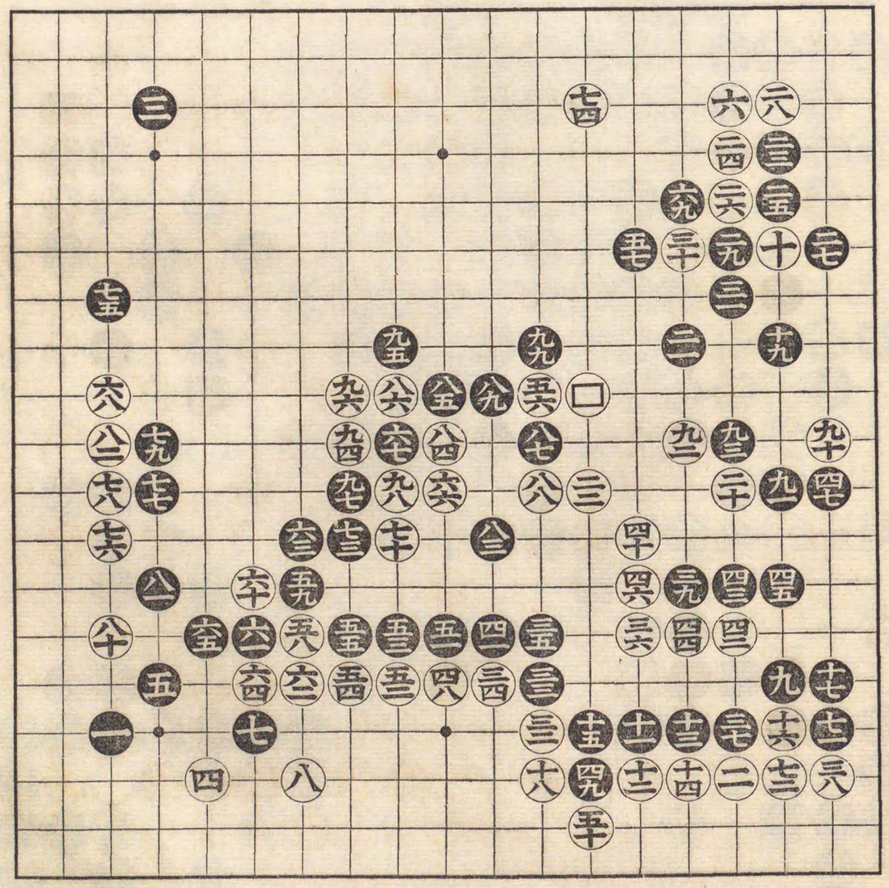


安政巳四年三月六日於和泉氏宅

先番 奈良林倉吉

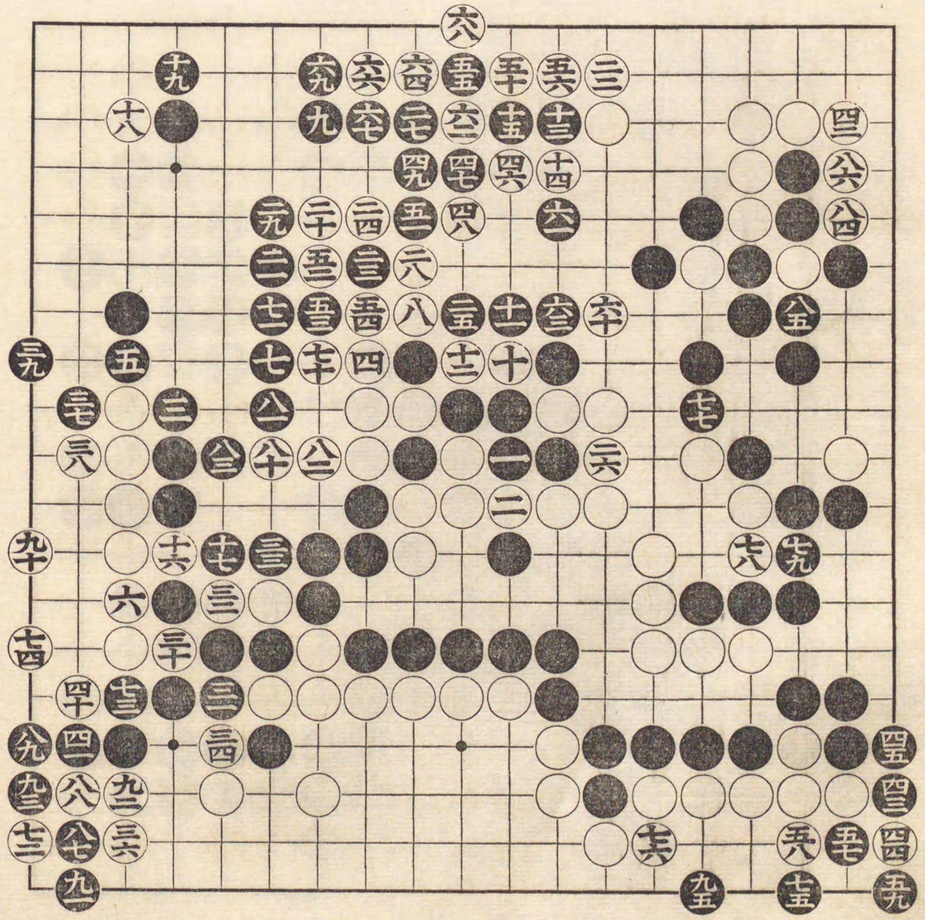
八目勝 村瀨彌吉

百手迄



二五 二目提
六五 十五ノ處
九四 六二ノ處
九六 十三ノ處ニ提

九拾六手迄

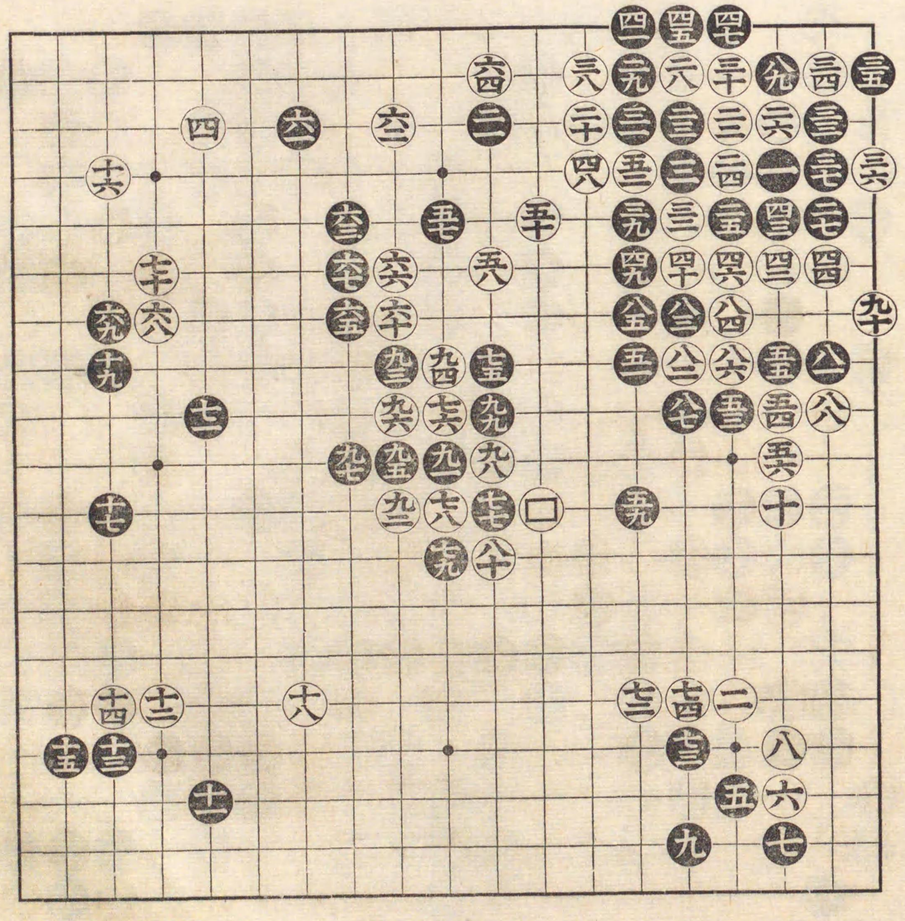


安政巳四年三月十四日於和泉氏

一目勝 奈良林倉吉

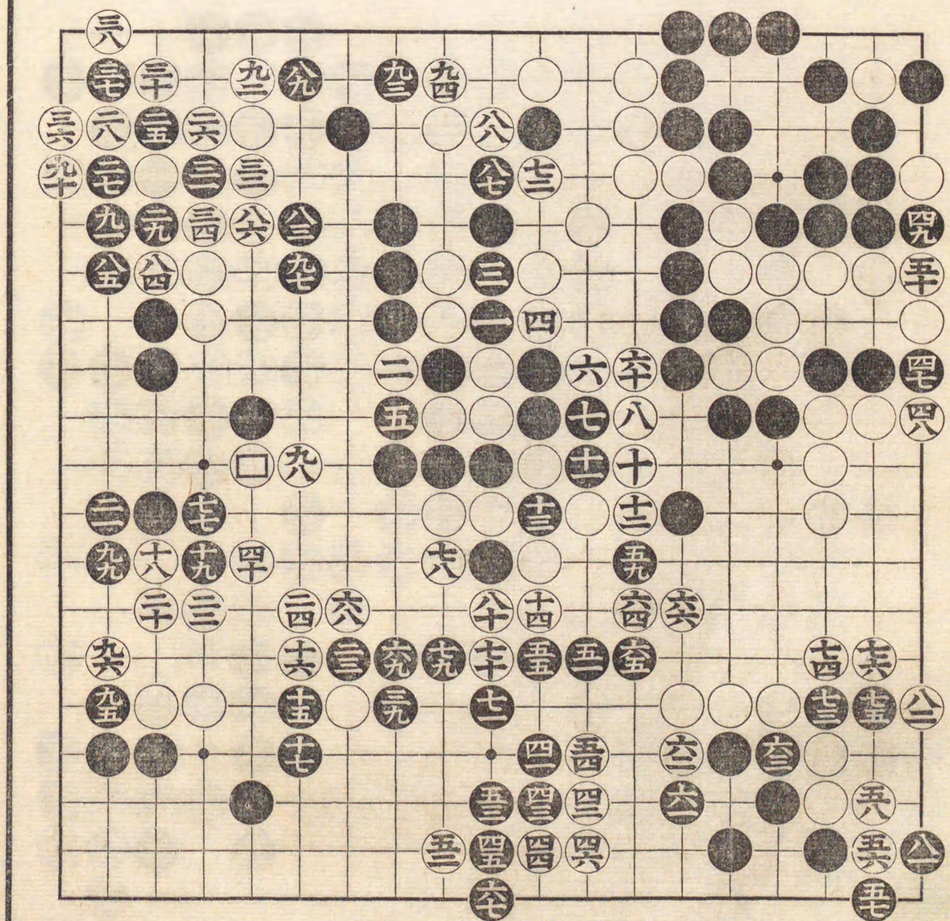
先番 村瀨彌吉

百手迄

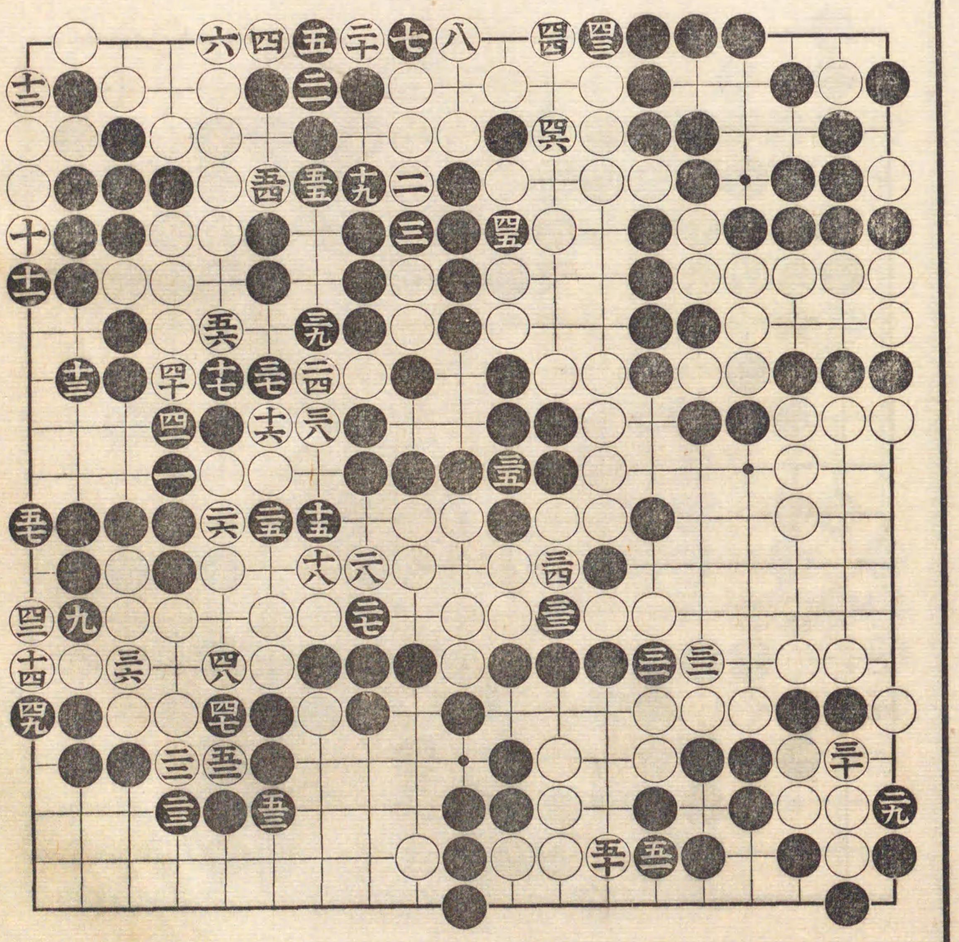


百手迄

九 三目提
三 劫提
五 劫粘



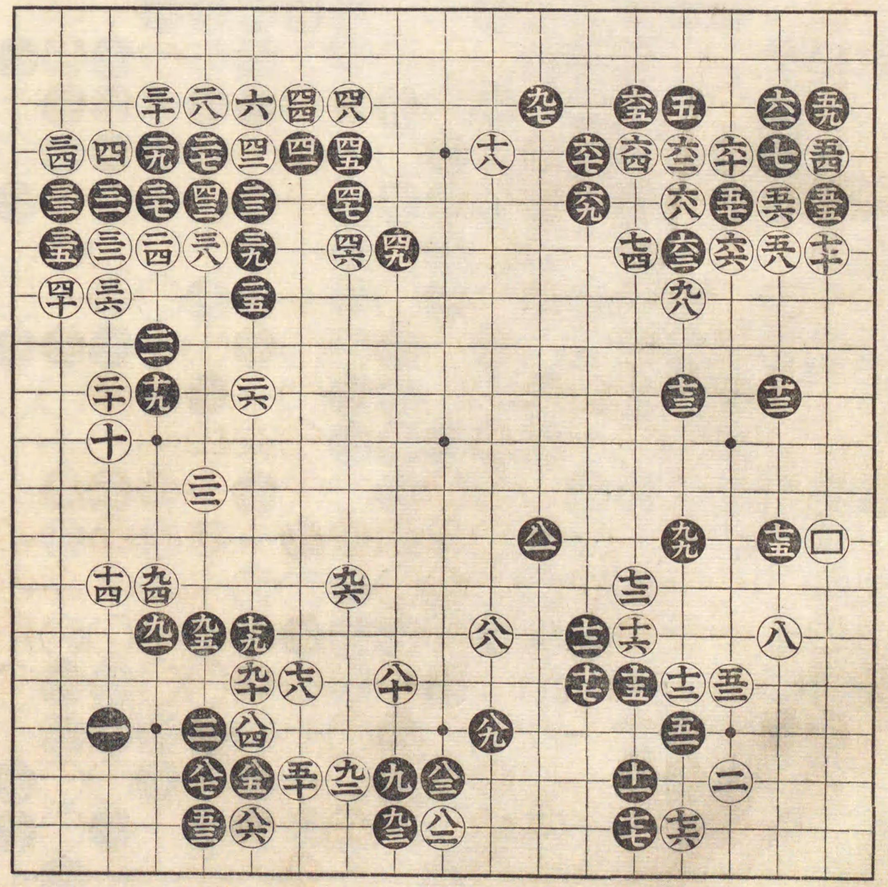
五拾七手迄



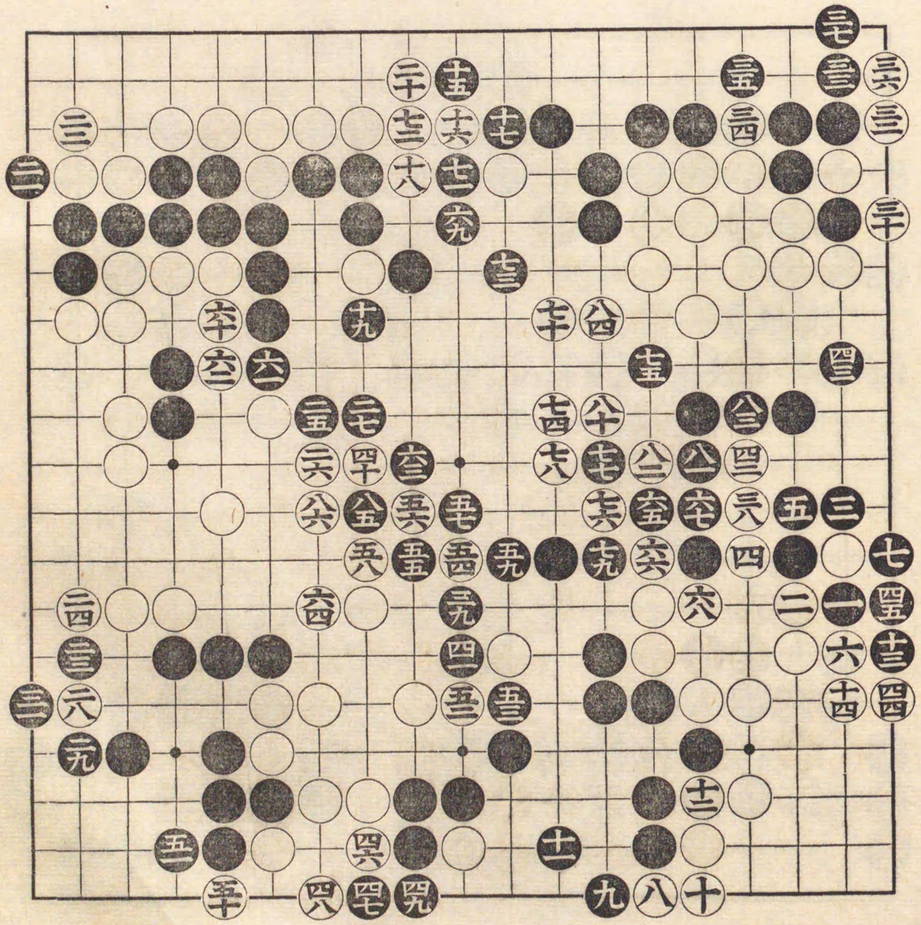
安政巳四年三月廿一日於
和泉氏宅

先番 奈良林倉吉
一目勝 村瀬彌吉

百手迄



八拾六手迄



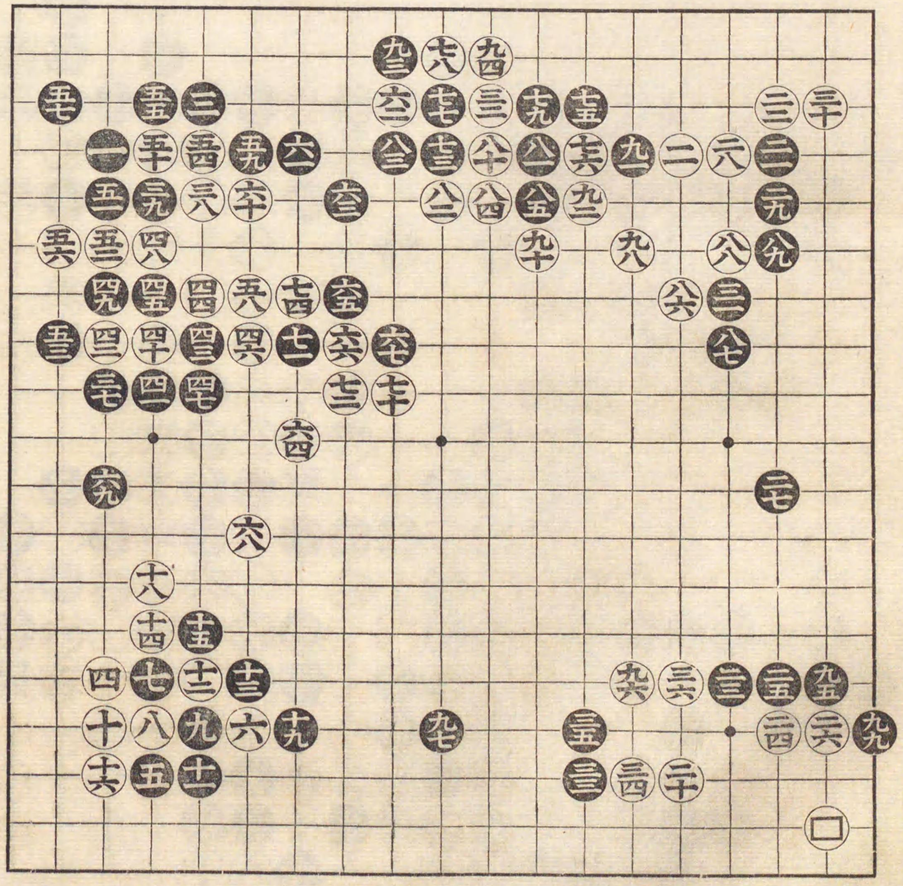
安政巳四年三月廿七日於
和泉氏宅

奈良林倉吉

六目勝
相先四番勝越
先番

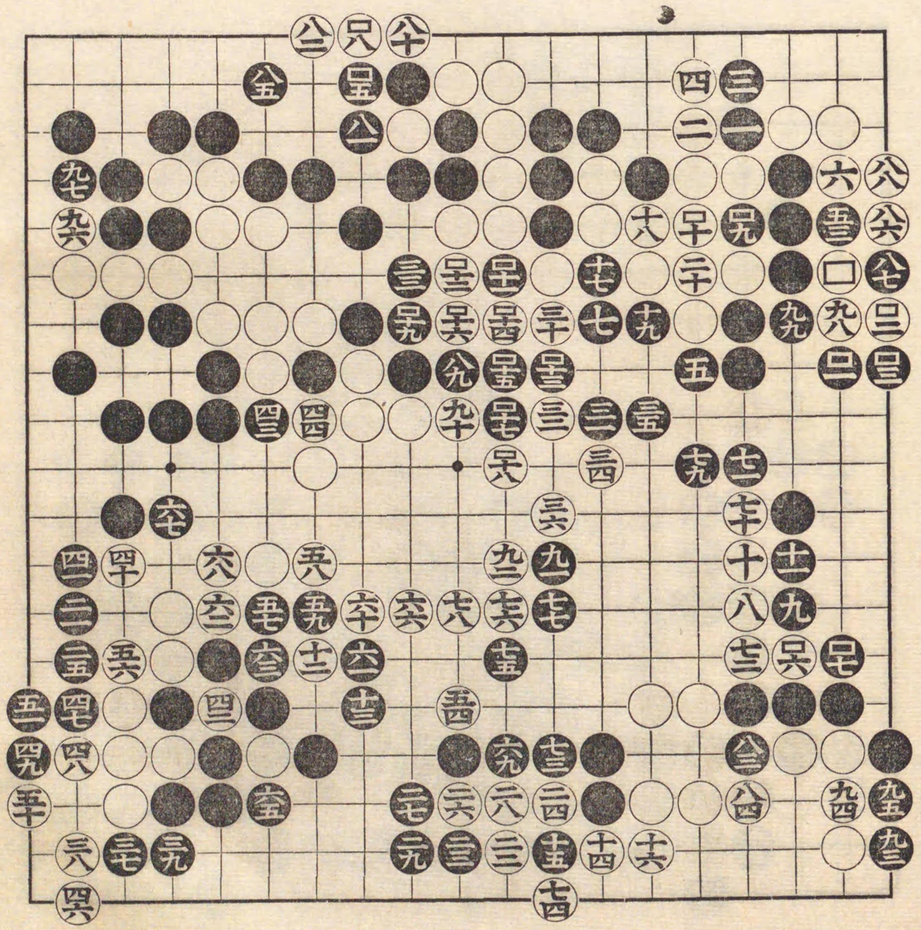
村瀬彌吉

百手迄



七 劫提

百十九手迄



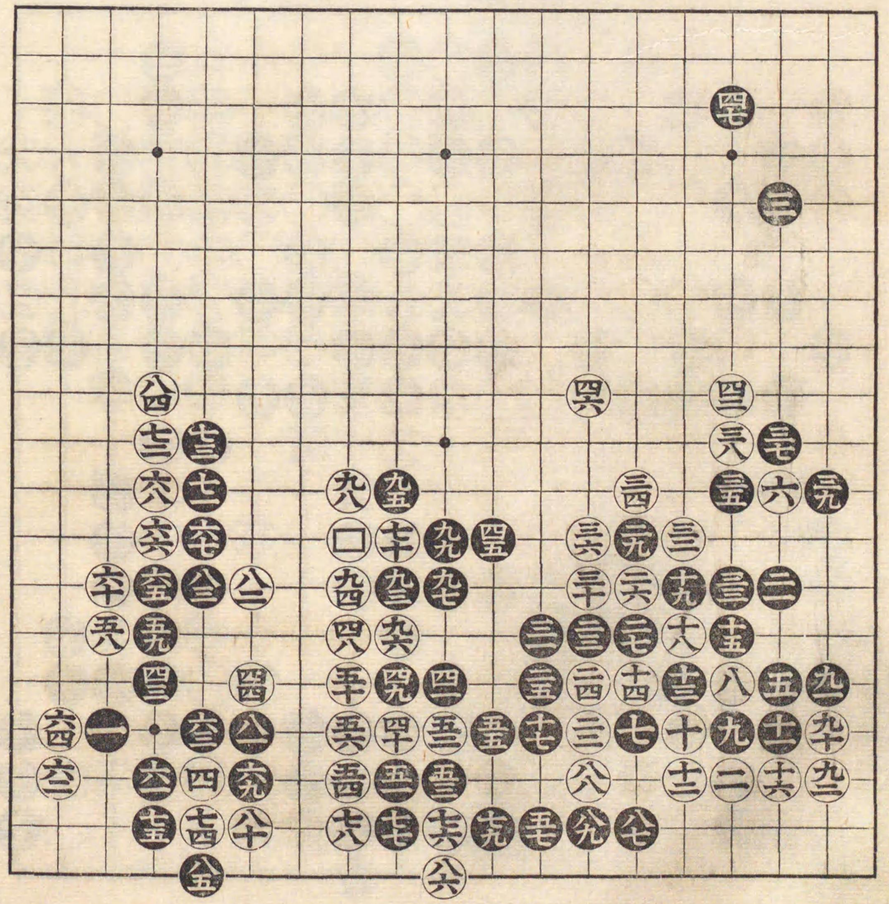
四五 劫取
五三 同
五五 同
六四 同
四四 粘

安政四年三月廿八日於和泉氏

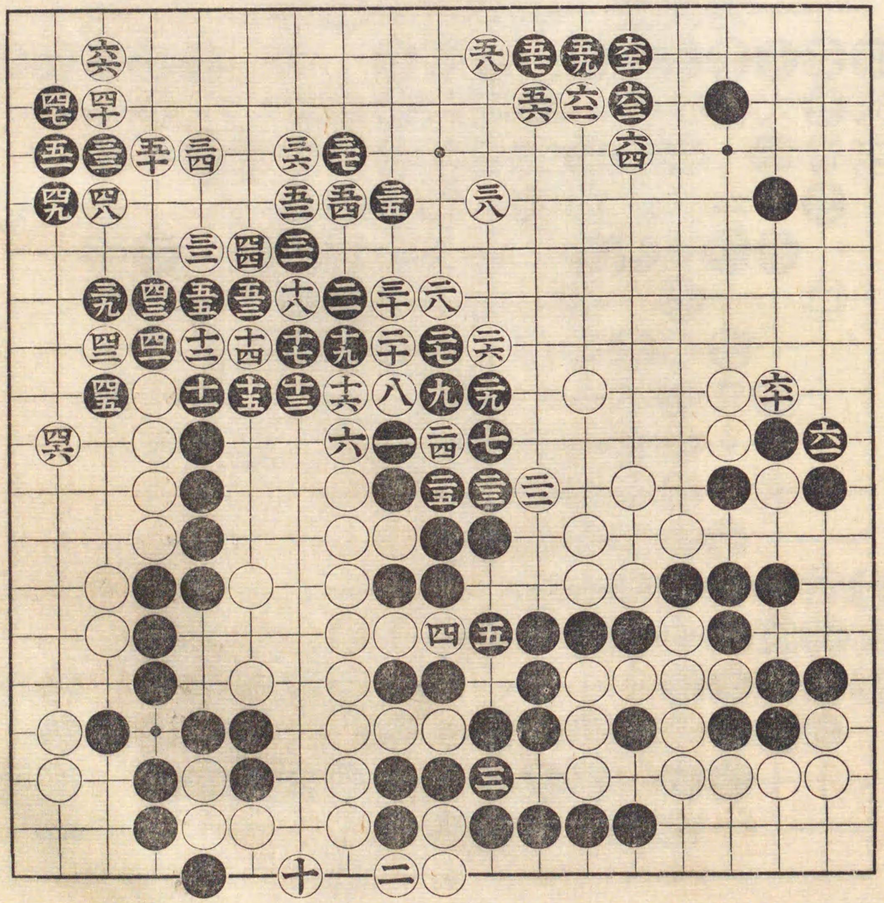
先々先
先番 奈良林倉吉
中押勝
村瀬彌吉

㊀ 劫提
㊁ 劫粘

百手迄



六十六手迄

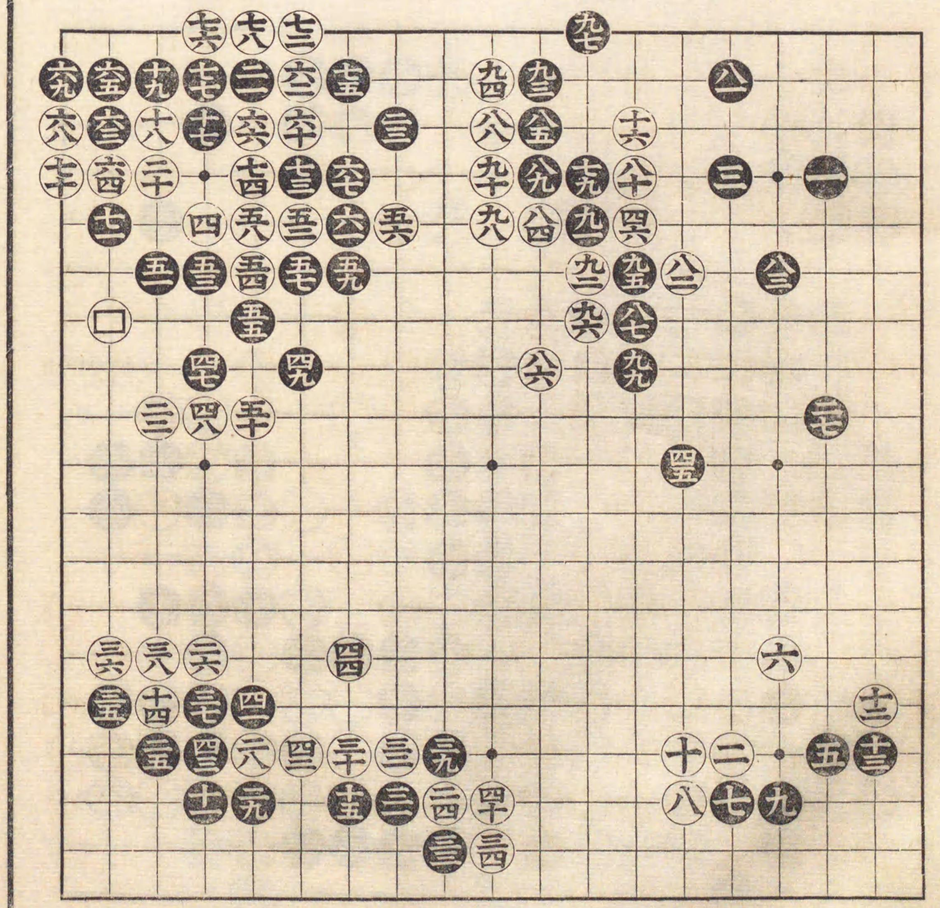


安政四年閏五月六日於上野

四目勝　鶴岡三郎助

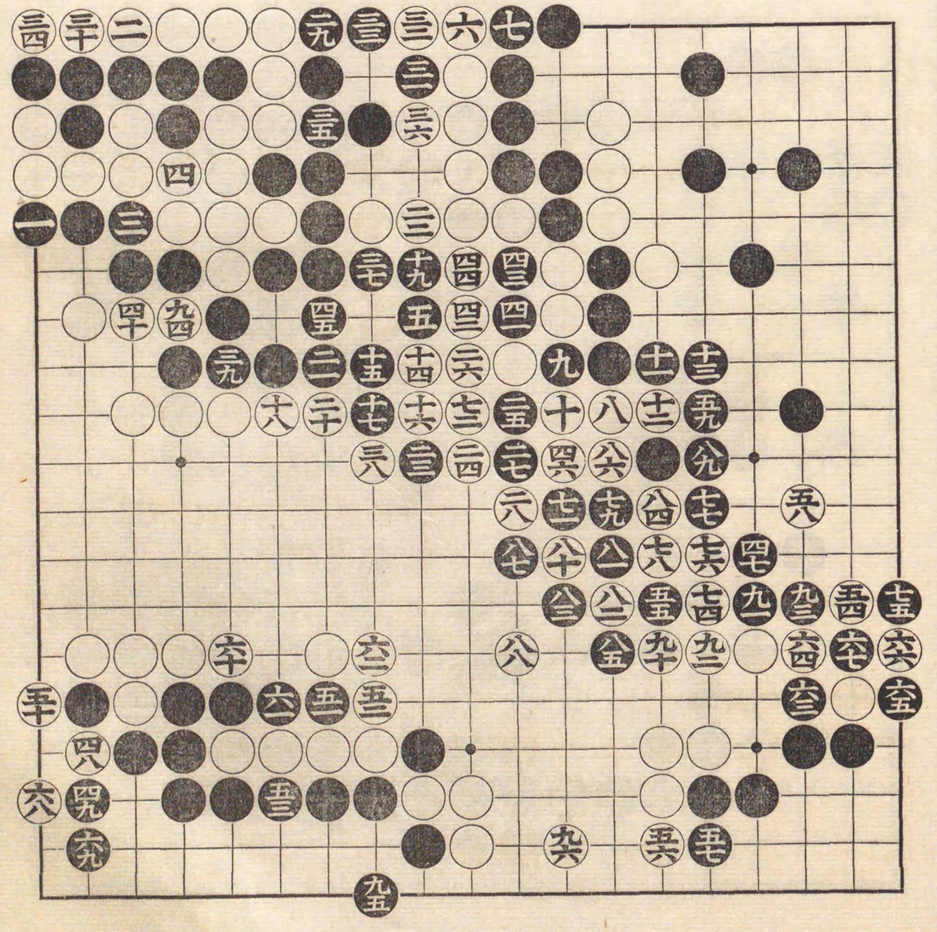
先番　村瀬彌吉

百手迄



九十六手迄

十九　見損也
七十　劫提
七三　同



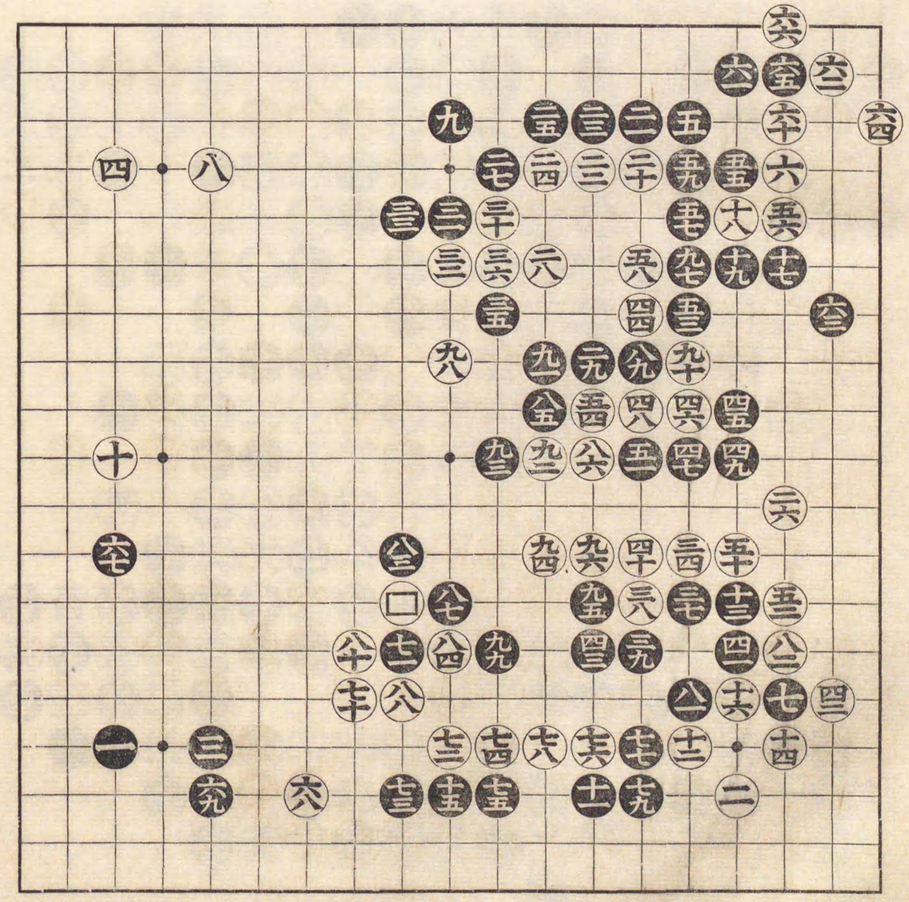
安政四巳年五月八日於和泉宅

六目勝

先番 奈良林倉吉

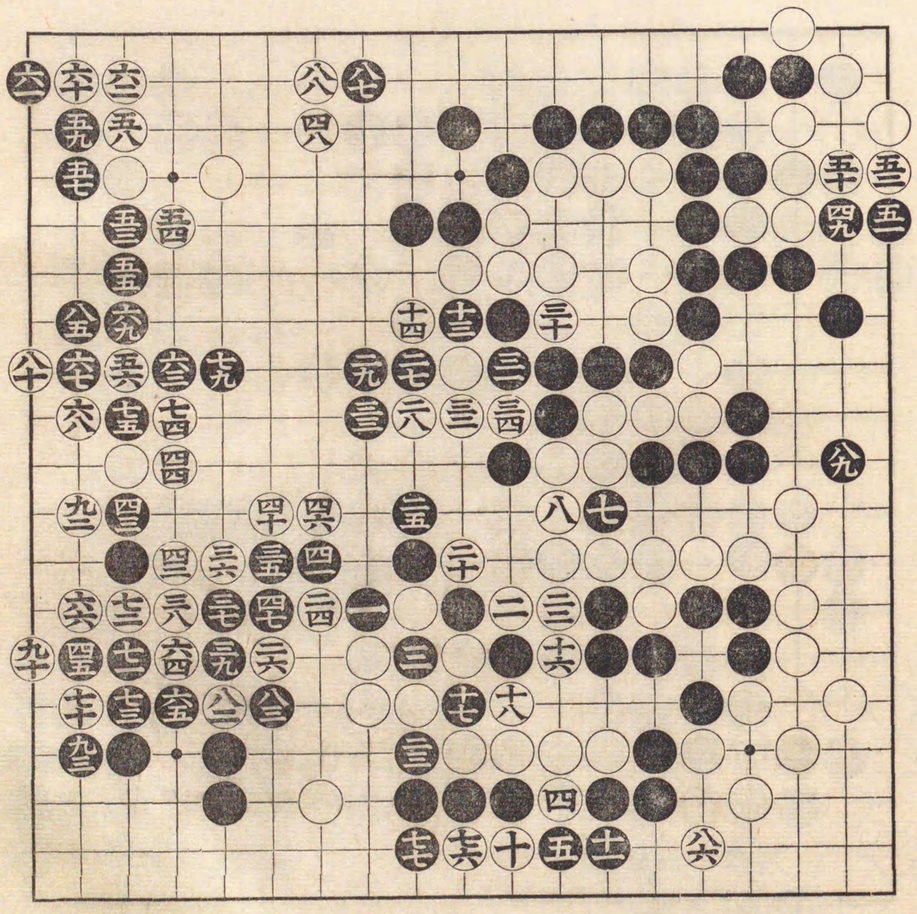
村瀬彌吉

百手迄



九拾三手迄

六 劫提
九 同
十三 同
十五 同
十九 粘
二一 粘
十七 劫提
八 同
四 同
九 劫提



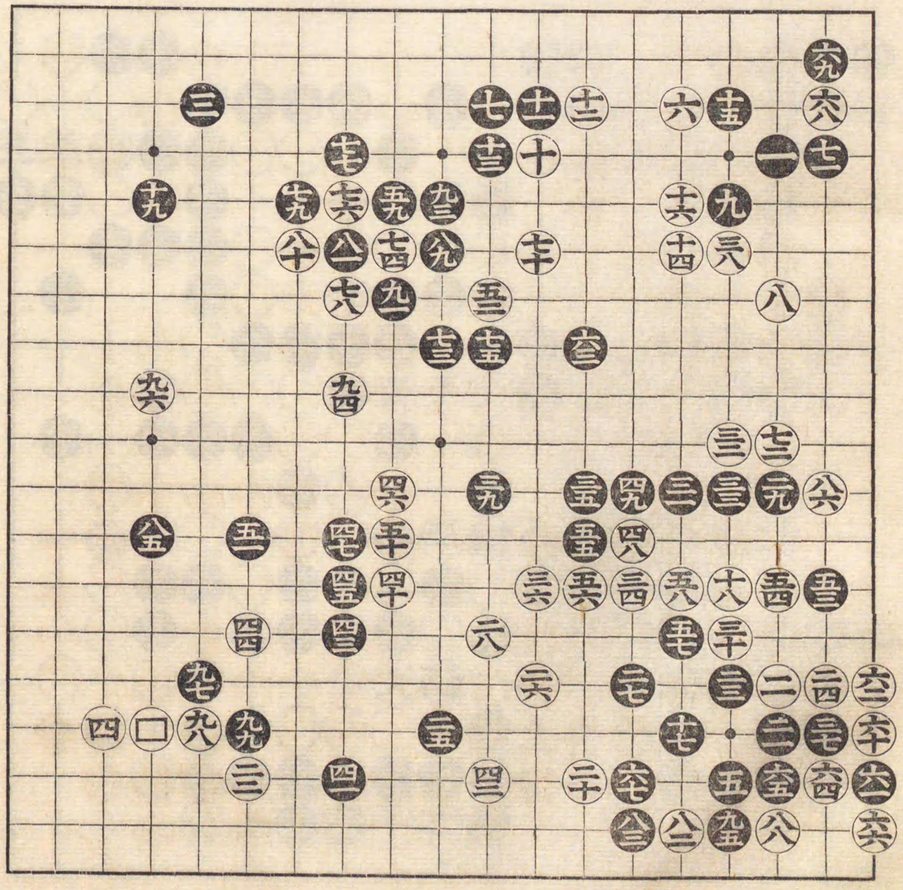
安政四年閏五月十七日於
鶴岡氏

勝 **鶴岡三郎助**

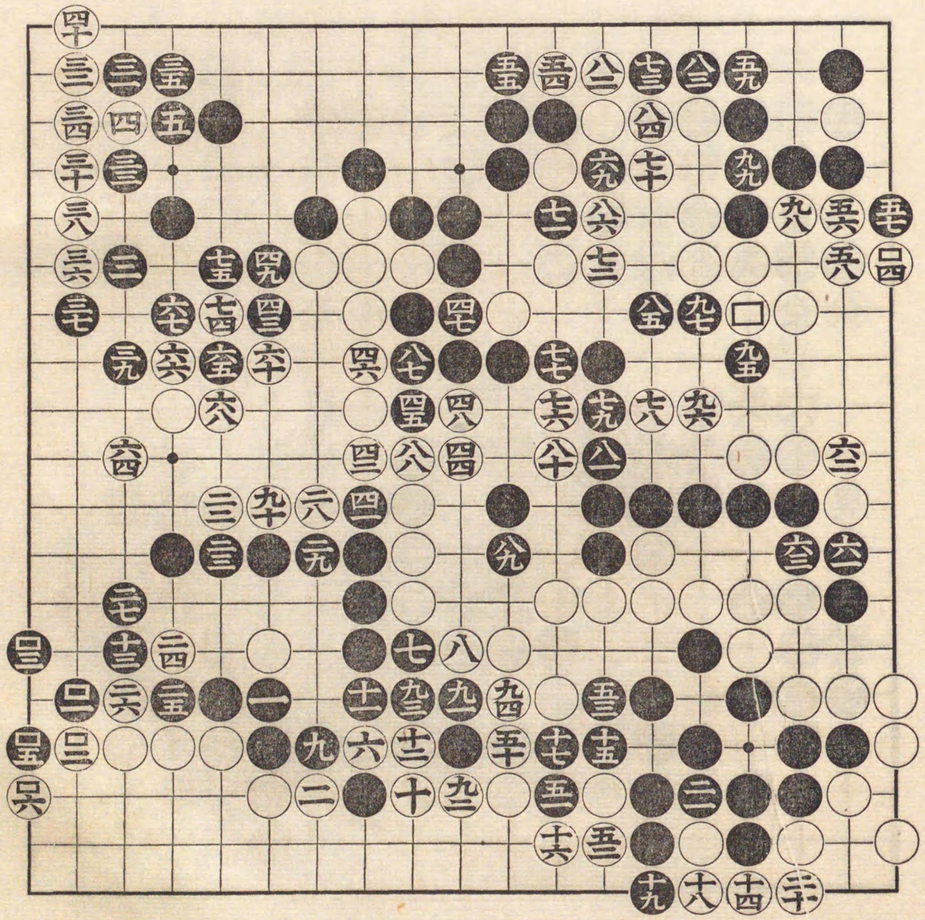
五番目
先番 **村瀨彌吉**

八四 劫提
八七 同
九十 同
九二 粘

百手迄



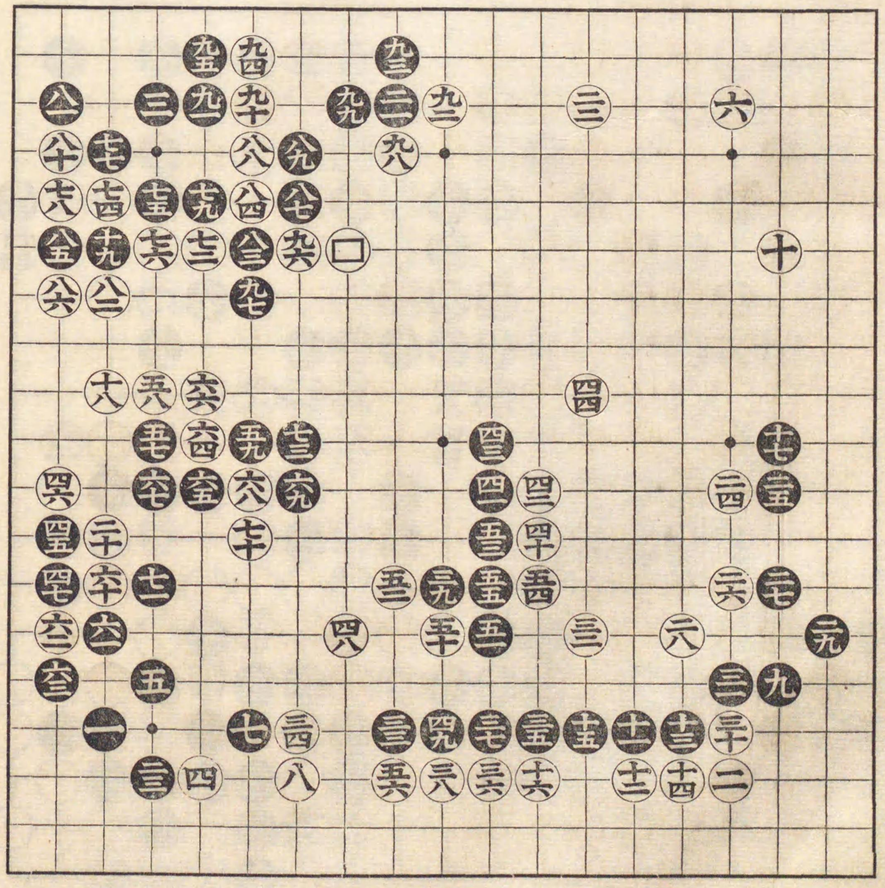
百六手迄



安政四年閏五月廿一日於上野

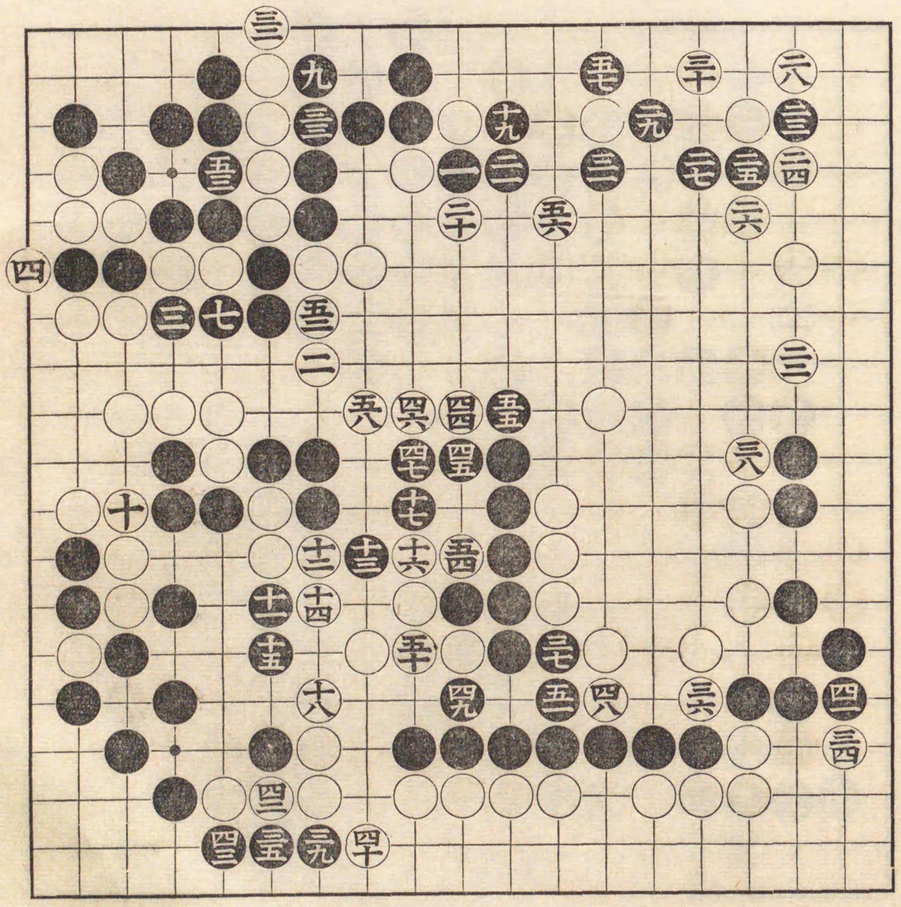
先番 鶴岡三郎助
中押勝 村瀬彌吉

百手迄



五拾八手迄

五 打カク
六 提
八 粘



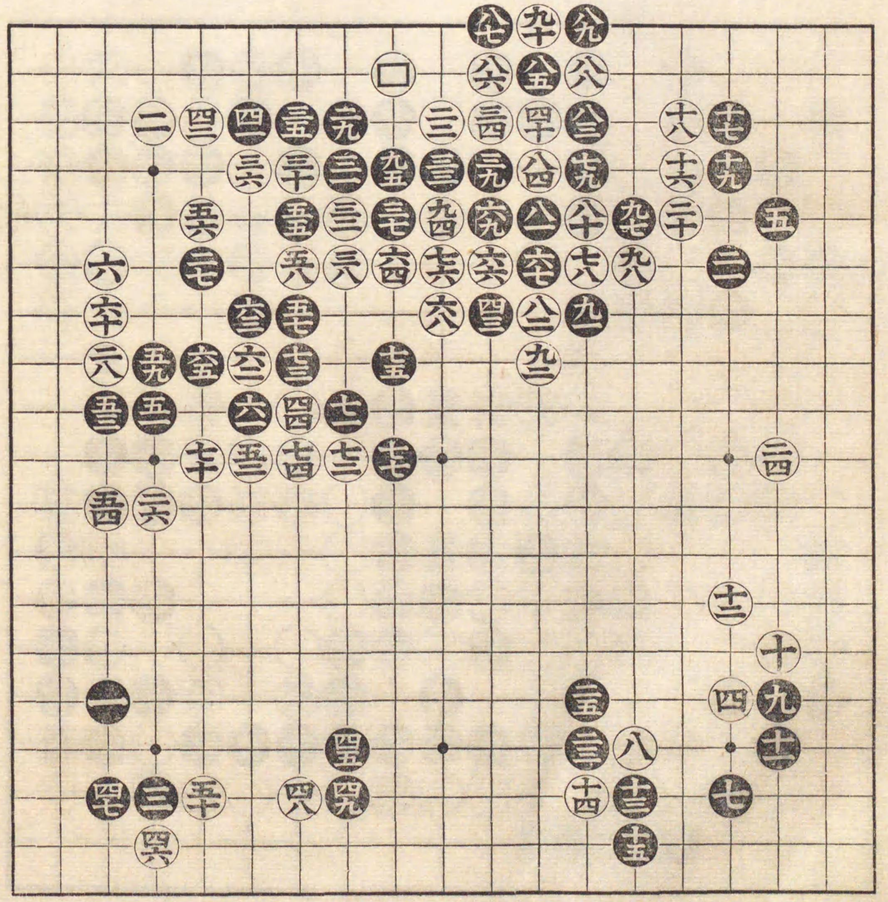
安政四年五月廿二日於上野大慈院殿

先番 鶴岡三郎助

中押勝 村瀬彌吉

九一 劫
九六 同
九九 同

百手迄



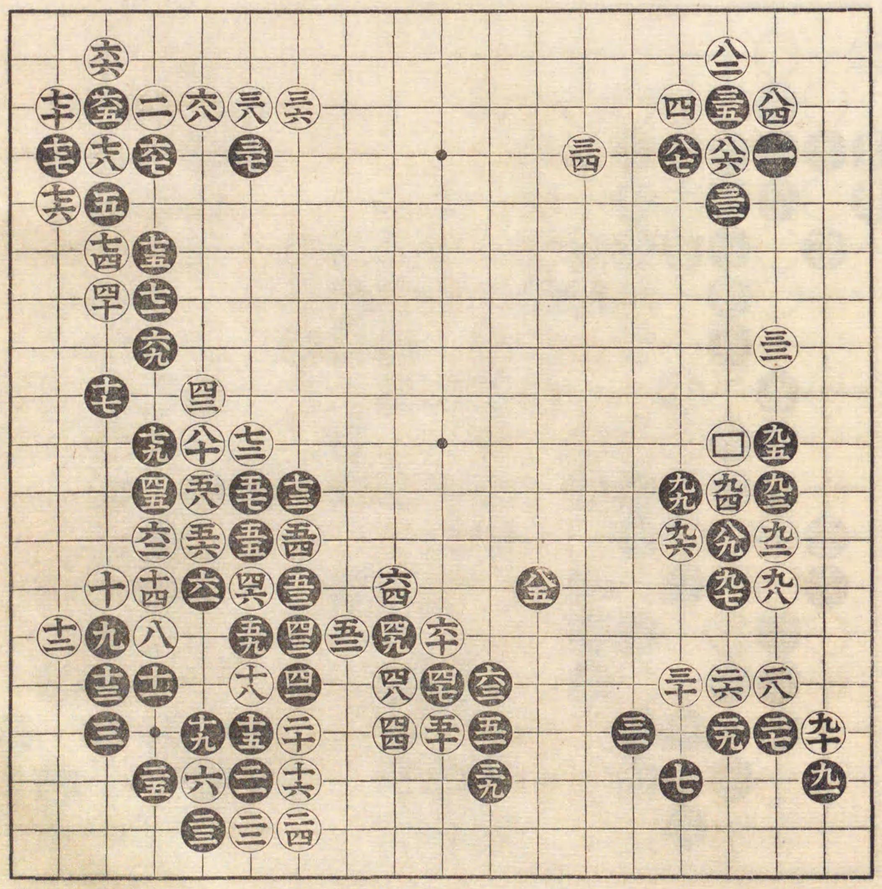
安政四年五月晦日於上野

先番 服部一

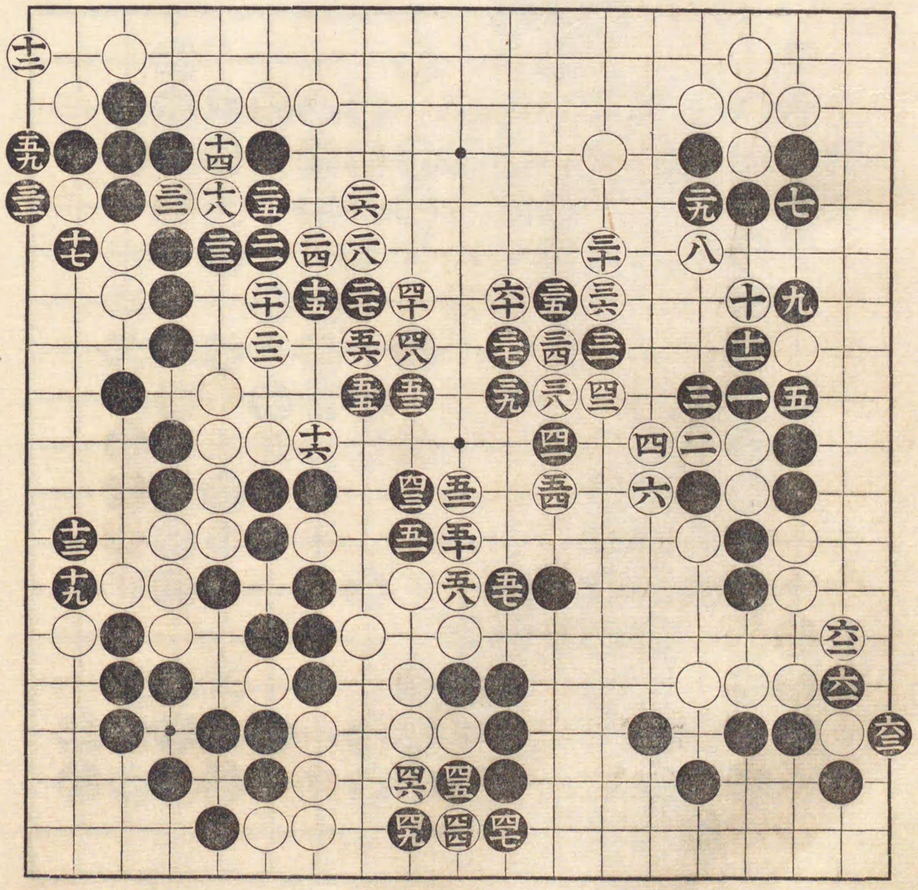
七目勝 村瀬彌吉

八一 劫提
八三 粘
八八 同

百手迄



六拾三手迄

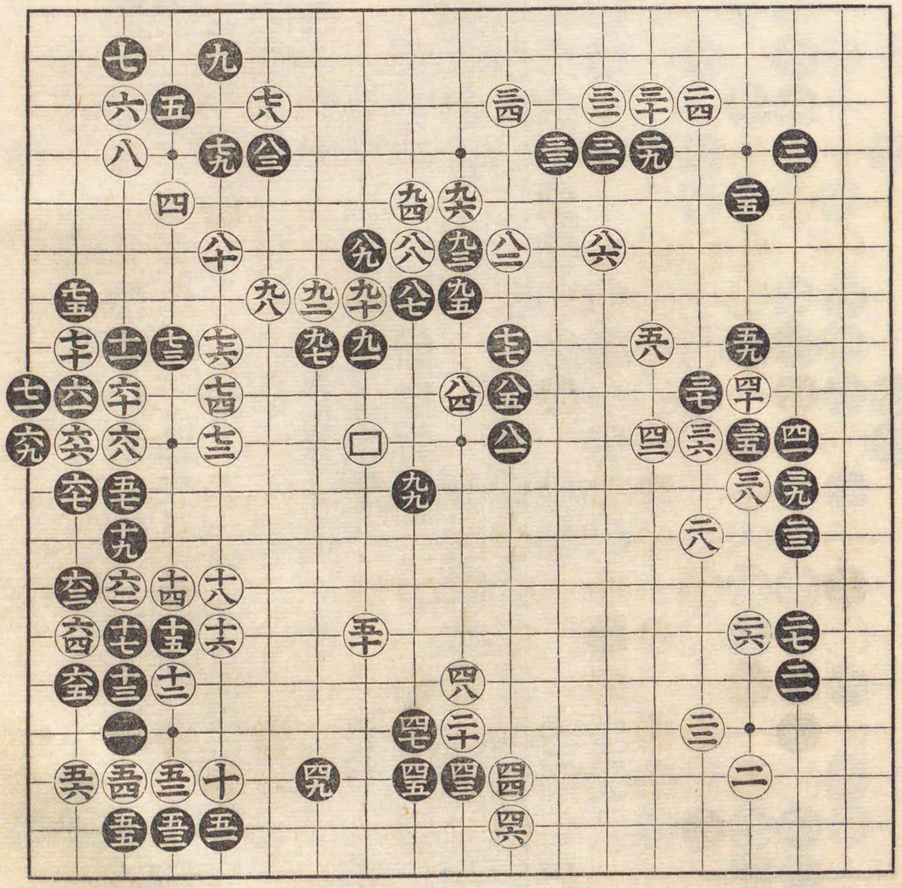


安政四年閏五月十日於大慈院

先番 服部一 三目勝

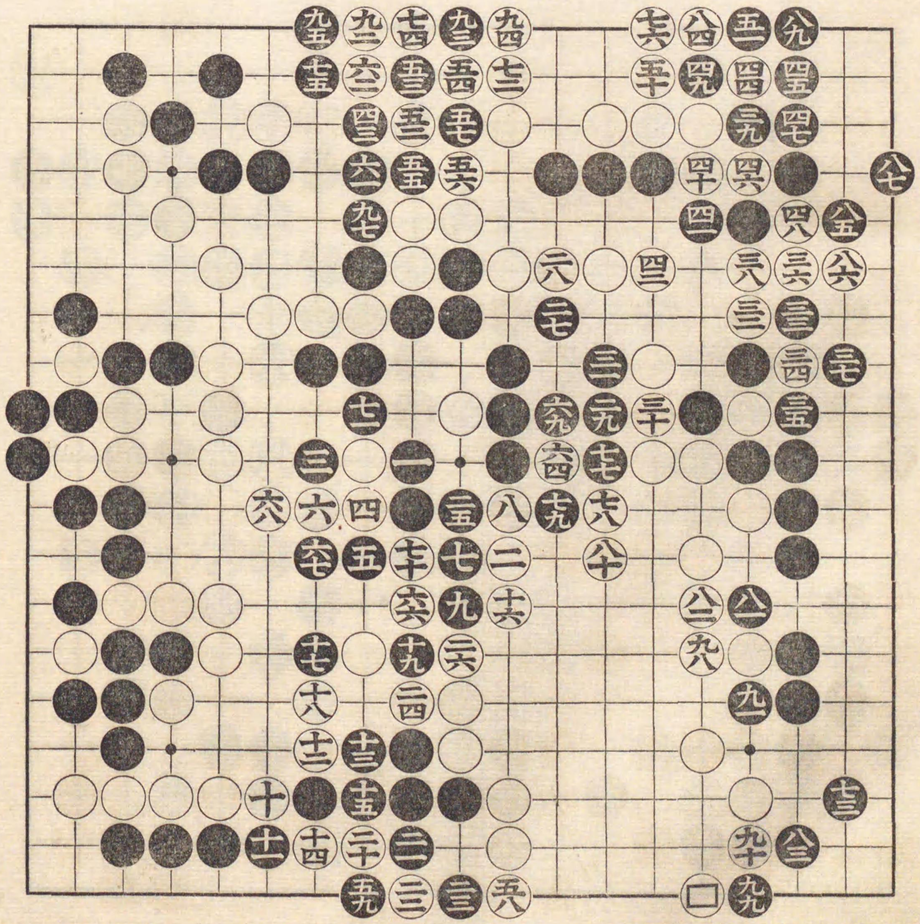
村瀬彌吉

百手迄

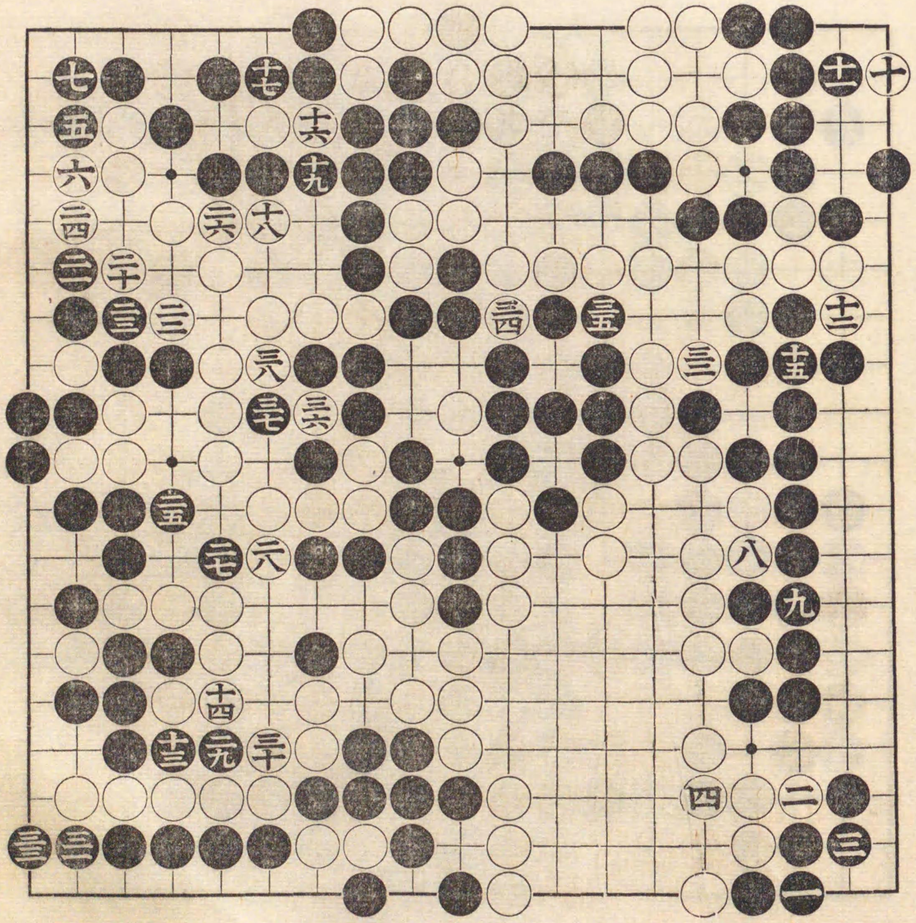


百手迄

六十 劫提
六三 同
六五 劫粘
八八 劫提
九六 粘



三拾八手迄



安政四年丁巳閏五月十五日於上野大慈院殿

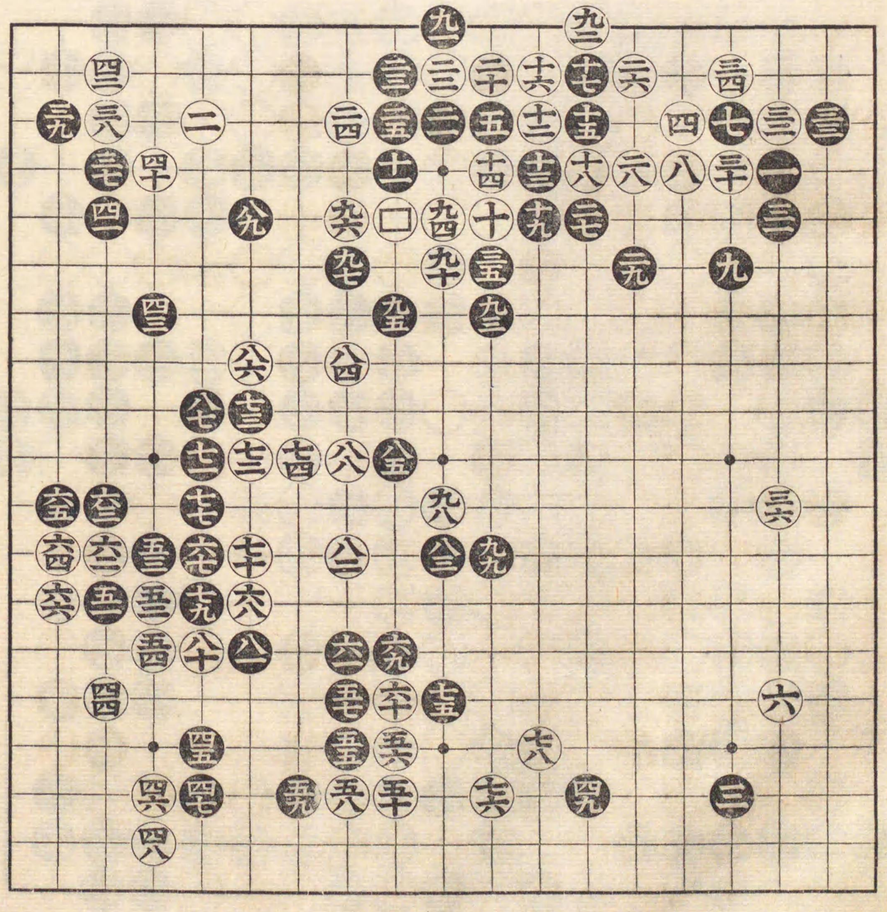
服部一

一目勝

先番 **村瀬彌吉**

服部氏當時六段後七段ニ進ミ正徹ト改ム

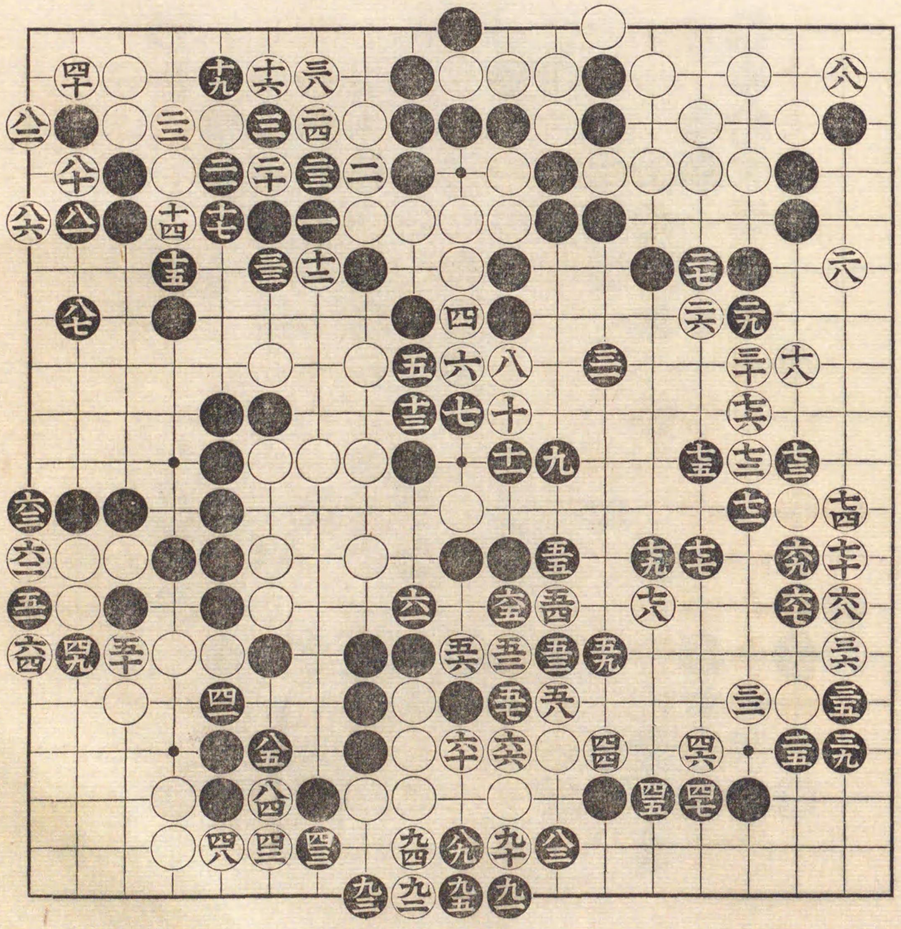
百手迄



(三四)劫提

(三七)同

九拾五手迄

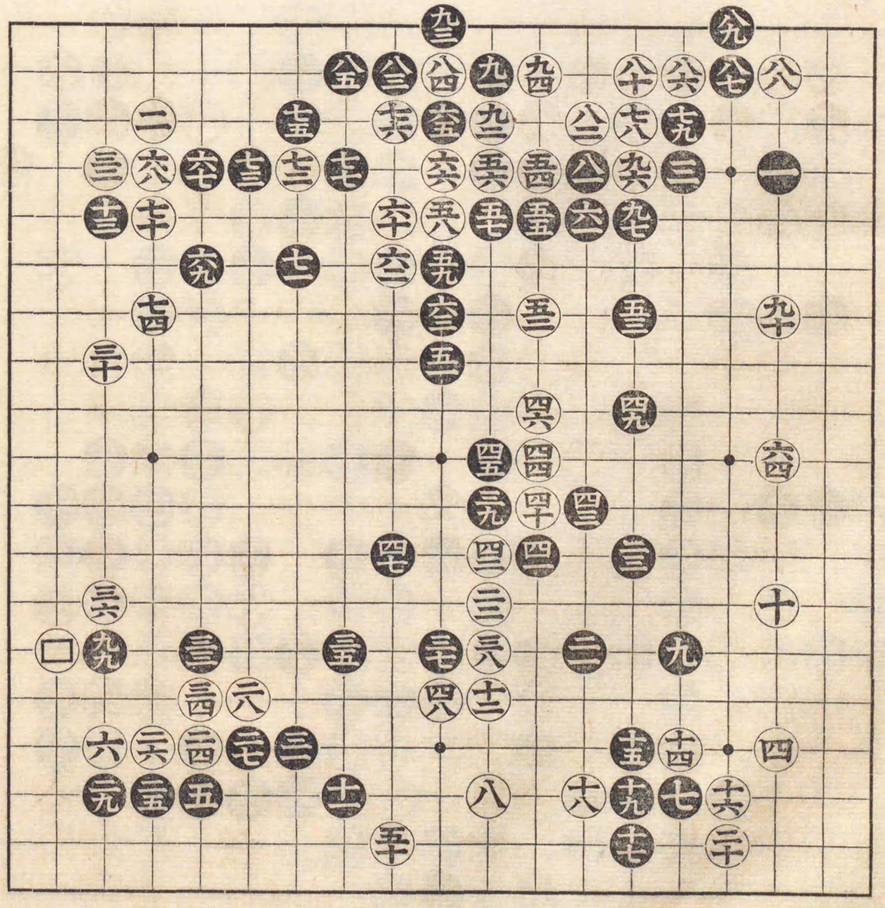


安政四年五月廿七日十番
碁初番於上野大慈院殿

十一目勝
服部一
拾番碁初番
先番 **村瀨彌吉**

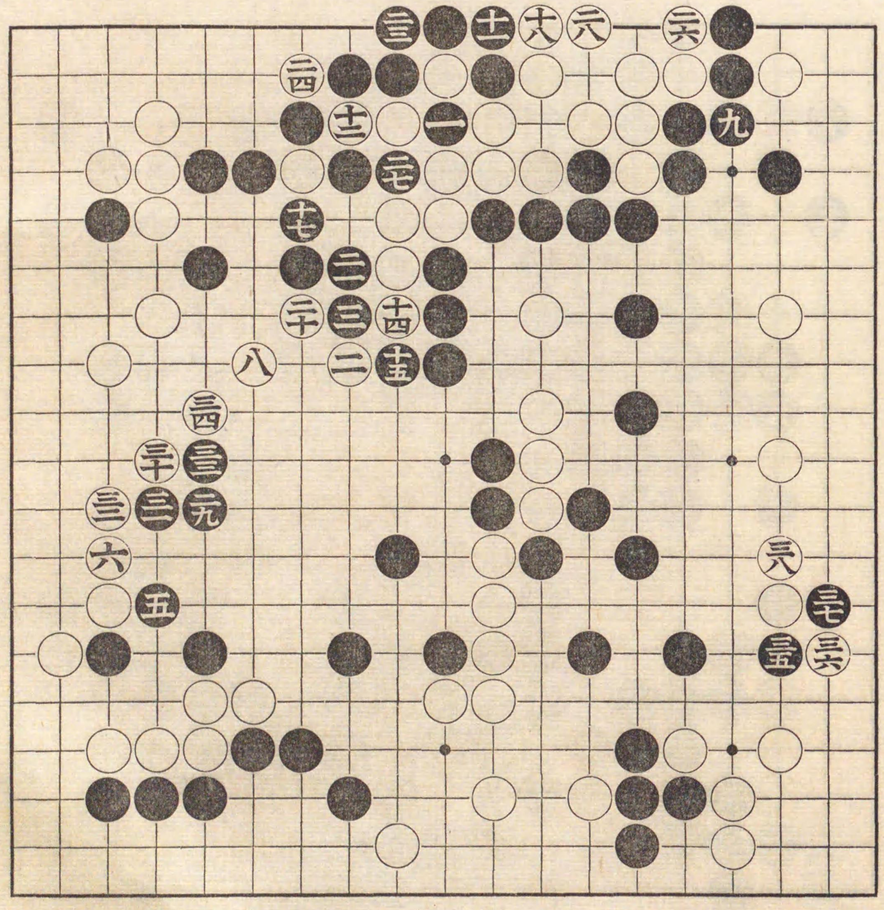
九五 劫提
九八 同

百手迄



四 劫取
七 同
十 同
十二 同
十六 同
十九 同
三 同
二五 同

三拾八手迄

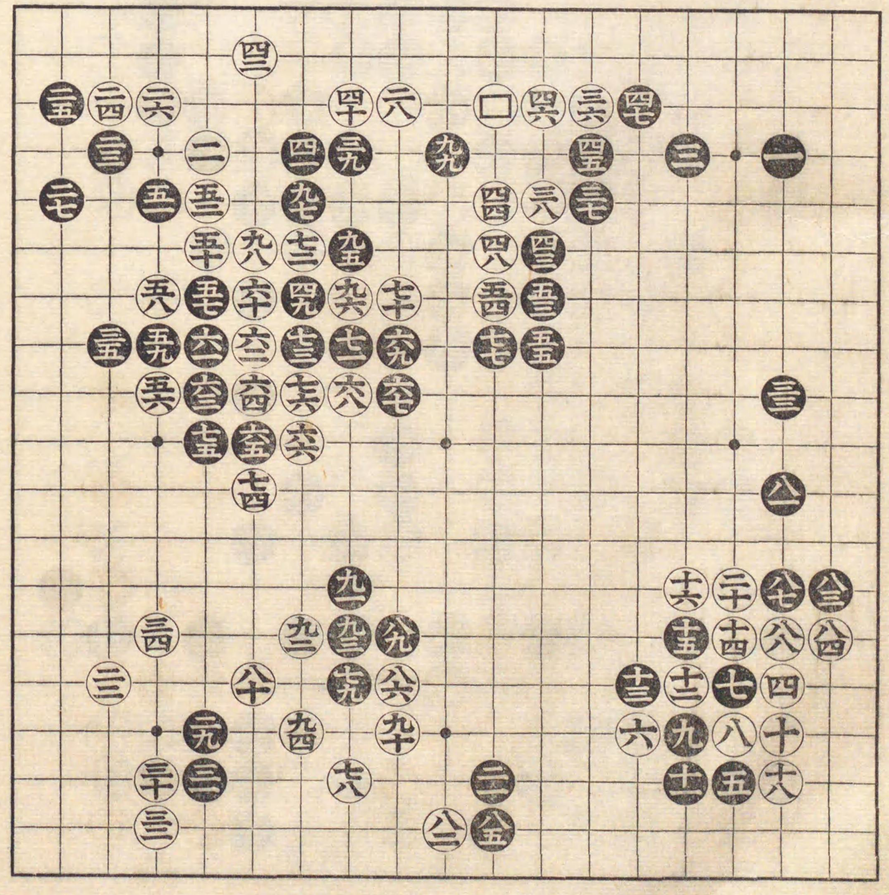


安政四年六月二日

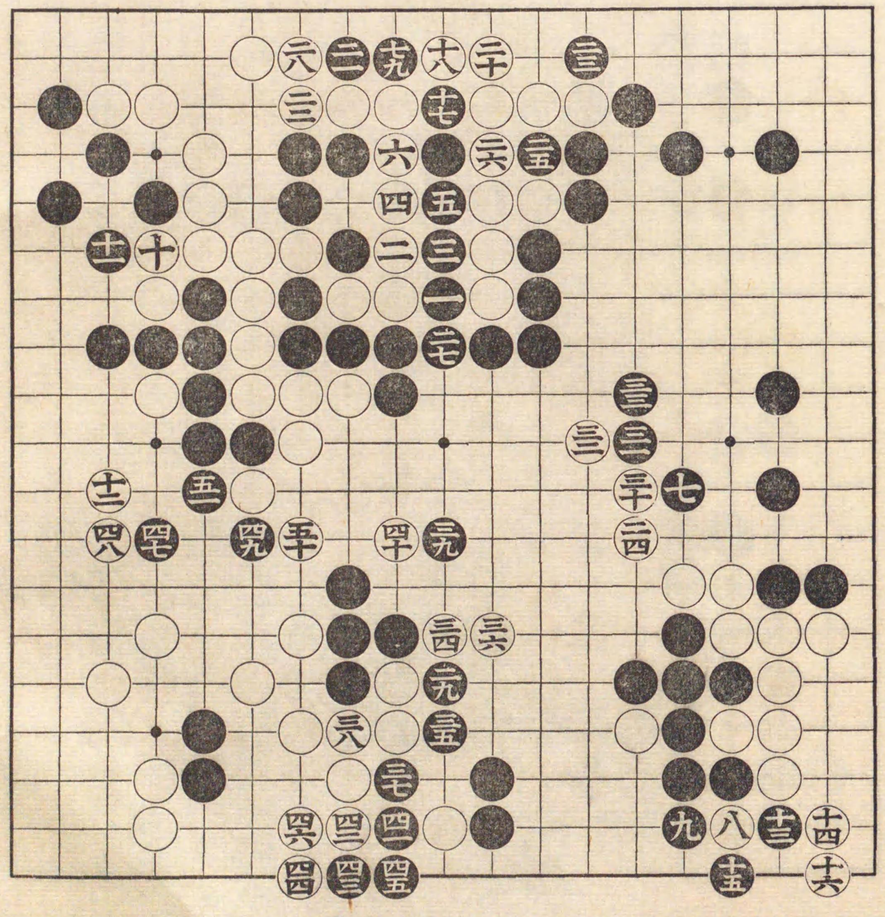
鶴岡三郎助
中押勝
先番
村瀬彌吉

七 劫提
十九 粘

百手迄



五拾一手迄



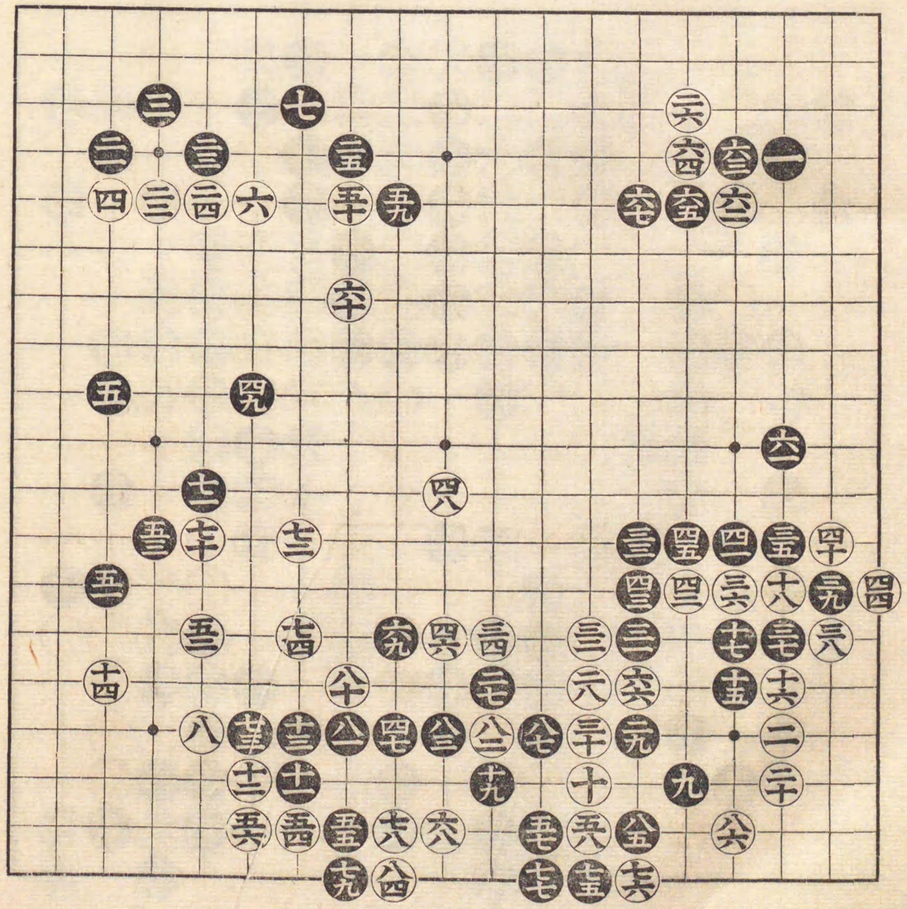
安政四年六月二日

鶴岡三郎助

中押勝

先番 村瀨彌吉

八拾七手迄



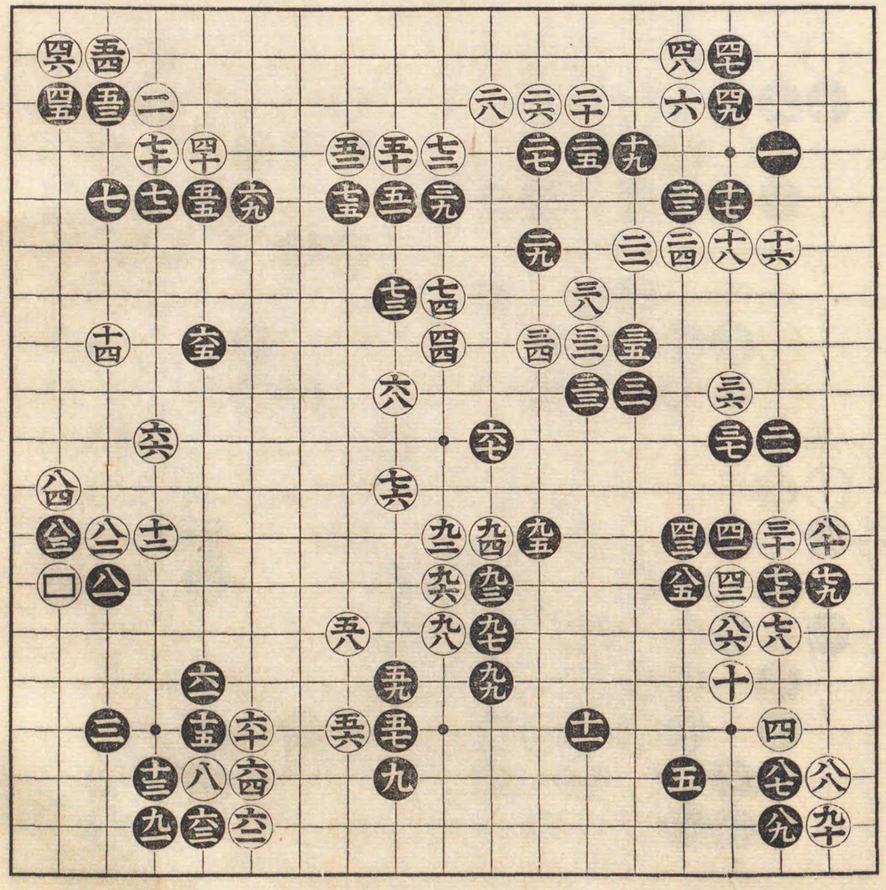
安政四年六月六日

鶴岡三郎助

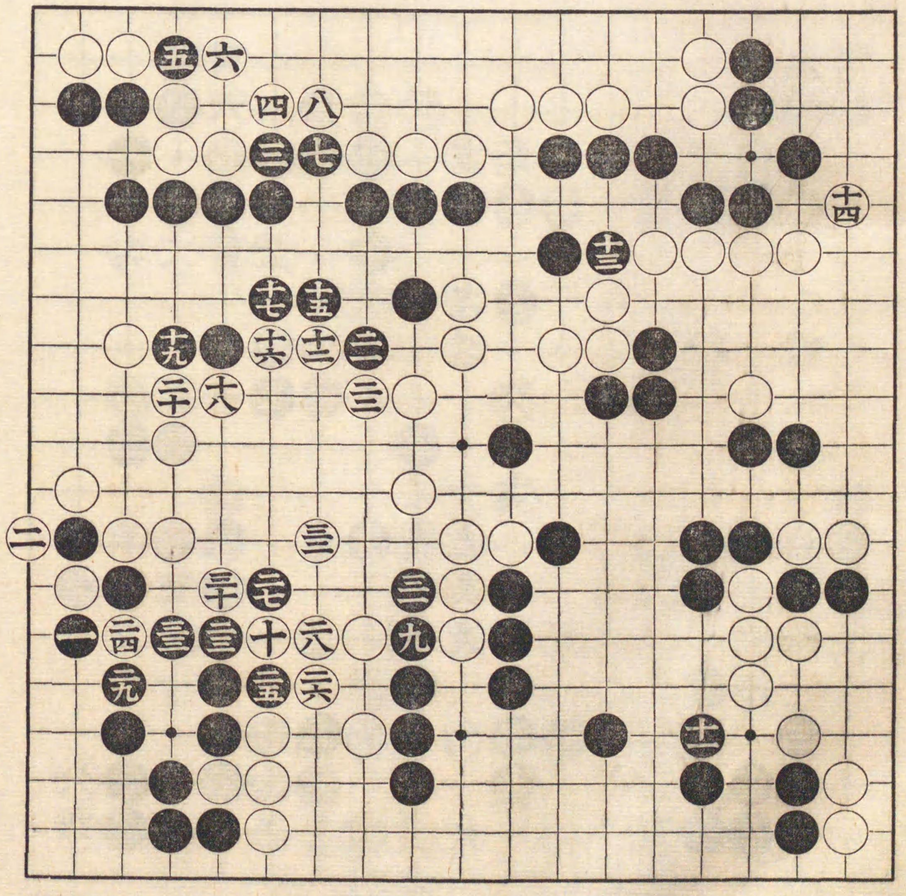
六目勝

先番 村瀨彌吉

百手迄



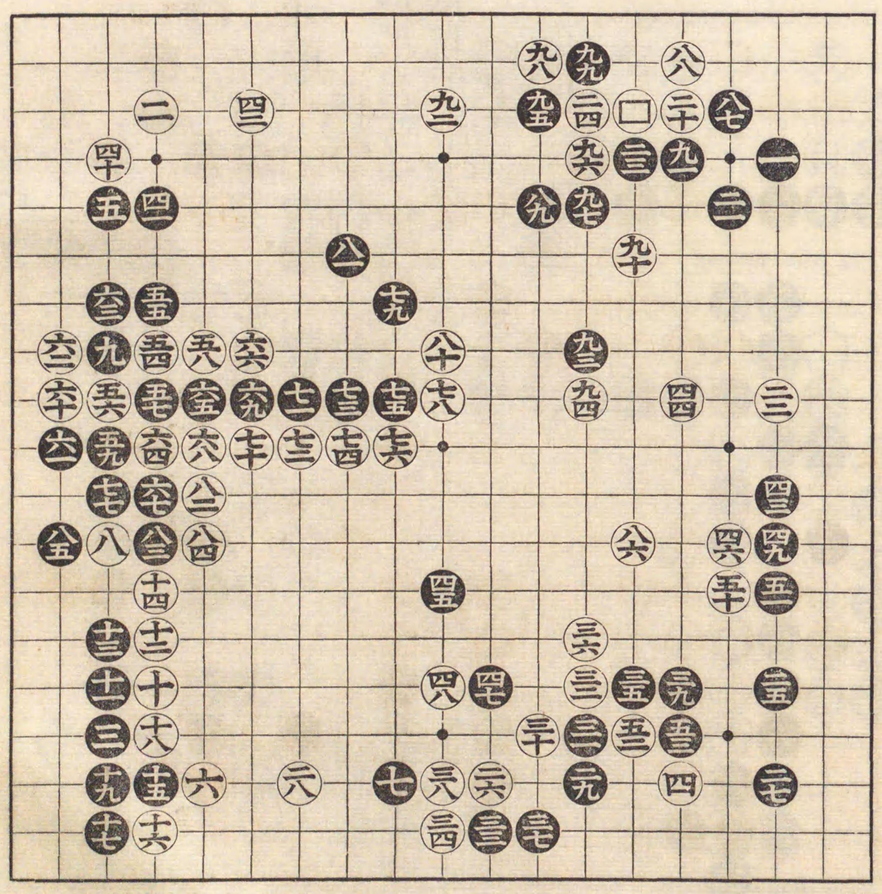
三拾三手迄



安政四年六月八日

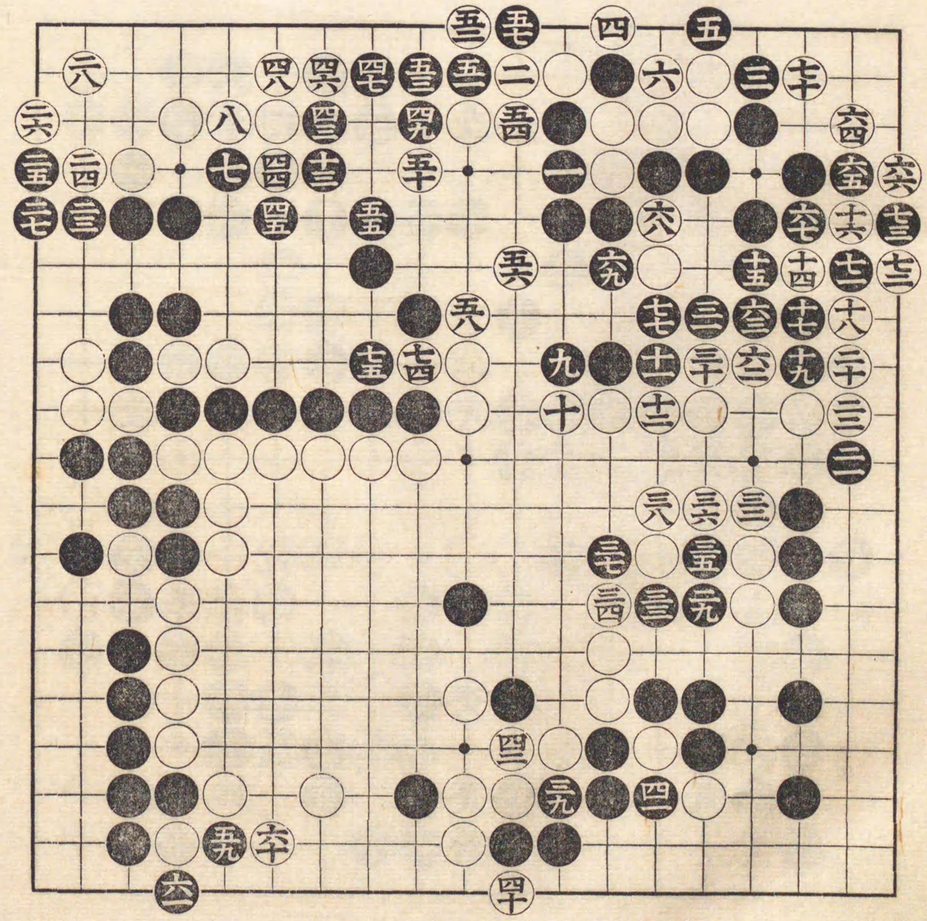
服部一　中押勝　先番　村瀬彌吉

百手迄



七拾七手迄

㊅ 劫提



安政四年六月十二日於上野

相先初番

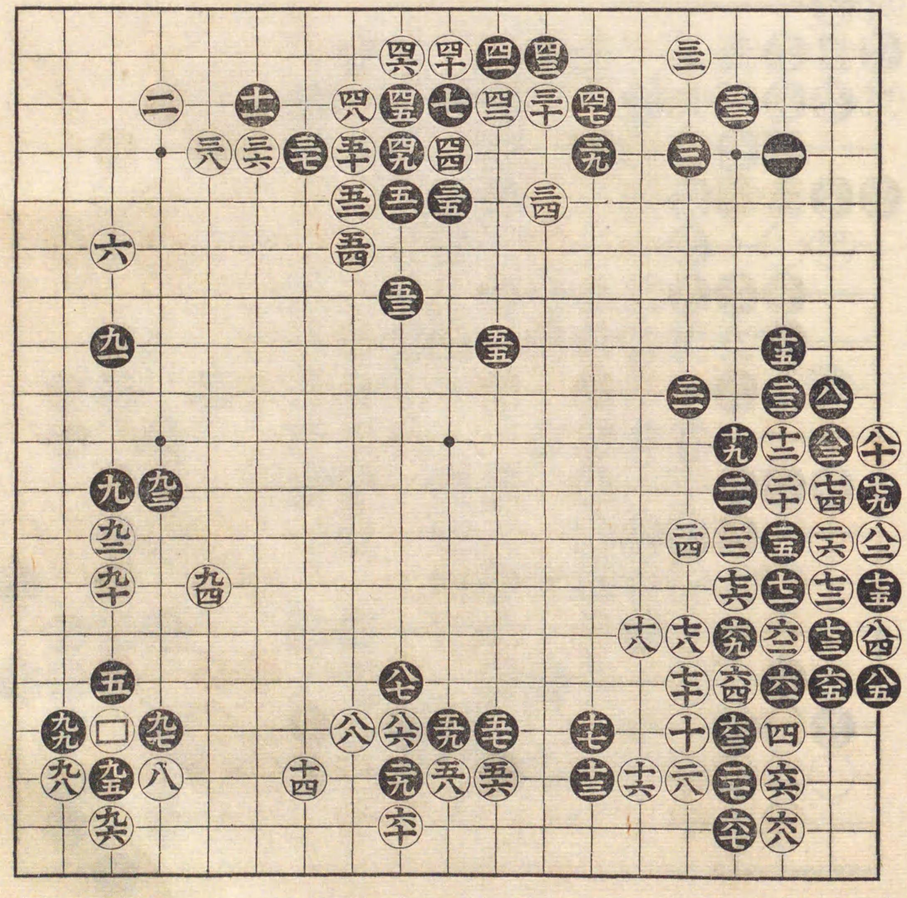
先番 鶴岡三郎助

中押勝 村瀬彌吉

㊆ 粘

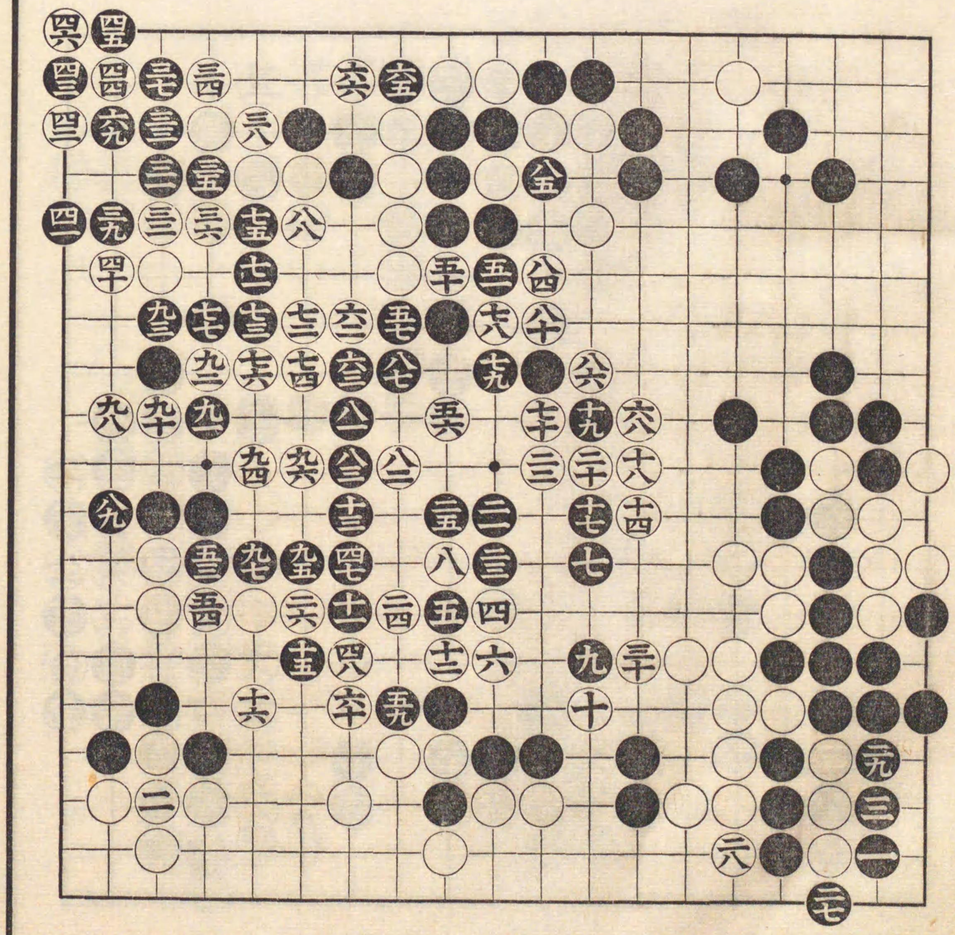
㊇ 劫提

百手迄



九拾八手迄

四九 劫提
五三 同
五五 同
五八 同
六一 同
六四 同
六七 同



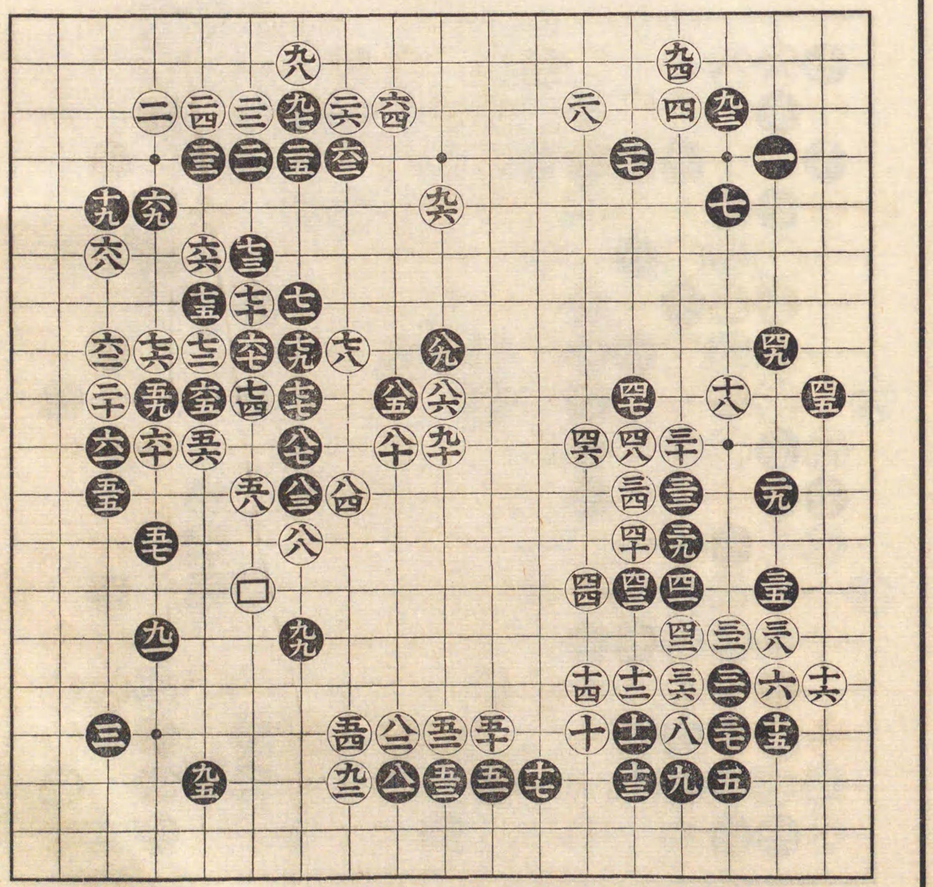
安政四年六月廿一日於上野

鶴岡三郎助

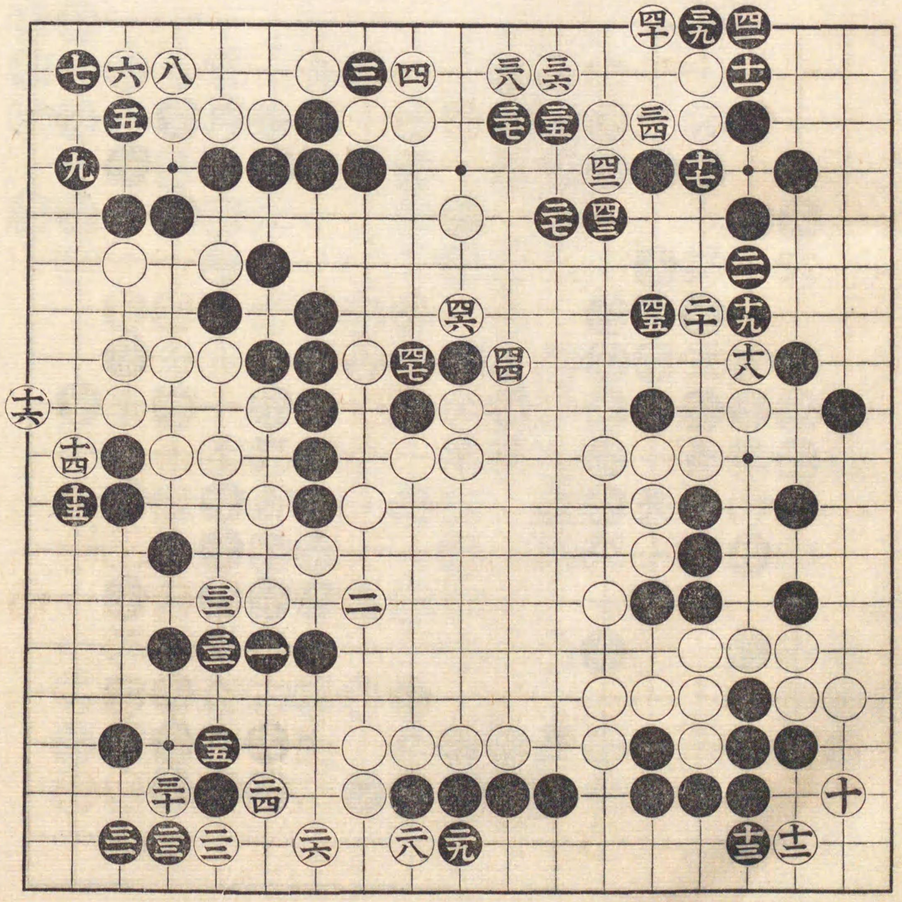
中押勝

先番 村瀨彌吉

百手迄



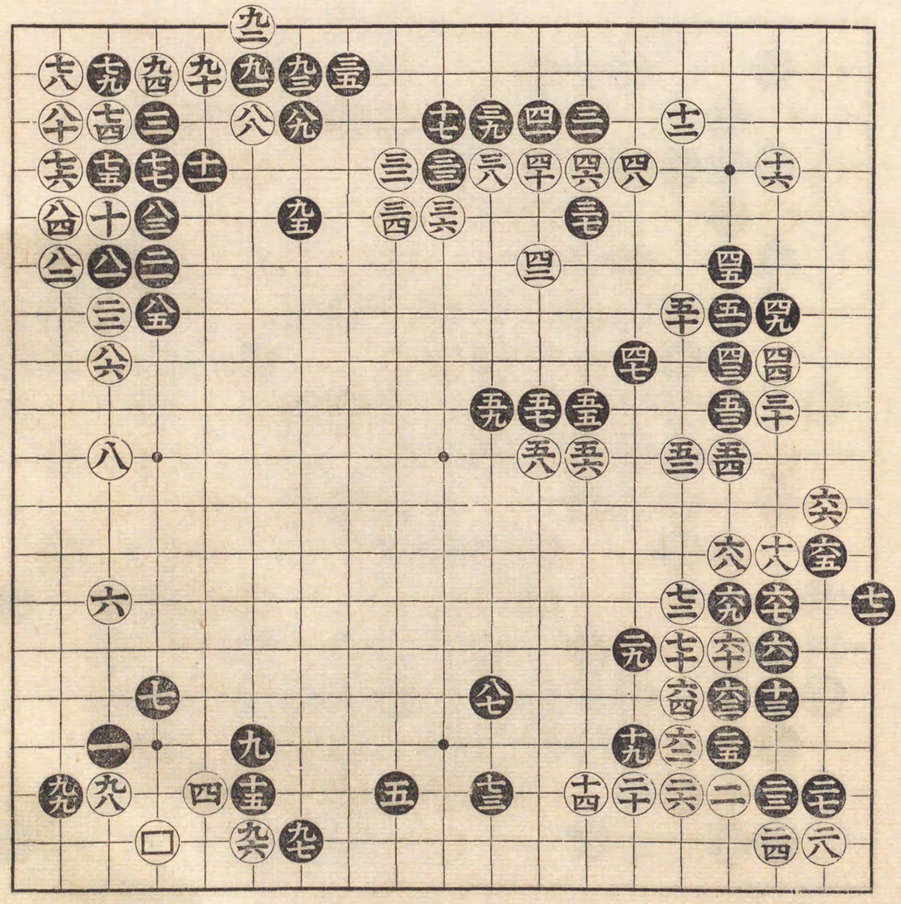
四拾七手迄



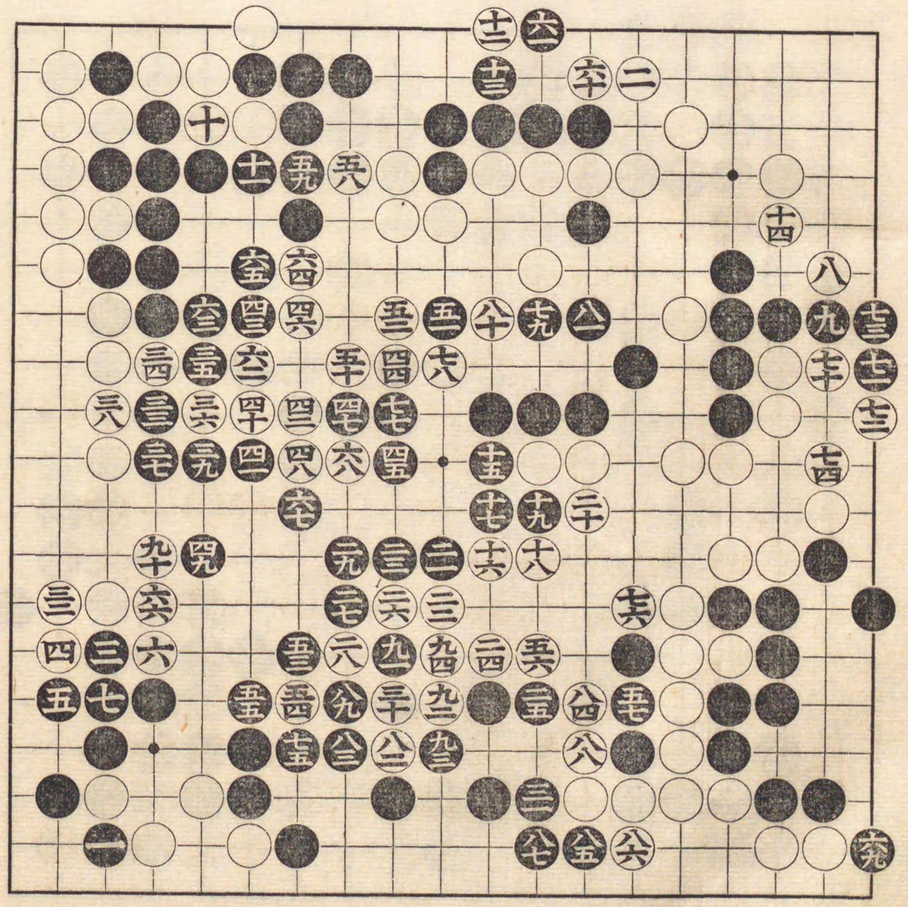
安政四年六月廿九日於鶴岡氏

先番 鶴岡三郎助
七目勝 村瀬彌吉

百手迄



九拾四手迄



安政四年七月六日於鶴岡氏

鶴岡三郎助

中押勝

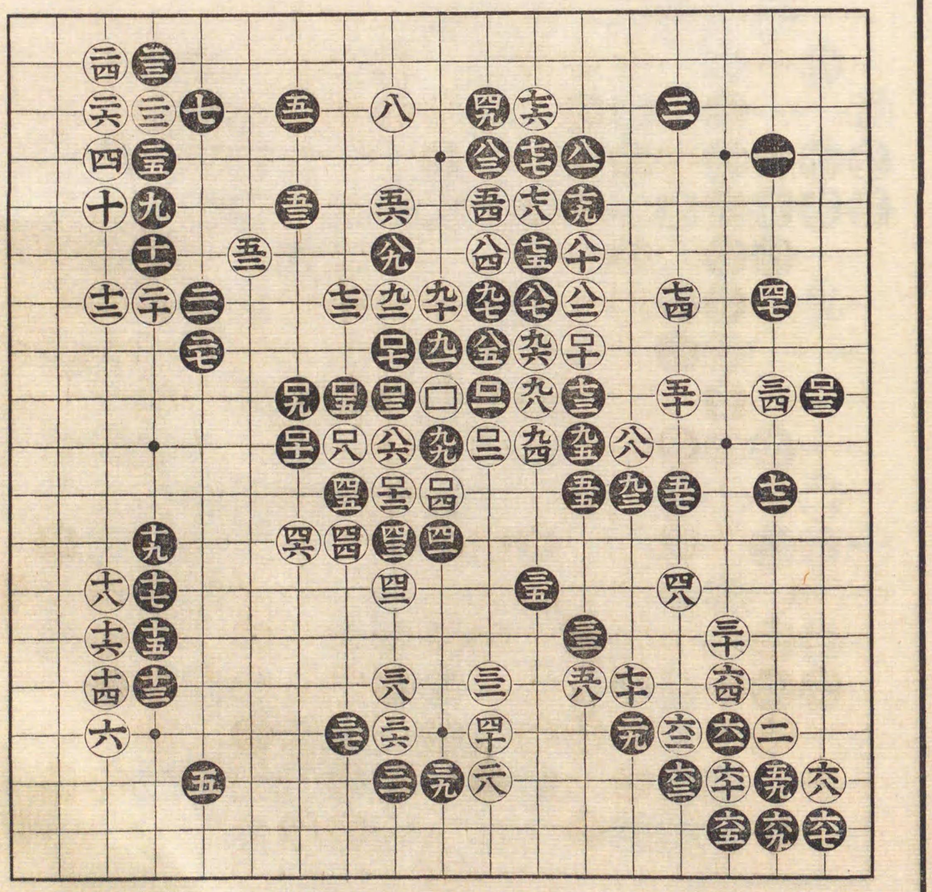
先番 村瀬彌吉

是にて四番勝越

(六六) 粘

(只六) 劫提

百拾三手迄



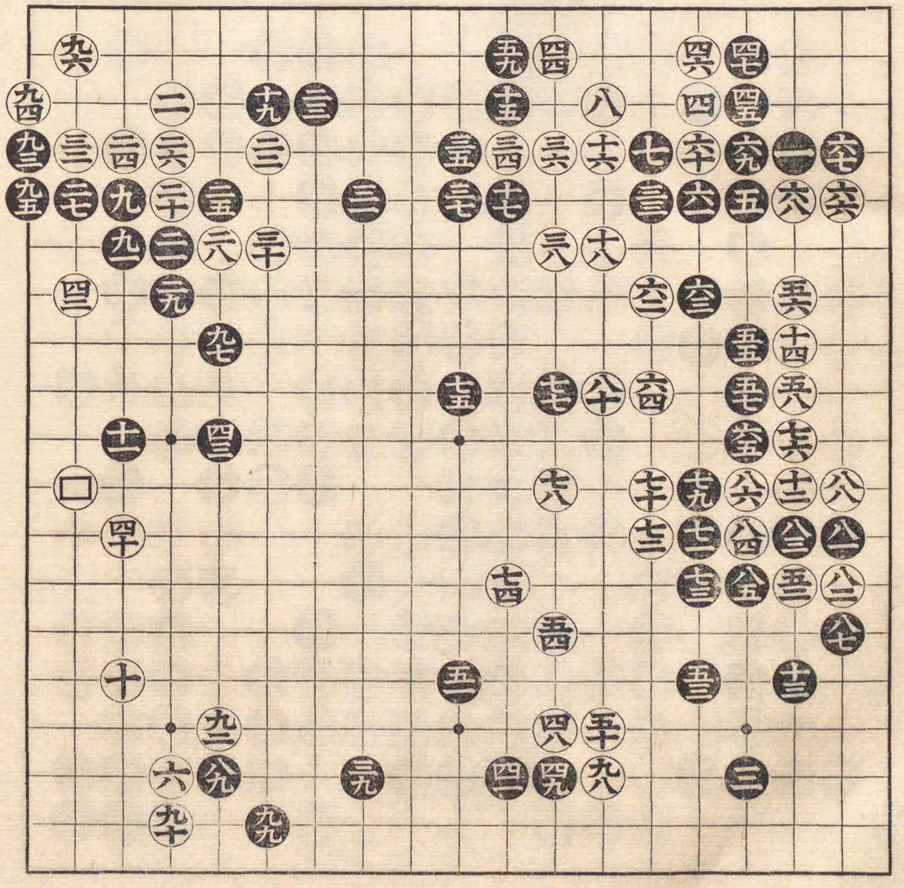
安政四年七月十五日

本因坊秀和

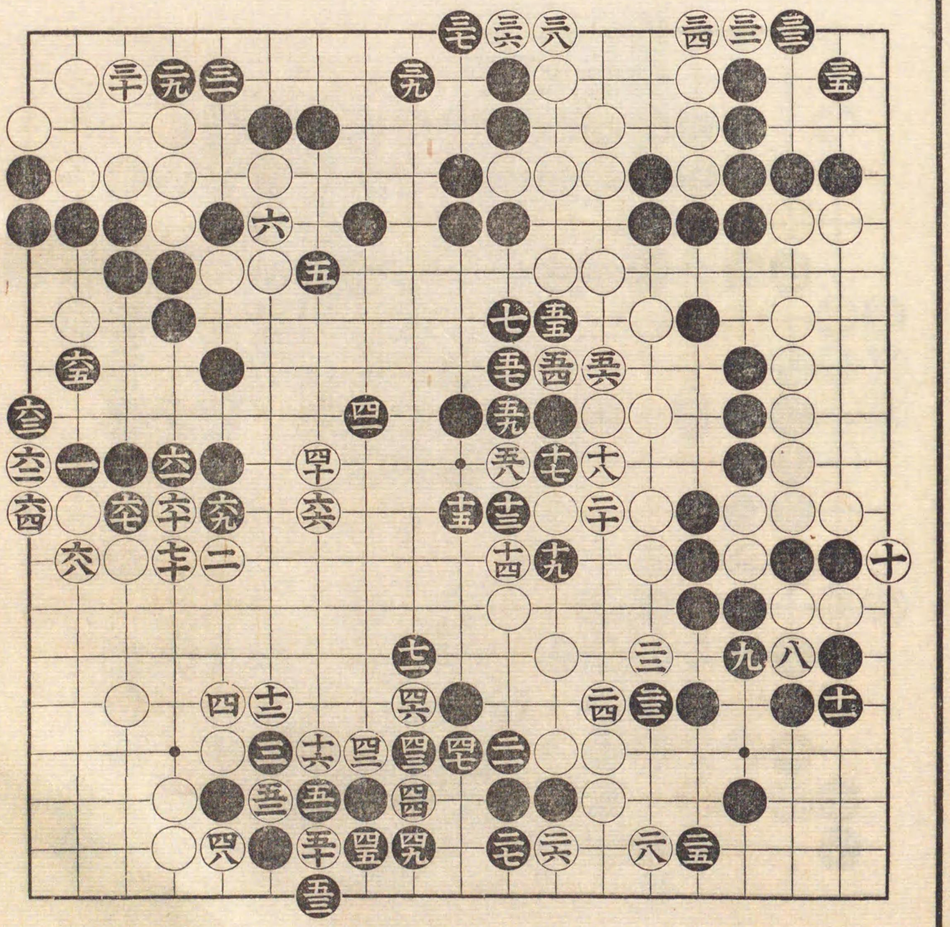
一目勝

先 村瀨彌吉

百手迄



七拾一手迄



安政四年七月廿二日

本因坊秀和

中押勝

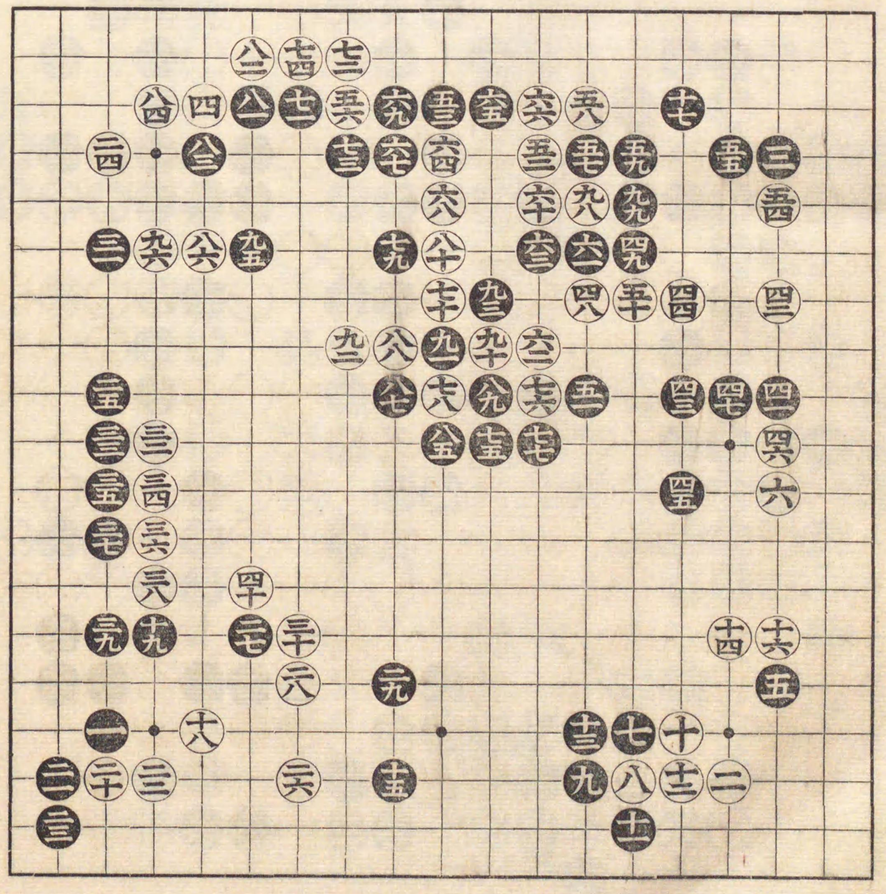
先 村瀨彌吉

九四 劫提

九七 同

□ 同

百手迄

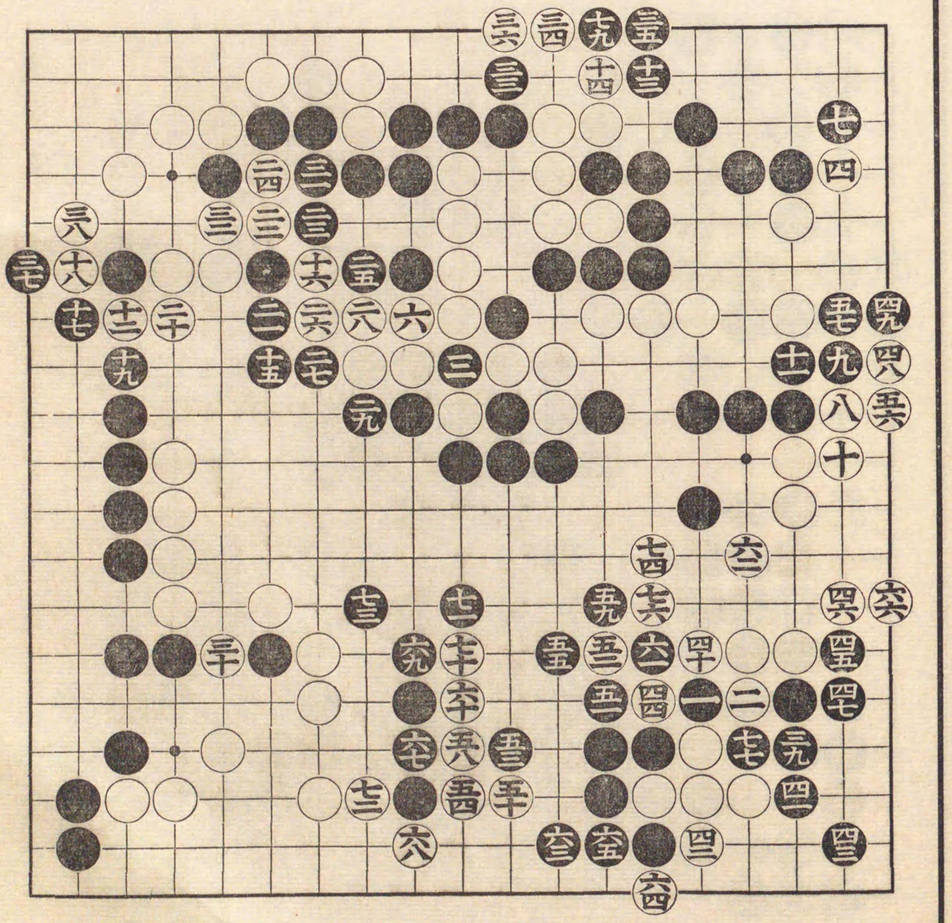


五 粘

十五 劫提

六八 同

七拾九手迄



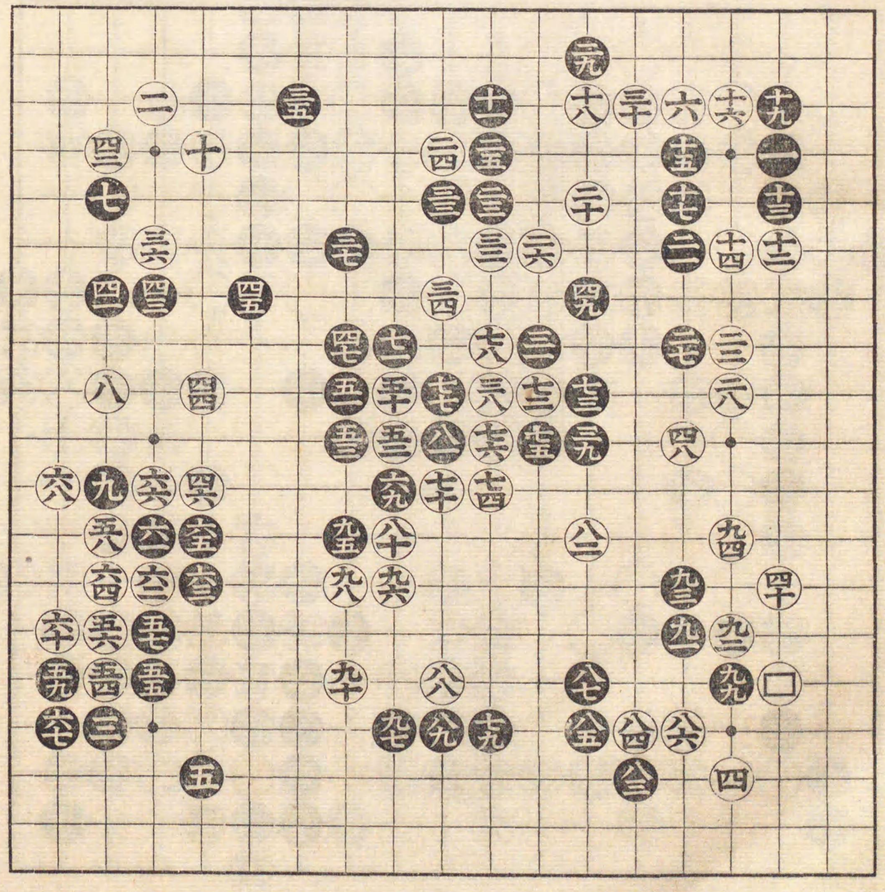
安政四年八月十六日

伊藤松和

市

先 村瀨彌吉

百手迄



二六 劫提

二九 同

三一 同

二五 同

三八 同

四一 同

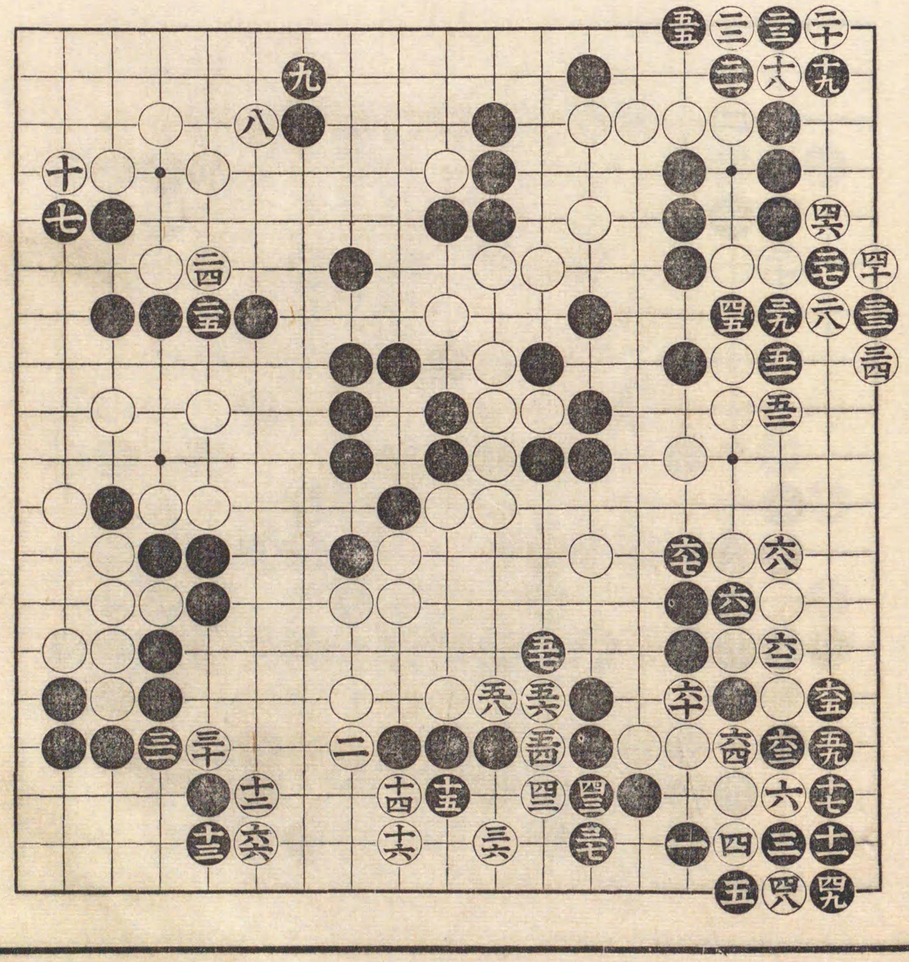
四四 同

四七 同

五十 同

五三 同

六拾八手迄

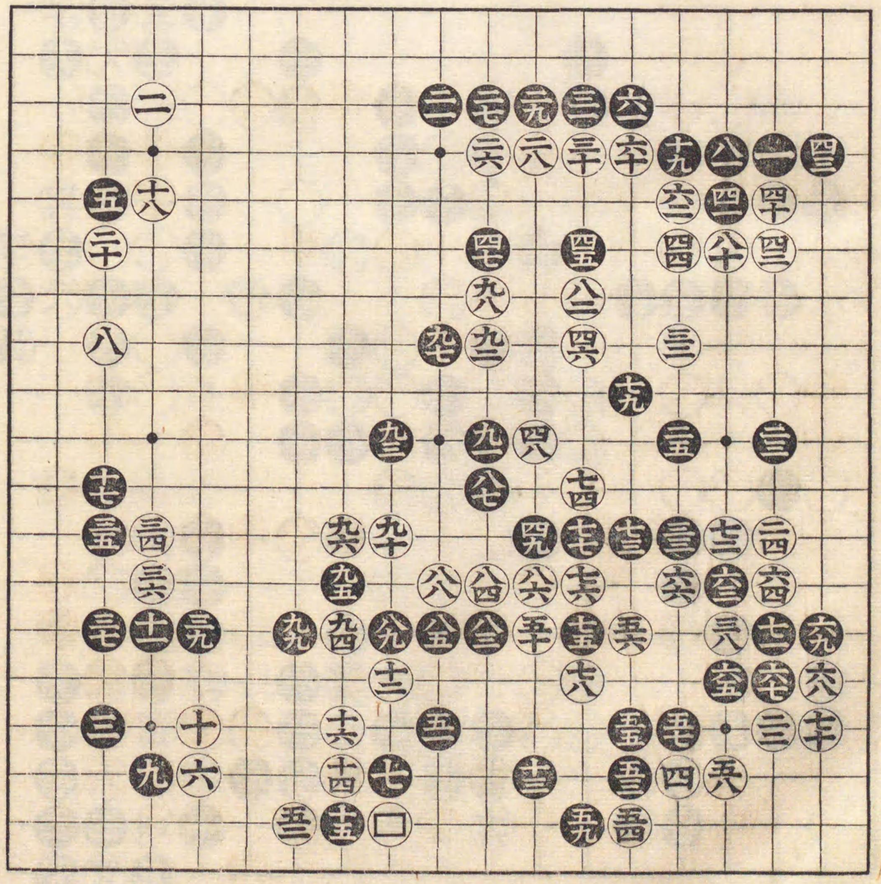


安政四巳年八月廿五日

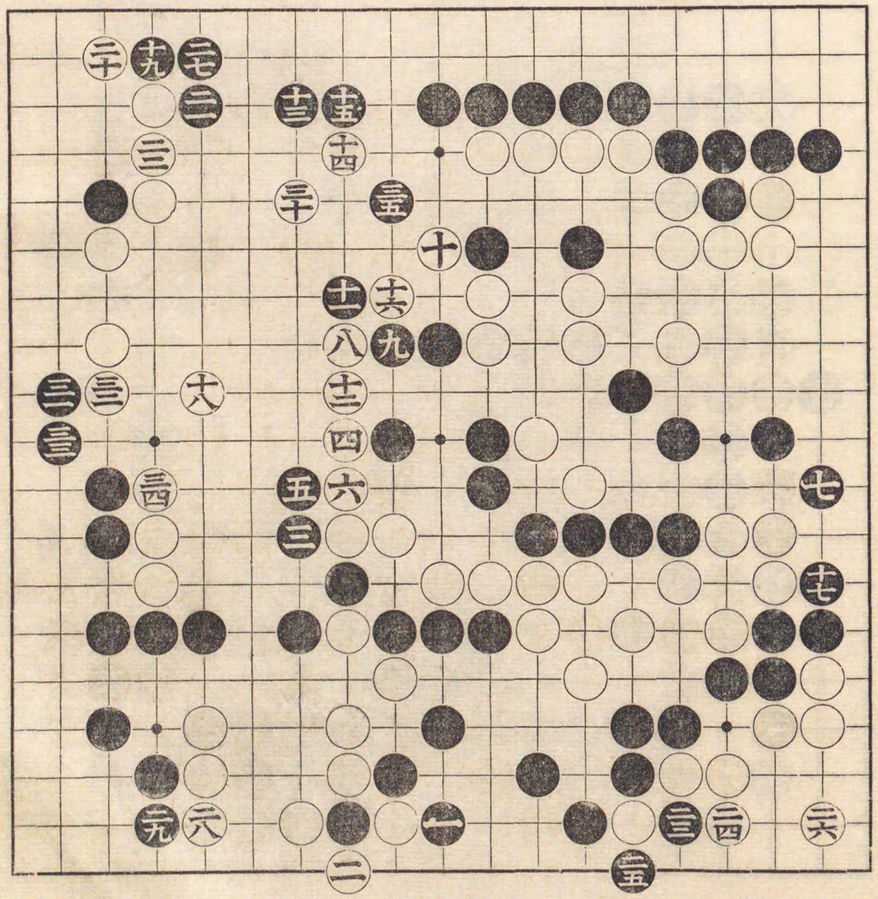
中押勝　伊藤松和

先　村瀬彌吉

百手迄



三拾五手迄

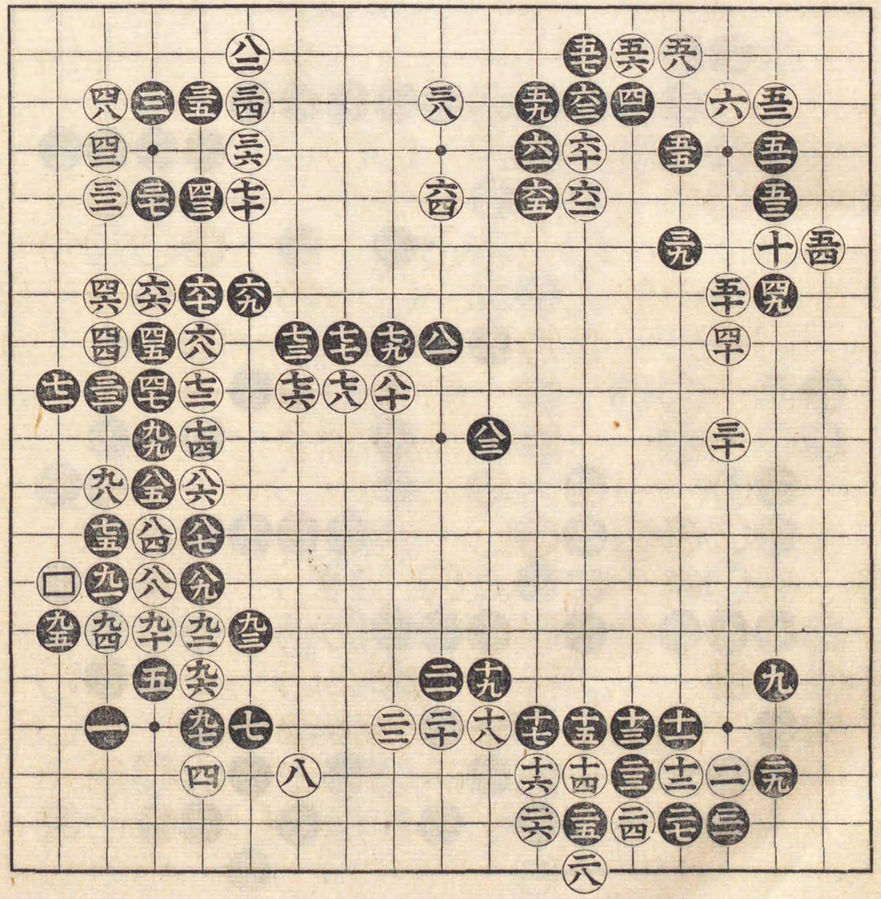


安政四年八月廿八日

十七目勝
先番 服部一

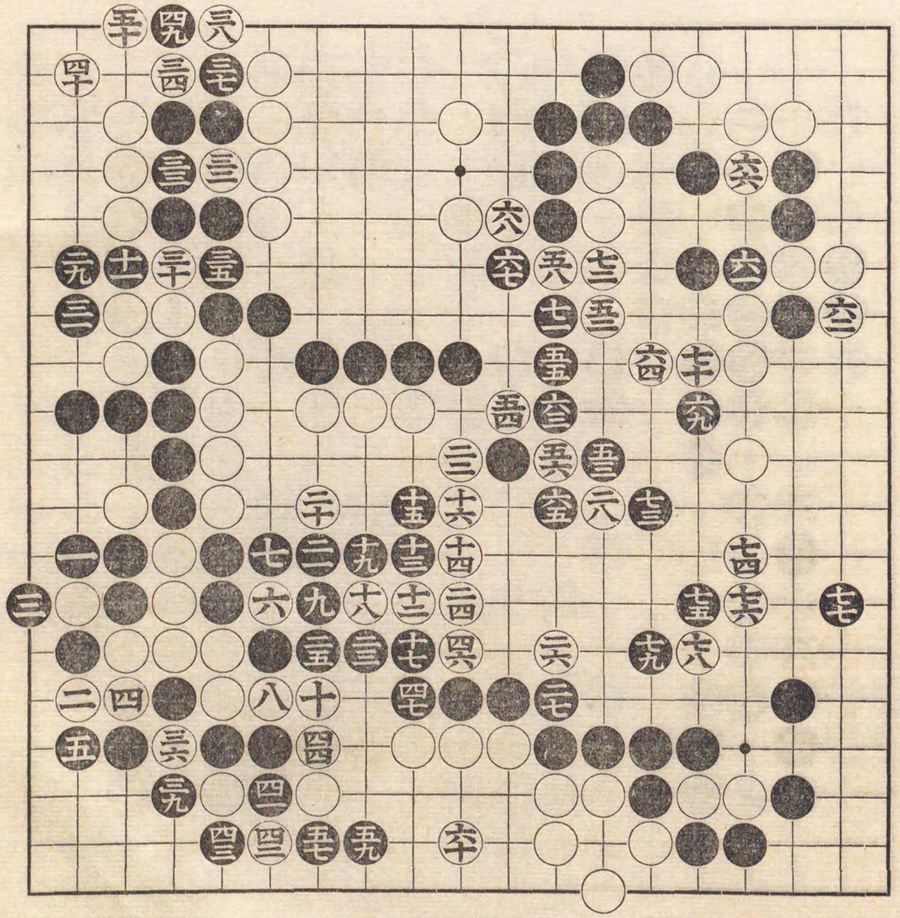
村瀬彌吉

百手迄



七拾九手迄

四五 劫提
四八 同
五一 同



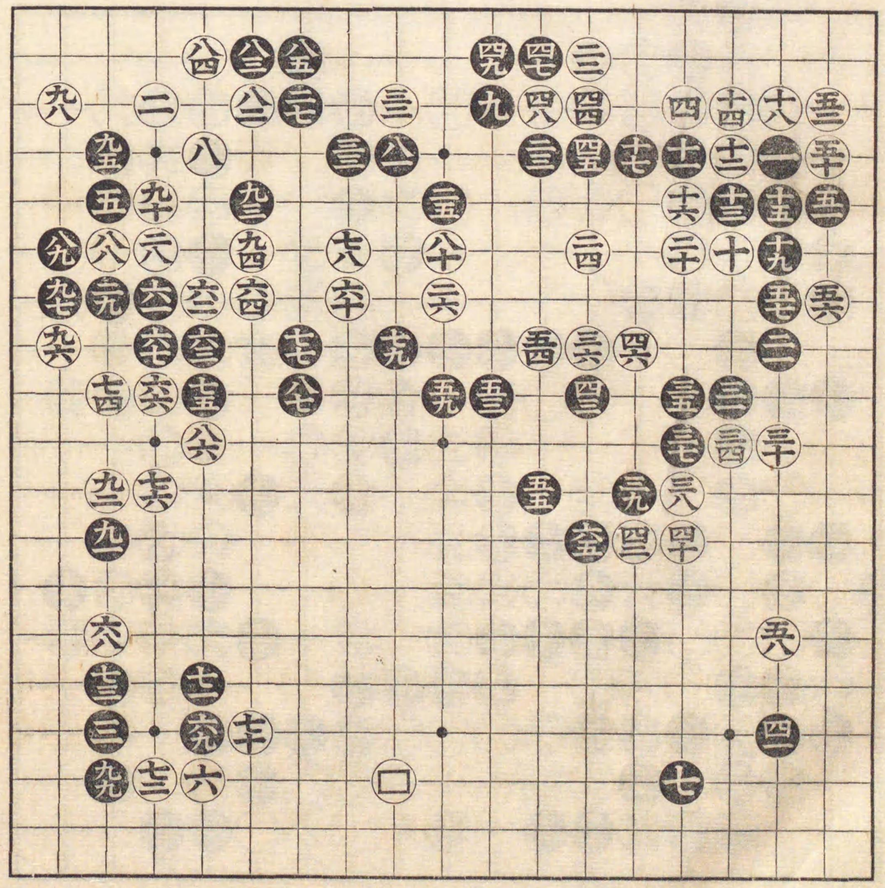
安政四年九月六日

服部一

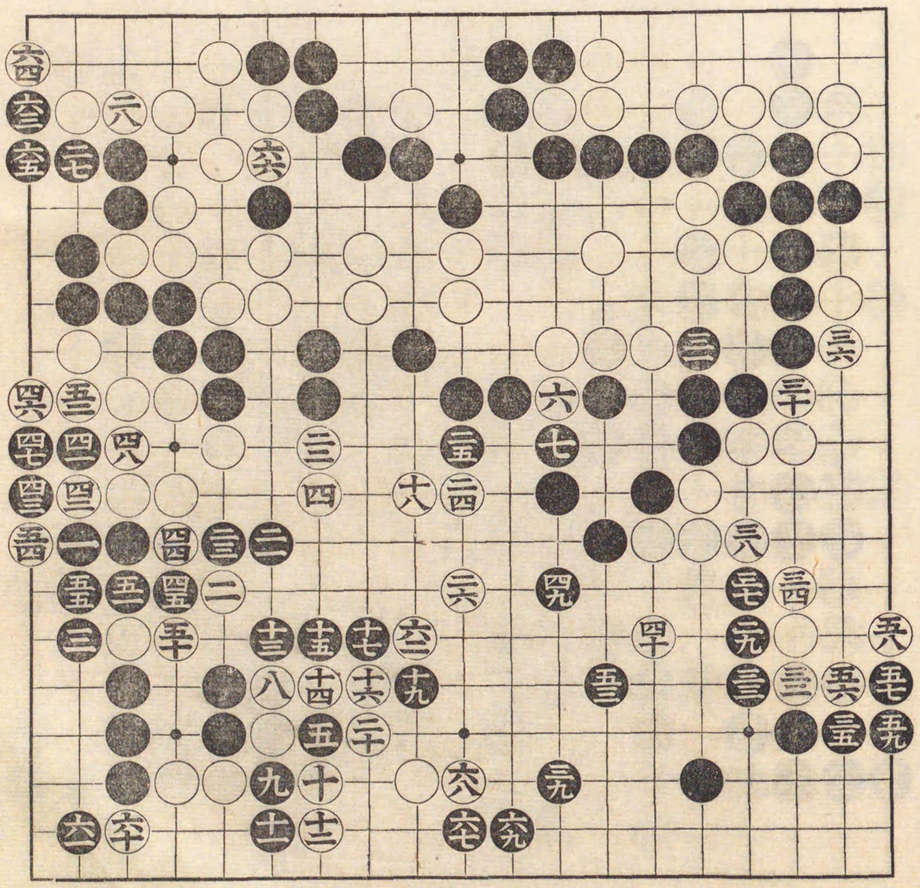
七目勝

先番 村瀨彌吉

百手迄



六拾九手迄



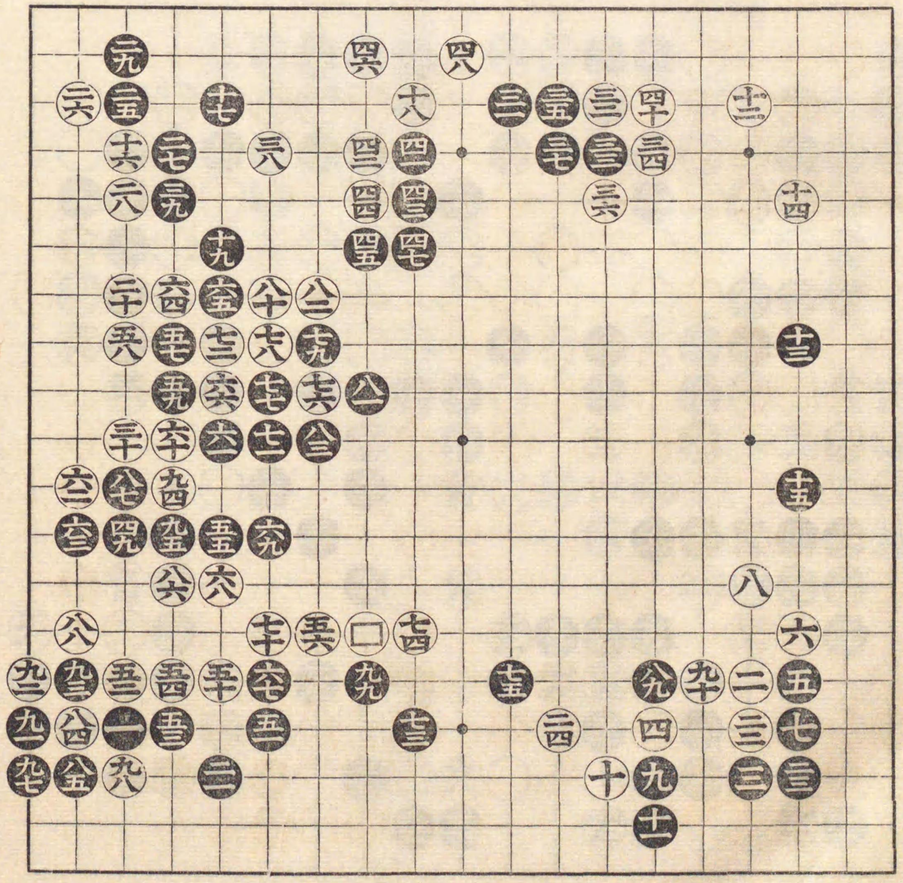
安政四年九月十八日

先番 **服部一**

中押勝 **村瀨彌吉**

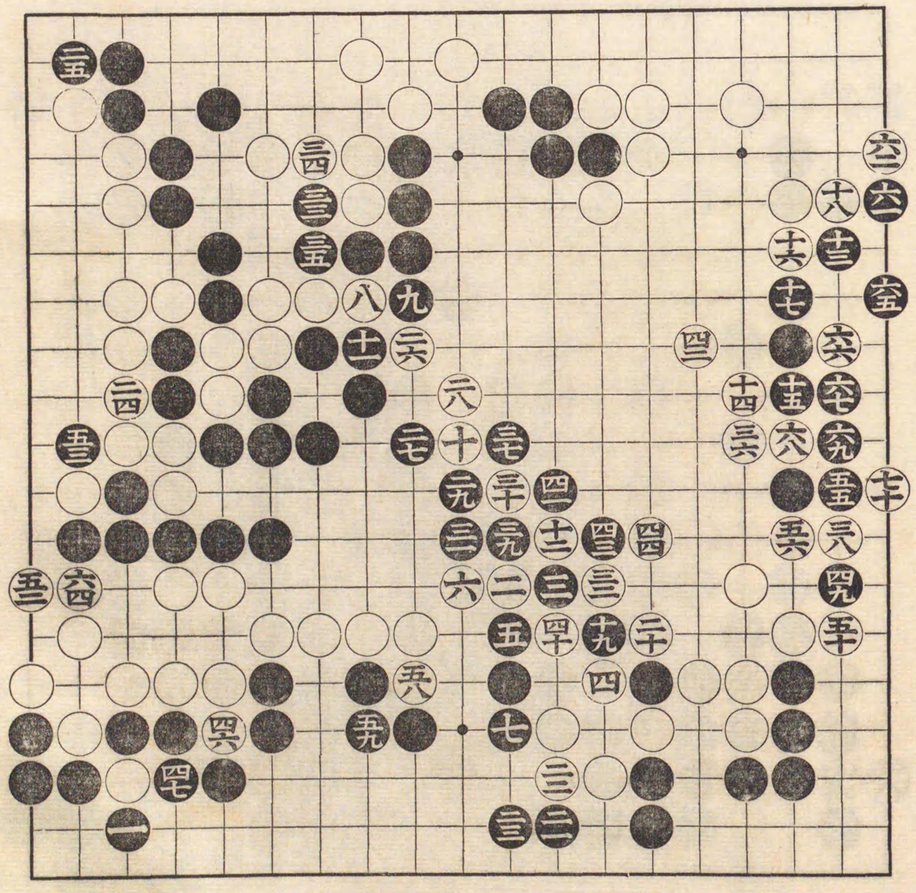
(九六)劫提

百手迄



(四五)劫取
(四八)同
(五一)同
(五四)同
(五七)同
(六十)同
(六三)同

七拾手迄

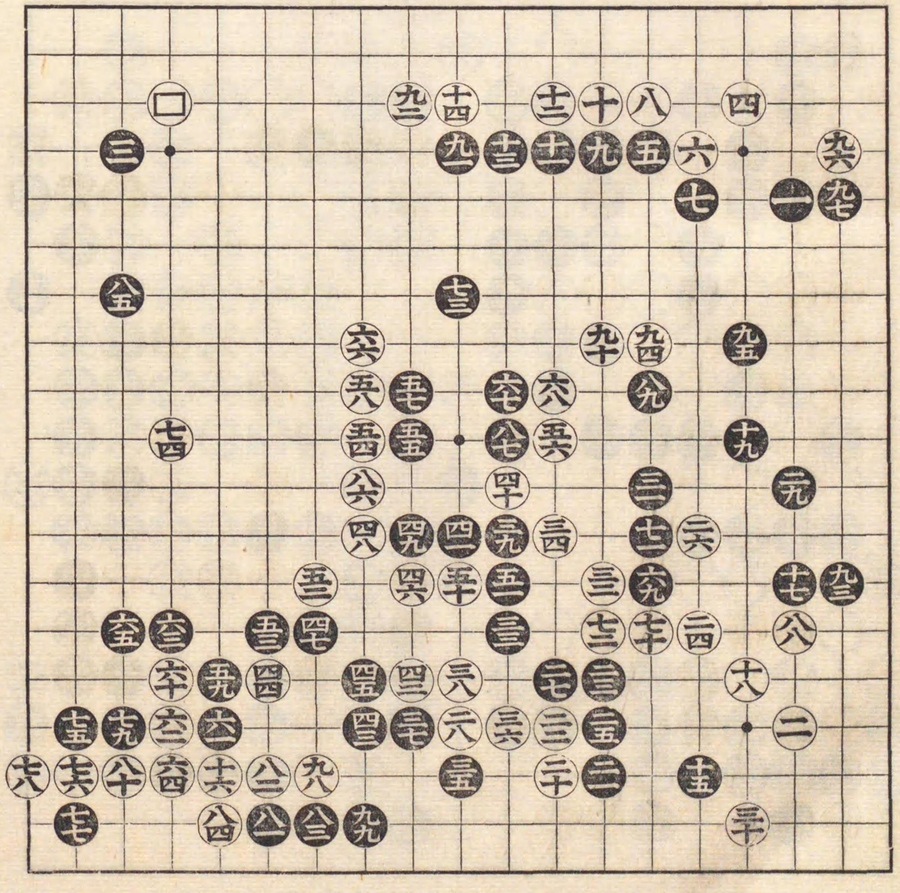


安政四年十月八日

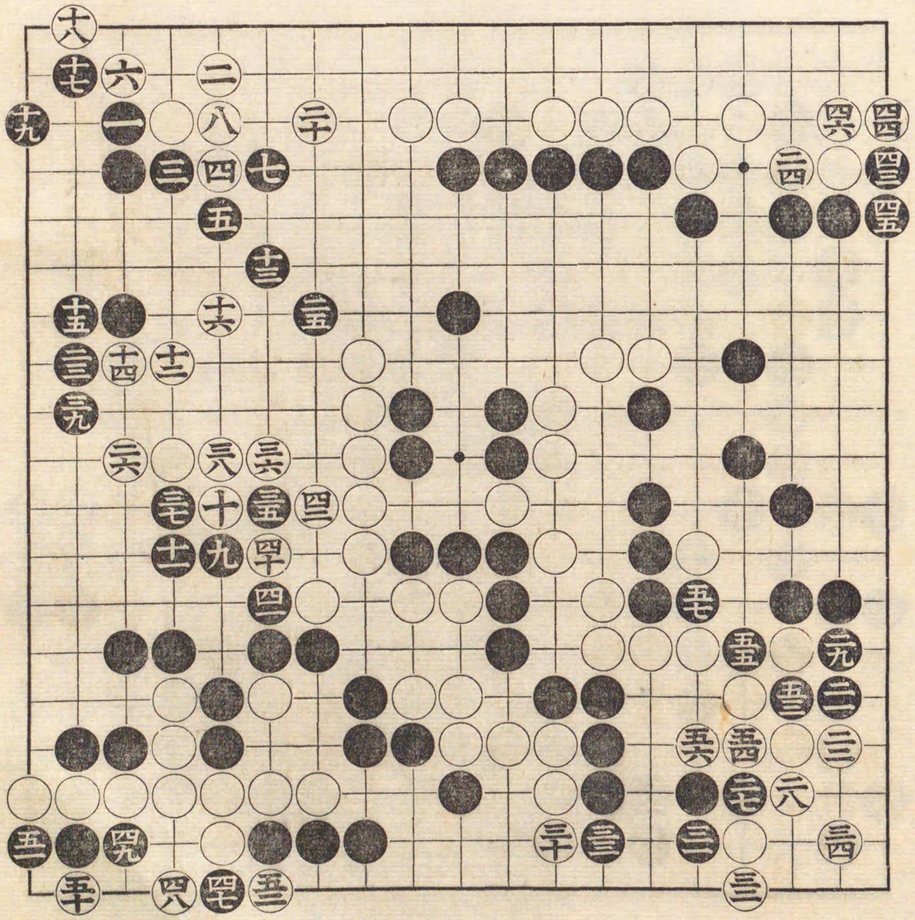
本因坊秀和

先 村瀨彌吉

百手迄



五拾七手迄



安政四年十一月二日

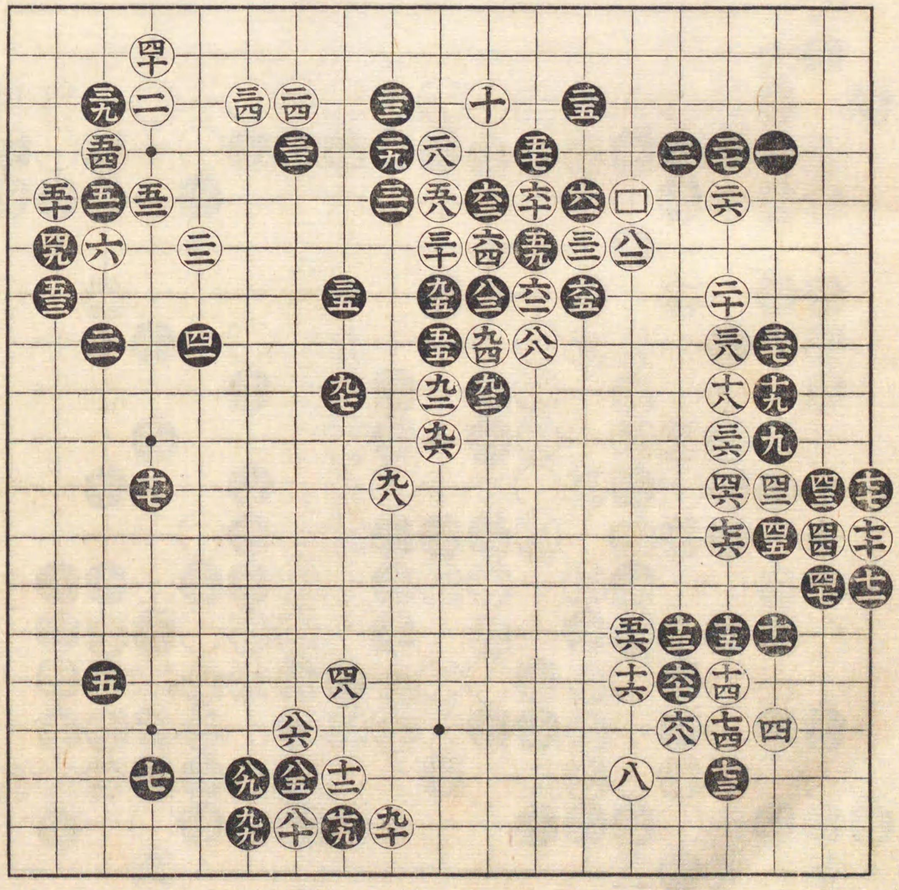
安田秀策

三目勝

先 村瀨彌吉 五段

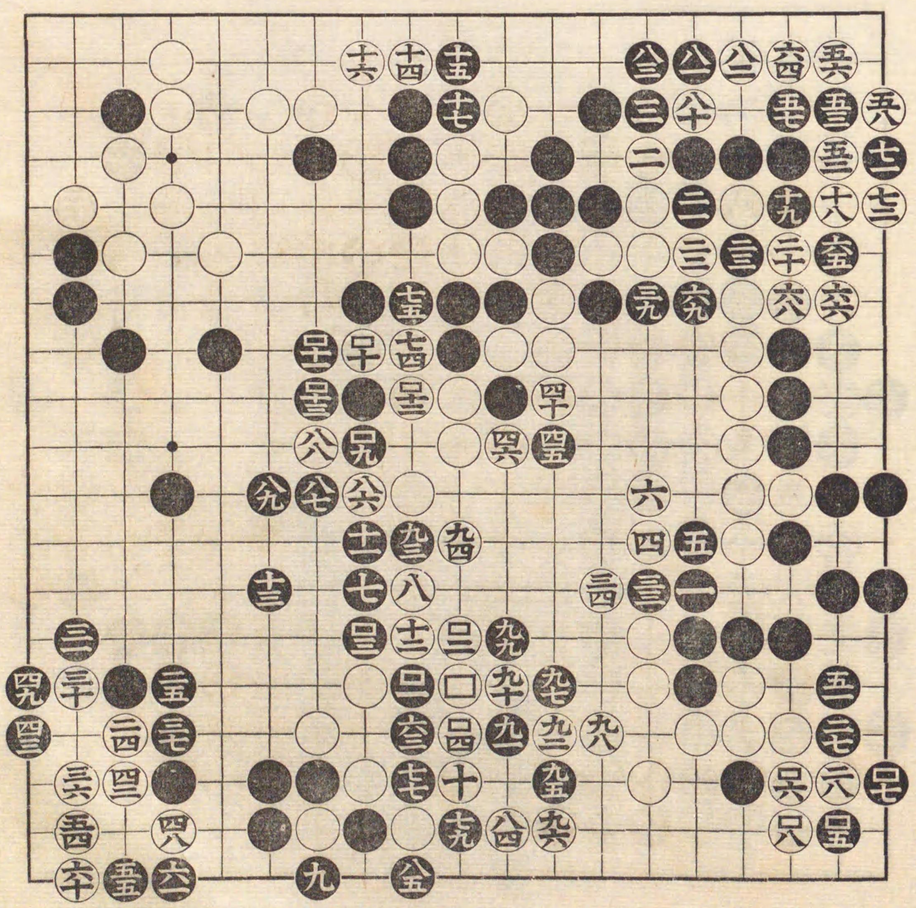
六六	劫提	六九	同	七三	同	七五	同	七八	同
八一	同	八四	同	八七	同	九一	劫粘		

百手迄



二六	劫提	二九	同	三三	同	三五	同	三八	同	四一	同	四四	同	四七	同	五一	同
五九	同	六二	同	六七	同	七一	同	七三	同	七六	同	七八	劫粘				

百拾二手迄

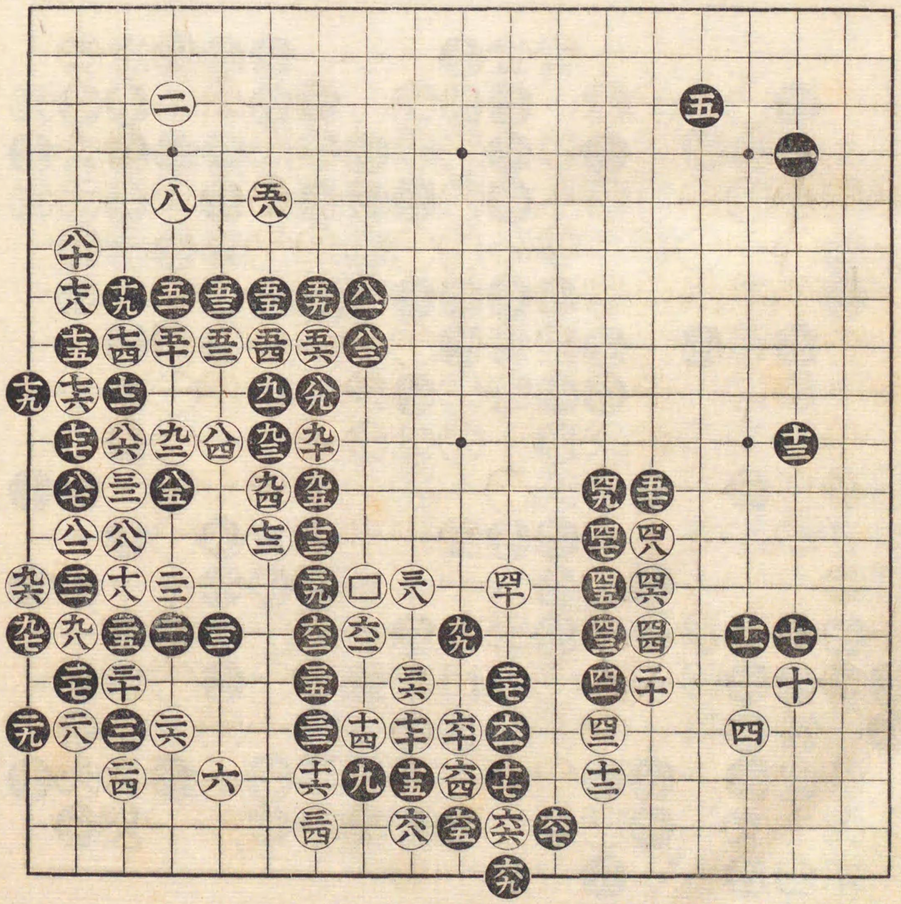


安政四年十二月六日

本因坊跡目 **安田秀策** 七段

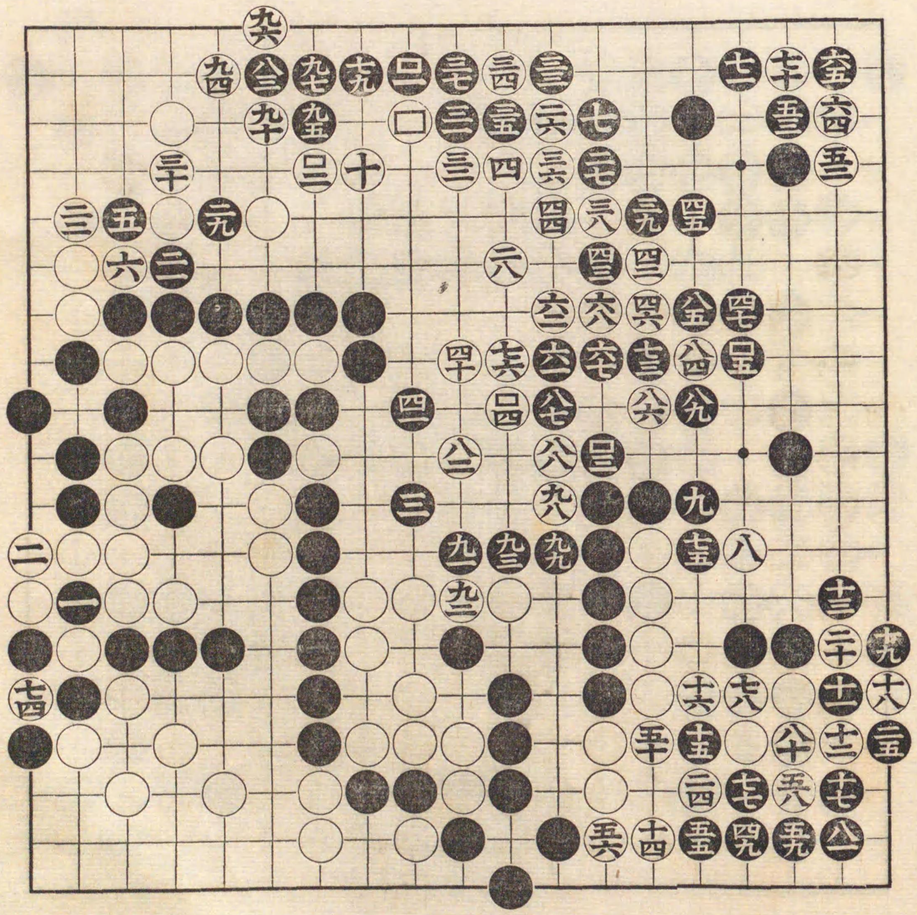
二目勝 先 **村瀬彌吉**

百手迄



百五手迄

三 劫提　四 同　五 同　六 同　七 同　八 同　九 同　十 同　十一 同

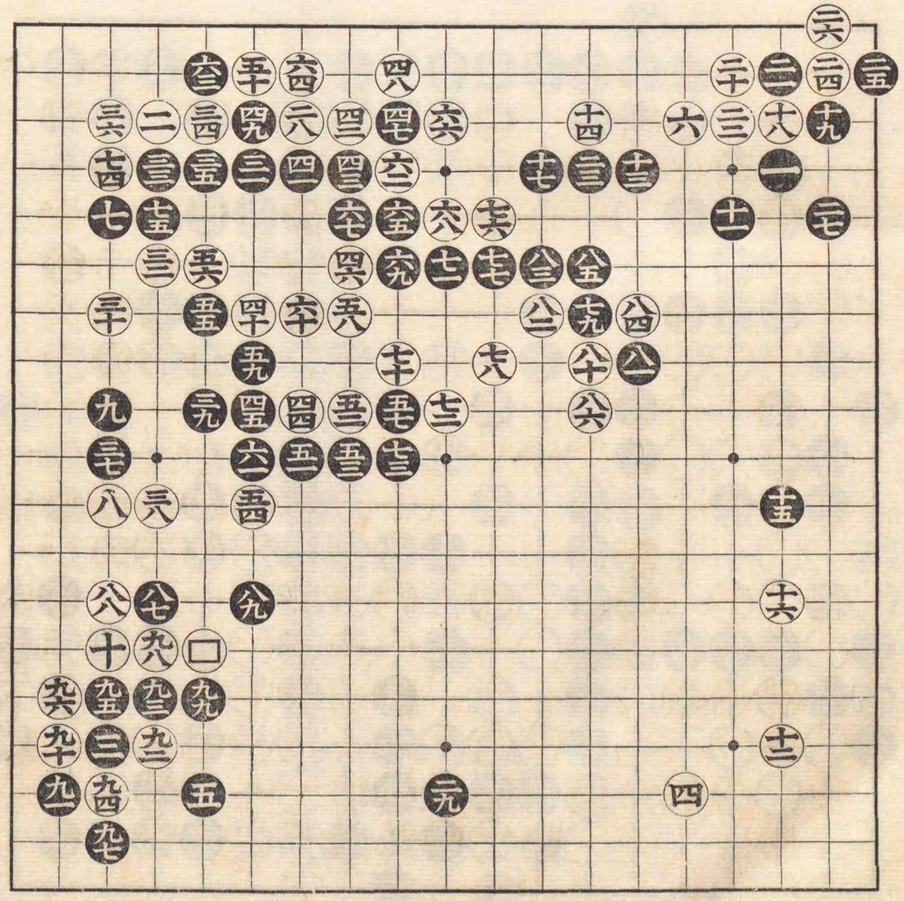


安政四年

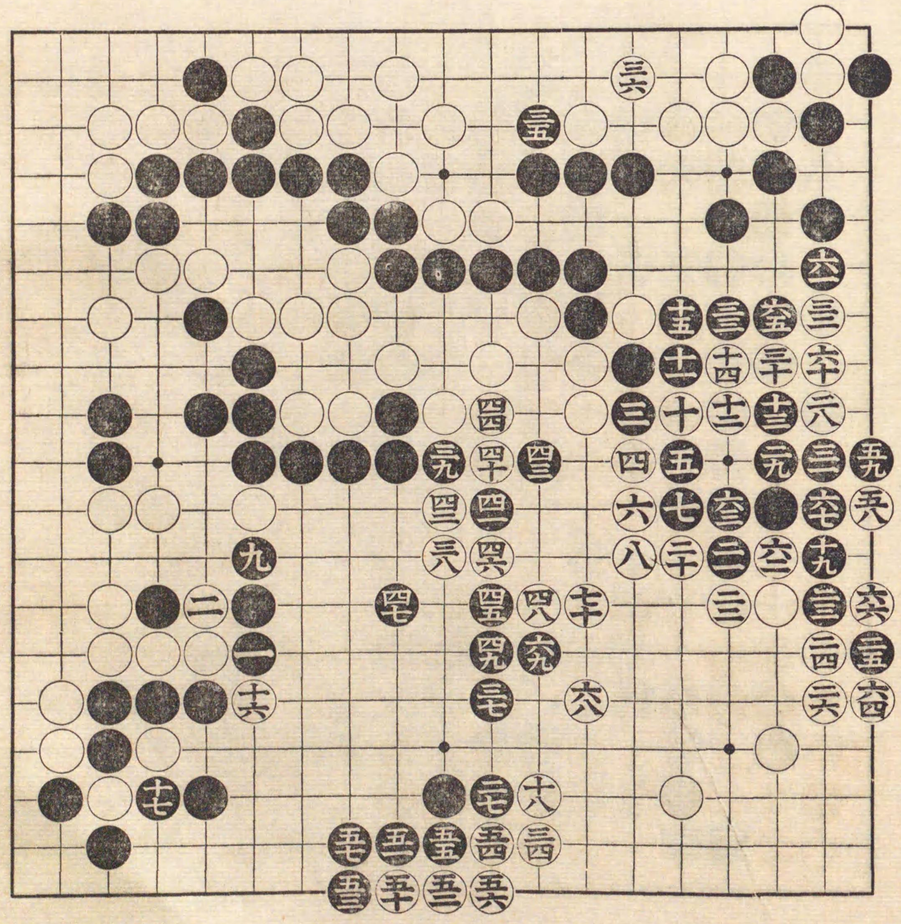
二日勝　村瀬彌吉

先　黒田源次郎

百手迄



七拾手迄



安政四年

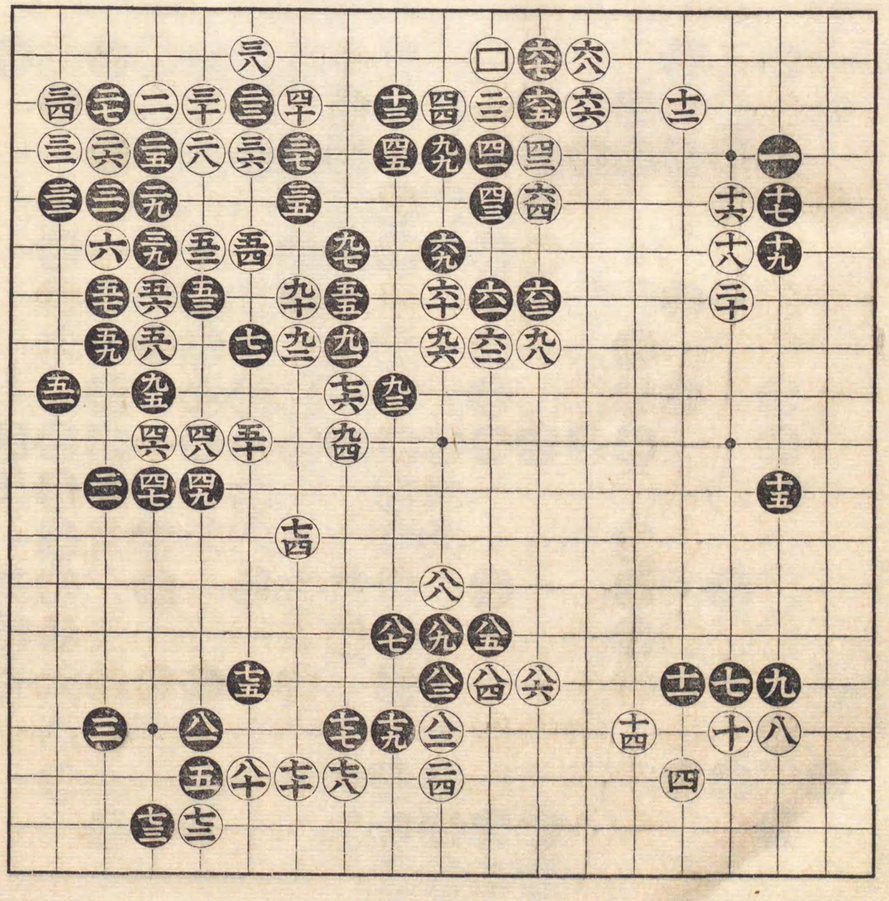
中押勝

安田秀策

先

村瀬彌吉

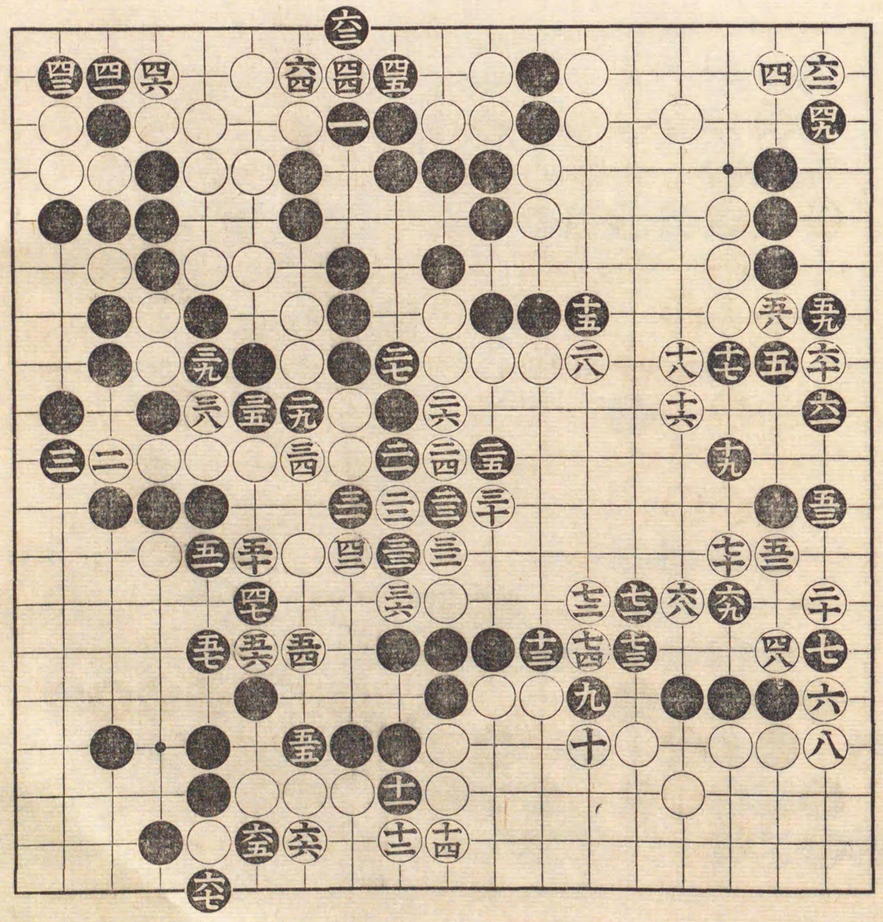
百手迄



七拾四手迄

㊀ 劫提

㊁ 同



安政五年二月廿日

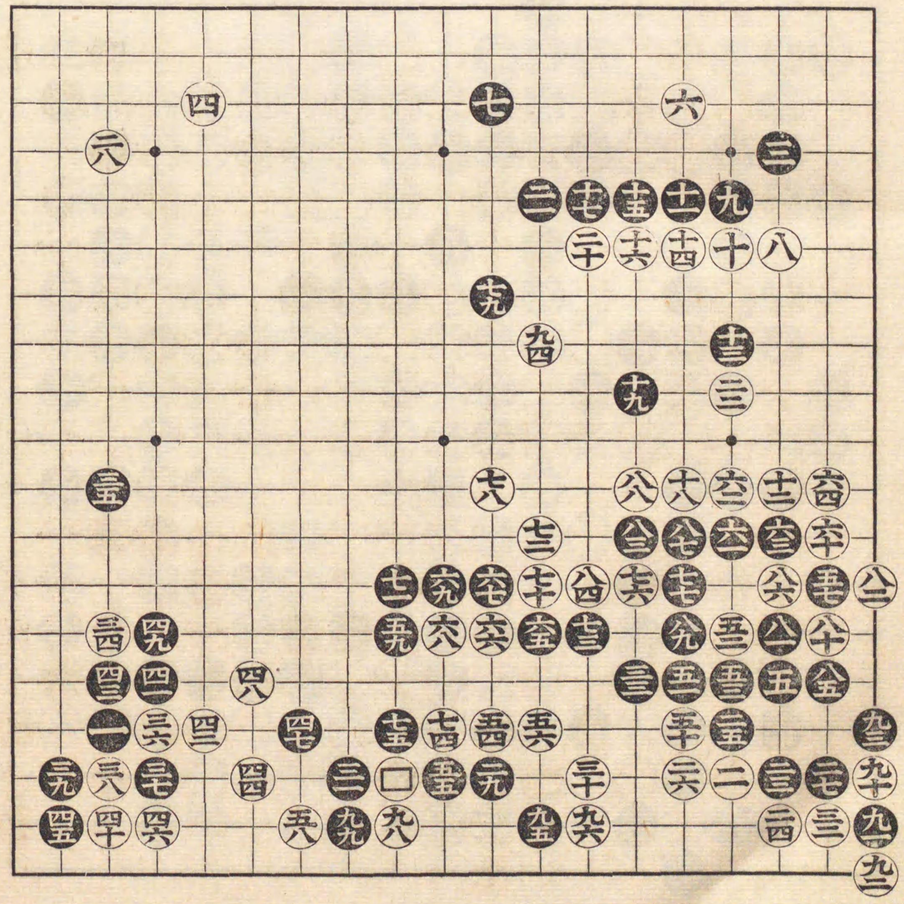
本因坊秀和

市

先 村瀨彌吉

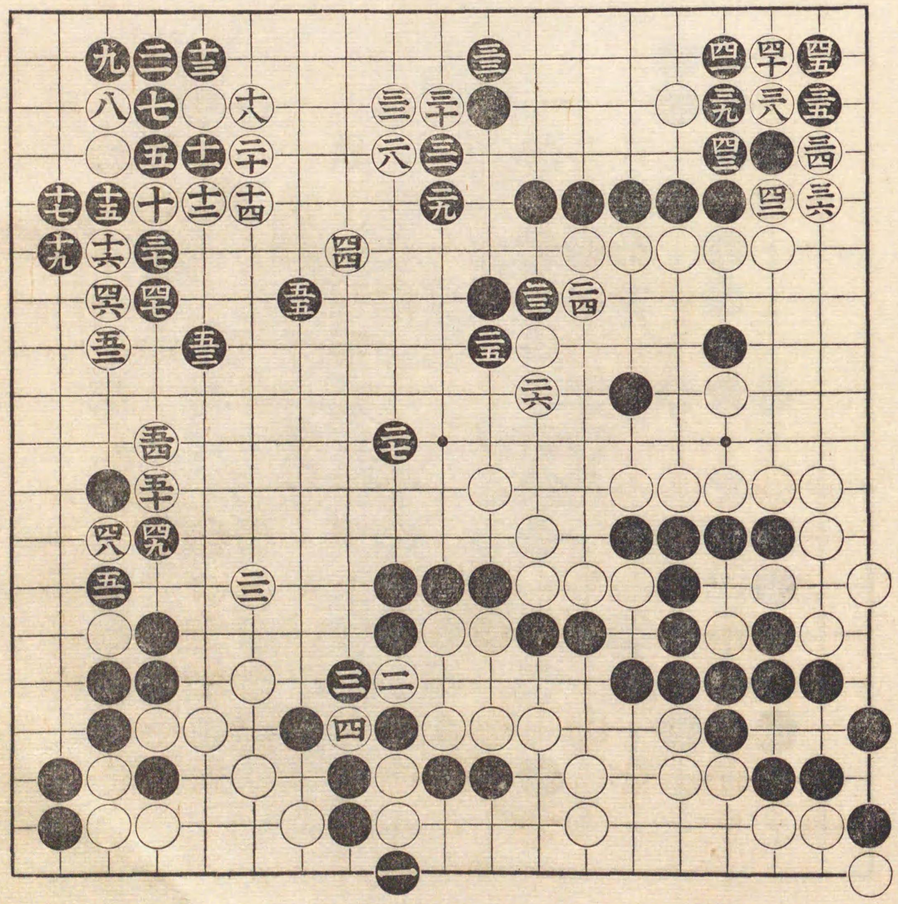
九七 劫提

百手迄



六 粘

五拾五手迄

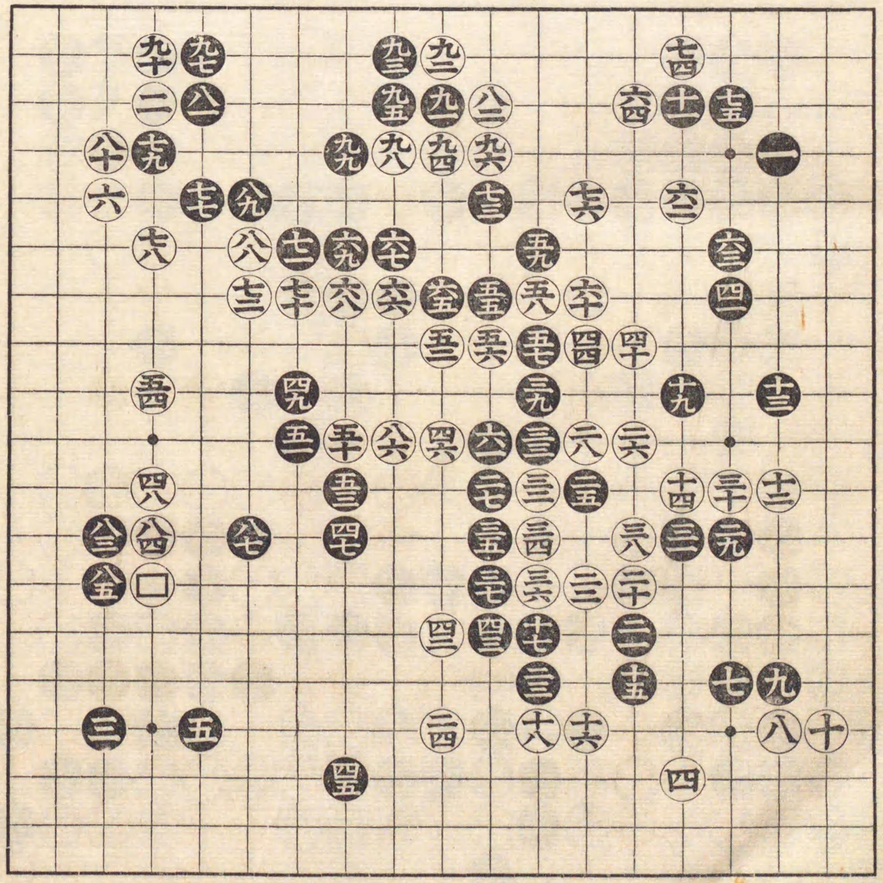


安政五年二月廿五日

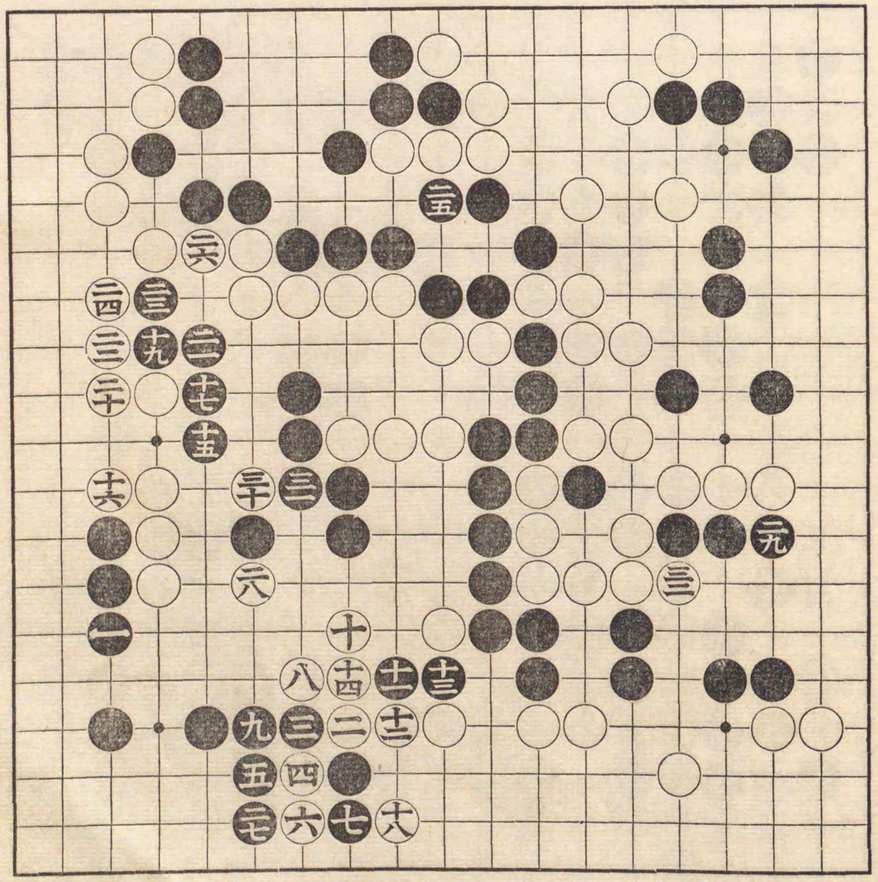
中押勝 **本因坊秀和**

先 **村瀬彌吉**

百手迄



三拾二手迄

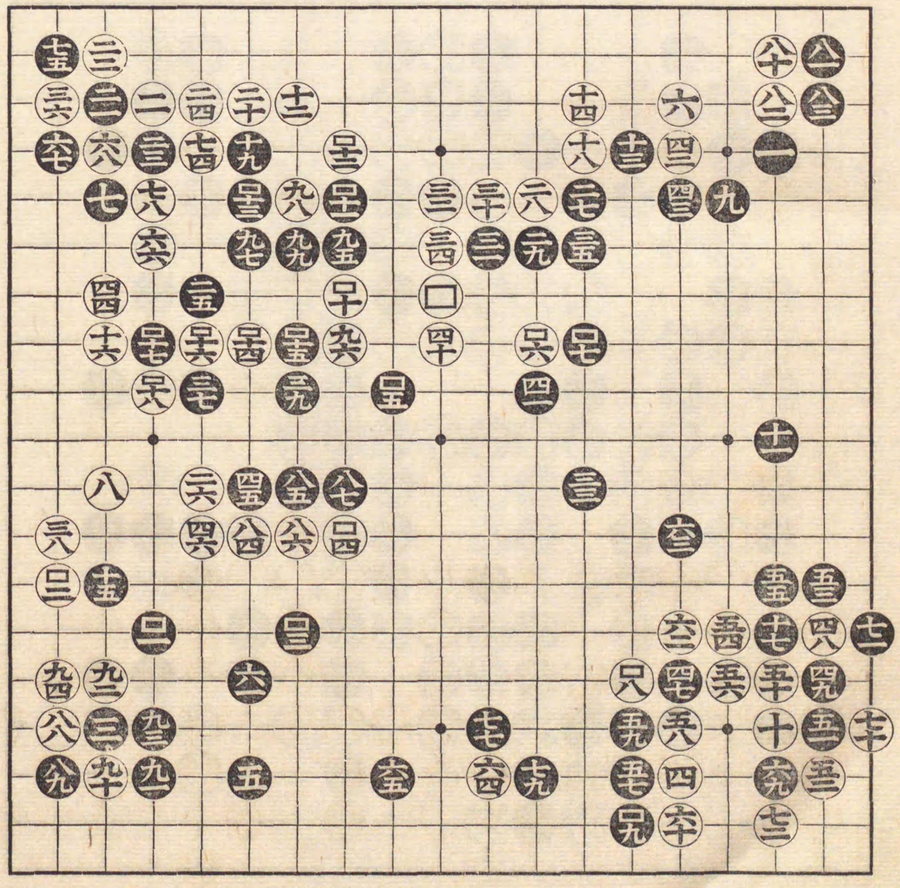


安政五年二月廿五日打掛
廿六日打次

中押勝
本因坊秀和
先
村瀨彌吉

（十三）劫提
（十六）同

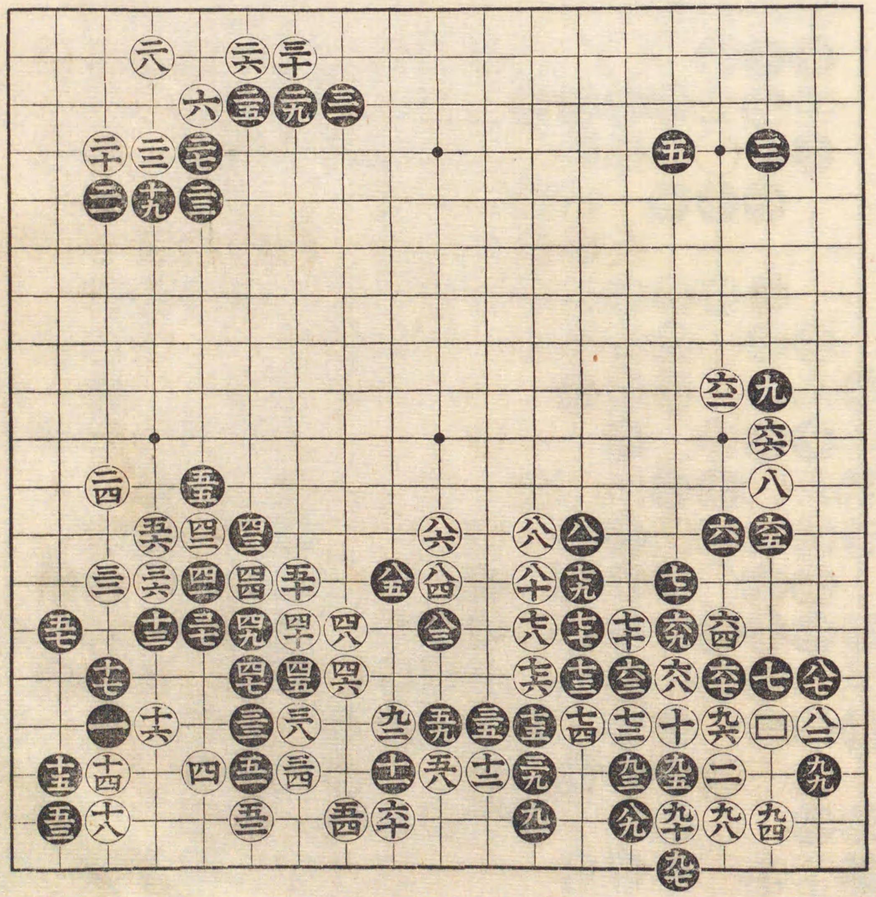
百拾八手迄



安政五年三月十五日

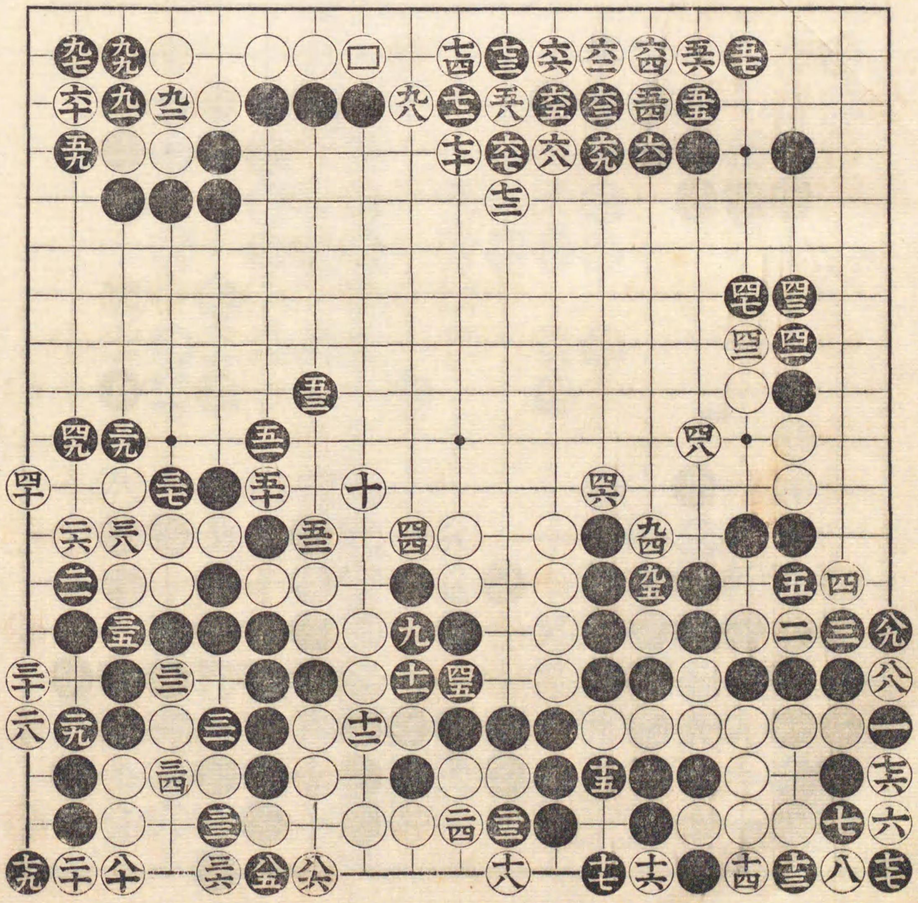
二目勝
本因坊秀和
先
村瀨彌吉

百手迄



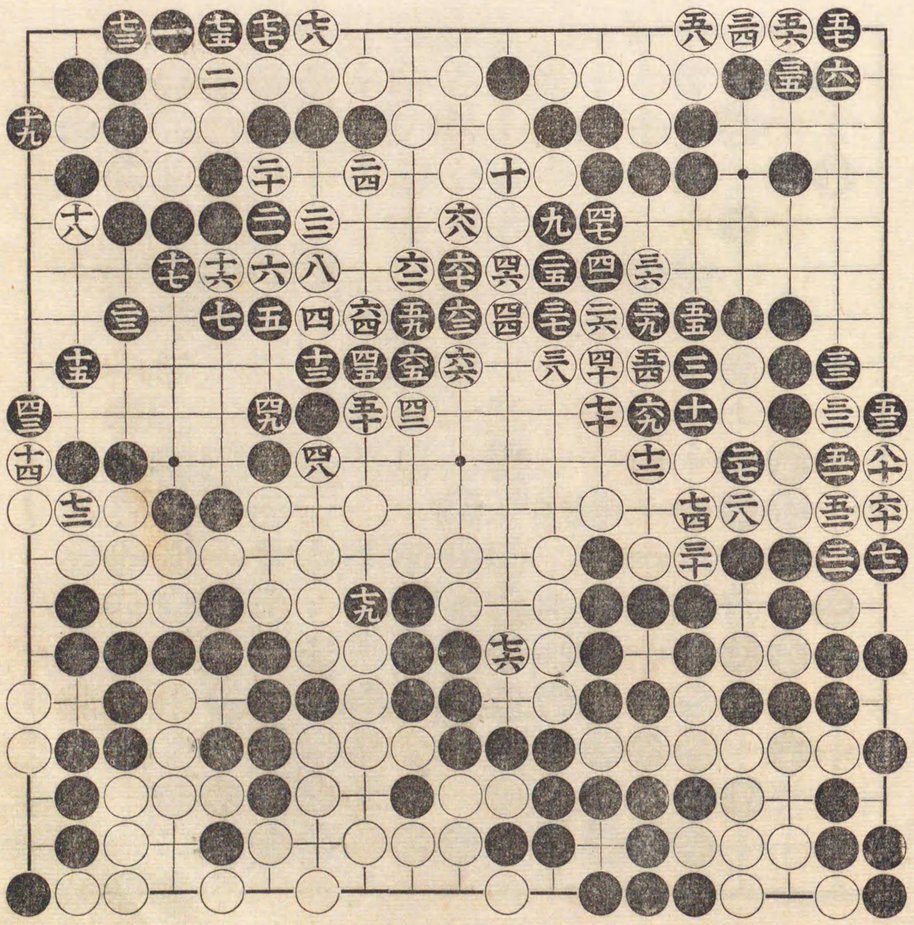
百手迄

十九 劫提
三 同
二五 同
二七 劫粘
十五 劫提
七六 同
八一 同
八二 七六ノ處ニ打カウ
八三 六ノ處ニトル
八四 劫提
八七 同
九十 同
九三 同
九六 同



八拾一手迄

二九 粘
八一 同



安政五年三月晦日

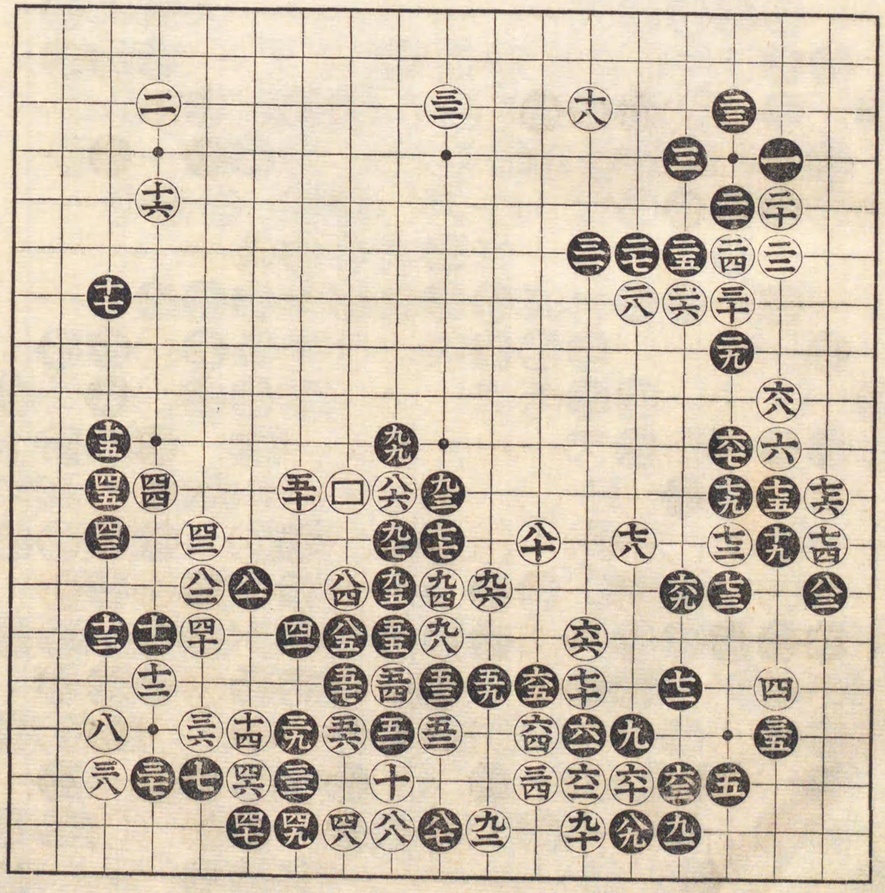
本因坊秀和

中押勝

先 村瀨彌吉

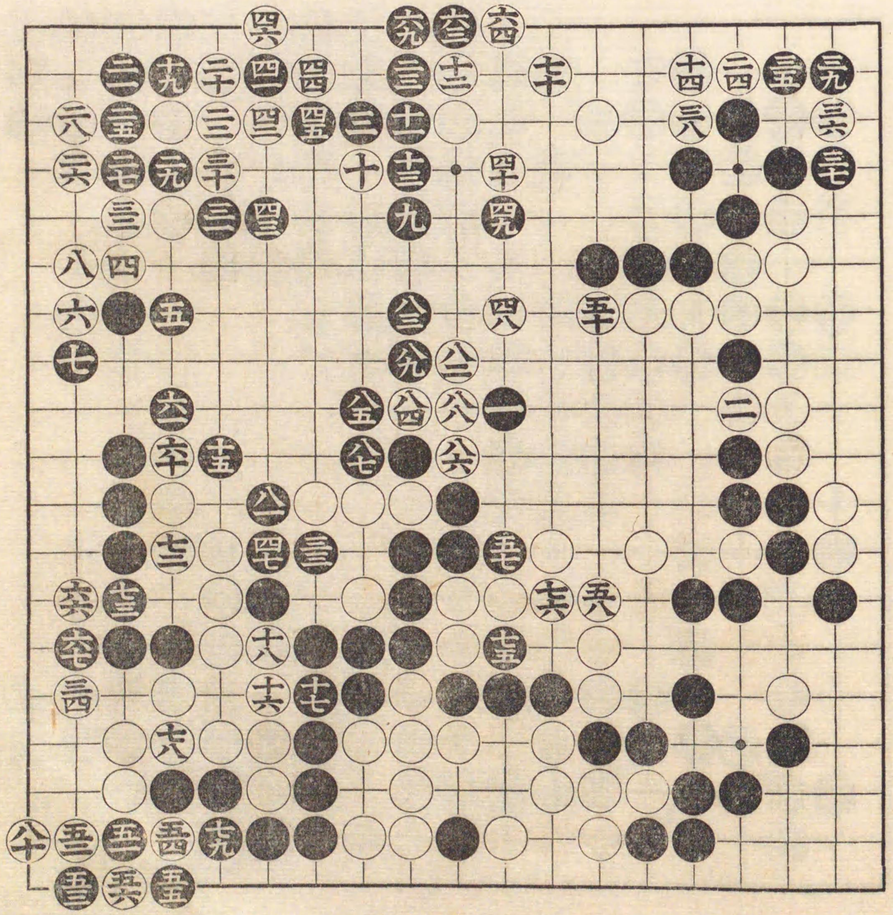
(五八)粘

百手迄



(五九)劫提 (六二)同 (六五)同 (六八)同 (七一)同 (七四)同 (七七)同

八拾九手迄



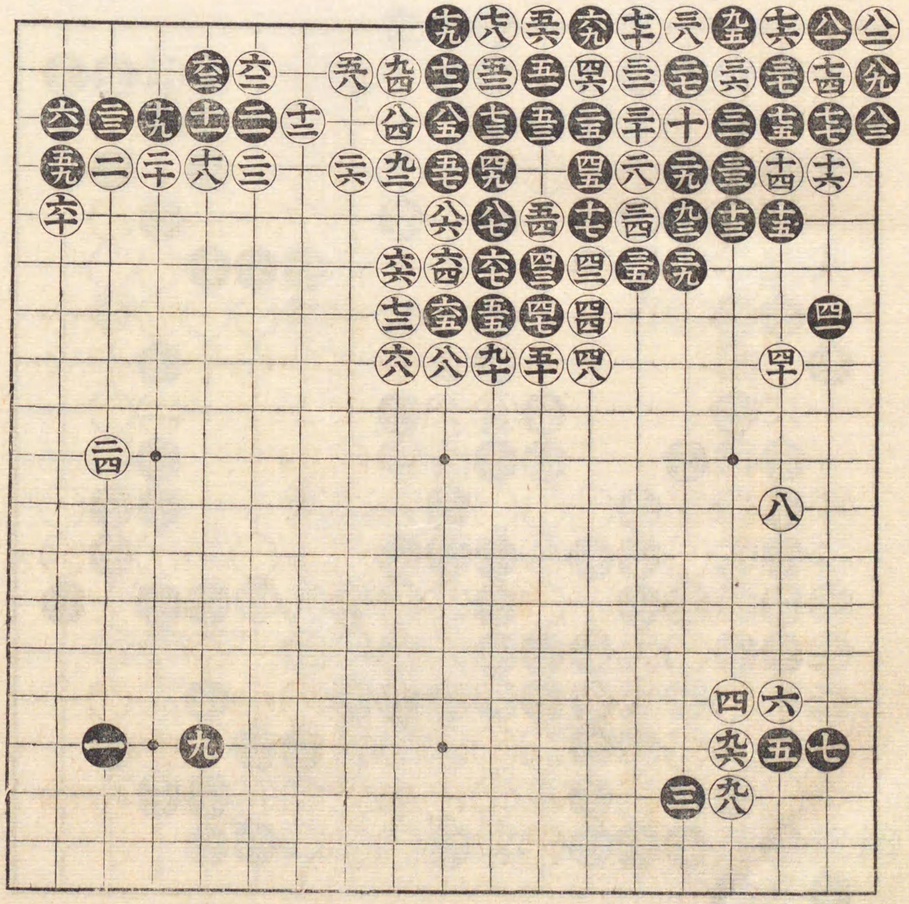
安政五年六月三日師葛野氏ニ於テ

勝
村瀬彌吉
當時五段

先
中村正平
安井門人四段

(八十)粘
(九一)提
(九七)二七ノ處ニ打ツ

九拾八手迄

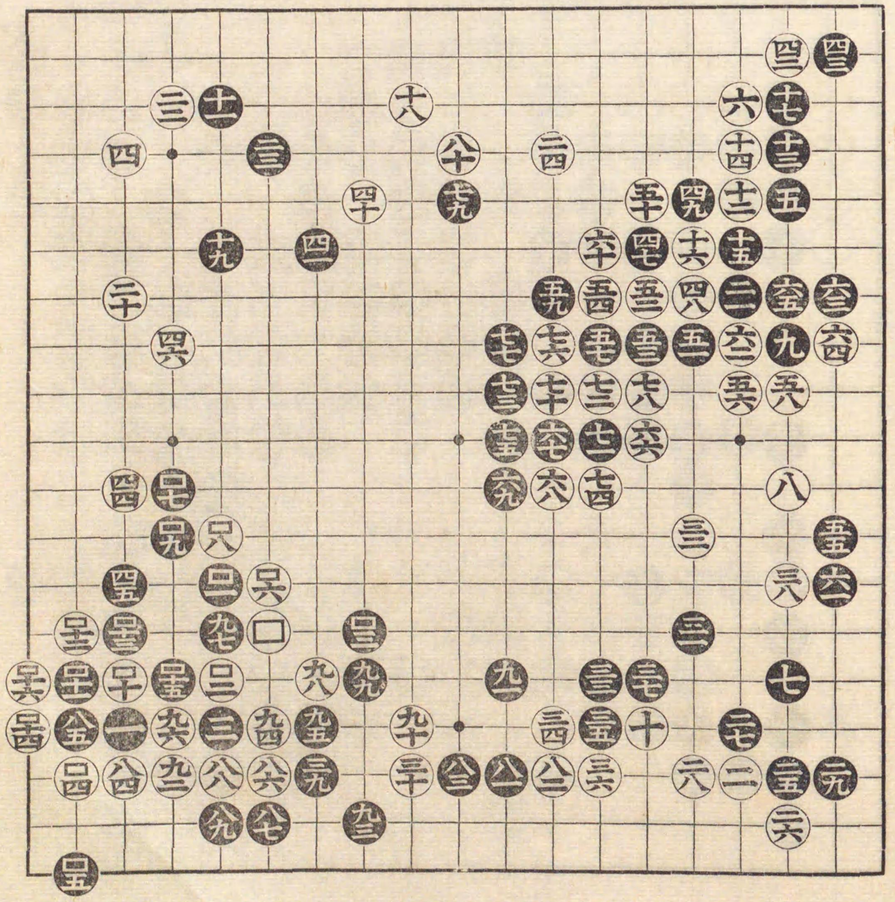


安政五年六月十三日於佐藤氏ニ打掛十九日於登客樓ニテ打次

中押勝
村瀬彌吉

先
中村正平

百拾六手迄



安政五年六月廿四日於勢州箕田

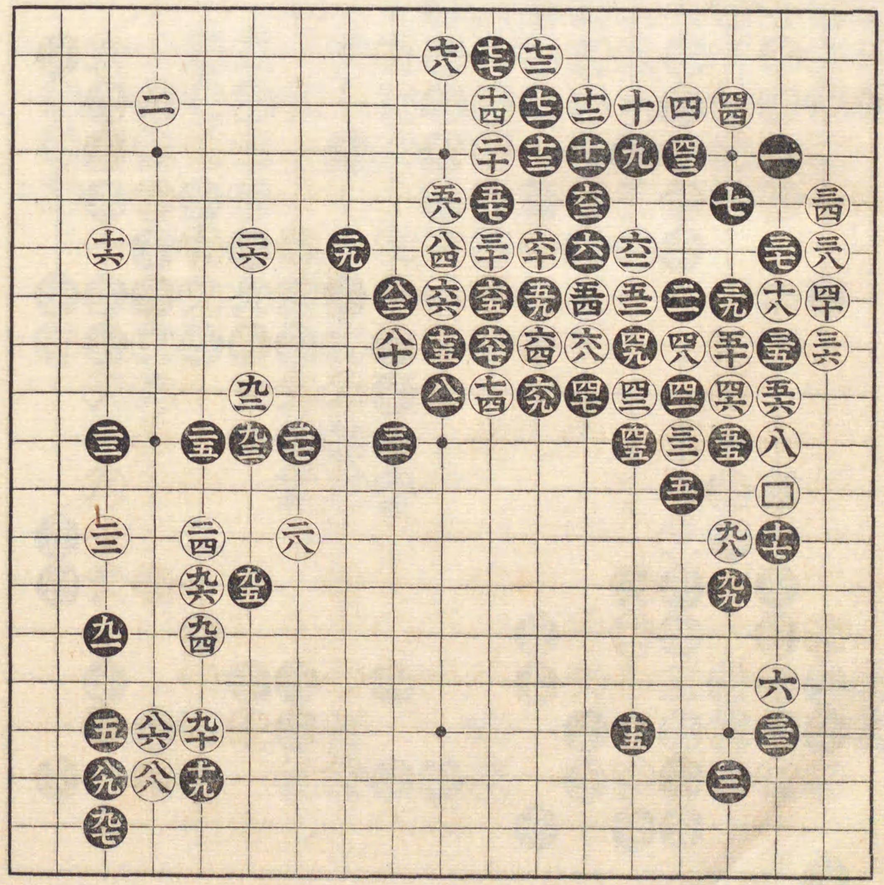
村瀨彌吉

十二目勝

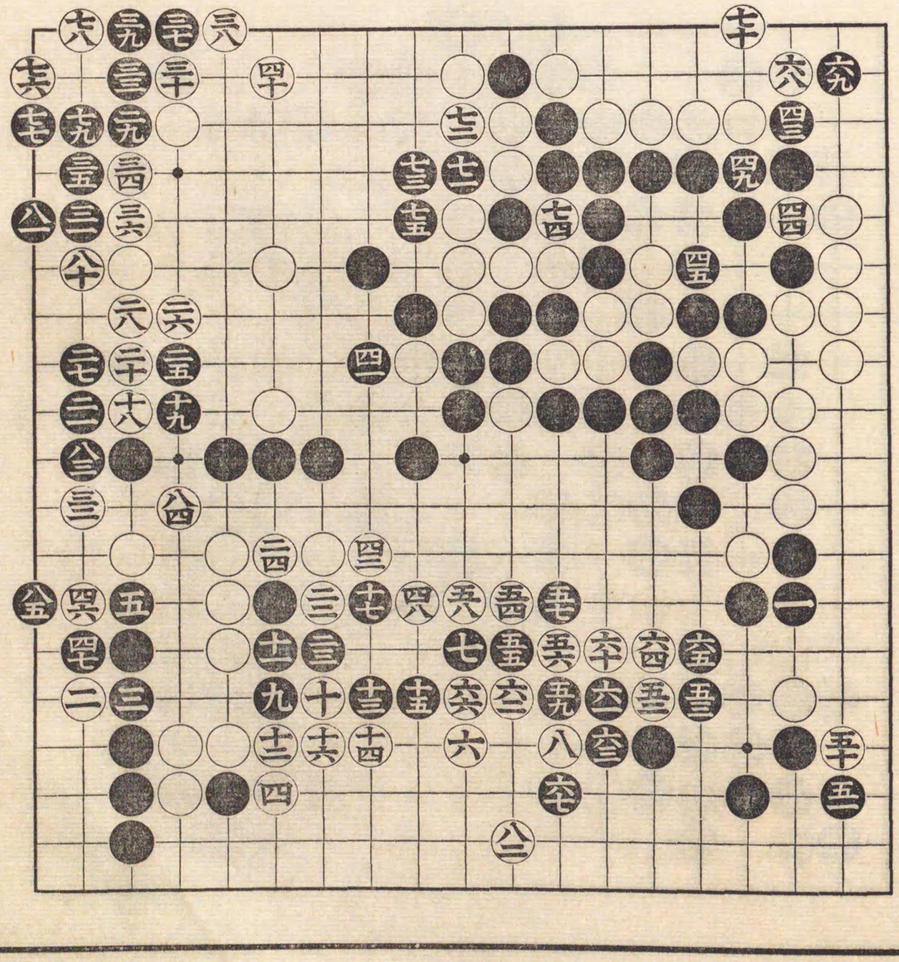
先 梶川守禮

五三	劫提
七十	同
七三	同
七六	同
七九	同
八二	同
八五	同
八七	劫粘

百手迄



八拾五手迄



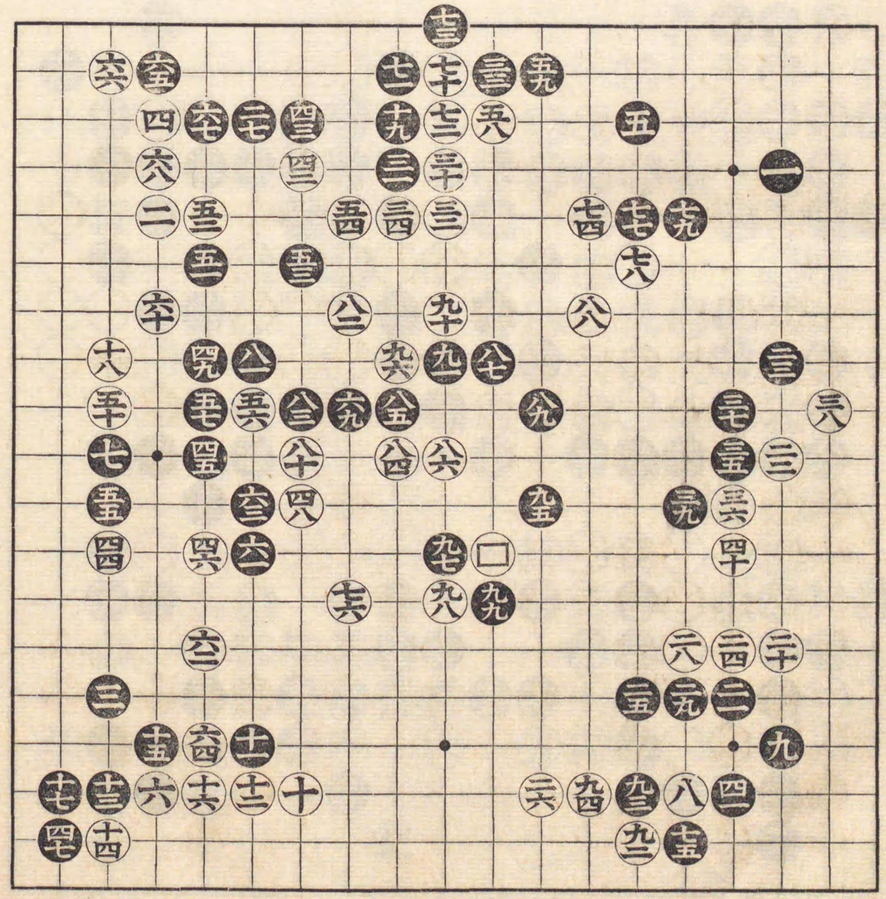
安政五年六月廿四日於勢州箕田

村瀨彌吉

八目勝

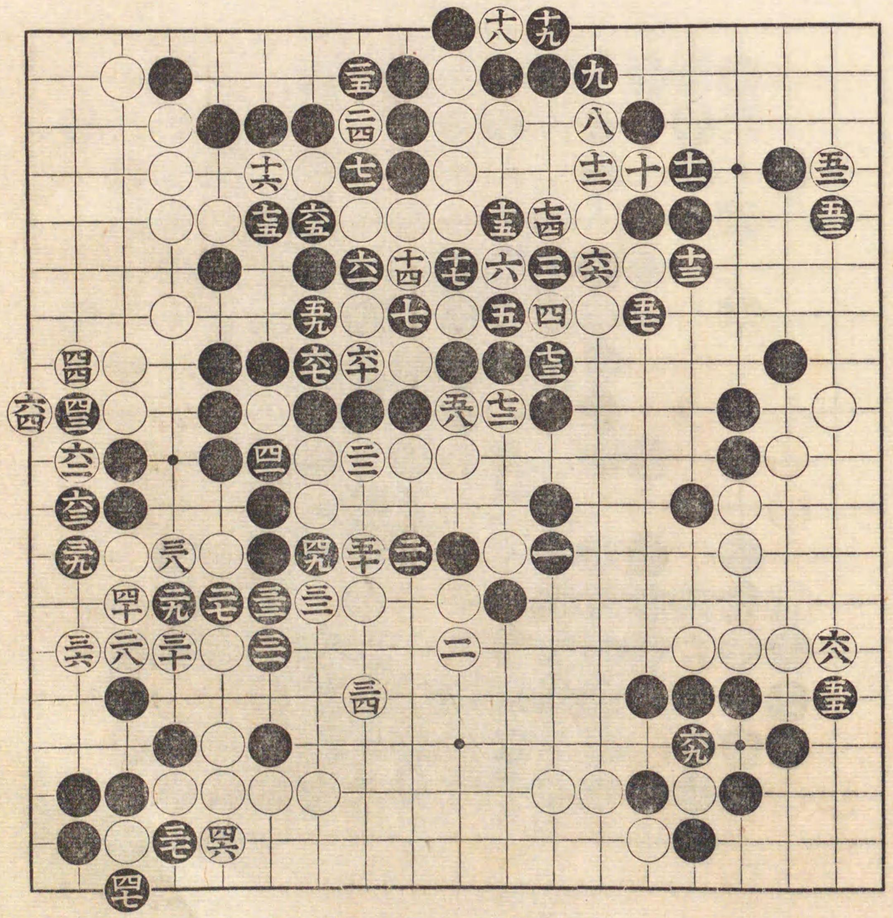
先 梶川守禮

百手迄



二十 劫提
三 同
二六 同
二五 同
四三 同
四五 同
四八 同
五一 同
五四 同
五六 劫粘
七十 三目粘

七拾五手迄



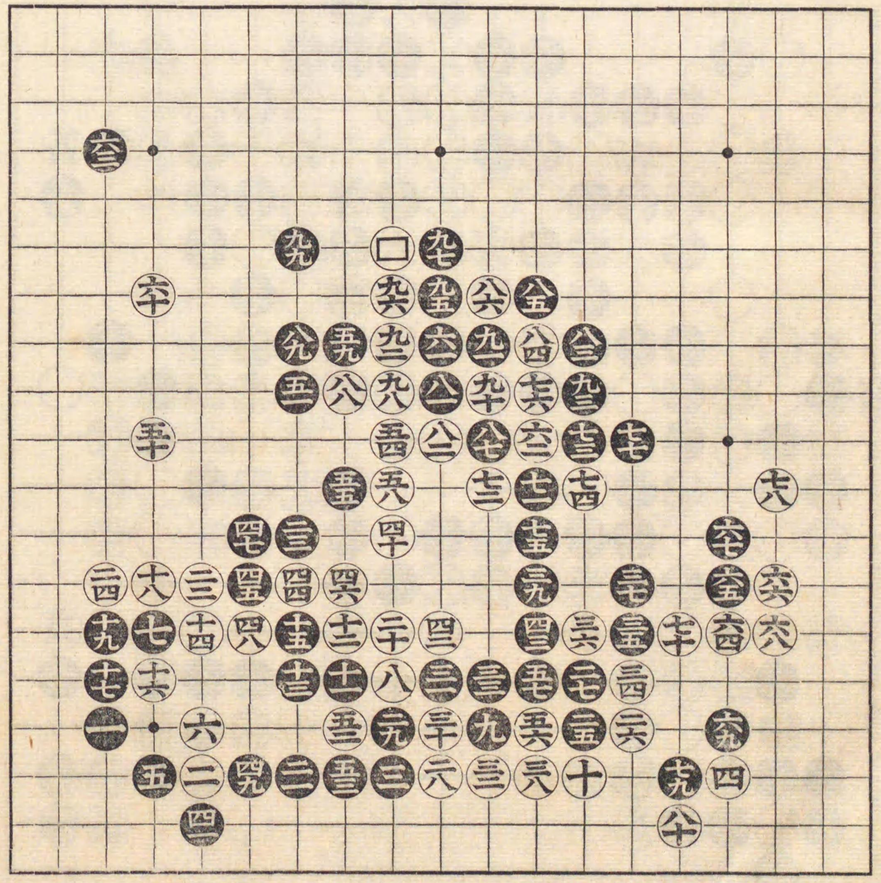
安政五午年七月九日

八目勝 **村瀨彌吉**

先 **中村正平**（駿州沼津）五段

(九四)粘

百手迄

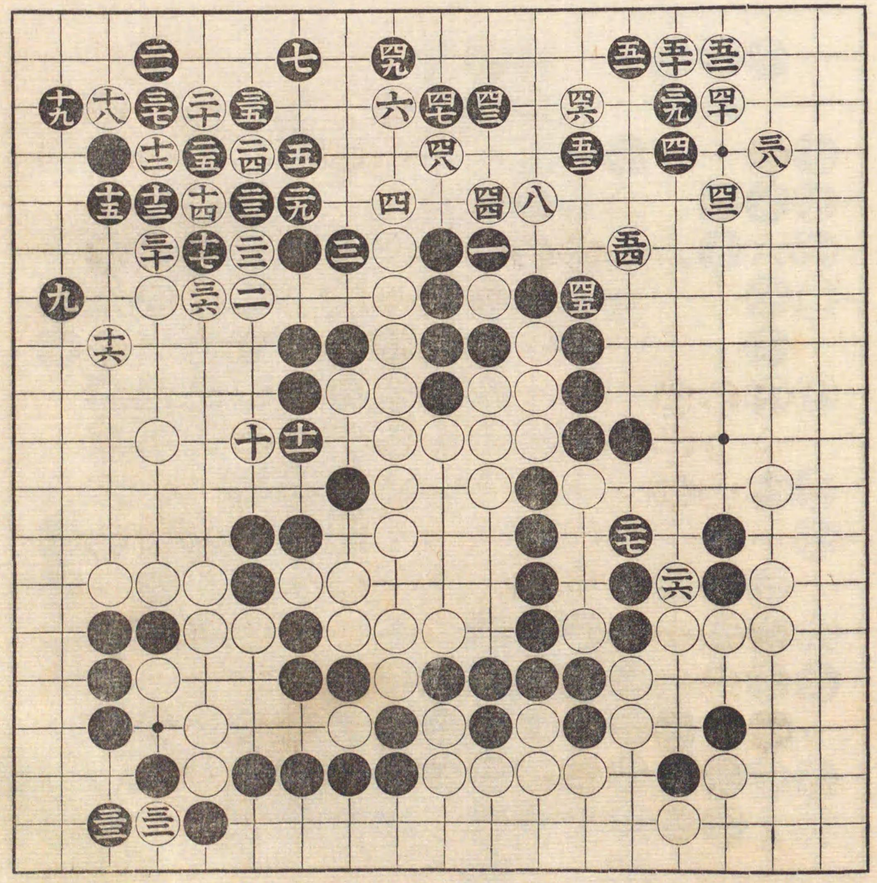


(二八)劫提

(三一)同

(三四)同

五拾四手迄

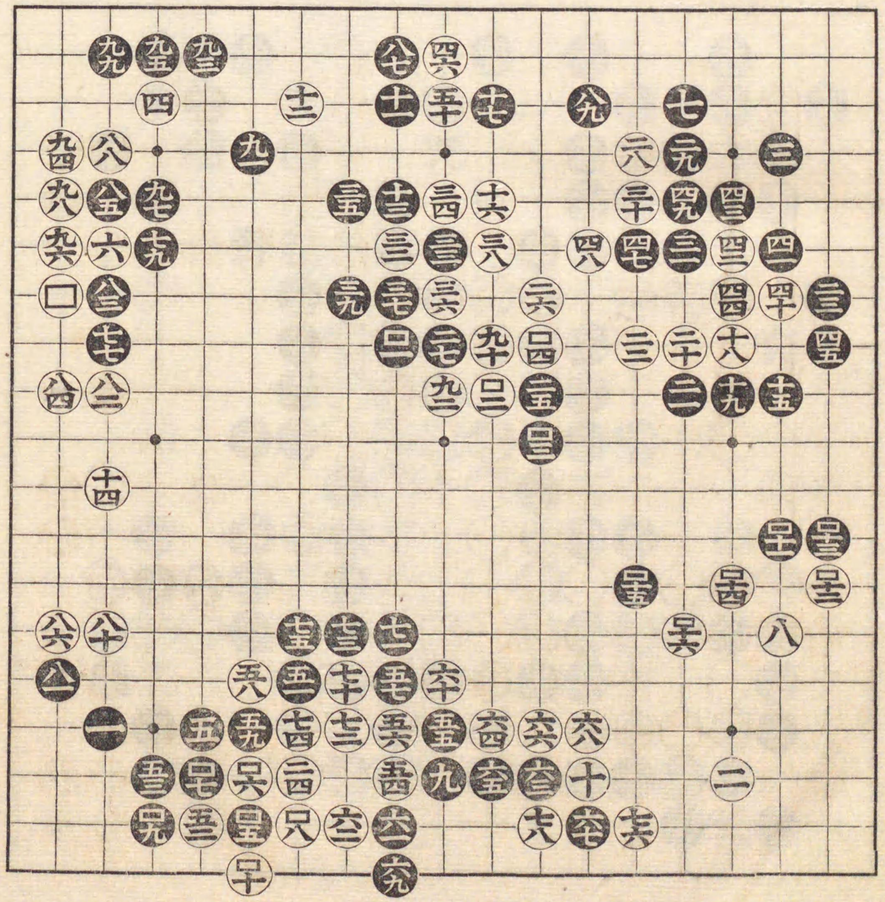


安政五年七月十日同所ニテ

中押勝
村瀬彌吉

先
中村正平

百拾六手迄

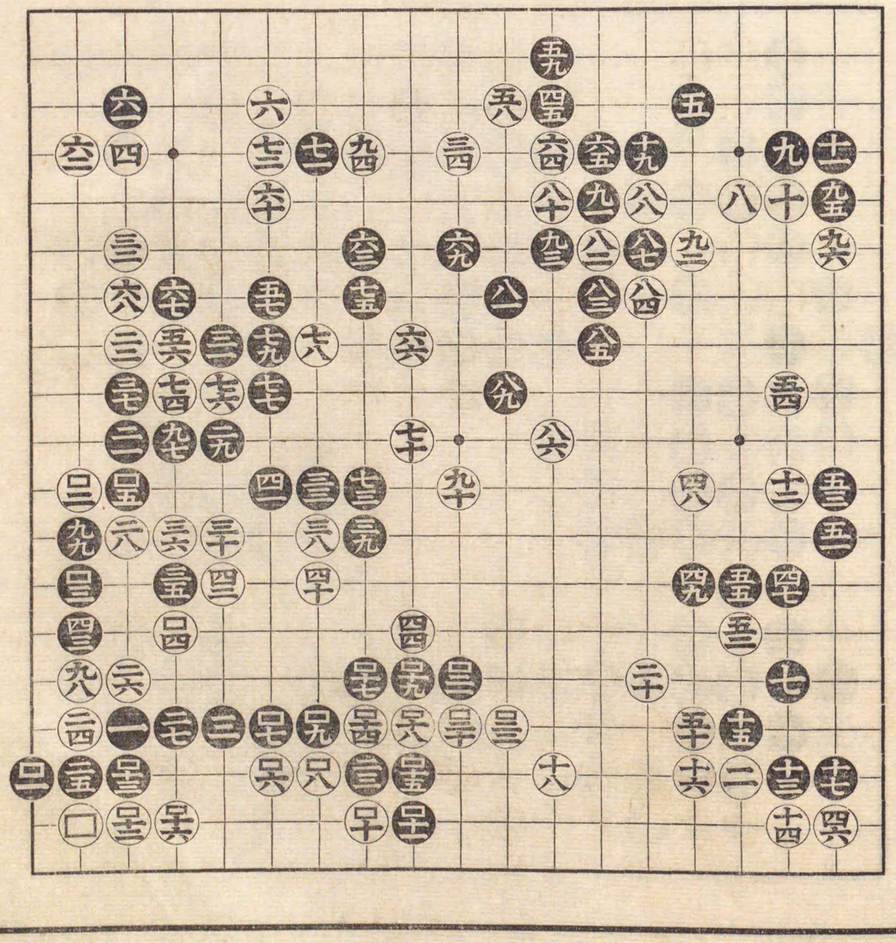


安政五年七月廿三日同處

中押勝
村瀬彌吉

先
中村正平

百二拾二手迄



安政五年七月廿二日

村瀨彌吉

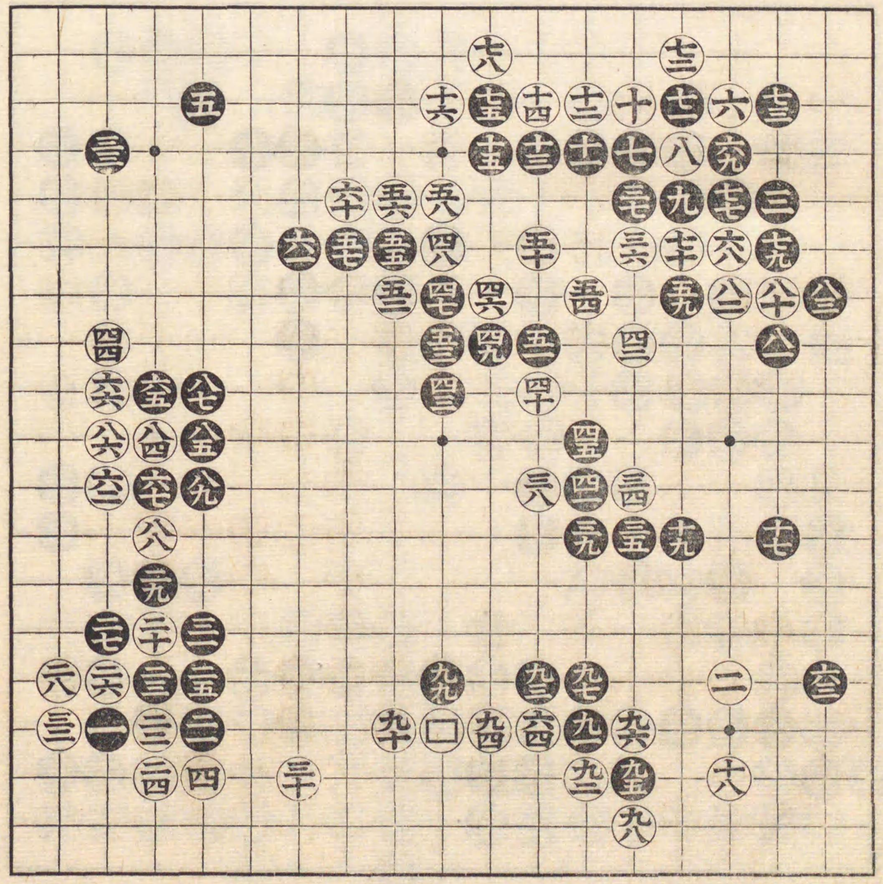
五目勝

先 中村正平

(七四)劫提

(七六)劫粘

百手迄



(三三)劫提

(三五)同

(三六)同

(四十)粘

(四一)劫提

(四四)同

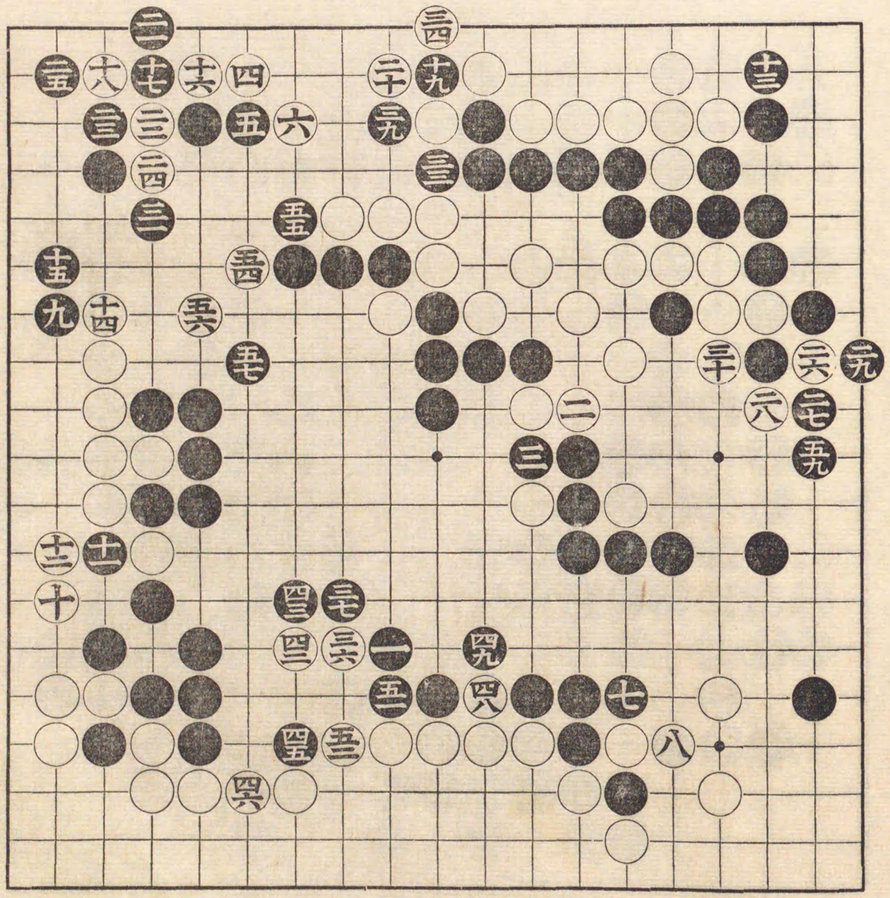
(四七)同

(五十)同

(五三)同

(五八)同

五拾九手迄



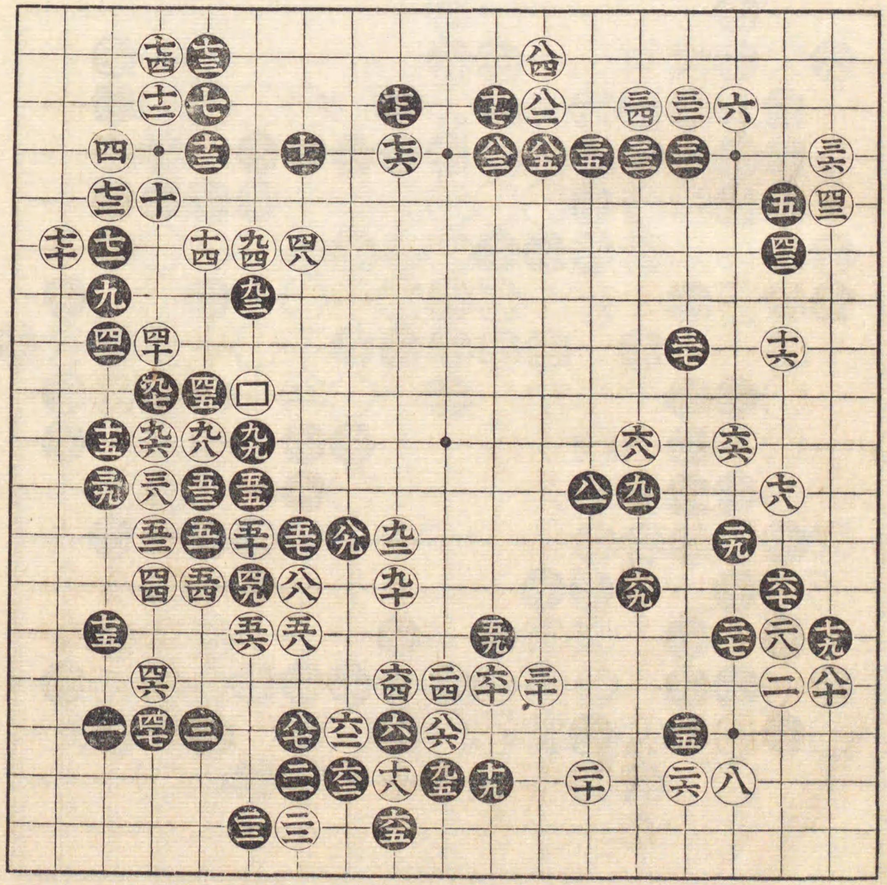
安政五年七月廿四日同處於テ

村瀨彌吉

七目勝

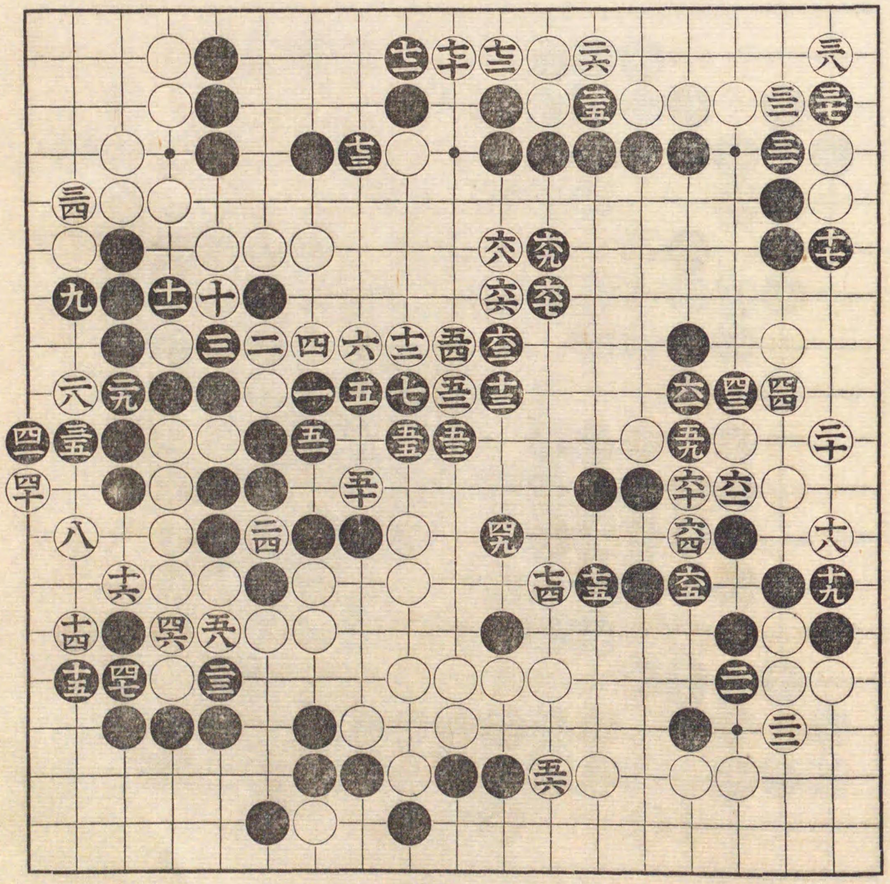
先 中村正平

百手迄



七拾五手迄

二七 劫提
三十 劫提
三三 同
三六 同
二九 同
四二 同
四五 同
四八 同
五七 同



安政五年七月廿七日同處

村瀨彌吉

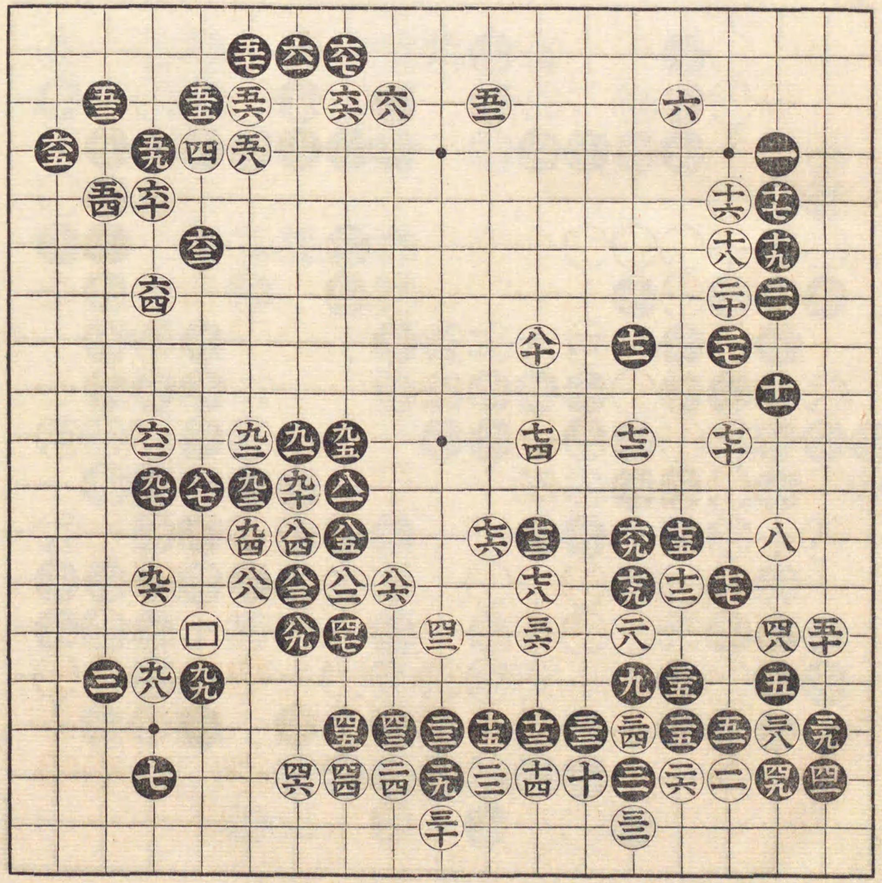
中押勝

先 中村正平

二七 劫提

四十 同

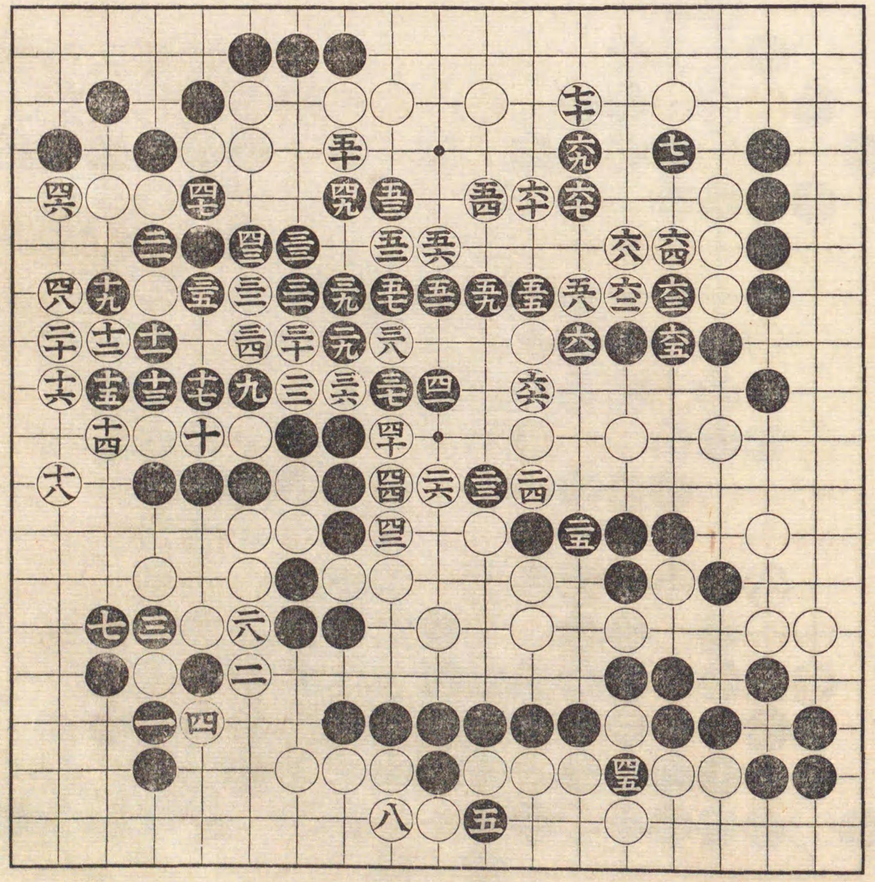
百手迄



六 劫提

二七 劫提

七拾一手迄



安政五年八月三日於松居久三郎氏宅

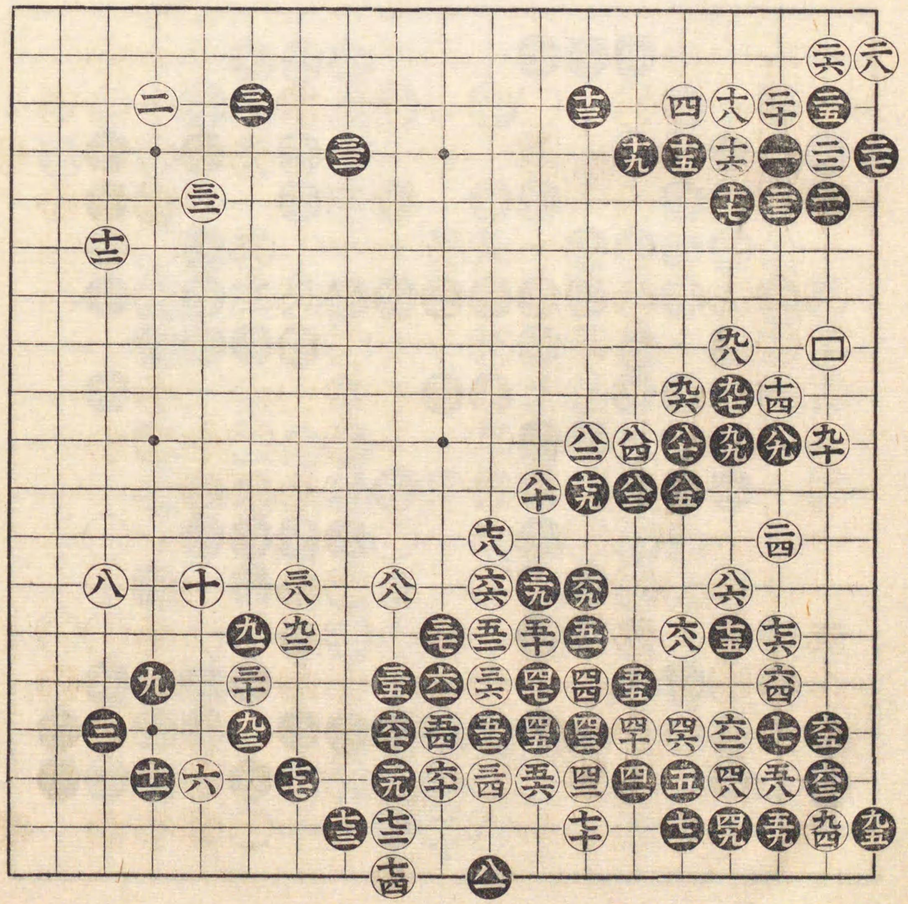
村瀨彌吉

一目勝

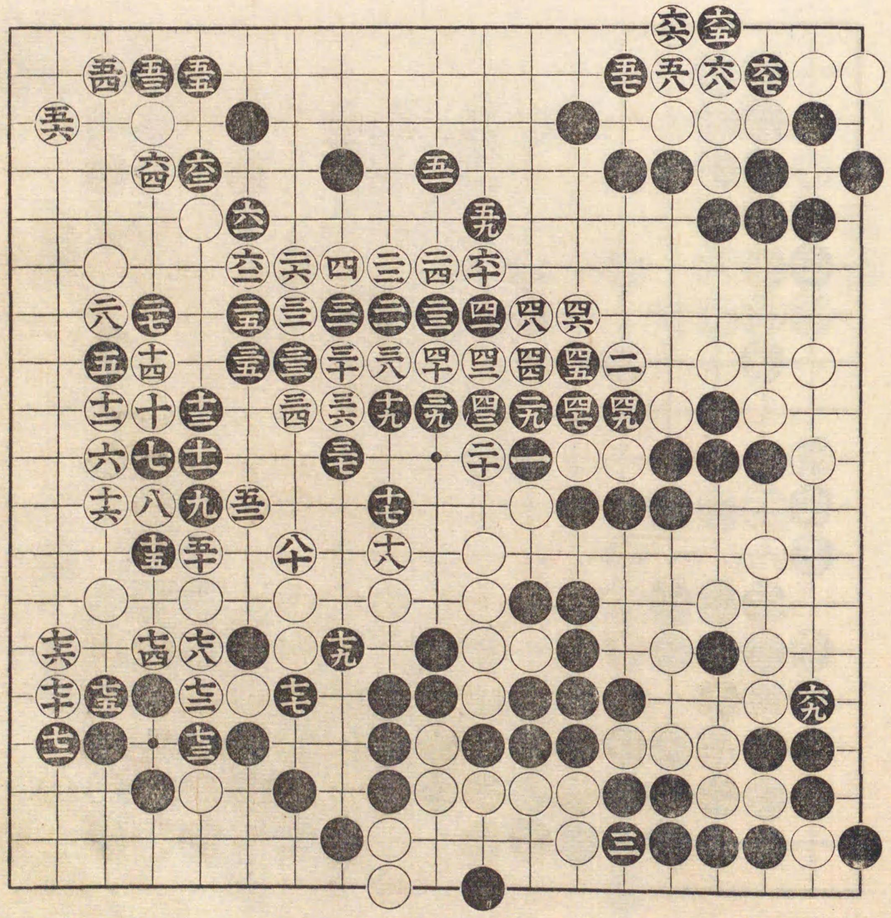
先 中村正平

(五七)粘

百手迄



八拾手迄

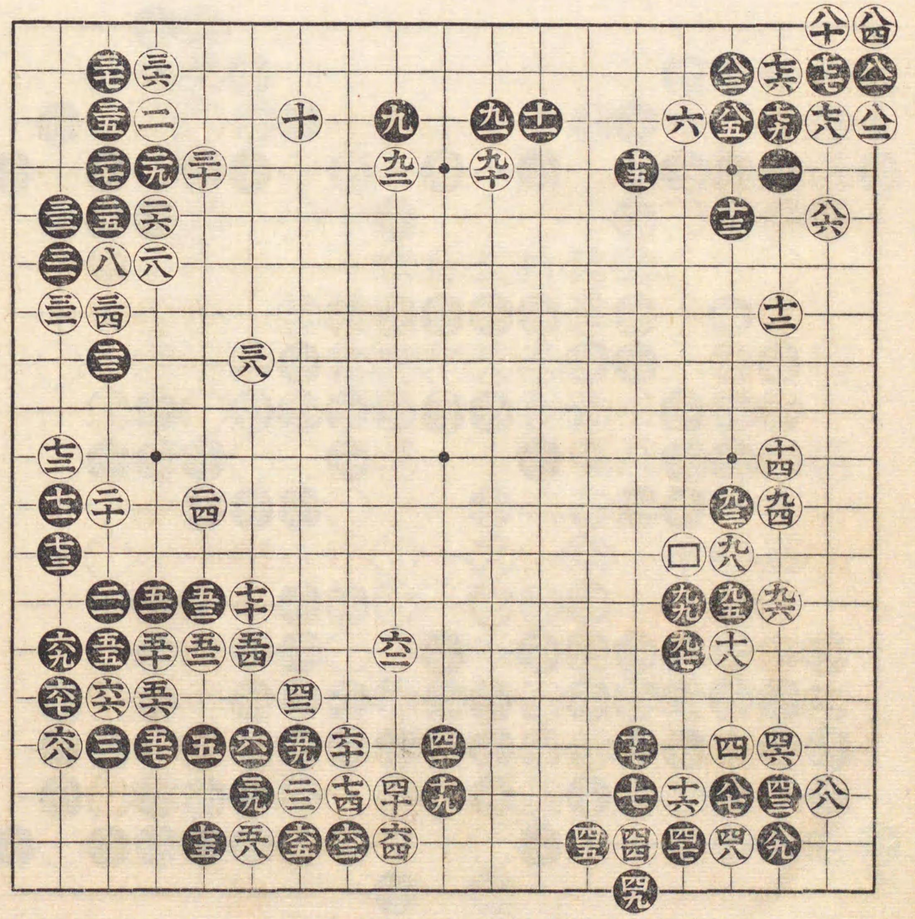


安政六年二月十七日於富永孫六郎殿

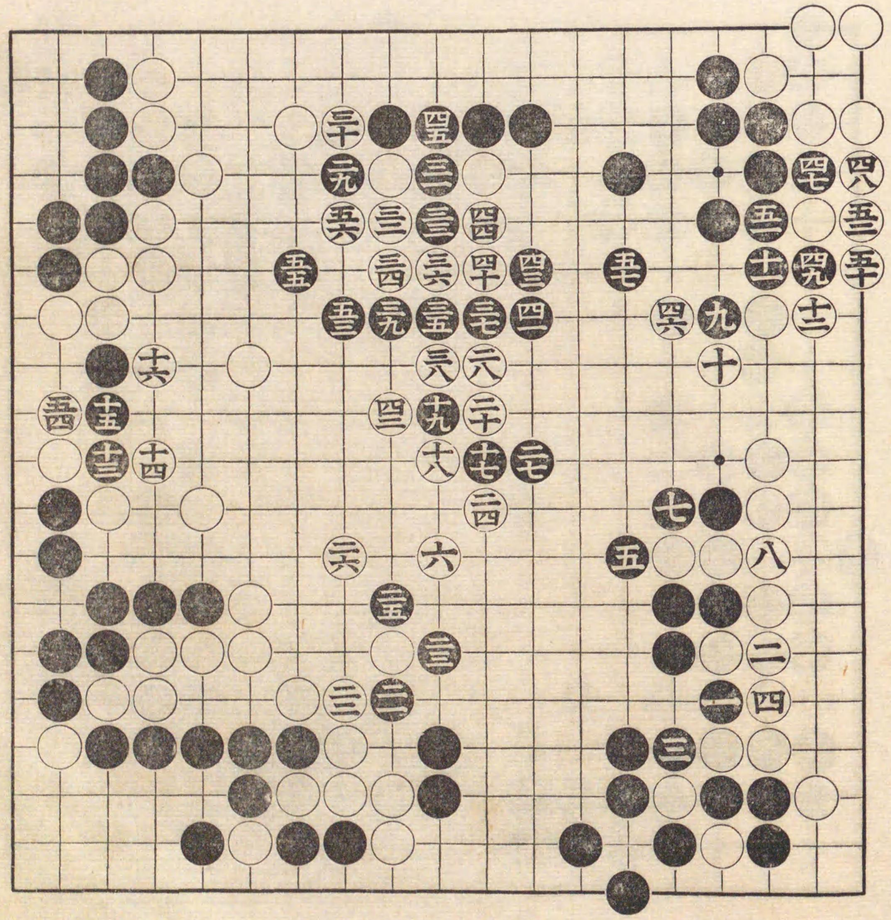
四目勝 **安田秀策**

先 **村瀬彌吉**

百手迄



五拾七手迄



安政六年九月朔日於京都

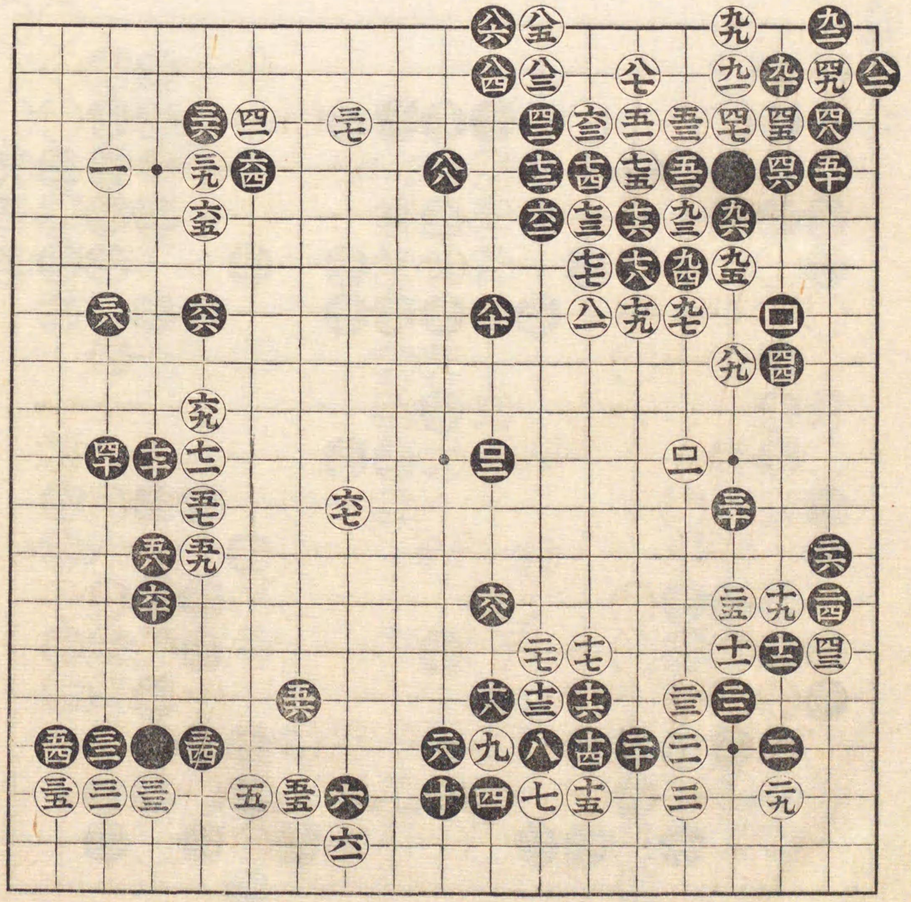
村瀨彌吉

中押勝

二ツ番 **高崎泰之助**

九八 粘

百二手迄



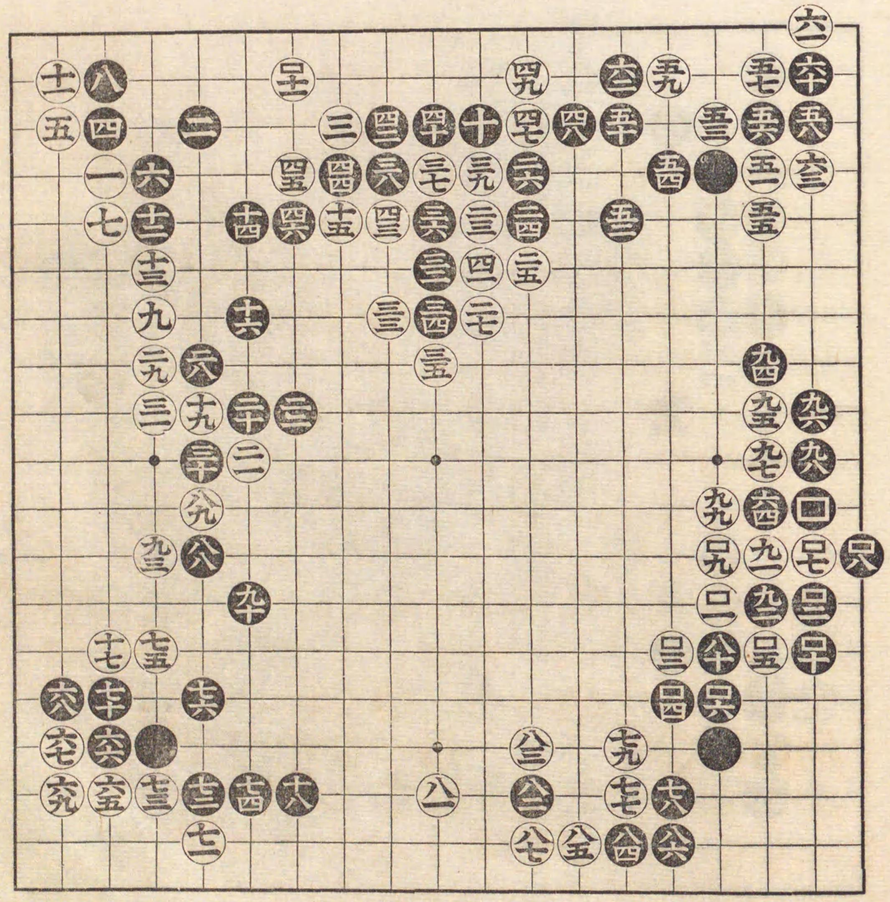
安政六年同月同日同處

中押勝

村瀨彌吉

三ツ番 **高崎泰之助**

百拾一手迄

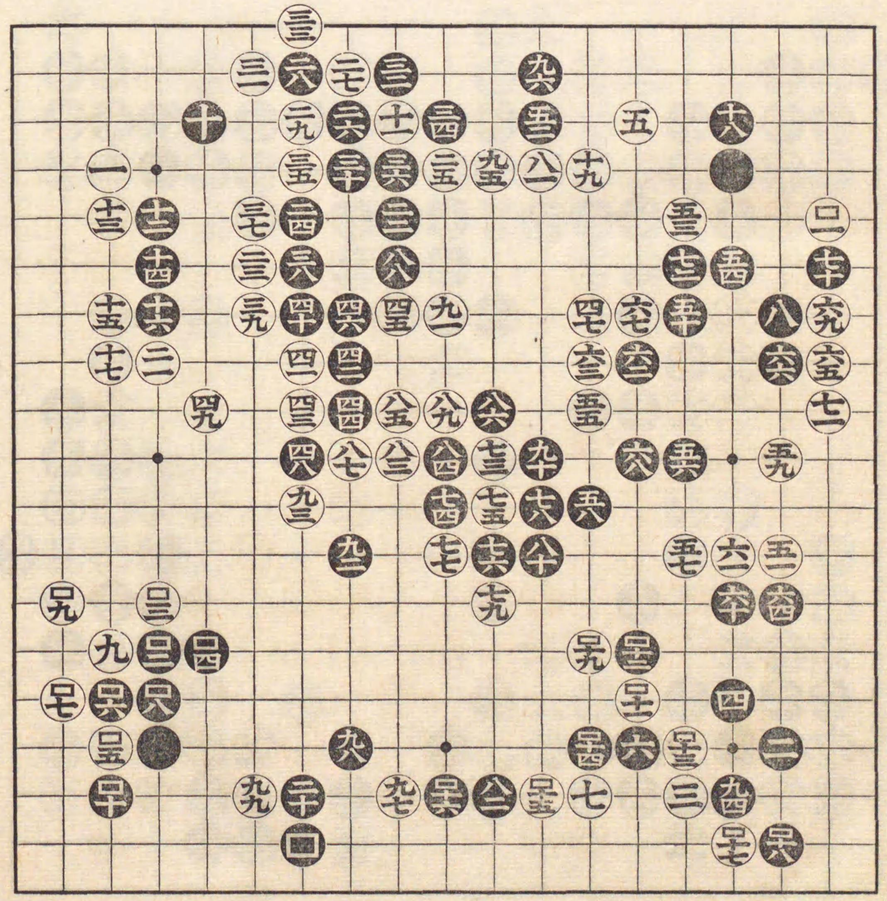


安政六年同月二日於同處

中押勝

二ツ番 村瀨彌吉 高崎泰之助

百拾九手迄

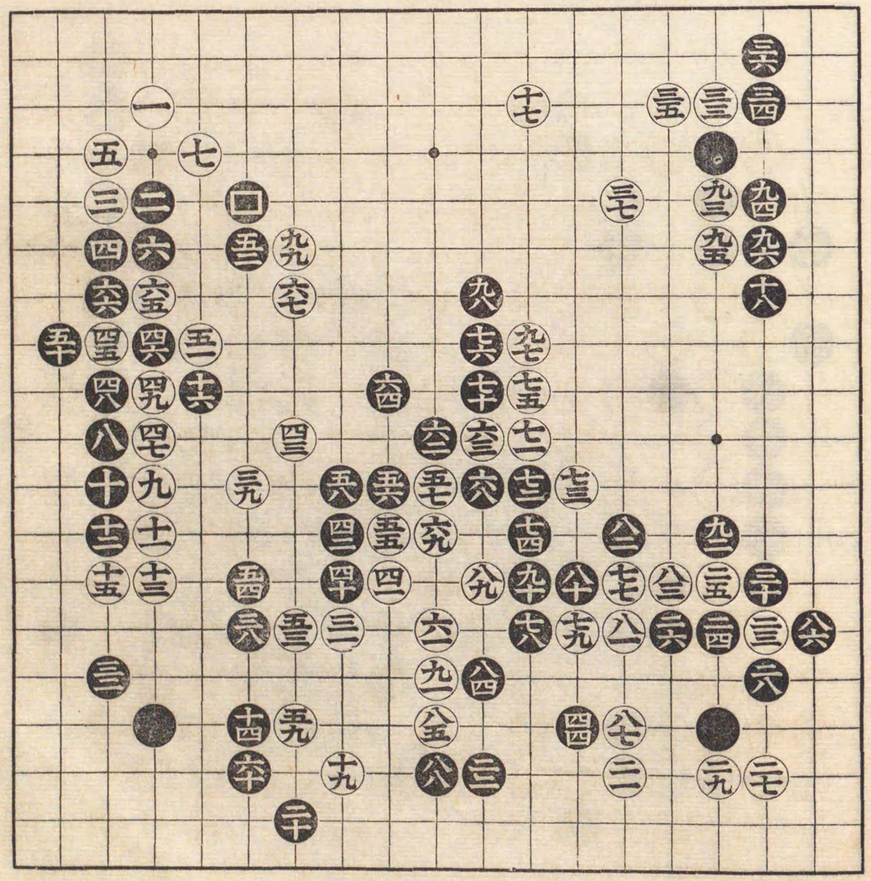


安政六年同月同日同處

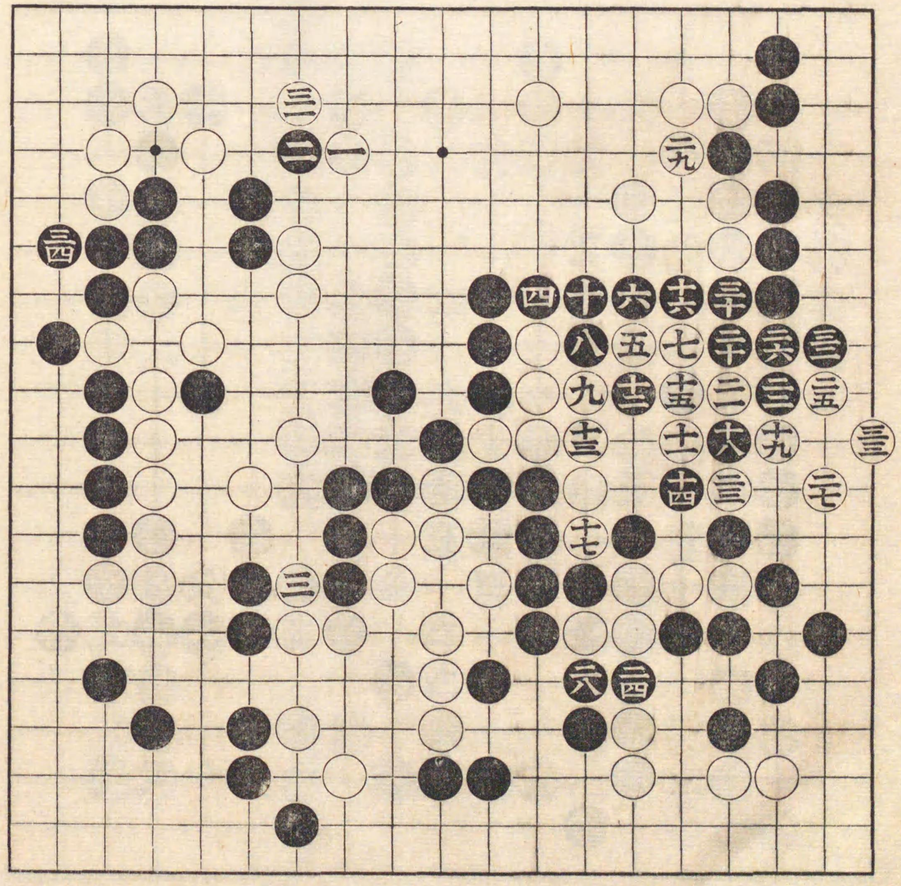
三ツ番 村瀨彌吉 高崎泰之助

五目勝

百手迄



三拾四手迄



安政六年同月同日同處

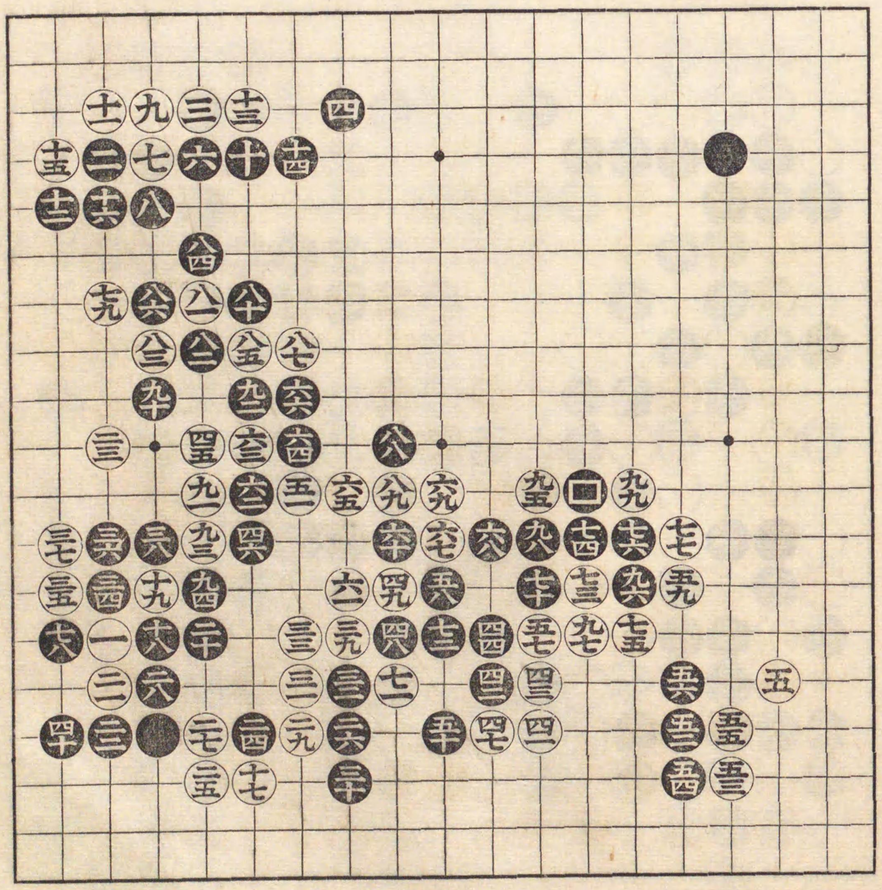
十目勝

村瀨彌吉

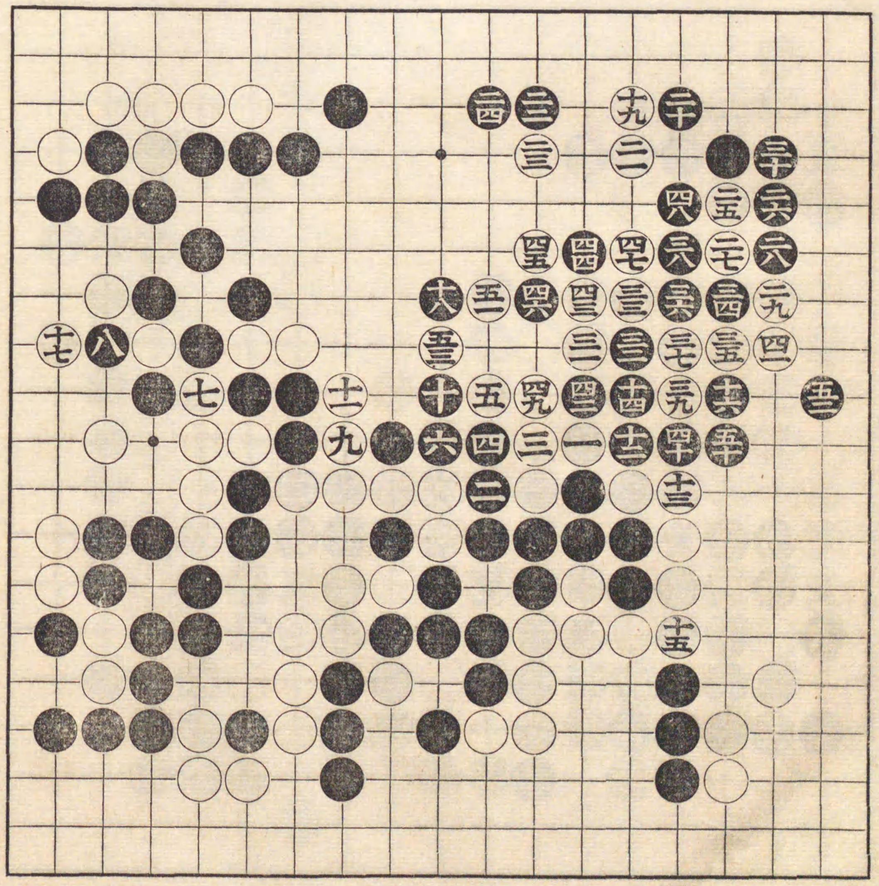
二ッ番

高崎泰之助

百手迄



五拾三手迄



安政六年同月同日同處

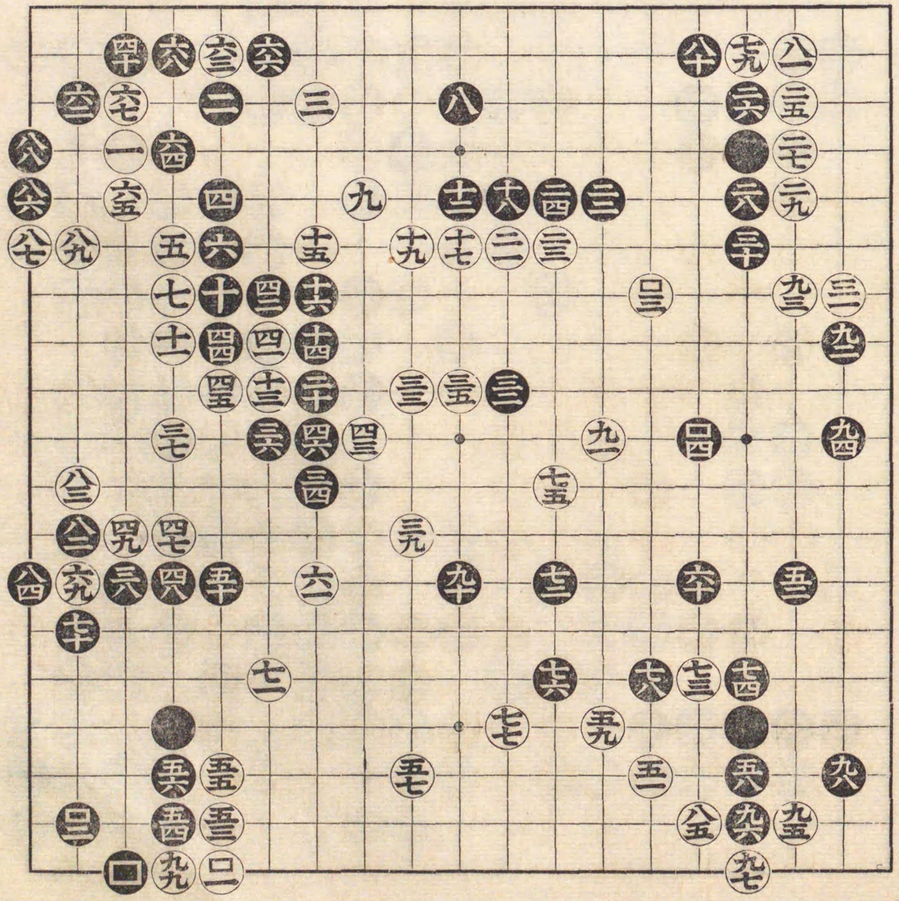
二目勝

三ツ番

村瀨彌吉

高崎泰之助

百四手迄

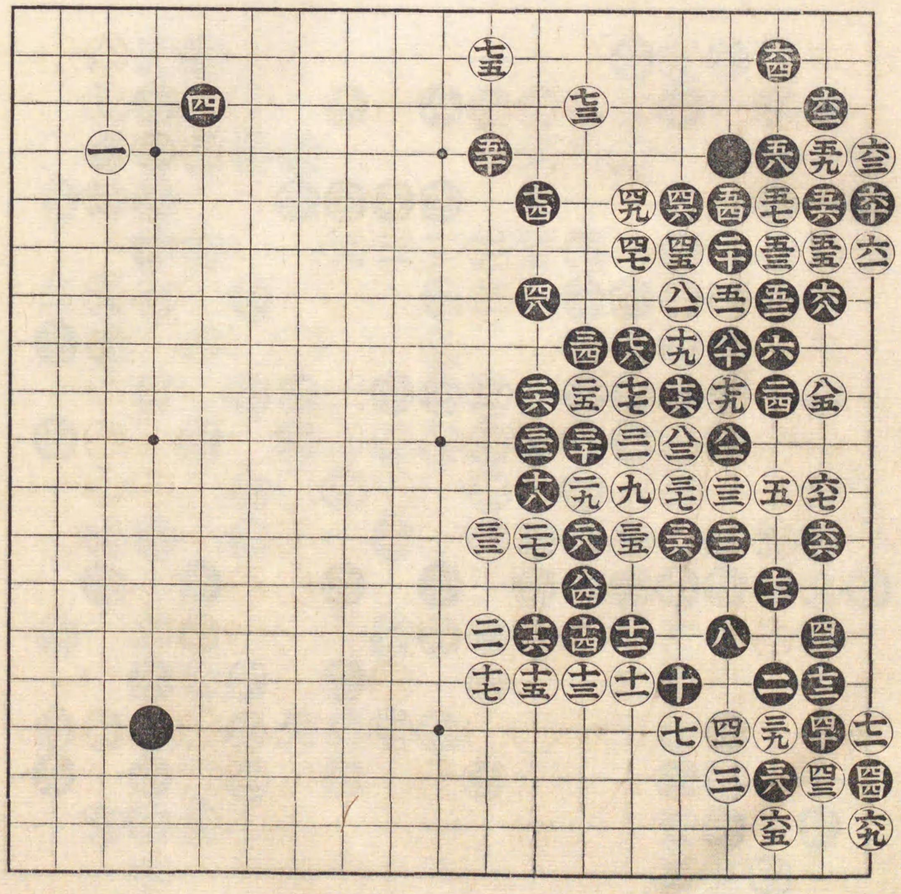


安政六年同月五日於同處

中押勝

二ツ番 村瀨彌吉 高崎泰之助

八十五手迄

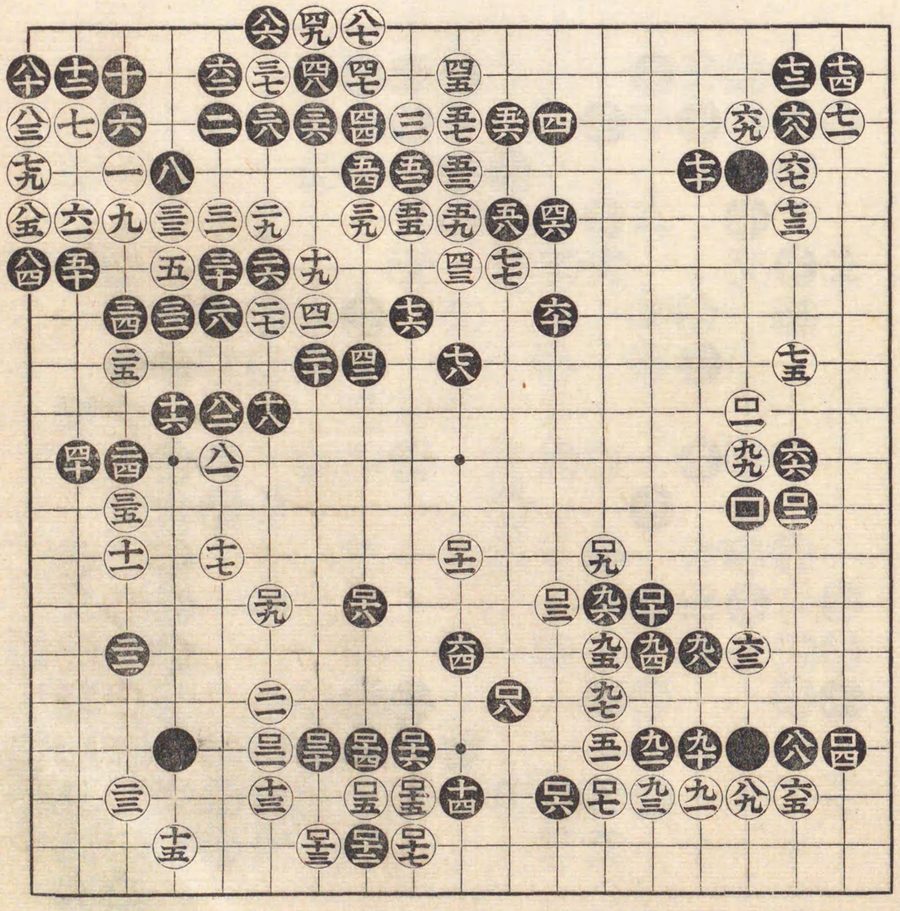


安政六年同月同日同處

七目勝

三ツ番 村瀨彌吉 高崎泰之助

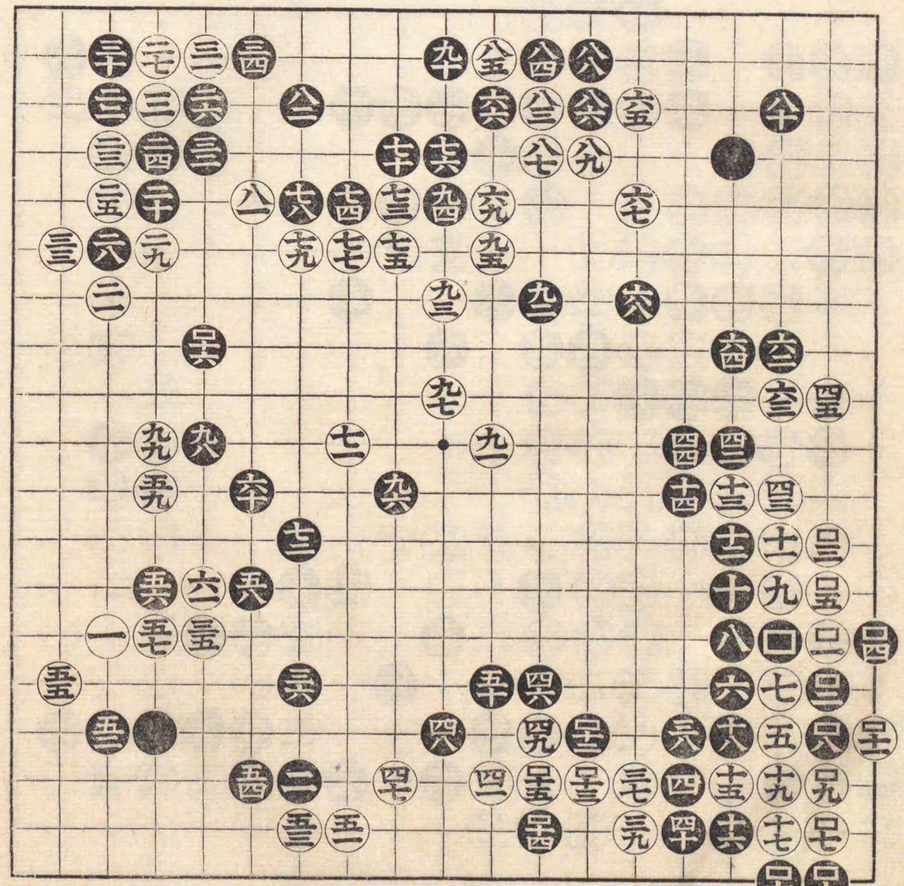
百二拾一手迄



安政六年同月同日同處

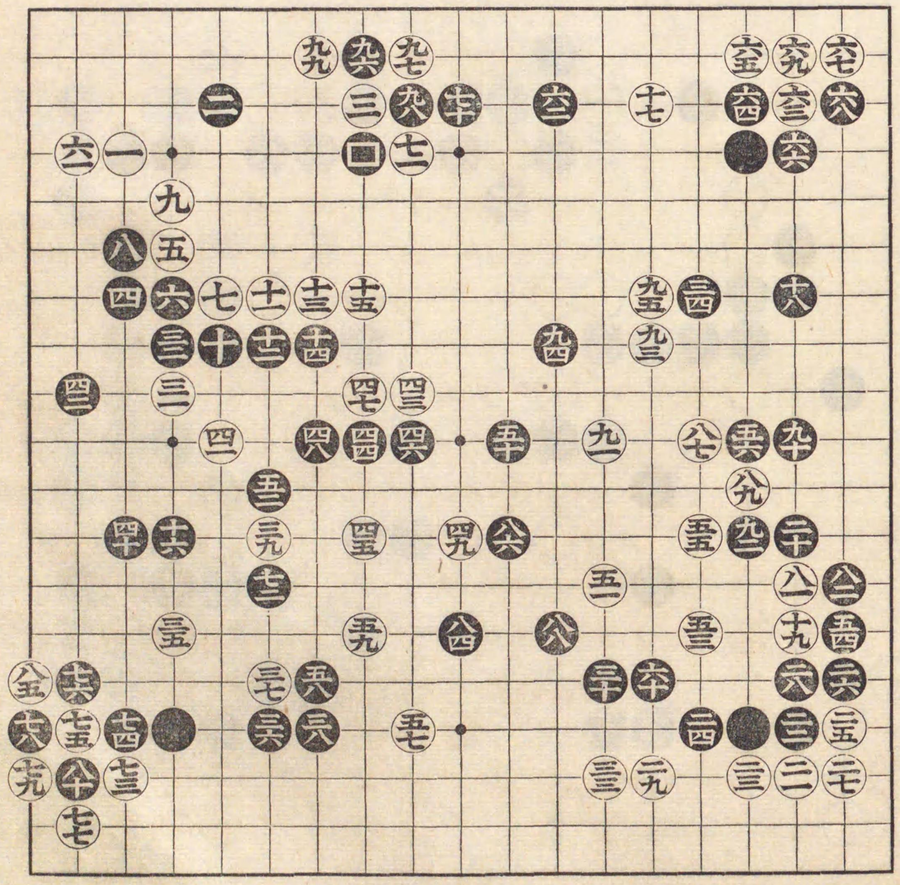
村瀨彌吉 三目勝 二ッ番 高崎泰之助

百拾六手迄



安政六年同月於同處

村瀨彌吉 七目勝 三子番 高崎泰之助

百手迄

㊀劫提